

令和5年度
澁川市市民意識調査結果報告書
2023

令和6年3月

澁川市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査票の配布・回収状況	1
4 グラフ中の表記	1
II 調査結果	4
1 回答者の属性について	4
(1) 性別	4
(2) 年代	4
(3) 職業	4
(4) 家族構成	5
(5) 居住地区	5
(6) 居住年数	5
2 市政との関わりについて	6
問1 合併後のまちづくり	6
問2 合併後の市民サービス	9
問3 今後の定住意向	12
3 市の現状の評価について	14
問4 市の取組の満足度・重要度	14
(1) 安全・安心、暮らし分野	16
(2) 健康、福祉、スポーツ分野	19
(3) 産業分野	22
(4) 都市基盤、自然環境分野	25
(5) 教育、文化分野	28
(6) 自治、協働、行財政分野	30
(7) 48項目の満足度と重要度の関係	33
4 市に関する情報を得る方法について	35
問5 市に関する情報の入手方法	35
5 広報紙の発行について	37
問6 広報紙の発行回数について	37
6 性別役割分担意識について	38
問7 性別による役割分担意識	38

7 インターネットの利用状況について	41
問 8 インターネットを利用している情報通信機器	41
8 市のデジタル技術の取組について	43
問 9 行政手続きのオンライン化により利便性が向上したこと	43
問 10 力を入れてほしいデジタル化の取り組み	45
9 食品ロスについて.....	47
問 11 食品ロス問題の認知度	47
10 市の景観について	49
問 12 渋川市らしい良好な景観づくりに向けて大切と思うこと	49
問 13 良好な景観づくりに必要なルール.....	51
11 外出時の移動手段について	53
問 14 日常的な移動手段.....	53
12 路線バスの利用環境について	55
問 15 自宅に近いバス停の認知度.....	55
13 自家用車の保有台数について	56
問 16 世帯における18歳以上の人数と自家用車保有台数	56
14 読書について.....	59
問 17 月あたりの紙の本の読書冊数.....	59
問 18 月あたりの電子書籍の読書冊数.....	62
問 19 図書館の利用頻度	65
15 市政について.....	68
問 20 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと	68
資料.....	71
1. 48項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）	71
2. 48項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）	88
3. 48項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）	95
4. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）	143
5. 調査票	149

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、市民の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするために実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内に居住する18歳以上の市民4,000人を無作為抽出
- ③ 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- ④ 調査時期 令和6(2024)年1月5日～1月31日
- ⑤ 配布回収方法 郵送による直接配布、直接回収

3 調査票の配布・回収状況

- ① 配布数 4,000通
- ② 回収数 1,539通
- ③ 回収率 38.5%

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数をnで表記しています。
- ② 数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 合併後のまちづくり(問1)、合併後の市民サービス(問2)では、以下の算出方法で加重平均値を求めて点数化しています。点数は2点から-2点の間に分布し、中間点の0点を境として、2点に近いほど合併後のまちづくりが「進んだ」(問1)、市民サービスが「向上している」(問2)、-2点に近いほど「進んでいない」(問1)、「向上していない」(問2)であることを示します。

	問1 選択肢	問2 選択肢	加重値
ア	進んだ	向上している	2
イ	どちらかと言えば進んだ	どちらかと言えば向上している	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば進んでいない	どちらかと言えば向上していない	-1
オ	進んでいない	向上していない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 市の取組の満足度・重要度（問4）の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は2点から－2点の間に分布し、中間点の0点を境として、2点に近いほど評価が高く、－2点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	－1
オ	不満	重要ではない	－2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ⑤ 性別役割分担意識（問7）では、以下の算出方法で加重平均値を求めて点数化しています。点数は2点から－2点の間に分布し、中間点の0点を境として、2点に近いほど「男は仕事、女は家庭」という考え方について「そう思わない」、－2点に近いほど「そう思う」であることを示します。

	満足度選択肢	加重値
ア	そう思わない	2
イ	あまりそう思わない	1
ウ	どちらとも言えない	0
エ	ややそう思う	－1
オ	そう思う	－2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

⑥ 本文中の「R4年度」「R2年度」「R元年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「令和4年度」「令和2年度」「令和元年度」と示します。

なお、これらの調査結果との比較において、選択肢の文章表現等が若干異なる場合、本調査の内容に準じたものとみなして、本調査票の表現で表記しています。

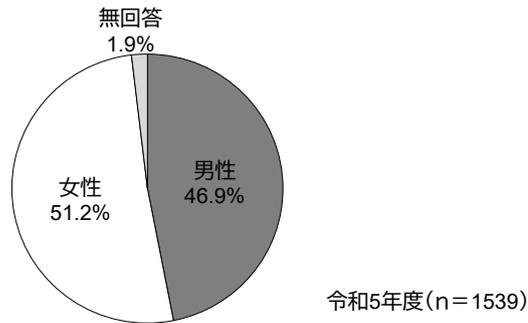
R4年度	市民意識調査 令和4(2022)年5～6月実施 配布 4,000 通・回収 1,498 通(回収率 37.5%) 調査対象は本調査と同様(市内在住の 18 歳以上の市民)
R2年度	市民意識調査 令和2(2020)年 10～11 月実施 配布 4,000 通・回収 1,852 通(回収率 46.3%) 調査対象は本調査と同様(市内在住の 18 歳以上の市民)
R元年度	市民意識調査 平成元(2019)年5～6月実施 配布 4,000 通・回収 1,288 通(回収率 32.2%) 調査対象は本調査と同様(市内在住の 18 歳以上の市民)

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

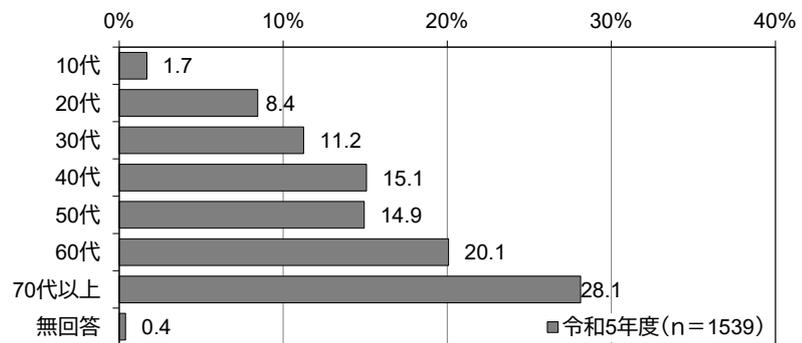
(1) 性別

男性（46.9%）、女性（51.2%）がいずれも約5割となっています。



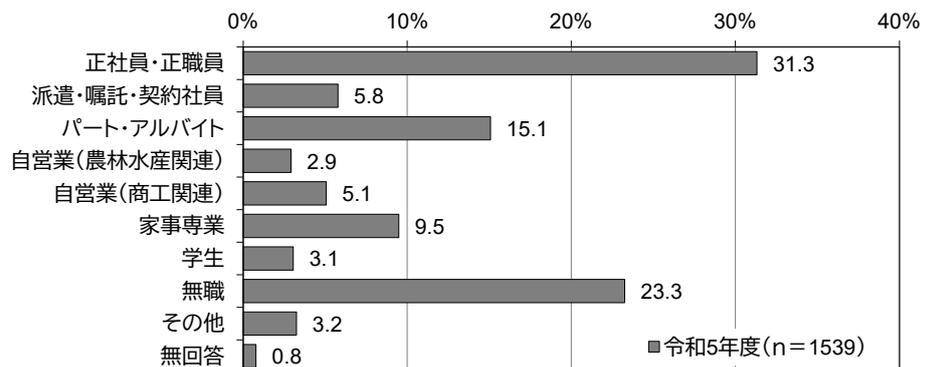
(2) 年代

70代以上（28.1%）が約3割で最も高く、次いで60代（20.1%）、40代（15.1%）、50代（14.9%）となっています。



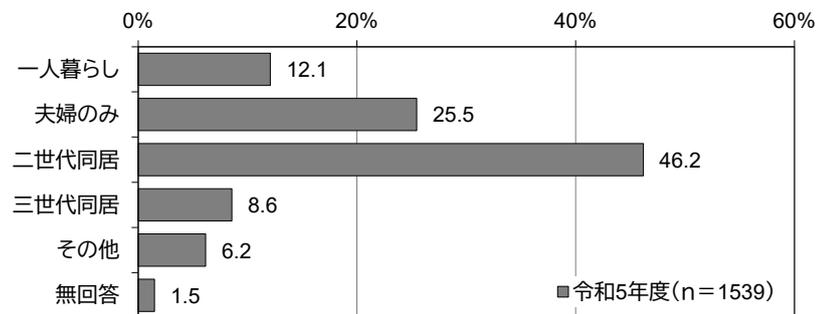
(3) 職業

正社員・正職員（31.3%）が3割以上で最も高く、次いで無職（23.3%）が2割以上、パート・アルバイト（15.1%）が1割以上となっています。



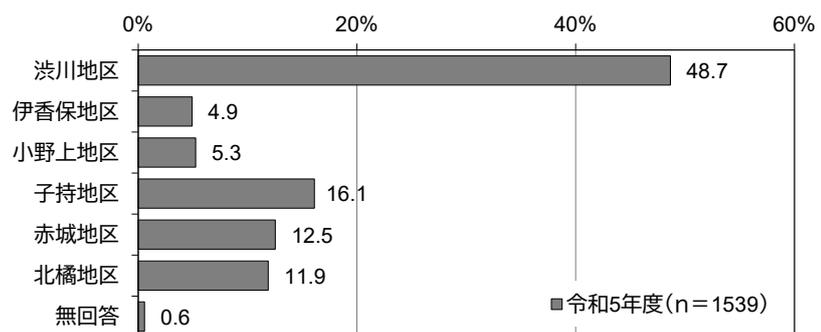
(4) 家族構成

二世世代同居（46.2%）が4割以上で最も高く、次いで夫婦のみ（25.5%）が2割以上となっています。



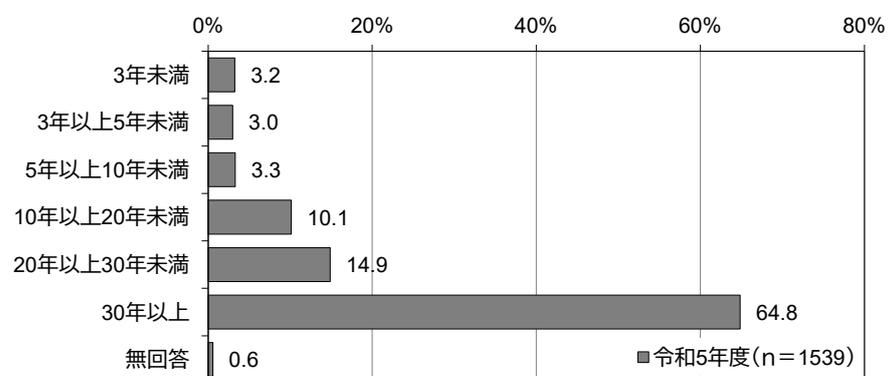
(5) 居住地区

渋川地区（48.7%）が約5割で最も高く、次いで子持地区（16.1%）、赤城地区（12.5%）、北橘地区（11.9%）が1割以上となっています。



(6) 居住年数

30年以上（64.8%）が6割以上で最も高く、次いで20年以上30年未満（14.9%）、10年以上20年未満（10.1%）が1割以上となっています。



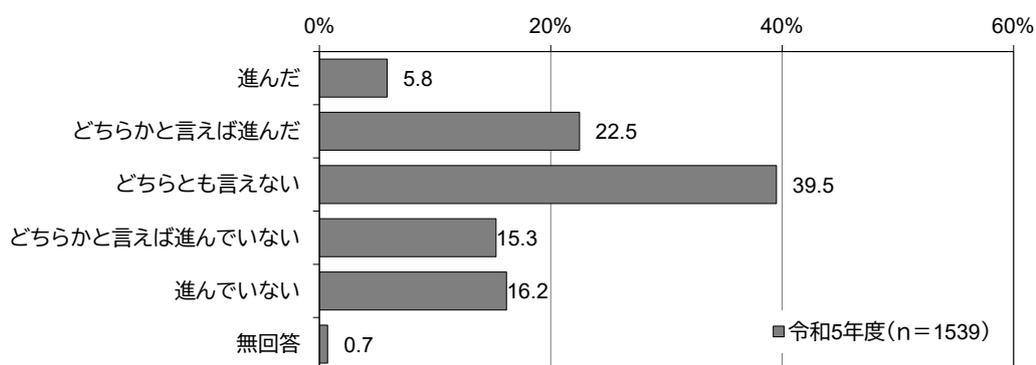
2 市政との関わりについて

問1 合併後のまちづくり

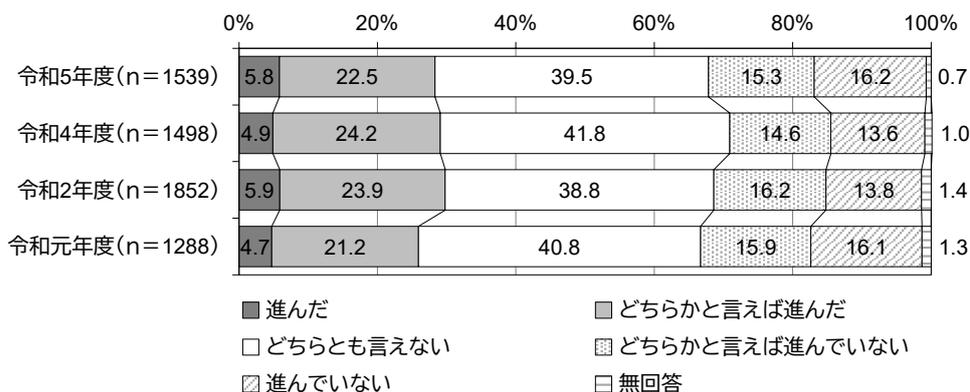
あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。（1つ選択）

「どちらとも言えない」（39.5%）が約4割で最も高くなっています。

「進んだ」（5.8%）と「どちらかと言えば進んだ」（22.5%）の合計値『進んだ』（28.3%）と、「どちらかと言えば進んでいない」（15.3%）と「進んでいない」（16.2%）の合計値『進んでいない』（31.5%）はいずれも約3割となっています。



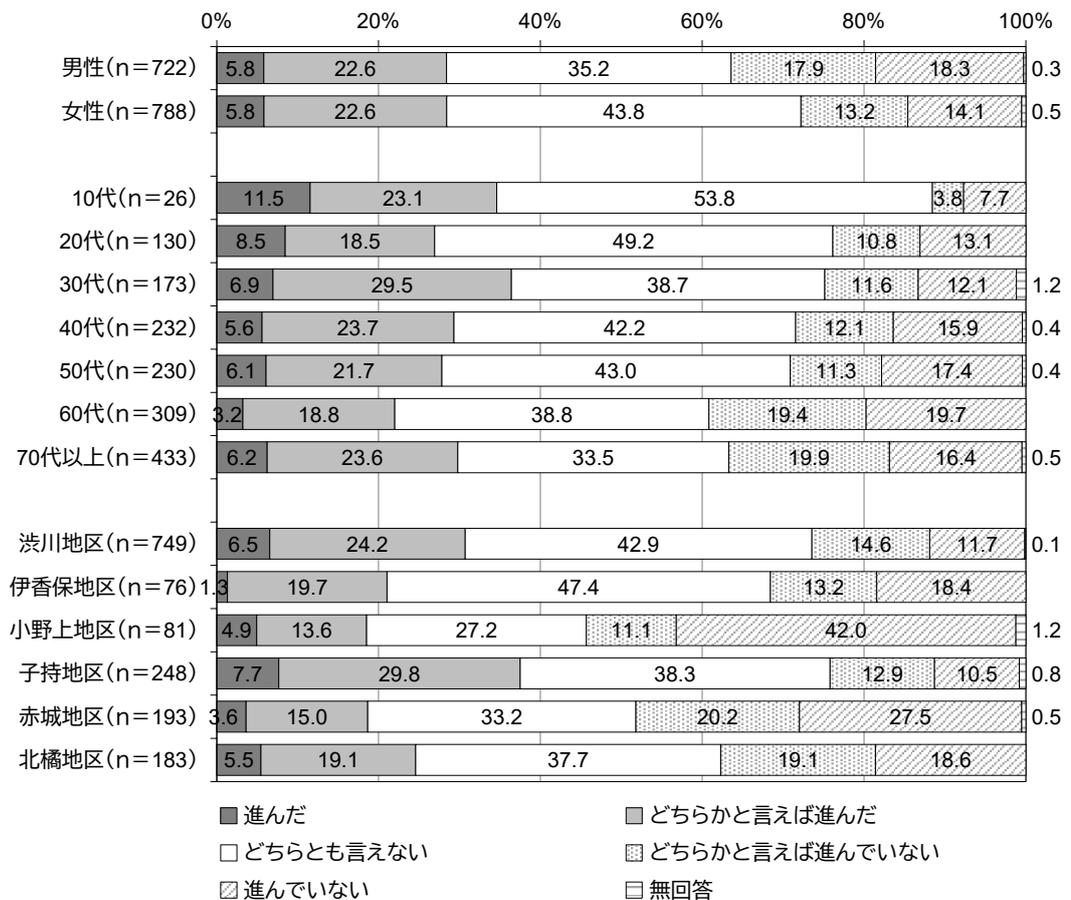
前回までの調査結果と比較すると、合計値『進んだ』（今回 28.3%、R4年度 29.1%、R2年度 29.8%、R元年度 25.9%）、合計値『進んでいない』（今回 31.5%、R4年度 28.2%、R2年度 30.0%、R元年度 32.0%）のいずれも、4か年での大きな変化は見られません。



「進んだ」と「どちらかと言えば進んだ」の合計値『進んだ』について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

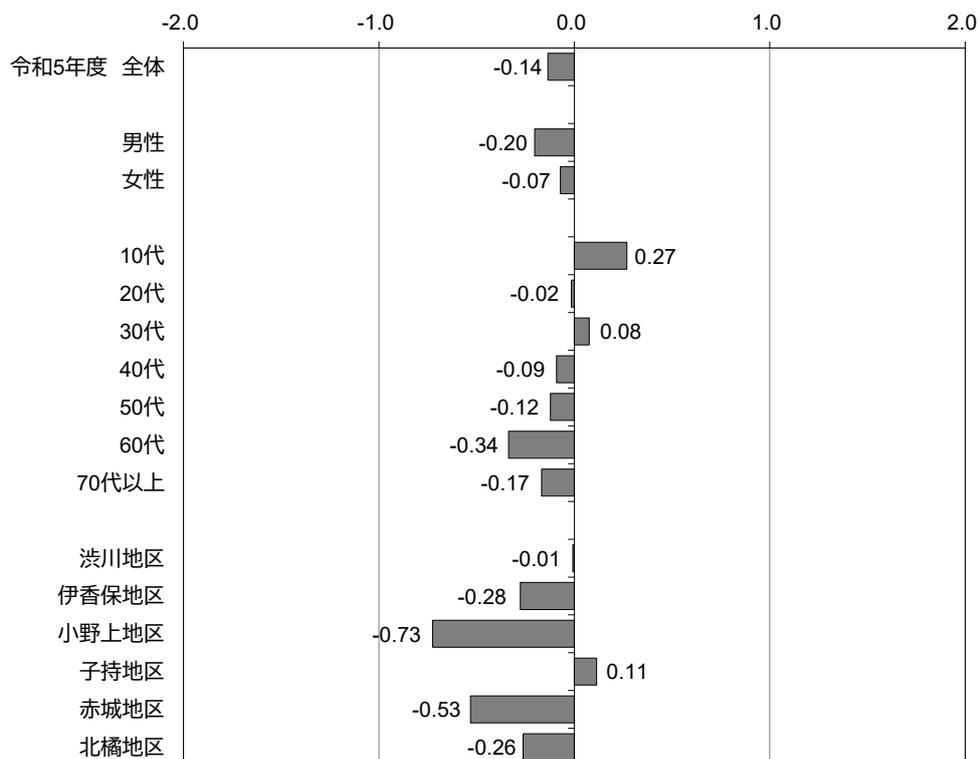
年代別では、10代（34.6%）、30代（36.4%）が3割以上で比較的高い一方、60代（22.0%）が最も低くなっています。

地区別では、子持地区（37.5%）が約4割で最も高い一方、小野上地区（18.5%）、赤城地区（18.6%）は2割未満で比較的低くなっています。また、小野上地区は「進んでいない」（42.0%）が4割以上で特に高く、「進んでいない」と「どちらかといえば進んでいない」の合計値『進んでいない』（53.1%）は5割以上となっています。合計値『進んでいない』は赤城地区（47.7%）も約5割で高くなっています。



加重平均値を見ると、全体（-0.14 ポイント）ではマイナス値となっています。

年代別では10代（0.27 ポイント）、30代（0.08 ポイント）、地区別では子持地区（0.11 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっており、その中でも地区別の小野上地区（-0.73 ポイント）のマイナス値が大きく、次いで赤城地区（-0.53 ポイント）のマイナス値も大きくなっています。



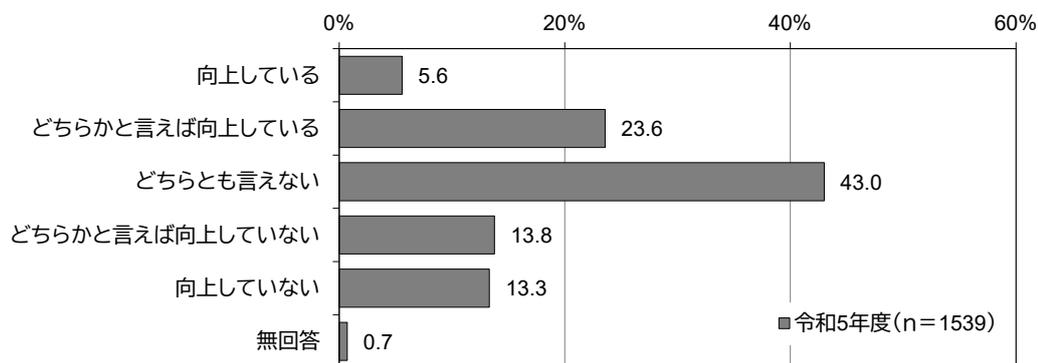
■加重平均値(合併後のまちづくりについて、まちが整備され、生活が便利になったと感じる)

問2 合併後の市民サービス

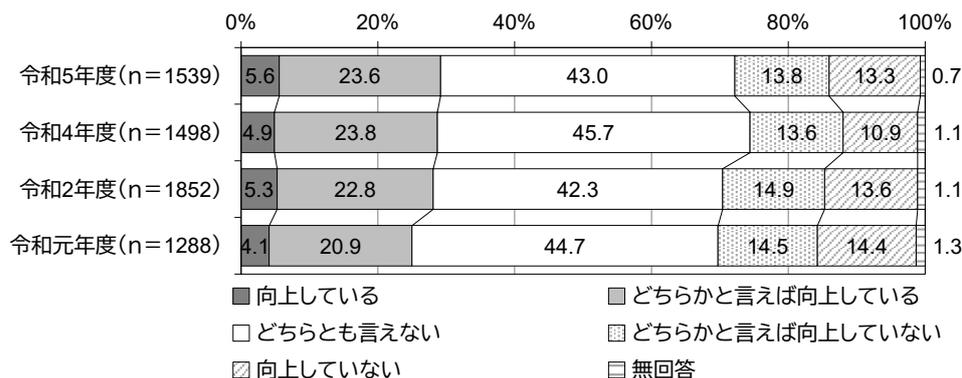
あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。(1つ選択)

「どちらとも言えない」(43.0%)が4割以上で最も高くなっています。

「向上している」(5.6%)と「どちらかと言えば向上している」(23.6%)の合計値『向上している』(29.2%)、「どちらかと言えば向上していない」(13.8%)と「向上していない」(13.3%)の合計値『向上していない』(27.1%)はいずれも約3割となっています。



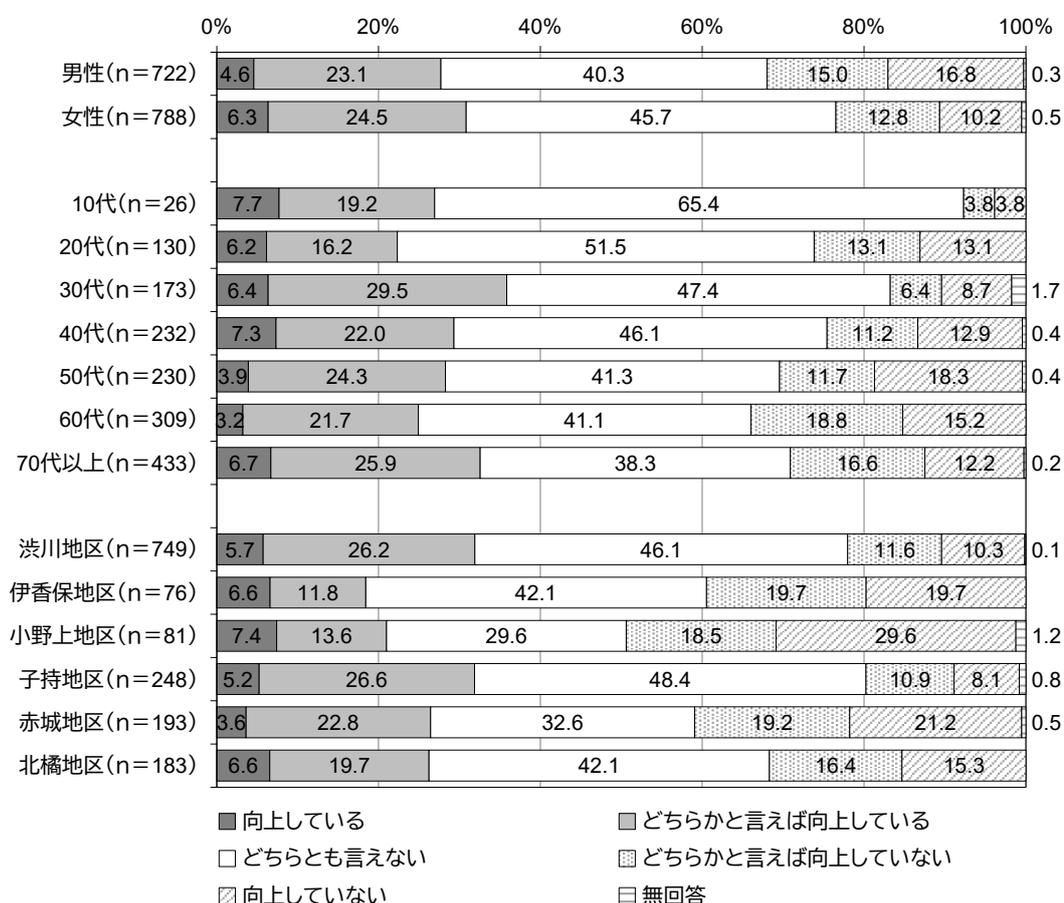
前回までの調査結果と比較すると、合計値『向上している』(今回 29.2%、R4年度 28.7%、R2年度 28.1%、R元年度 25.0%)は高くなる傾向がうかがえます。一方、合計値『向上していない』(今回 27.1%、R4 24.5%、R2年度 28.5%、R元年度 28.9%)は、4か年での大きな変化は見られません。



「向上している」と「どちらかと言えば向上している」の合計値『向上している』について属性別に見ると、性別では大きな差は見られませんが、男性は、「どちらかと言えば向上していない」と「向上していない」の合計値『向上していない』(31.8%)が合計値『向上している』(27.7%)より高くなっています。

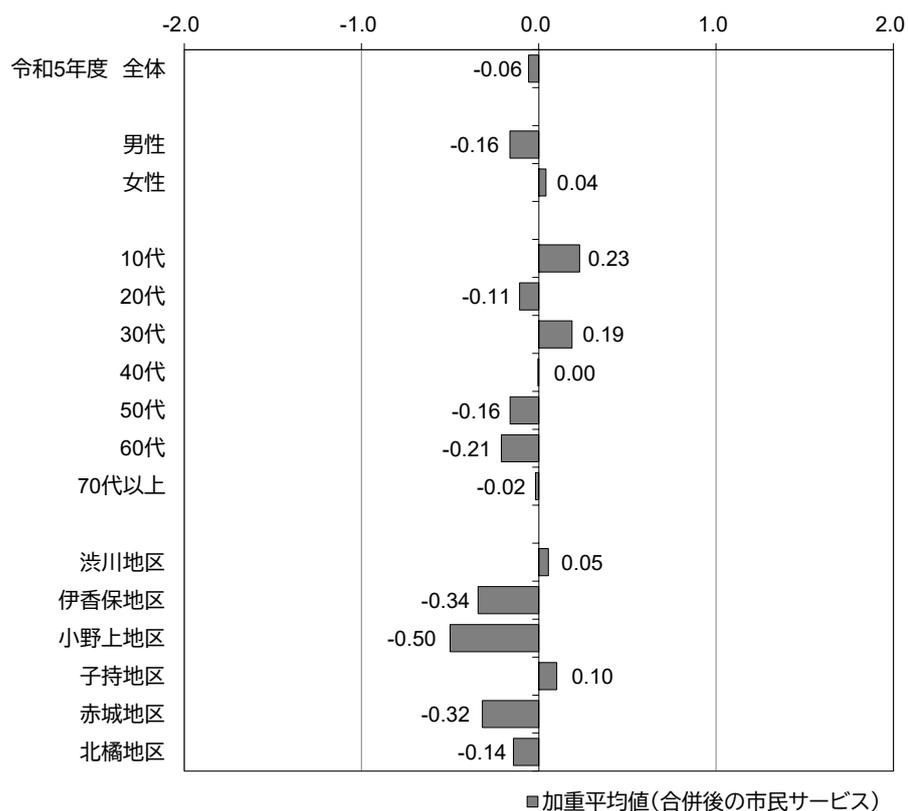
年代別では、合計値『向上している』は20代(22.4%)、60代(24.9%)が2割以上で比較的低くなっています。また、20代、50代、60代は、合計値『向上していない』が合計値『向上している』より高くなっています。

地区別では、合計値『向上している』は伊香保地区(18.4%)が約2割で比較的低くなっています。また、伊香保地区、小野上地区、赤城地区、北橘地区の4地区は、合計値『向上していない』が合計値『向上している』より高くなっています。また、小野上地区は「向上していない」(29.6%)が約3割で比較的高く、合計値『向上していない』(48.1%)は約5割となっています。



加重平均値を見ると、全体（-0.06 ポイント）ではマイナス値となっています。

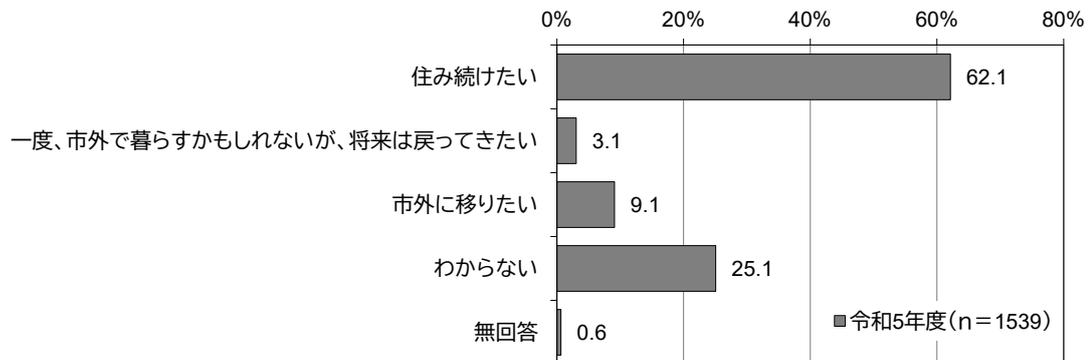
属性別では男性（-0.16 ポイント）、20代（-0.11 ポイント）、50代（-0.16 ポイント）、60代（-0.21 ポイント）、70代以上（-0.02 ポイント）、伊香保地区（-0.34 ポイント）、小野上地区（-0.50 ポイント）、赤城地区（-0.32 ポイント）、北橘地区（-0.14 ポイント）がマイナス値となっており、その中でも小野上地区のマイナス値が大きくなっています。



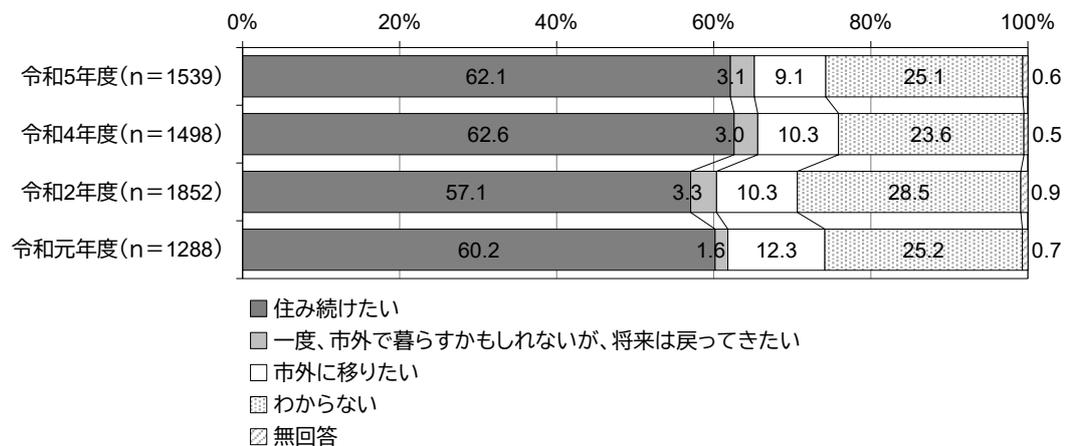
問3 今後の定住意向

あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。（1つ選択）

「住み続けたい」（62.1%）が6割以上で最も高く、次いで「わからない」（25.1%）が2割以上、「市外に移りたい」（9.1%）が約1割となっています。



前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。

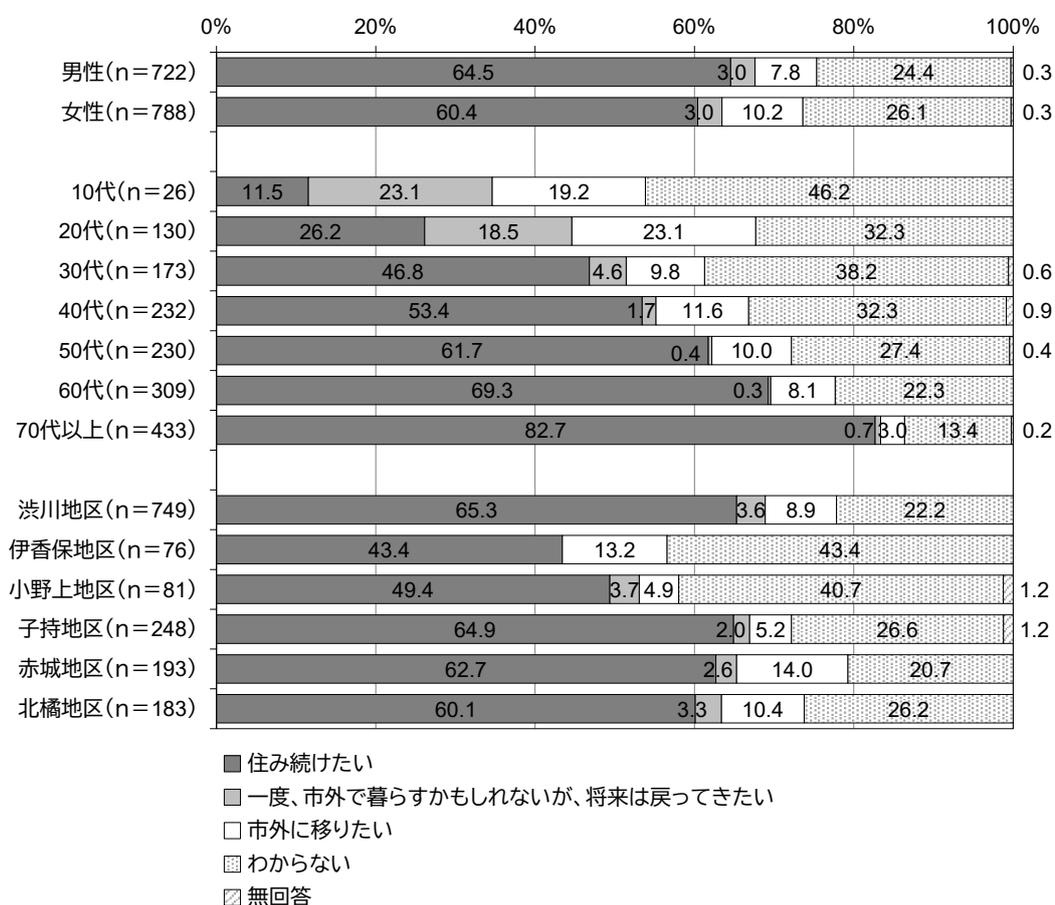


属性別に見ると、「住み続けたい」は性別では男性（64.5%）が女性（60.4%）より若干高くなっています。

年代別では、「住み続けたい」で差が大きく、高い年代ほど高くなっています。特に70代以上（82.7%）は8割以上で高い一方、10代（11.5%）は1割以上、20代（26.2%）は約3割で低くなっています。

10代、20代は「わからない」（10代46.2%、20代32.3%）が最も高く、10代は4割以上、20代は3割以上となっています。次いで10代は「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」（23.1%）、20代は「市外に移りたい」（23.1%）がいずれも2割以上で高くなっています。

地区別では、いずれの地区も「住み続けたい」が最も高くなっていますが（伊香保地区は「住み続けたい」「わからない」が43.4%で同値）、その中で伊香保地区、小野上地区（49.4%）は5割未満で比較的低くなっています。

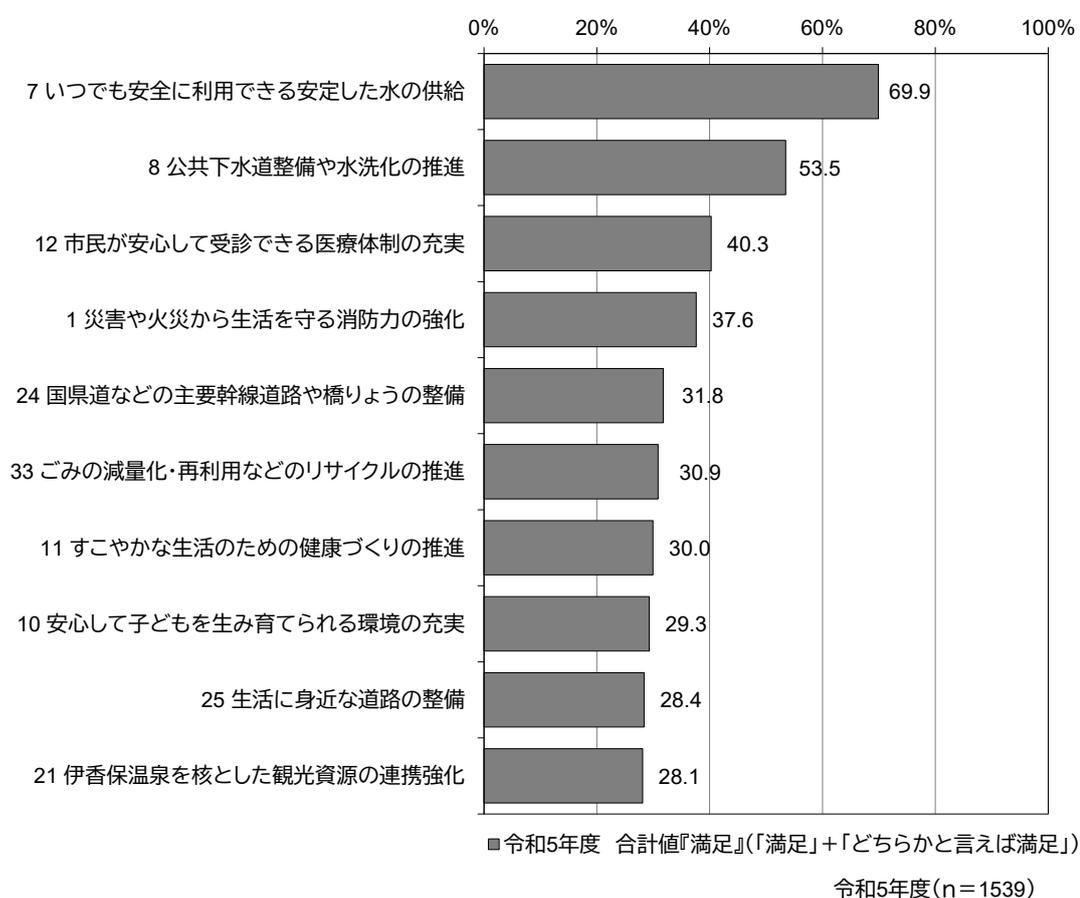


3 市の現状の評価について

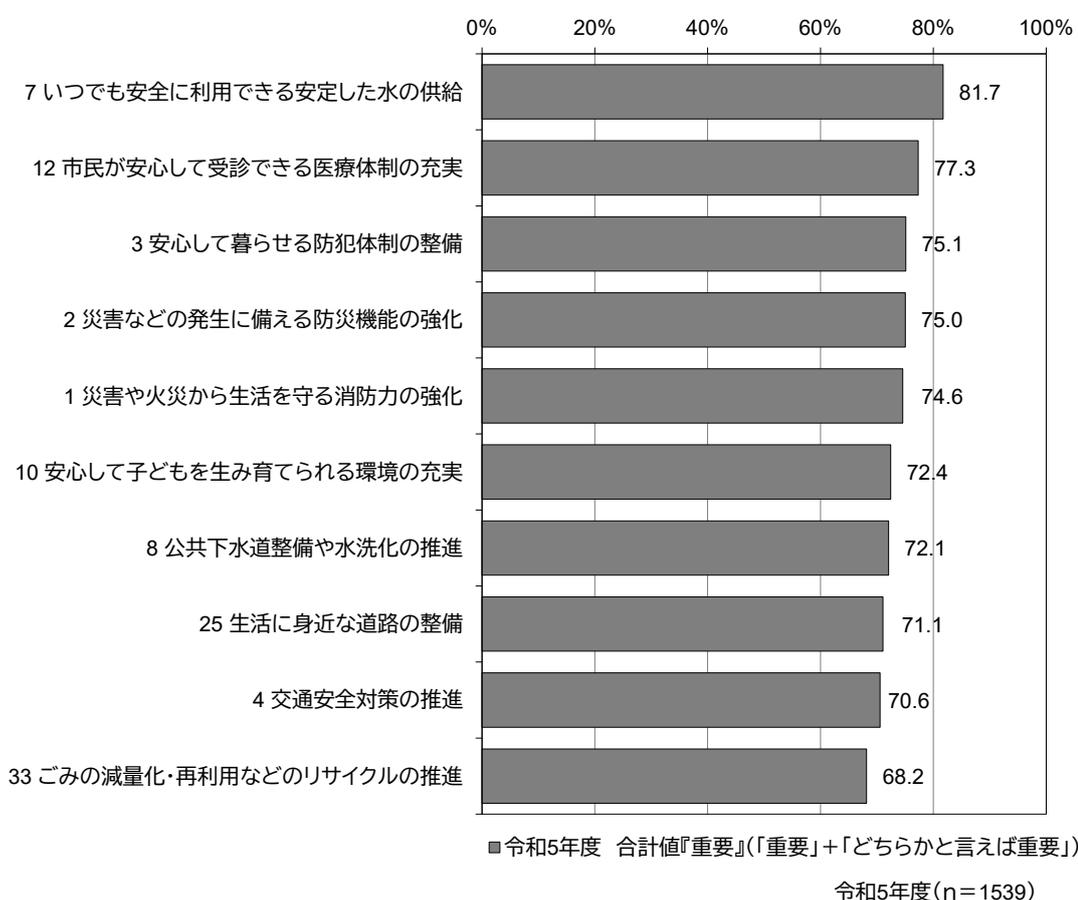
問4 市の取組の満足度・重要度

あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。(各項目の「満足度」「重要度」を5段階評価・1つずつ選択)

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』の上位10項目を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(69.9%)が約7割で最も高く、次いで「8 公共下水道整備や水洗化の推進」(53.5%)が5割以上、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(40.3%)が4割以上となっています。



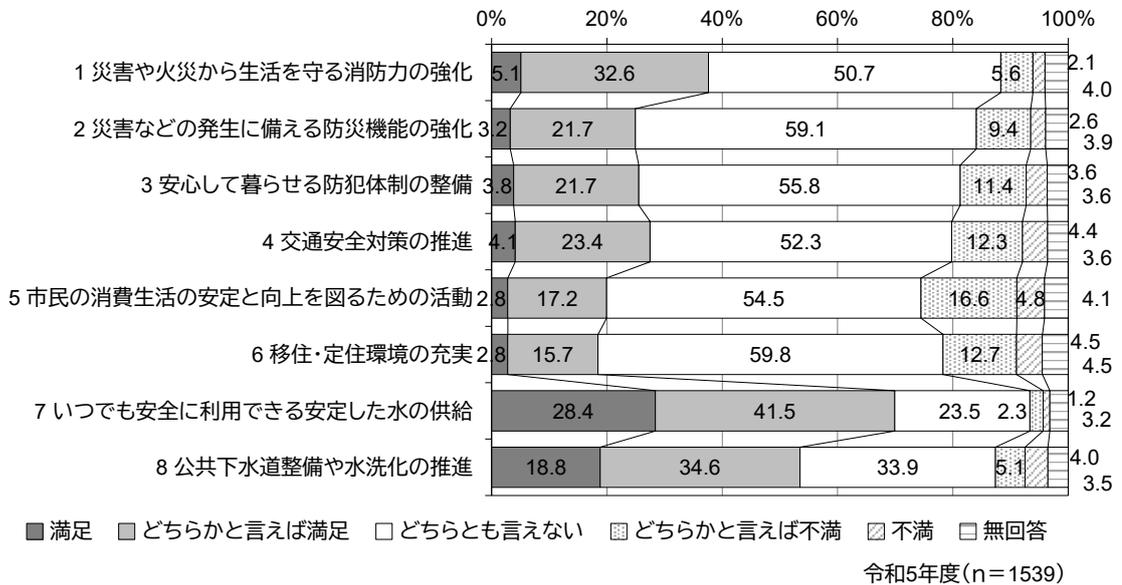
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』の上位10項目を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(81.7%)が8割以上で最も高く、次いで「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(77.3%)、「3 安心して暮らせる防犯体制の整備」(75.1%)、「2 災害などの発生に備える防災機能の強化」(75.0%)などとなっており、上位9目が7割以上となっています。



(1) 安全・安心、暮らし分野

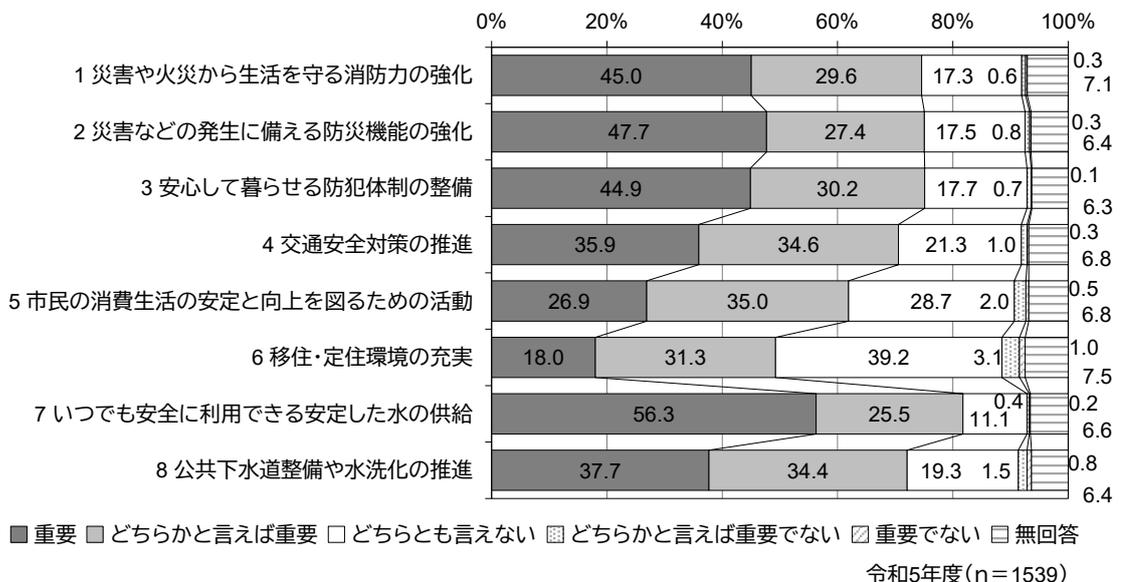
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(69.9%)が約7割で最も高くなっています。



【重要度】

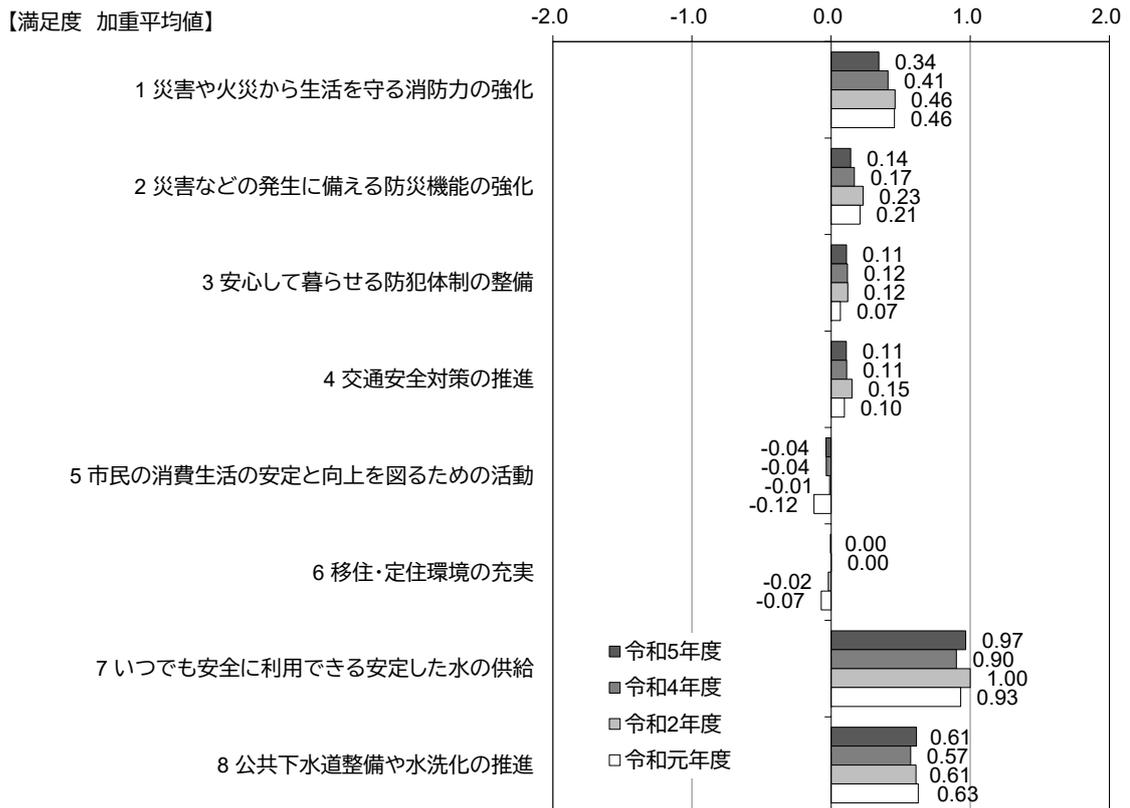
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(81.8%)が8割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(0.97 ポイント)が最も高くなっています。一方、「5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動」(-0.04 ポイント)はマイナス値となっています。

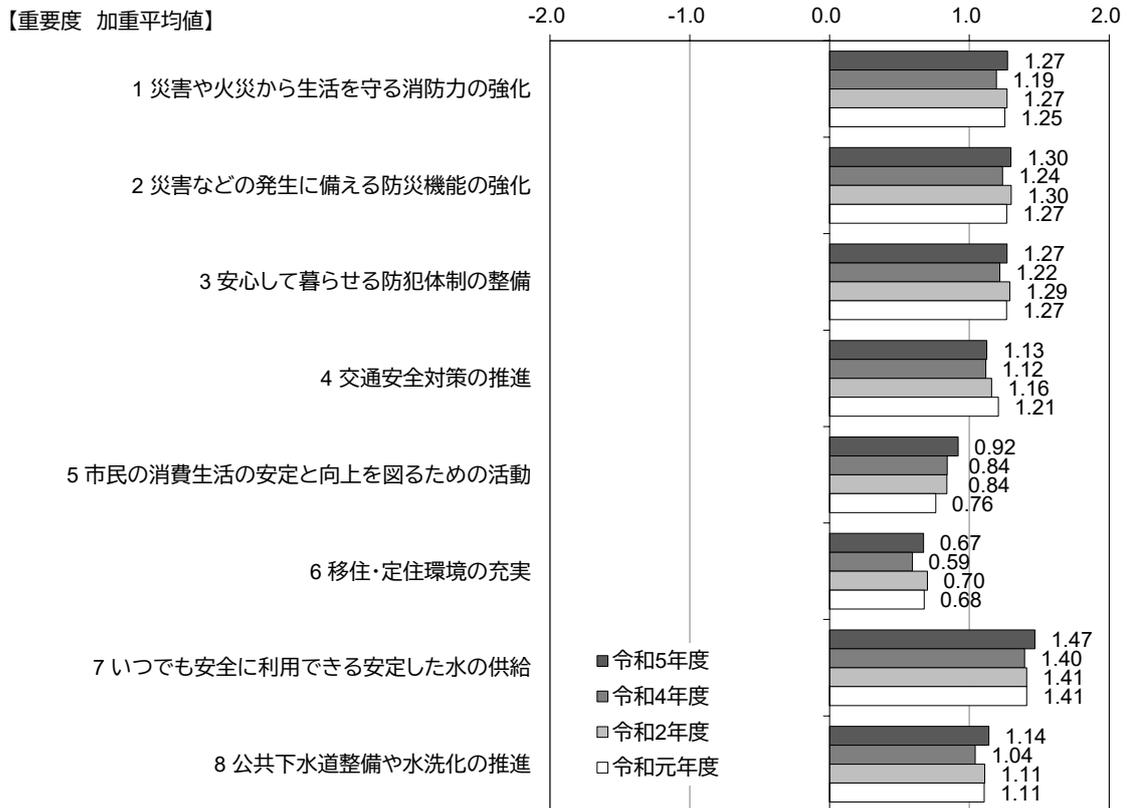
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。その中で、「1 災害や火災から生活を守る消防力の強化」(0.34 ポイント)は満足度が若干低くなる傾向が見られます。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(1.47ポイント)が最も高くなっています。

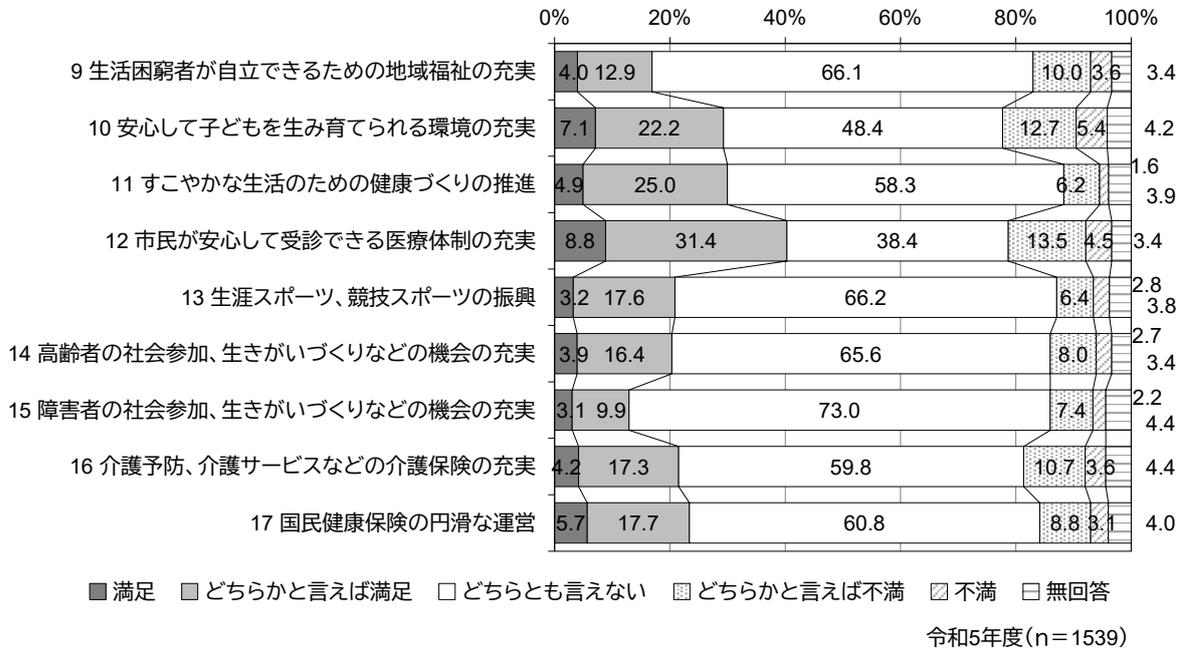
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、いずれの項目も前回より高くなっています。また、「5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動」(0.92ポイント)は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



(2) 健康、福祉、スポーツ分野

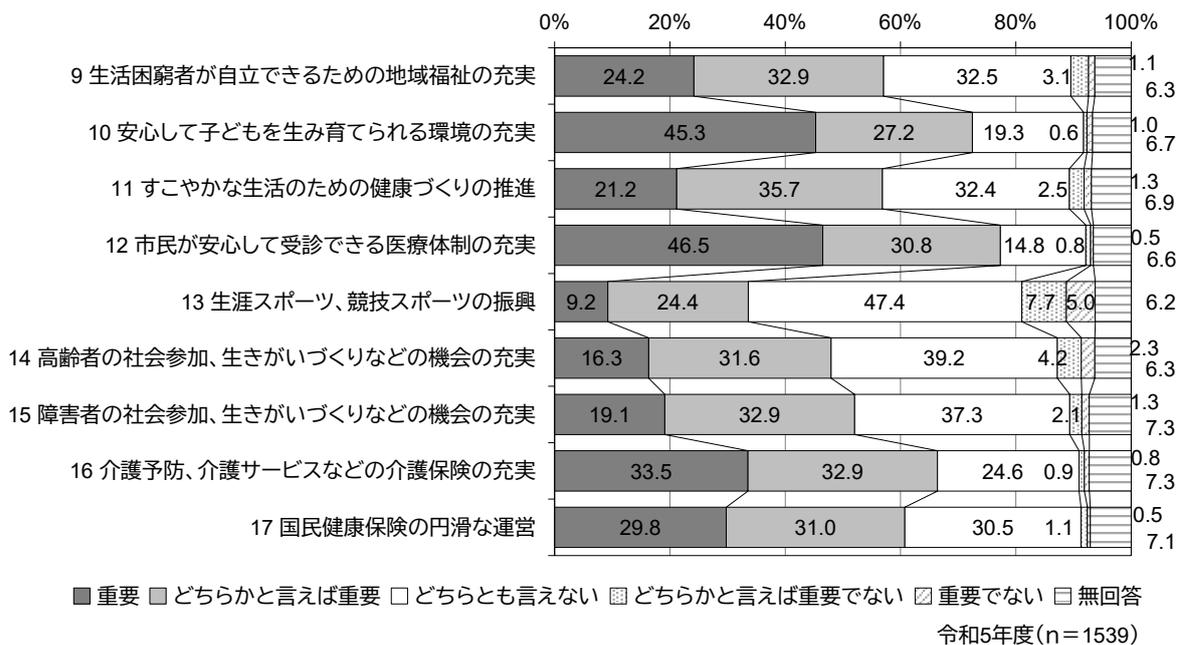
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(40.2%)が4割以上で最も高くなっています。



【重要度】

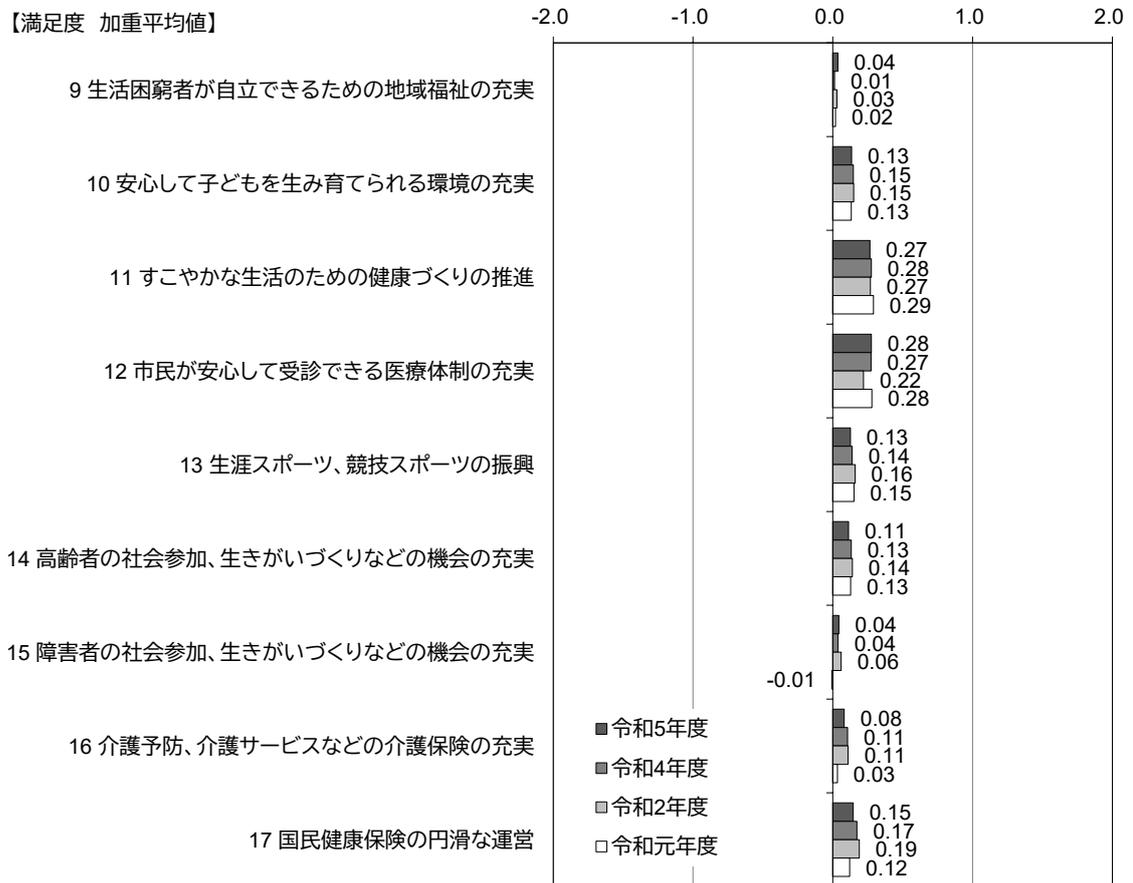
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(77.3%)が約8割で最も高く、次いで高い「10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実」(72.5%)も7割以上で高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(0.28 ポイント)が最も高く、次いで「11 すこやかな生活のための健康づくりの推進」(0.27 ポイント)も同程度となっています。

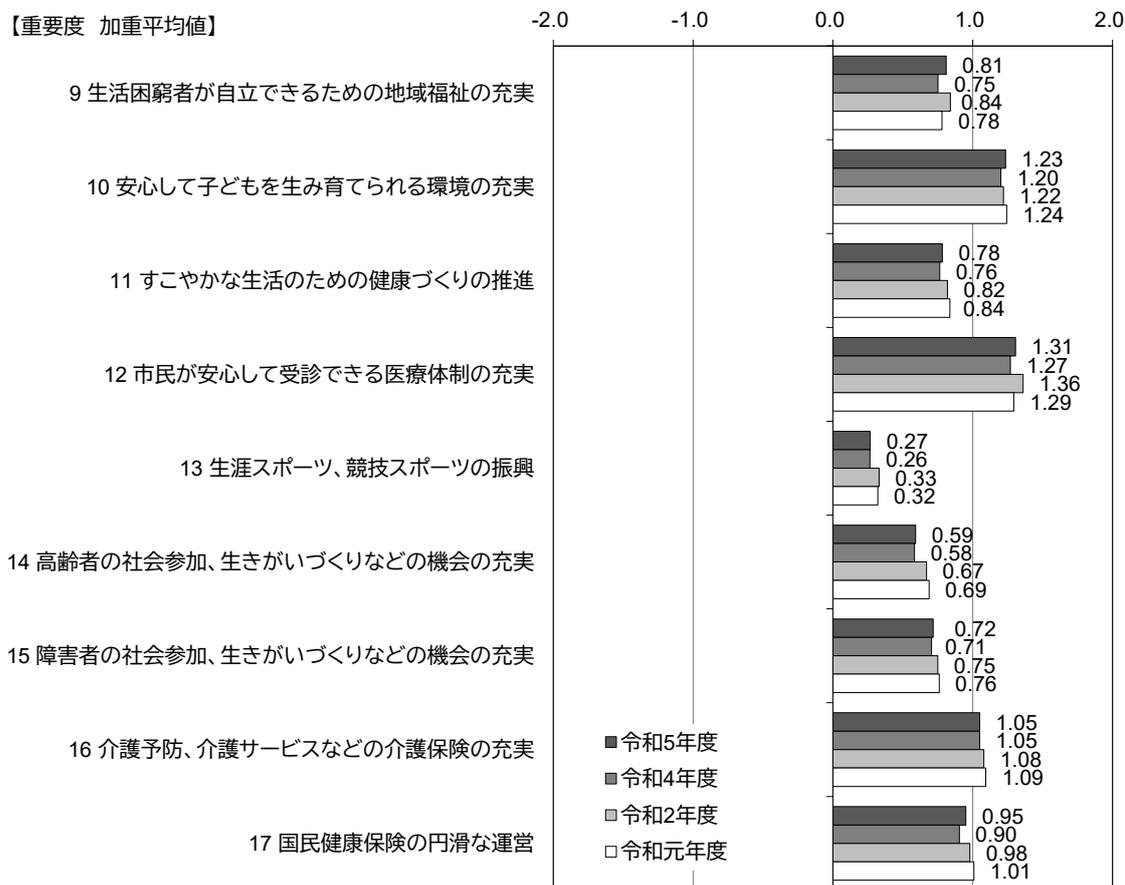
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(1.31ポイント)が最も高くなっています。

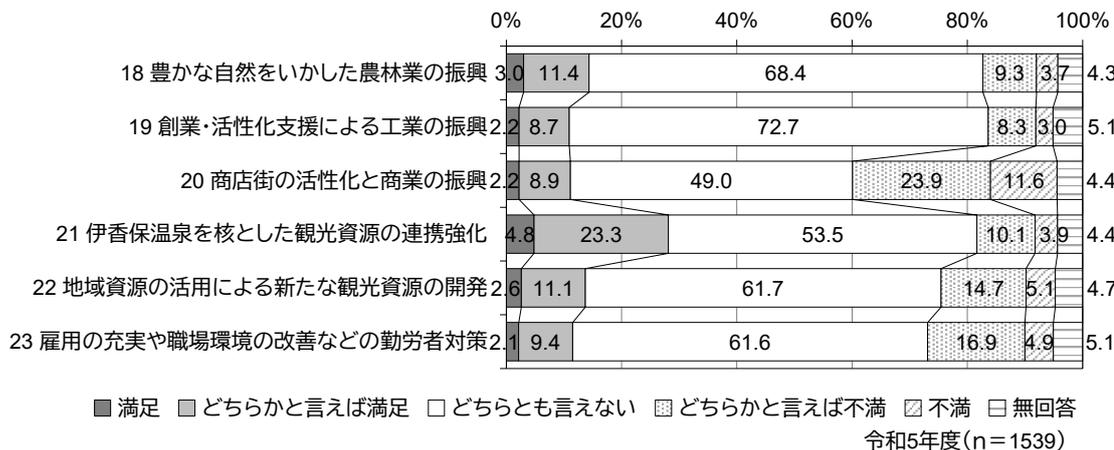
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



(3) 産業分野

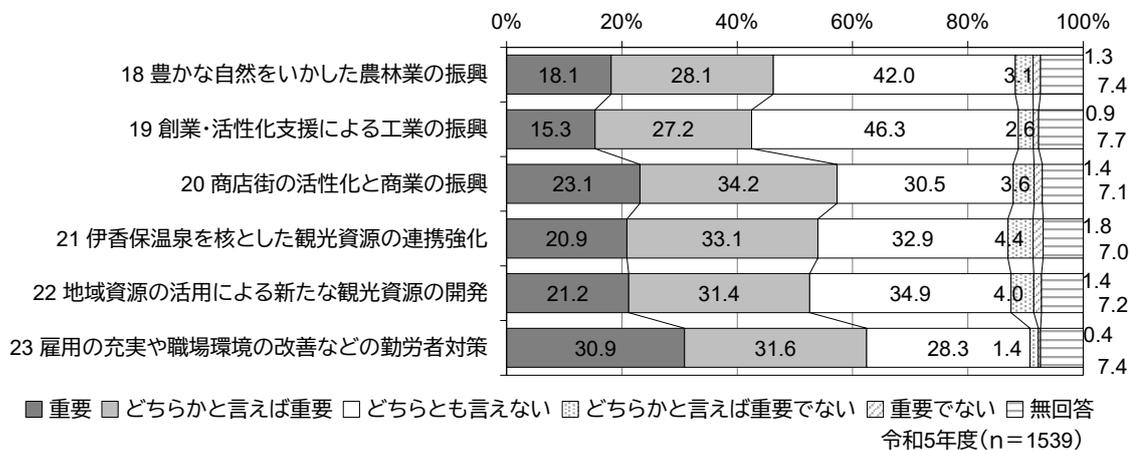
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」(28.1%)が約3割で最も高くなっています。一方、「20 商店街の活性化と産業の振興」は「どちらかと言えば不満」と「不満」の合計値『不満』(35.5%)が3割以上で比較的高くなっています。



【重要度】

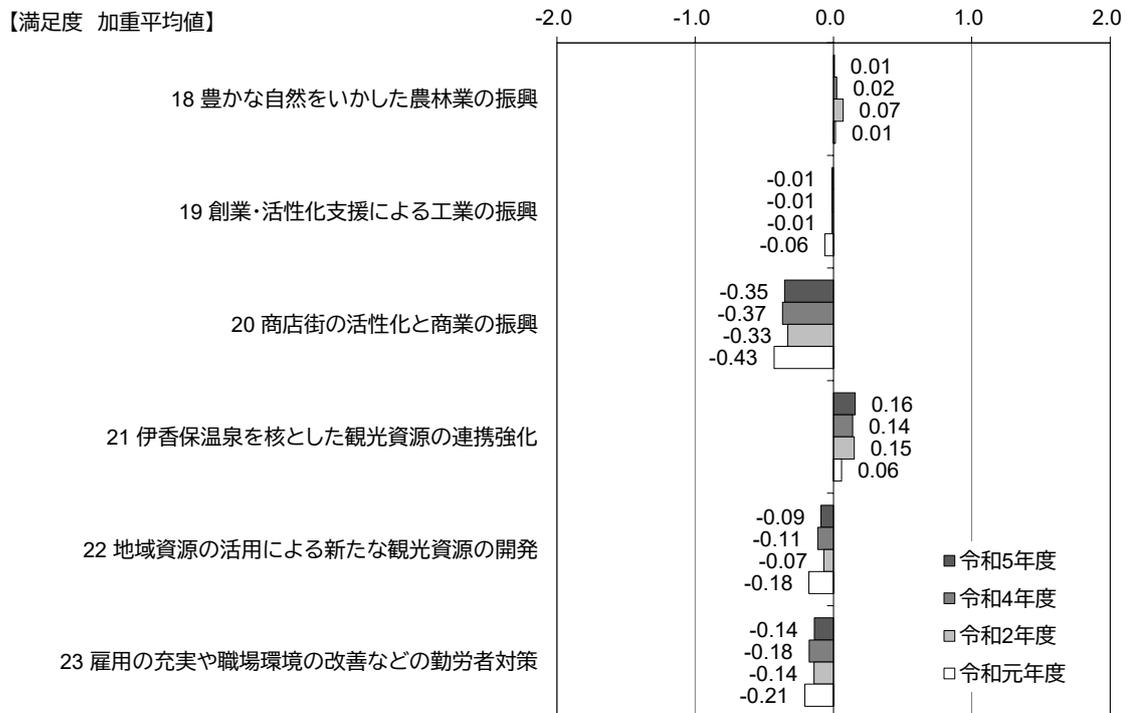
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」(62.5%)が6割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」(0.16 ポイント)が最も高く、次いで高い「18 豊かな自然をいかした農林業の振興」(0.01 ポイント)を合わせた2項目を除き、いずれの項目もマイナス値となっています。

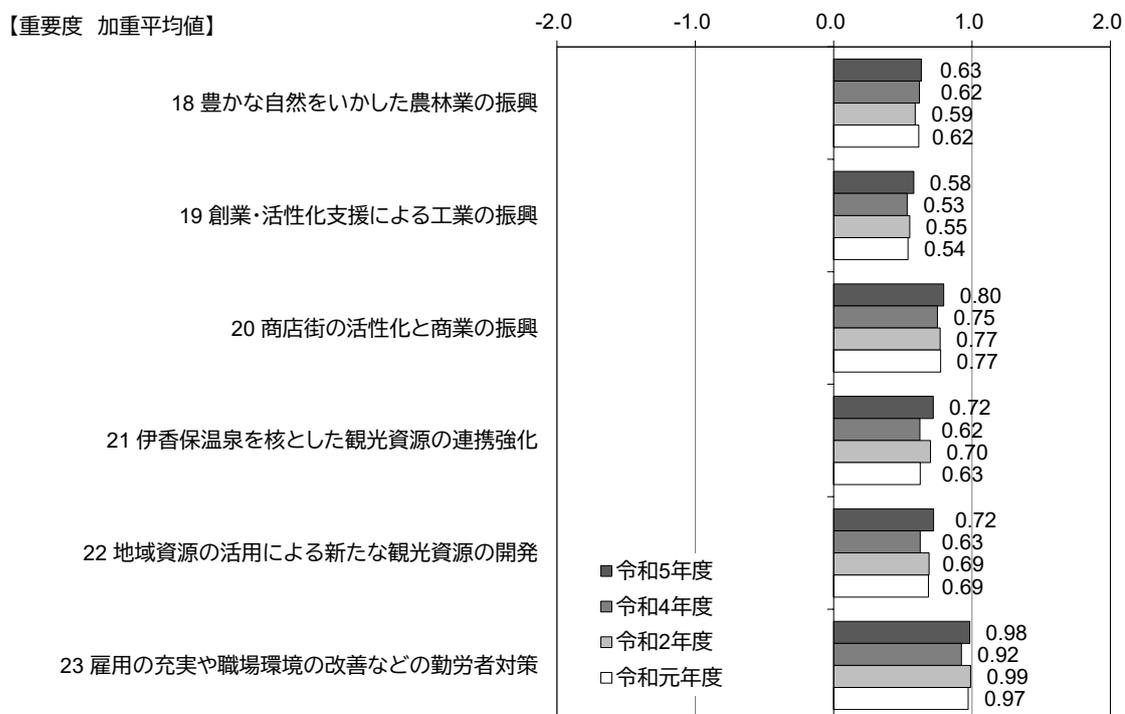
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」(0.98ポイント)が最も高くなっています。

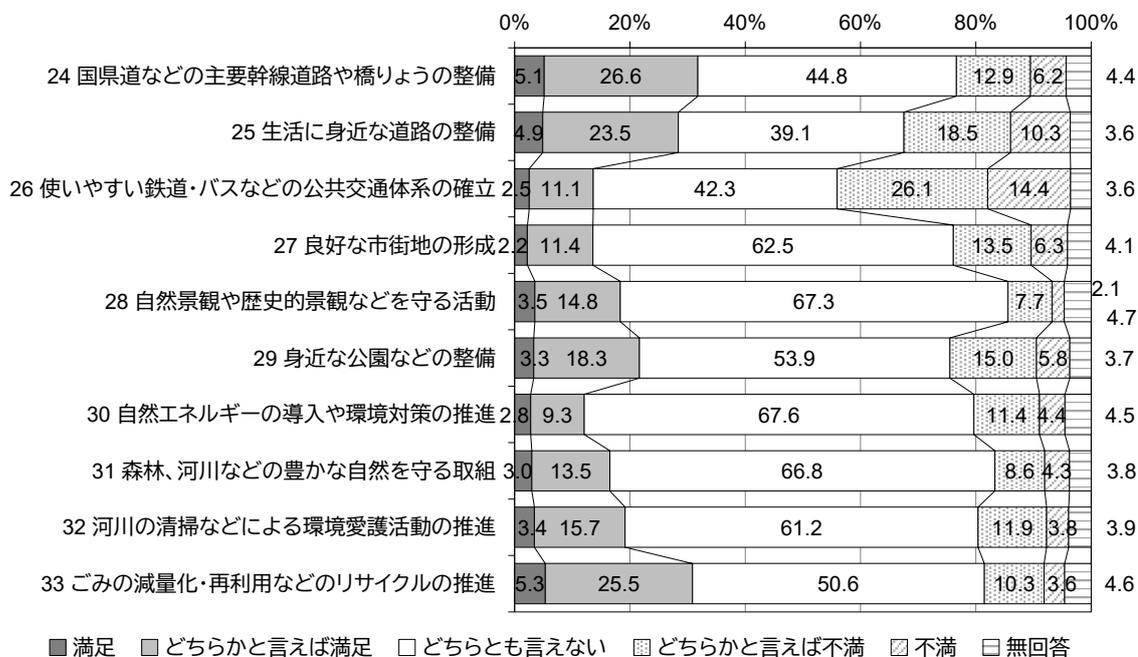
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、すべての項目が前回より高くなっています。



(4) 都市基盤、自然環境分野

【満足度】

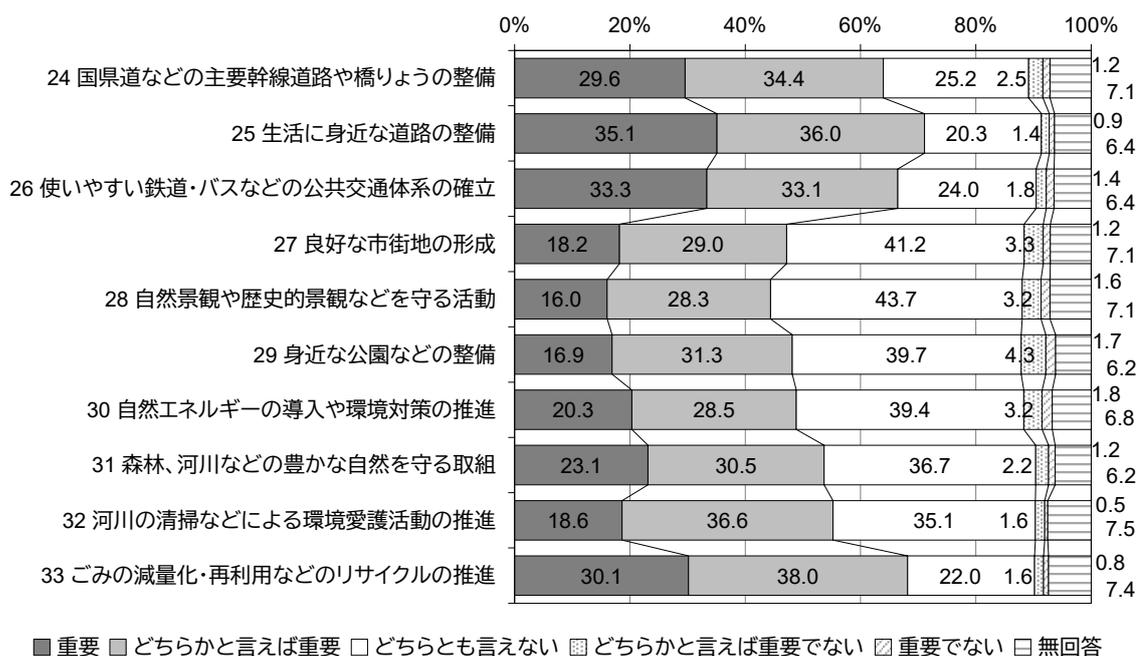
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」(31.7%)が3割以上で最も高く、次いで高い「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(30.8%)も3割以上となっています。



令和5年度(n=1539)

【重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「25 生活に身近な道路の整備」(71.1%)が7割以上で最も高くなっています。

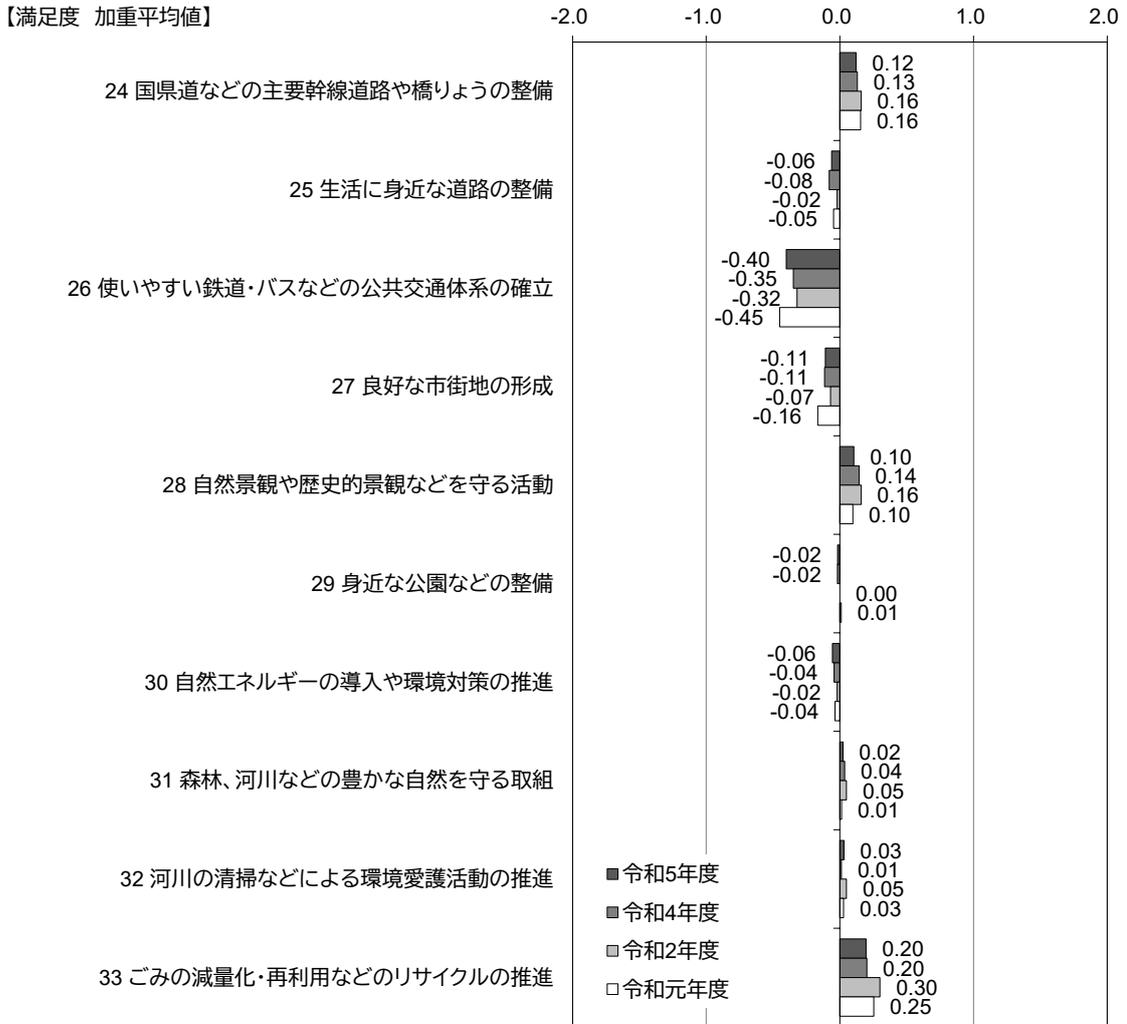


令和5年度(n=1539)

【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(0.20ポイント)が最も高くなっています。また、10項目のうち5項目がマイナス値となっており、その中で「26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立」(-0.40ポイント)が最も低くなっています。

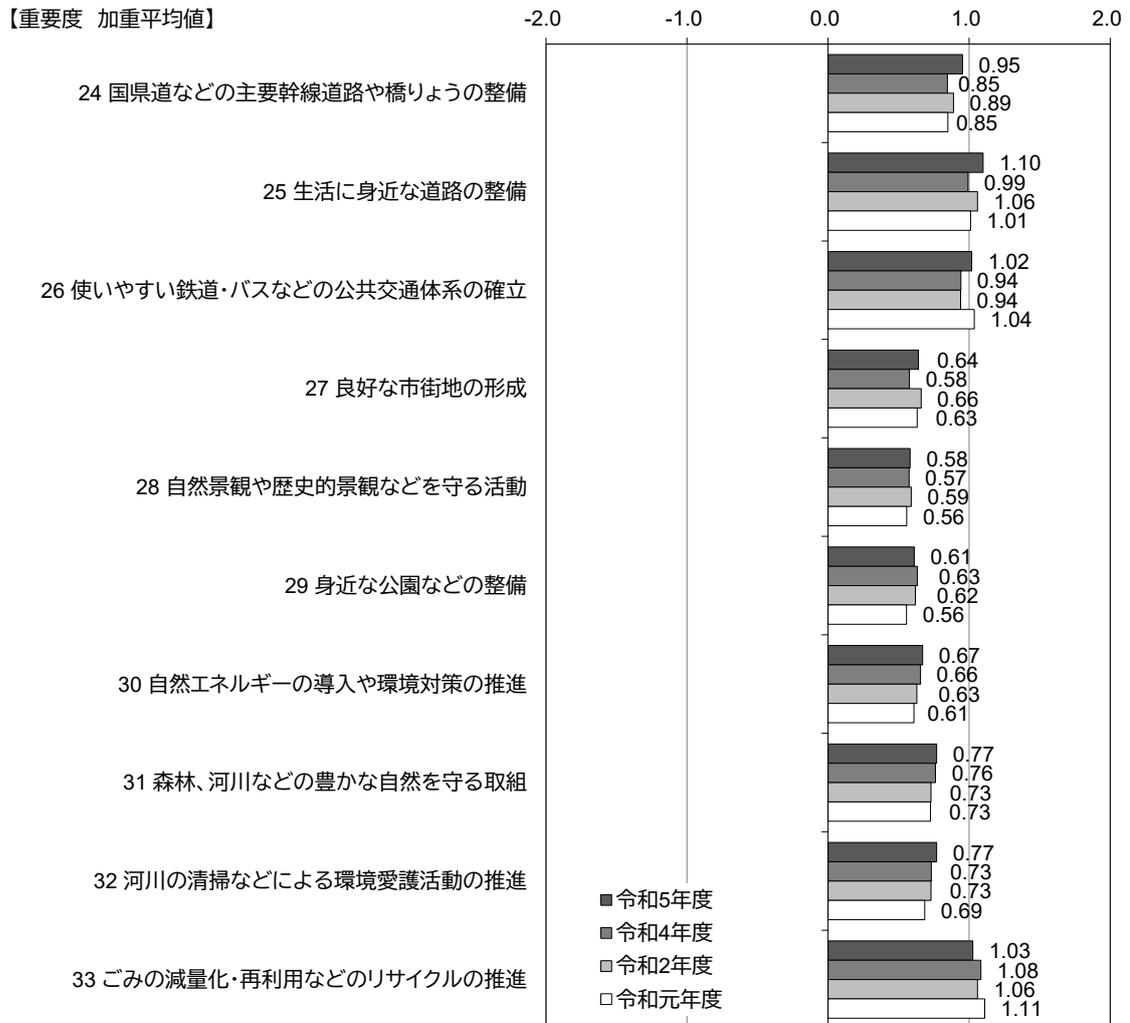
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「25 生活に身近な道路の整備」(1.10 ポイント) が最も高くなっています。

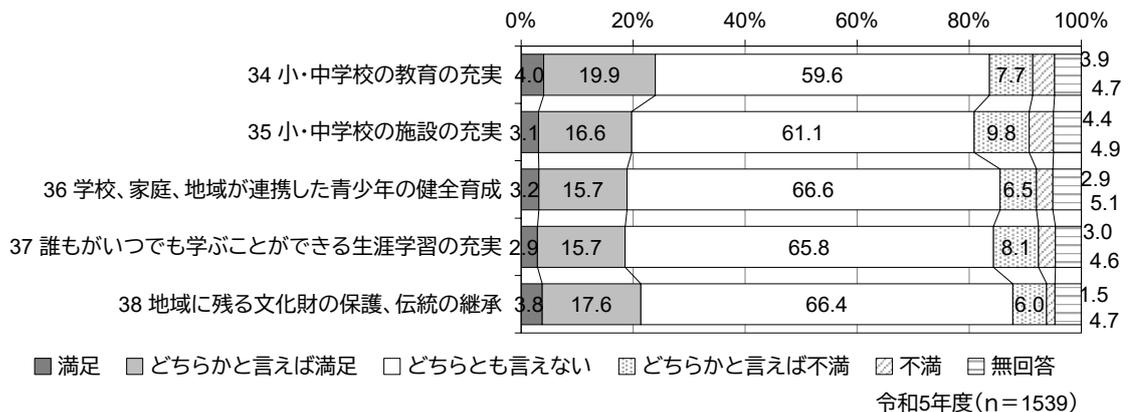
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進」(0.67 ポイント)、「32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進」(0.77 ポイント) は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



(5) 教育、文化分野

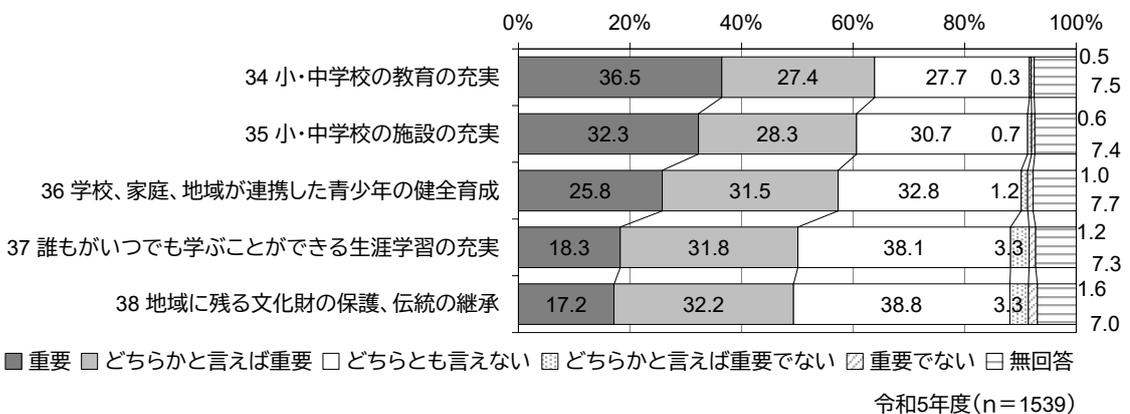
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「34 小・中学校の教育の充実」(23.9%)、「38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承」(21.4 ポイント)の2項目が2割以上で比較的高くなっていますが、いずれの項目も同程度で大きな差は見られません。



【重要度】

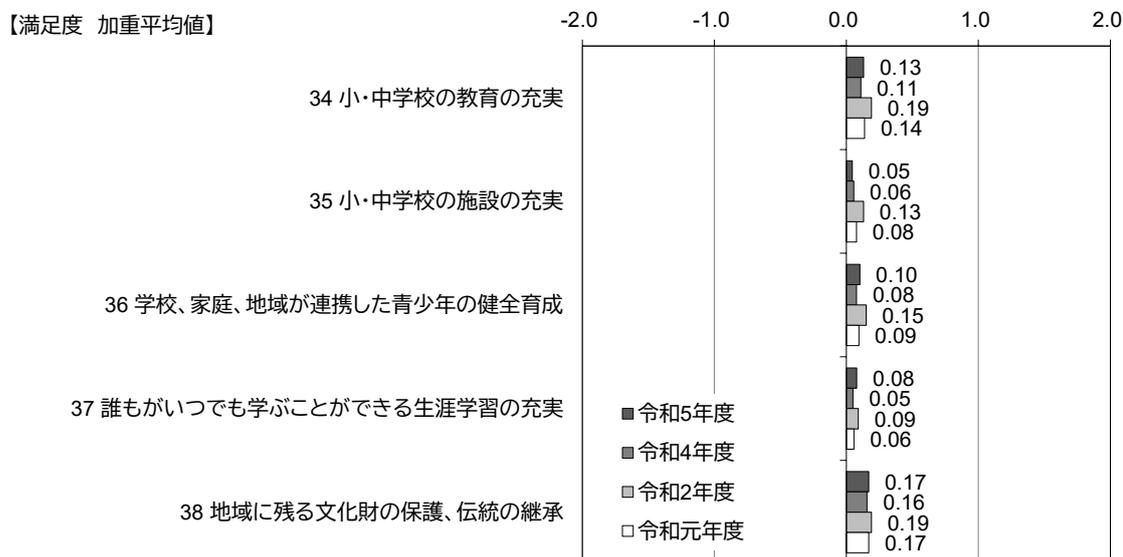
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「34 小・中学校の教育の充実」(63.9%)、「35 小・中学校の施設の充実」(60.6%)の2項目が6割以上で比較的高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承」(0.17ポイント)が最も高くなっています。

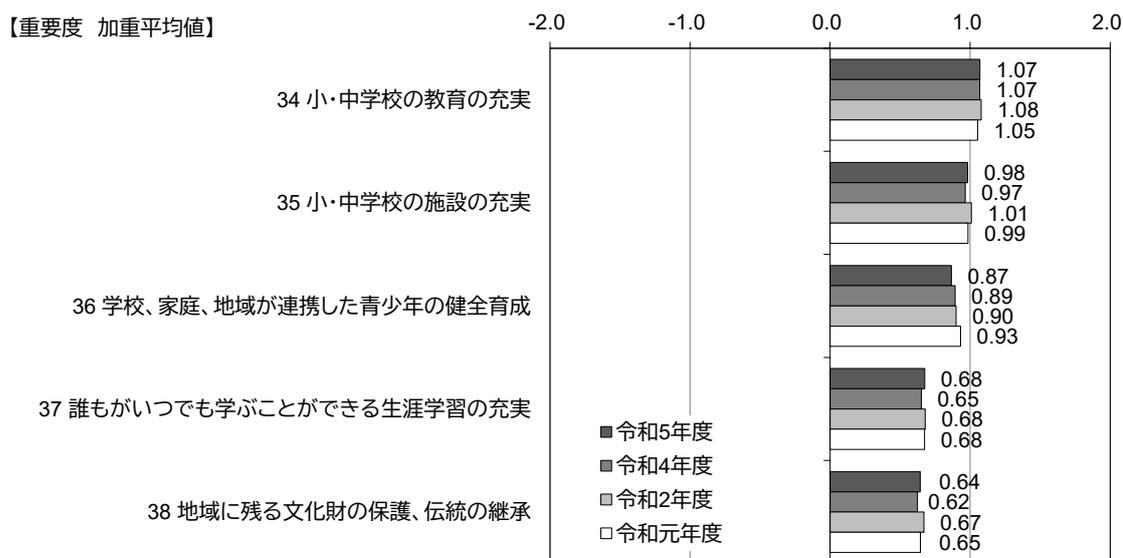
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「34 小・中学校の教育の充実」(1.07ポイント)が最も高くなっています。

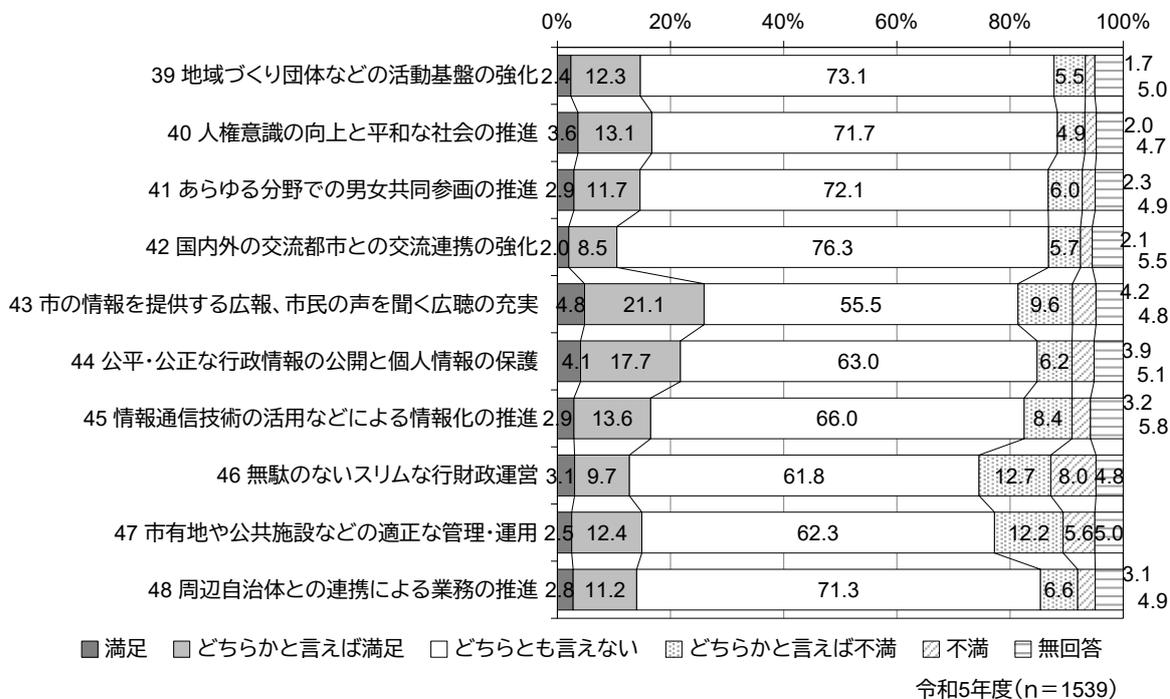
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



(6) 自治、協働、行財政分野

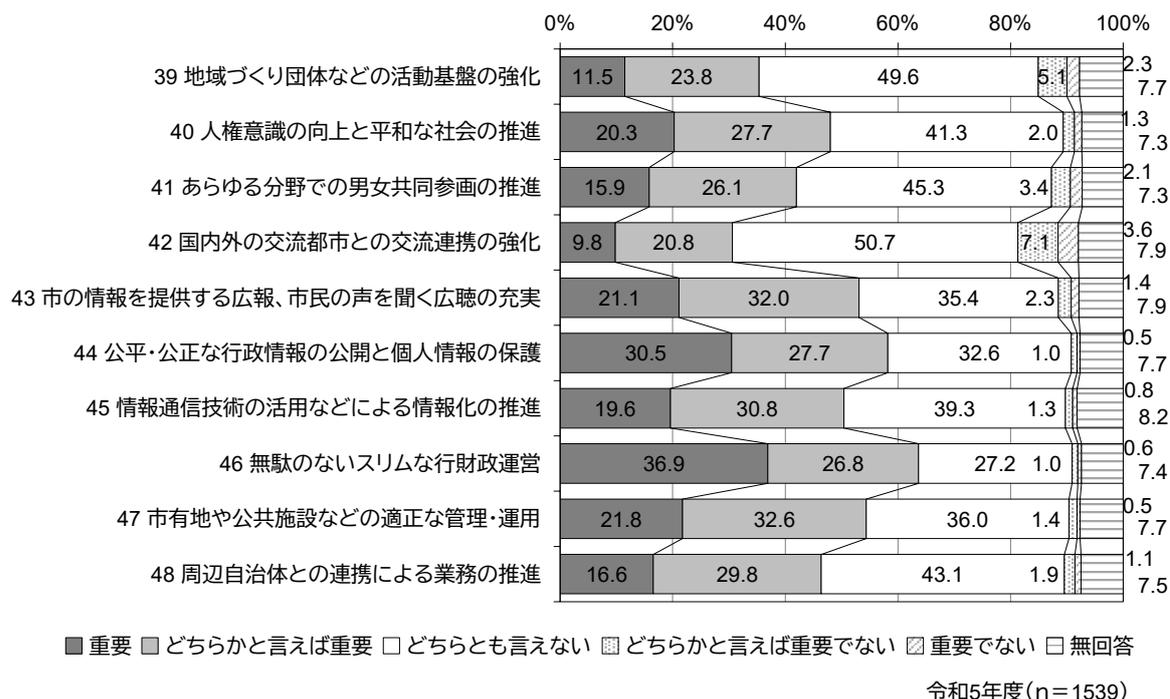
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」(25.9%)が2割以上で最も高く、次いで高い「44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」(21.8%)も2割以上となっています。



【重要度】

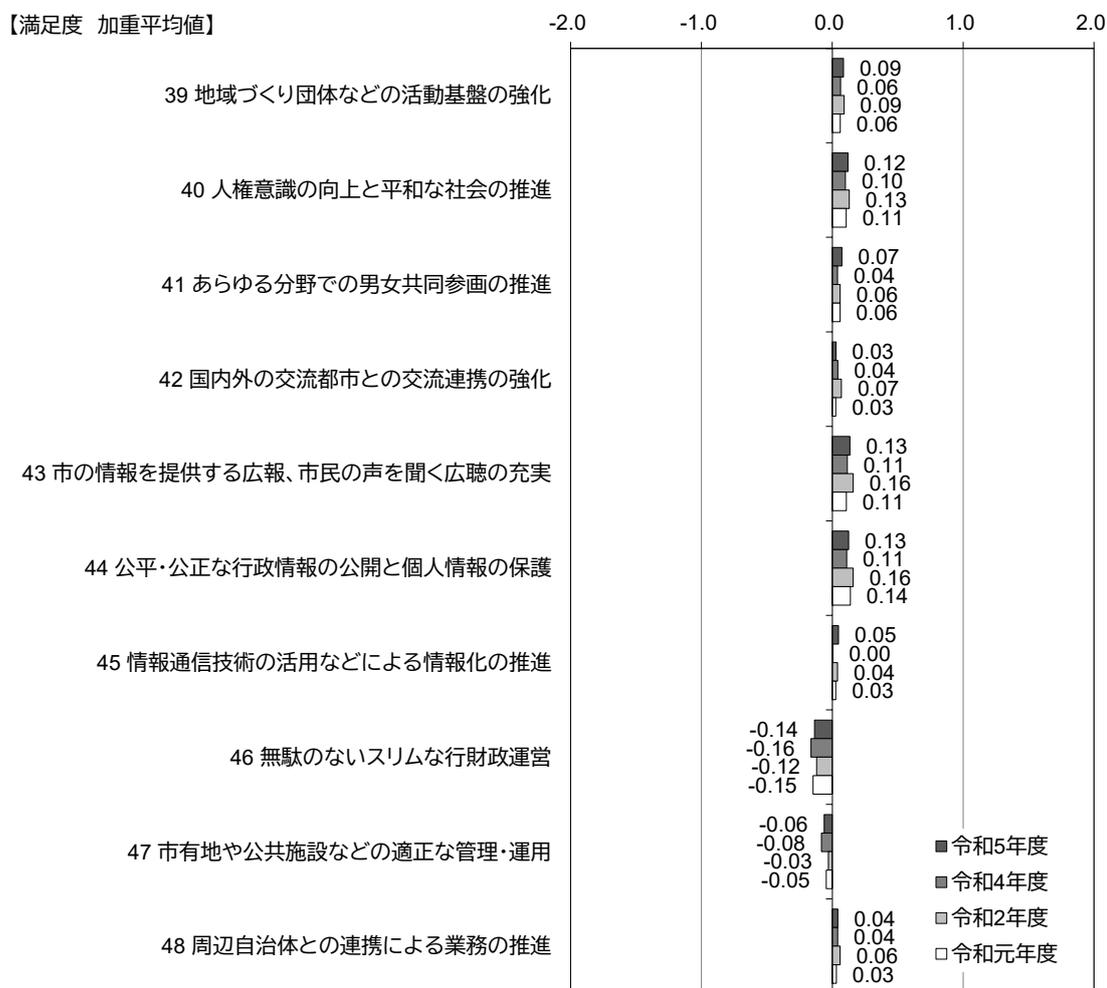
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「46 無駄のないスリムな行財政運営」(63.7%)が6割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、プラス値が特に高い項目は見られません。一方、「46 無駄のないスリムな行財政運営」（-0.14 ポイント）、「47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用」（-0.06 ポイント）の2項目はマイナス値となっています。

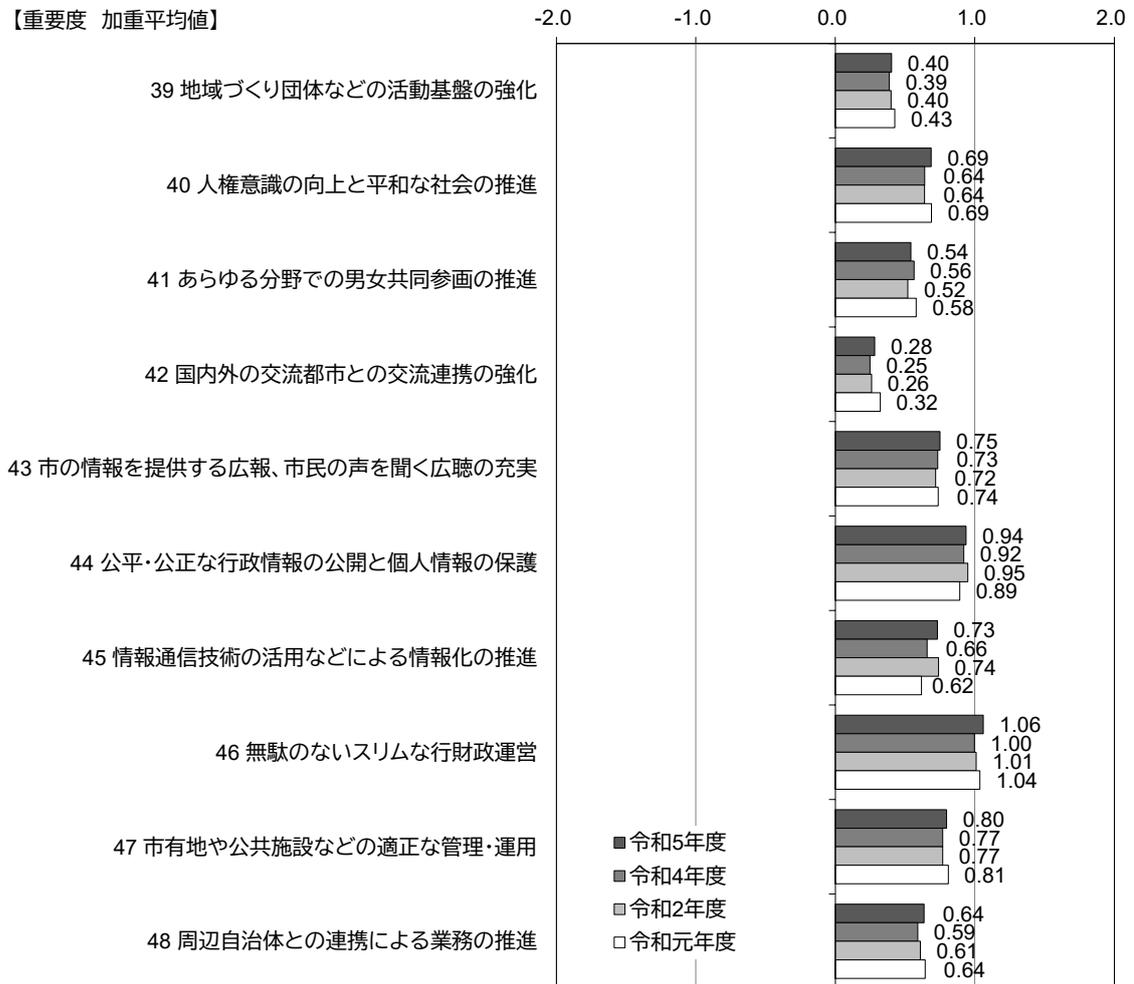
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

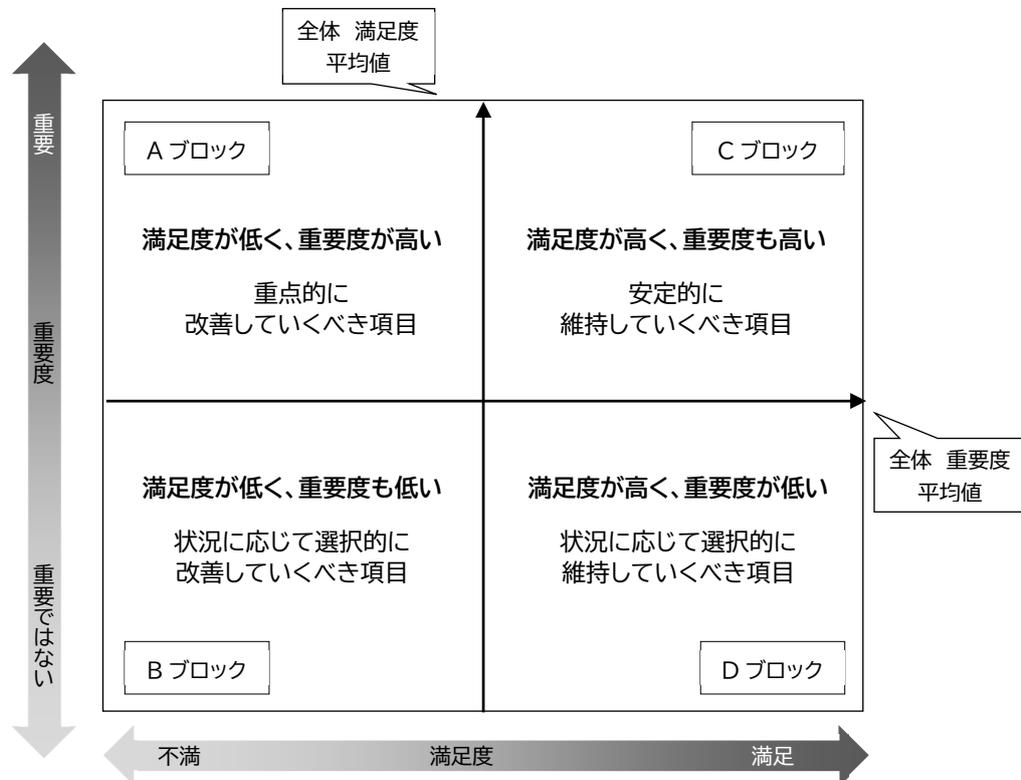
加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「46 無駄のないスリムな行財政運営」(1.06 ポイント) が最も高くなっています。

前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



(7) 48項目の満足度と重要度の関係

48項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



Aブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

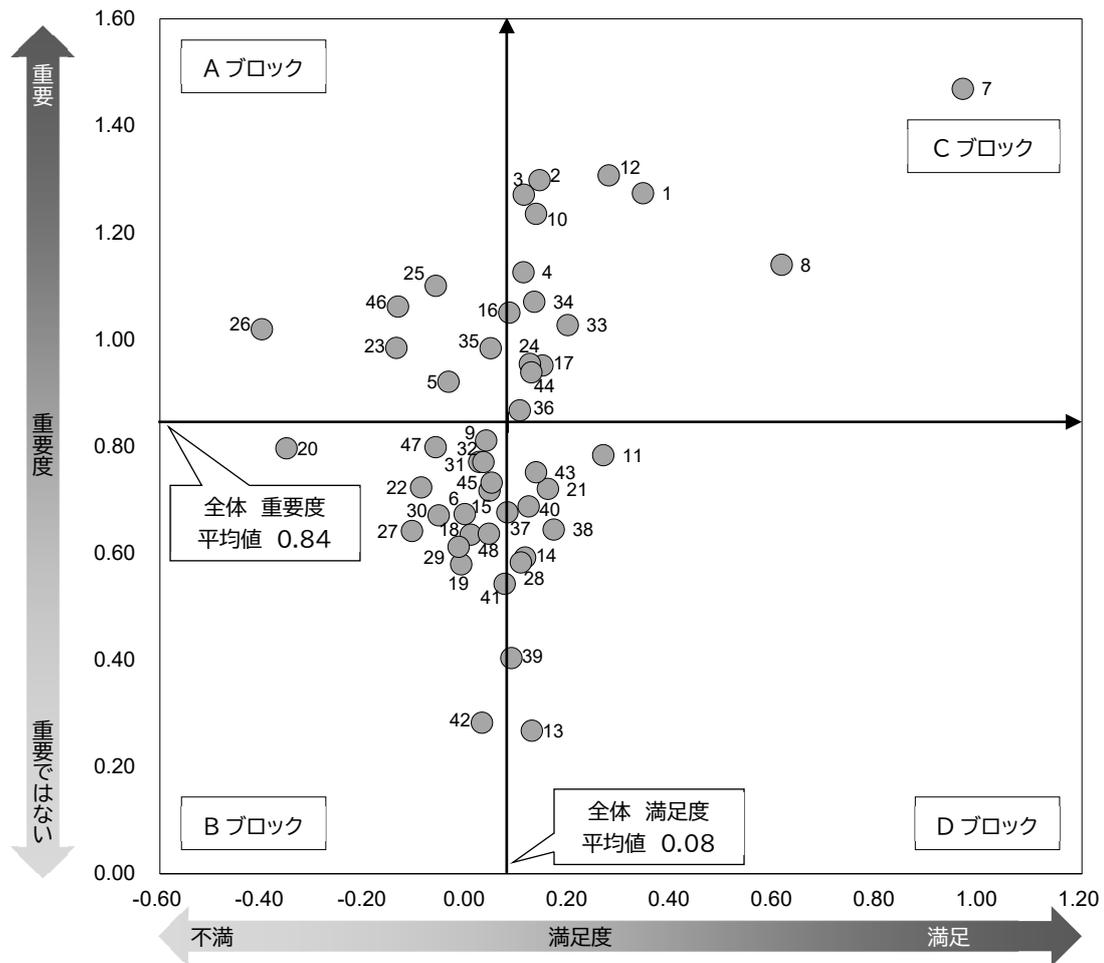
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Dブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



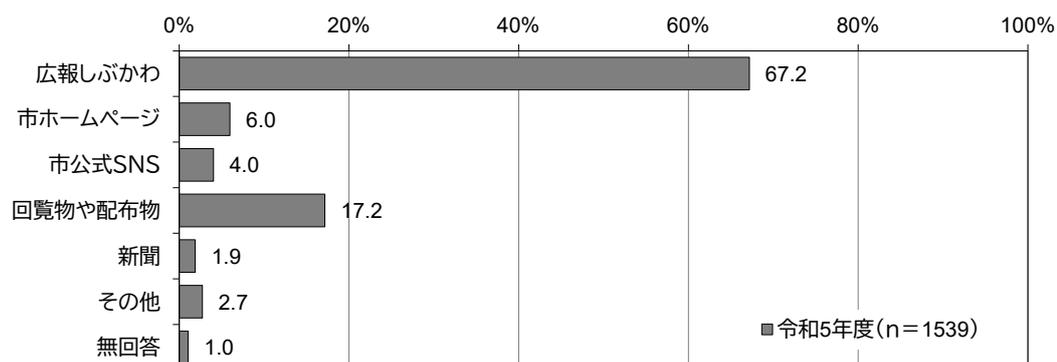
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

4 市に関する情報を得る方法について

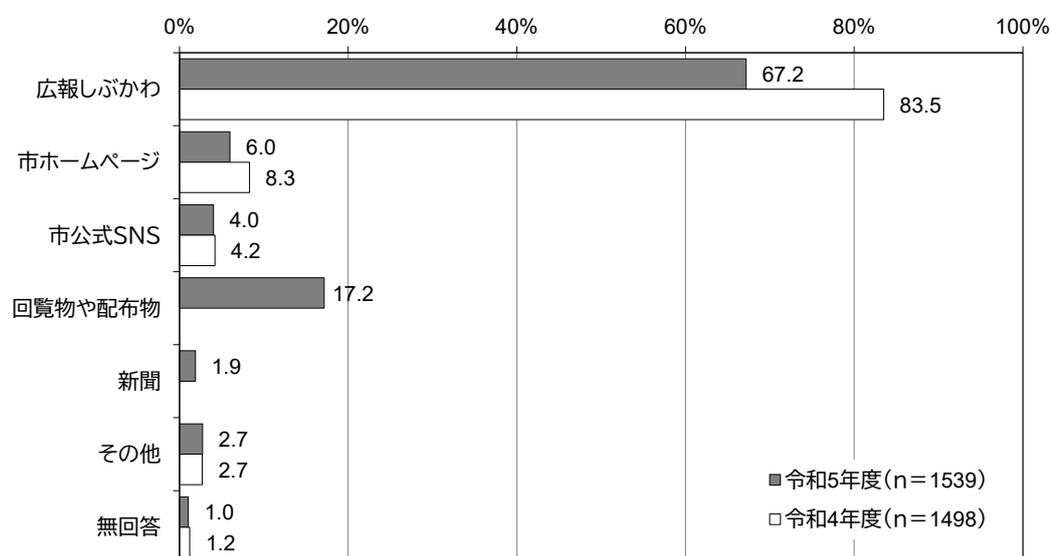
問5 市に関する情報の入手方法

あなたは、渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか。（1つ選択）

「広報しぶかわ」（67.2%）が約7割で特に高くなっています。



前回の調査結果と比較すると、「広報しぶかわ」は前回（83.5%）より 16.3 ポイント低くなっています。

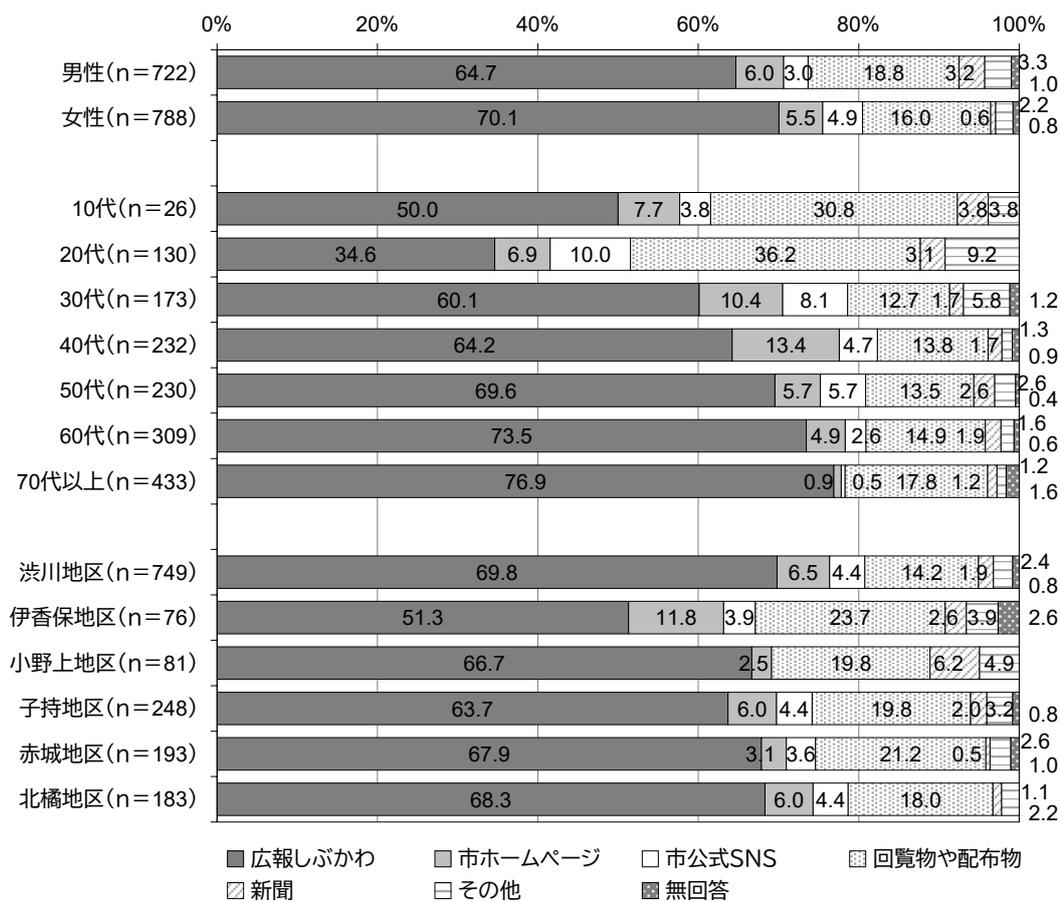


※「回覧板や配布物」「新聞」は令和5年から設定

属性別に見ると、性別では、男女とも「広報しぶかわ」が最も高く、女性（70.1%）は7割以上、男性（64.7%）は6割以上で、女性が男性より若干高くなっています。

年代別では、20代を除き「広報しぶかわ」が最も高く、30代以上では高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。20代は「回覧物や配布物」（36.2%）が3割以上で最も高く、「回覧物や配布物」は10代（30.8%）も3割以上で比較的高くなっています。

地区別では、いずれの地区も「広報しぶかわ」が最も高いものの、その中で伊香保地区（51.3%）は5割以上で比較的低くなっています。



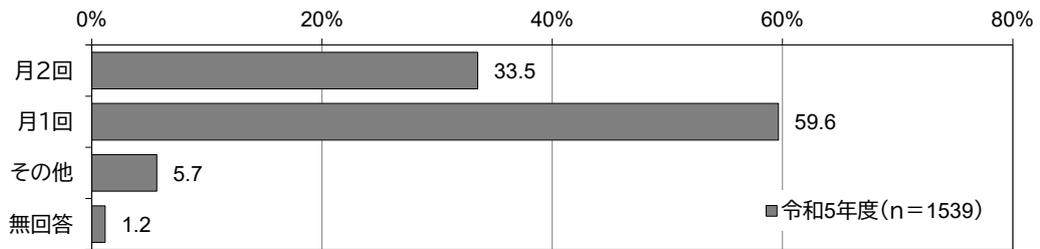
※「回覧板や配布物」「新聞」は令和5年から設定

5 広報紙の発行について

問6 広報紙の発行回数について

あなたは、「広報しぶかわ」の発行回数は月に何回が良いと思いますか。(1つ選択)

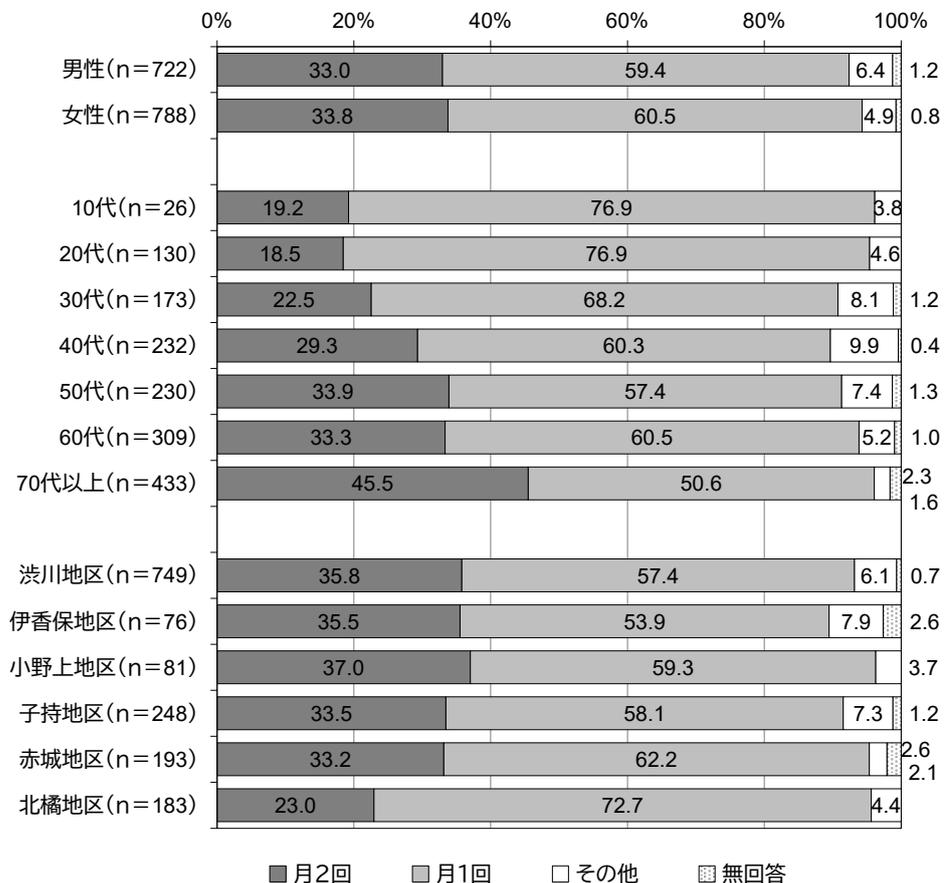
「月1回」(59.6%)が約6割で最も高く、次いで「月2回」(33.5%)が3割以上となっています。



属性別に見ると、性別による大きな差は見られません。

年代別では、いずれの年代も「月1回」が最も高く、おおむね若い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。また、70代以上は「月2回」(45.5%)が4割以上で高く、おおむね高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別では、いずれの地区も「月1回」が最も高く、その中でも北橘地区(72.7%)は7割以上となっています。

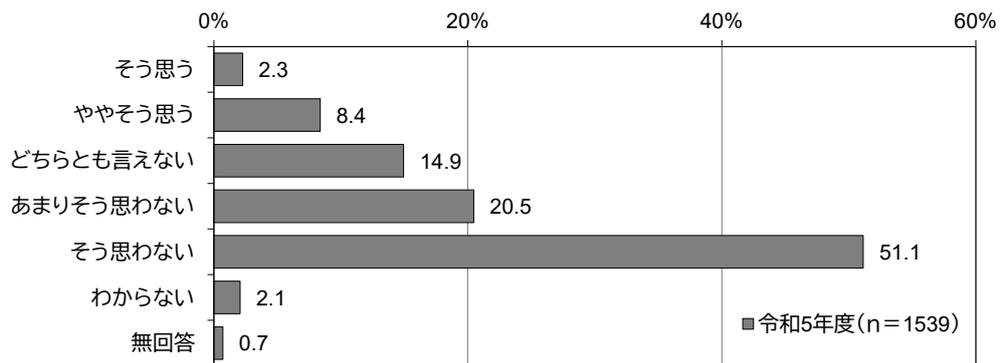


6 性別役割分担意識について

問7 性別による役割分担意識

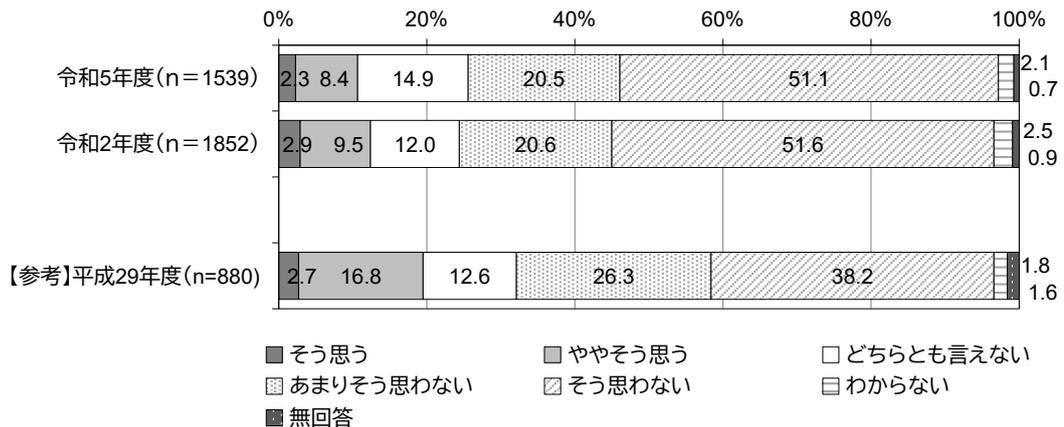
あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(1つ選択)

「そう思わない」(51.1%)が5割以上で最も高く、次いで高い「あまりそう思わない」(20.5%)との合計値『思わない』(71.6%)は7割以上となっています。一方、「そう思う」(2.3%)と「ややそう思う」(8.4%)との合計値『思う』(10.7%)は約1割となっています。



前回 (R2年度) の調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。

参考に、平成29年度実施の男女共同参画に関する市民意識調査による同様の設問の結果を合わせて見てみると、平成29年度時より合計値『思わない』(平成29年度64.5%)は高く、合計値『思う』(平成29年度19.5%)値は低くなっています。

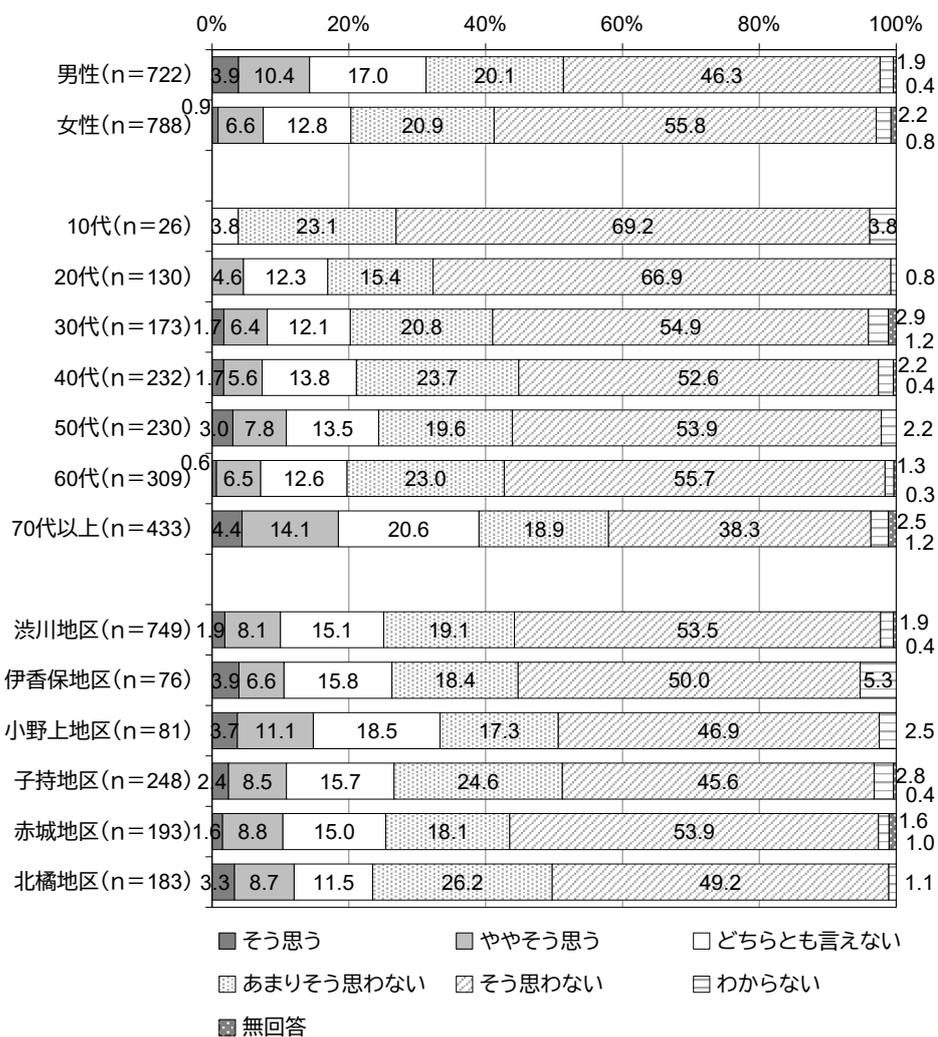


※「【参考】平成29年度」は、渋川市男女共同参画に関する市民意識調査(18歳以上の市民2,000人を対象(住民基本台帳から無作為抽出)に平成29年8月に実施・回収数880)を参考に表示

「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計値『思わない』について属性別に見ると、性別では、女性（76.7%）が約8割で、男性（66.4%）より10ポイント以上高くなっています。

年代別では、10代（92.3%）が9割以上で最も高く、60代まではいずれの年代も7割以上で、おおむね若い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。また、10代は「そう思う」と「ややそう思う」の回答が見られず、20代も「そう思う」の回答が見られません。一方、70代以上（57.2%）は6割未満で比較的低くなっています。

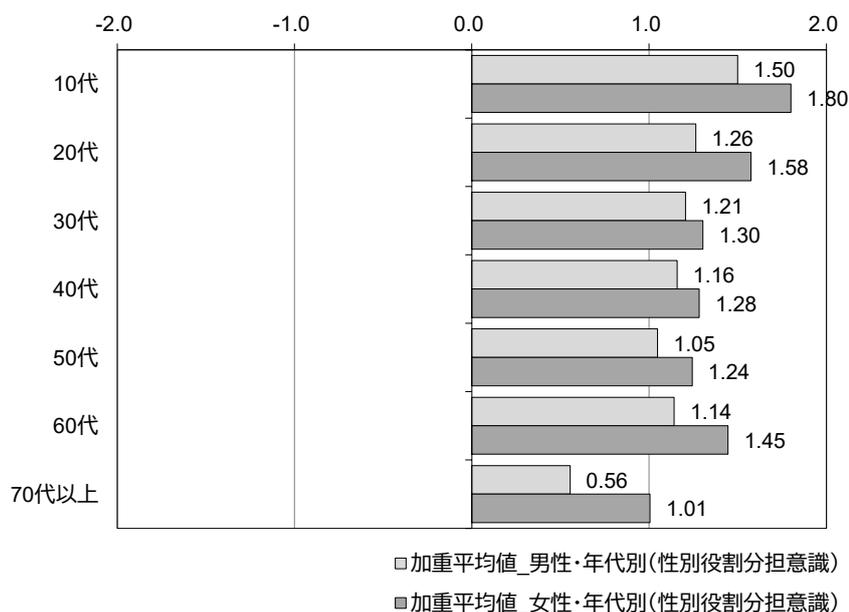
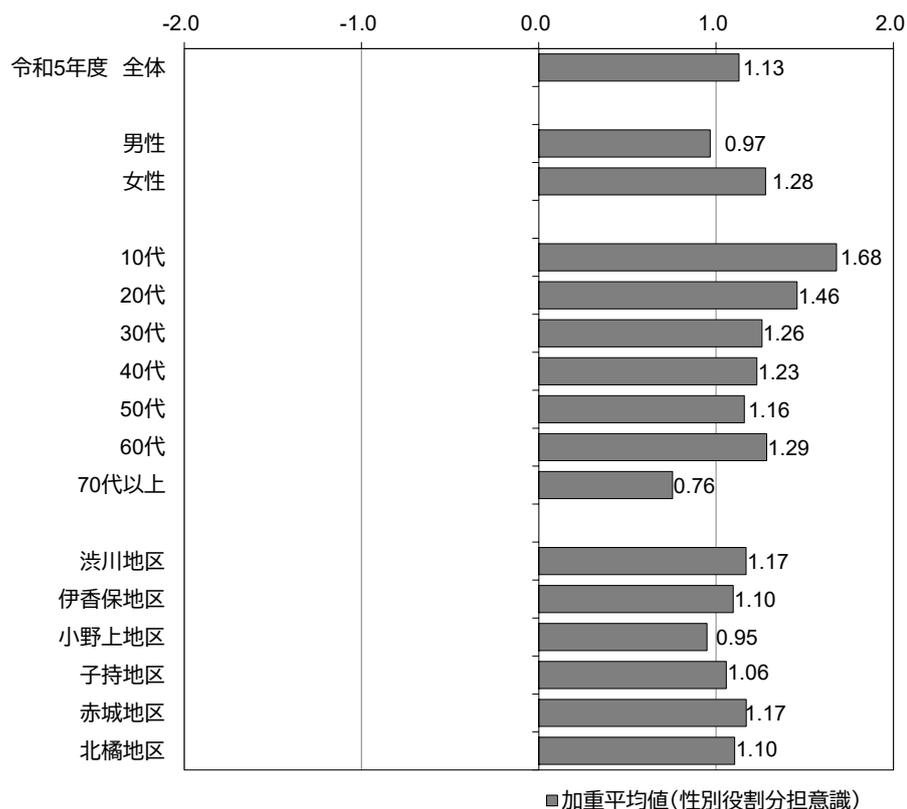
地区別では、北橘地区（75.4%）が最も高く、小野上地区（64.2%）が最も低くなっています。



加重平均値を見ると、全体（1.13ポイント）ではプラス値（性別役割分担に否定的）となっています。

属性別では、すべての属性でプラス値となっており、その中でも10代（1.68ポイント）が最も高くなっています。一方、性別では男性（0.97ポイント）、年代別では70代以上（0.76ポイント）、地区別では小野上地区（0.95ポイント）が最も低くなっています。

性別・年代別で見ると、すべての年代で、女性が男性より高く、特に10代、20代、60代では0.3ポイント以上、70代以上では0.45ポイントの差が見られます。

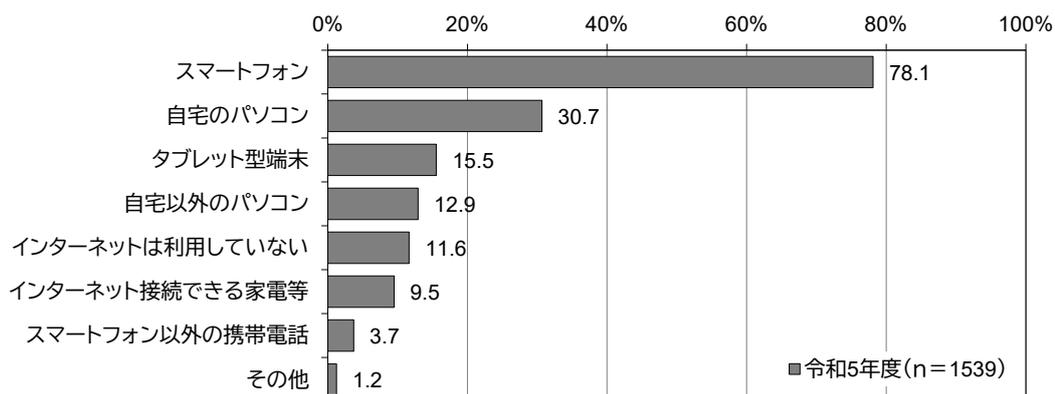


7 インターネットの利用状況について

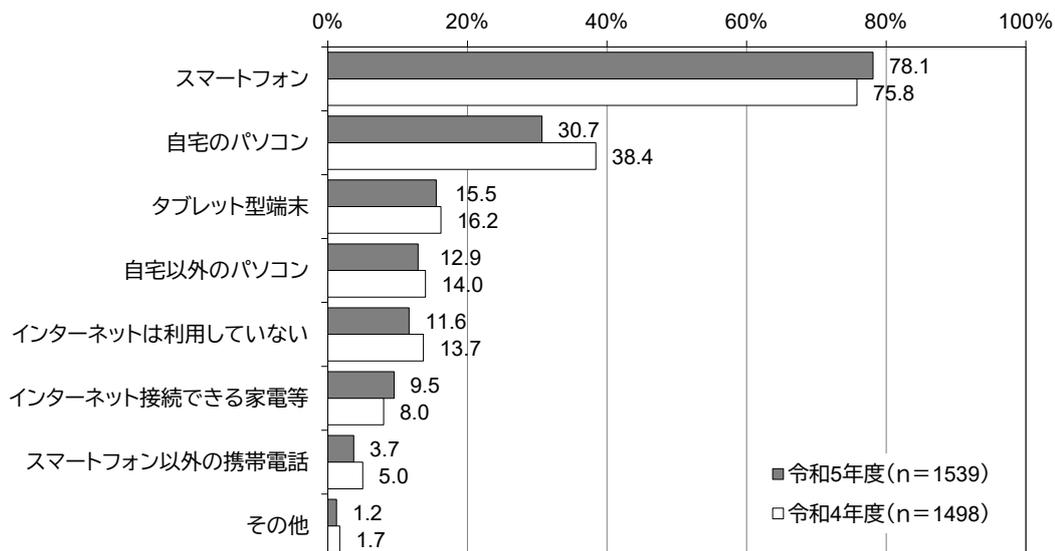
問8 インターネットを利用している情報通信機器

あなたは、どのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか。
(全て選択)

「スマートフォン」(78.1%)が約8割で特に高く、次いで「自宅のパソコン」(30.7%)が3割以上となっています。



前回の調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「自宅のパソコン」は前回(38.4%)より7.7ポイント低くなっています。



属性別に見ると、いずれの属性も「スマートフォン」が最も高く、次いで 70 代以上を除き「自宅のパソコン」、70 代以上は「インターネットは利用していない」(32.6%) が高くなっています。また、「スマートフォン」は 60 代以下と 70 代以上で差が大きく、50 代以下は 9 割以上、60 代 (84.5%) も 8 割以上で高い一方、70 代以上 (42.7%) は約 4 割となっています。

	(%)	n	スマートフォン	自宅のパソコン	タブレット型端末	自宅以外のパソコン	インターネットは利用していない	インターネット接続できる家電等	スマートフォン以外の携帯電話	その他
男性		722	75.5	35.9	17.0	13.7	13.0	11.6	3.6	1.0
女性		788	81.2	26.0	14.1	12.1	10.5	7.6	3.6	1.4
10代		26	100.0	50.0	30.8	23.1	0.0	15.4	3.8	0.0
20代		130	98.5	43.8	26.2	10.0	0.0	16.9	0.0	1.5
30代		173	96.0	35.3	28.3	19.1	0.6	9.8	3.5	0.0
40代		232	96.6	32.8	23.3	24.1	1.7	15.1	2.6	0.9
50代		230	91.3	42.2	15.2	21.7	3.5	12.6	2.6	0.4
60代		309	84.5	33.3	12.6	10.0	7.8	9.7	2.3	0.0
70代以上		433	42.7	14.5	4.4	2.3	32.6	2.1	7.2	3.2
澁川地区		749	78.5	30.4	16.4	13.8	11.5	11.1	4.0	0.8
伊香保地区		76	76.3	23.7	19.7	9.2	14.5	3.9	1.3	2.6
小野上地区		81	71.6	27.2	7.4	13.6	7.4	12.3	4.9	2.5
子持地区		248	77.4	30.2	16.5	11.7	12.1	8.9	3.6	2.0
赤城地区		193	77.7	30.6	12.4	10.9	14.5	8.8	3.6	0.5
北橘地区		183	83.6	37.2	15.8	15.3	9.8	6.0	3.3	1.1

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

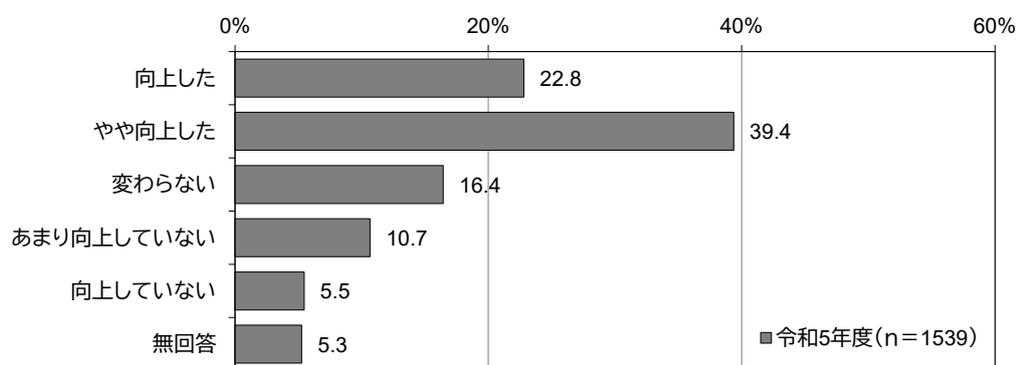
8 市のデジタル技術の取組について

問9 行政手続きのオンライン化により利便性が向上したこと

あなたは、行政手続きのオンライン化（新型コロナワクチン接種予約や各種健（検）診のWeb予約など）により利便性が向上したと思いますか。（1つ選択）

「やや向上した」（39.4％）が約4割で最も高く、次いで高い「向上した」との合計値『向上した』（62.2％）は6割以上となっています。

一方、「あまり向上していない」（10.7％）と「向上していない」（5.5％）の合計値『向上していない』（16.2％）は2割未満となっています。

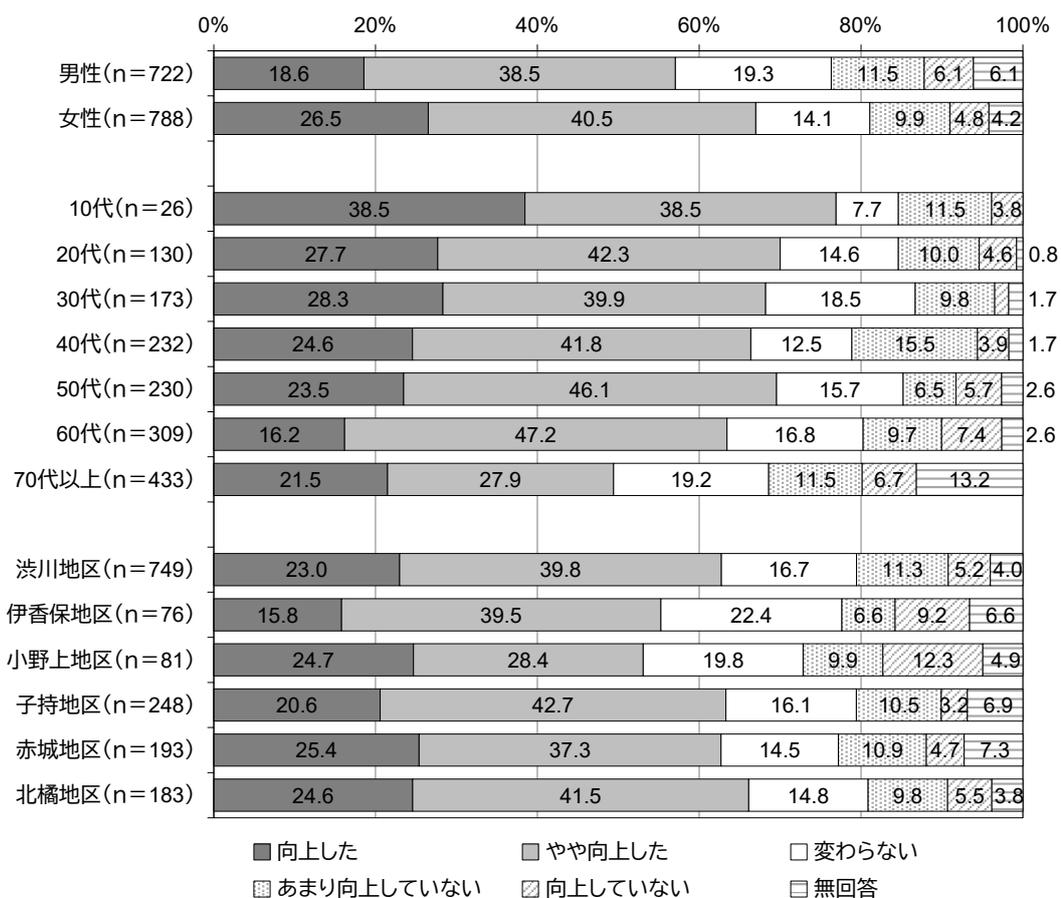


属性別に見ると、いずれの属性も「やや向上した」が最も高くなっています（10代は「向上した」が38.5%で同値）。

性別では、「やや向上した」に次いで、男性は「変わらない」（19.3%）、女性「向上した」（26.5%）が高くなっています。

年代別では、「やや向上した」に次いで、60代を除き「向上した」（10代は「向上した」が38.5%で同値）、60代は「変わらない」（16.8%）が高くなっています。

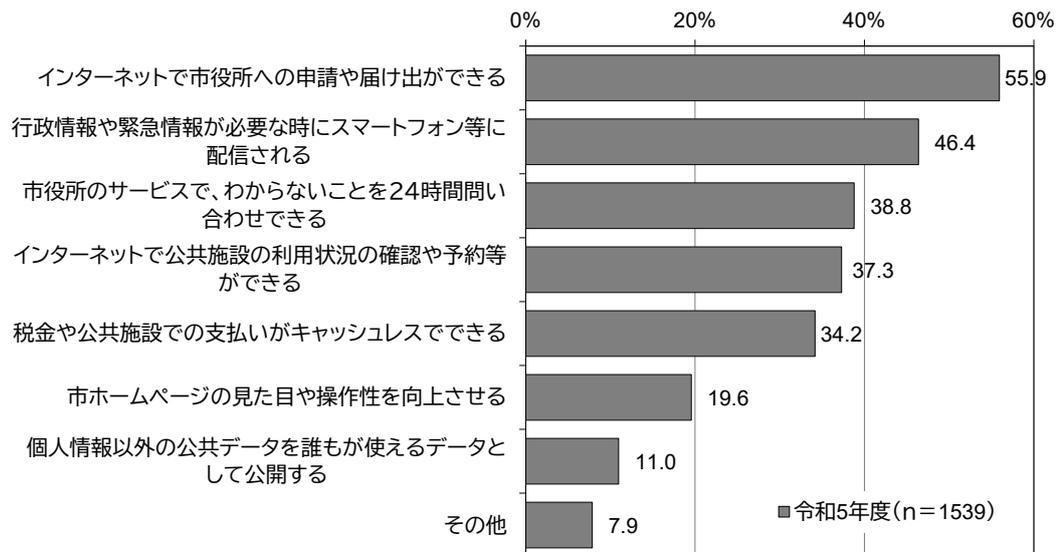
地区別では、「やや向上した」に次いで、伊香保地区を除き「向上した」、伊香保地区は「変わらない」（22.4%）が高くなっています。



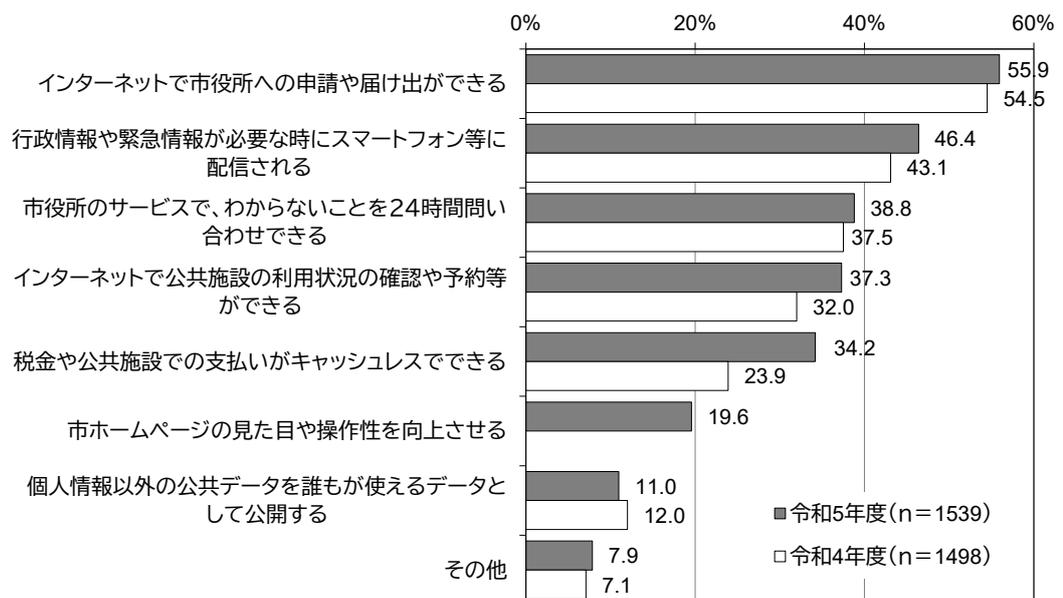
問10 力を入れてほしいデジタル化の取り組み

あなたは、渋川市が行うデジタル化の取組について、今後特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。（3つまで選択）

「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」（55.9%）が5割以上で最も高く、次いで「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」（46.4%）が4割以上となっています。



前回の調査結果と比較すると、上位項目では大きな変化は見られません。前回と選択肢が異なるため留意が必要ですが、「税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる」（34.2%）は、前回（23.9%）より10.3ポイント高くなっています。



※「税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる」は令和4年度は「公共施設での支払いがキャッシュレスでできる」として設定。「市ホームページの見た目や操作性を向上させる」は令和5年度から設定

属性別に見ると、10代、60代、70代以上、伊香保地区を除き「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」が最も高く、その中でも年代別の20代（85.4%）は8割以上で、10代（76.9%）、30代（75.7%）、40代（72.4%）も7割以上となっており、10代を除き、若い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

10代は「インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる」（84.6%）、60代、伊香保地区は「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」（60代が54.7%、伊香保地区43.4%）、70代以上は「市役所のサービスで、わからないことを24時間問い合わせできる」（42.5%）がそれぞれ最も高くなっています。

(%)	n	インターネットで市役所への申請や届け出ができる	行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	市役所のサービスで、わからないことを24時間問い合わせできる	インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる	市ホームページの見た目や操作性を向上させる	個人情報以外の公共データを誰もが使えるデータとして公開する	その他
男性	722	54.6	43.5	39.2	35.0	34.1	19.9	12.3	8.0
女性	788	57.9	49.1	39.0	39.5	34.9	19.2	9.6	7.9
10代	26	76.9	57.7	23.1	84.6	38.5	11.5	0.0	0.0
20代	130	85.4	43.1	30.0	49.2	50.8	18.5	9.2	2.3
30代	173	75.7	43.9	28.3	54.3	53.8	13.3	8.7	5.2
40代	232	72.4	46.6	37.5	43.1	47.8	19.4	8.2	6.0
50代	230	63.0	53.0	42.6	37.4	33.5	27.8	4.8	4.8
60代	309	54.4	54.7	42.7	36.6	28.2	24.3	13.3	9.7
70代以上	433	26.8	38.3	42.5	21.5	18.9	15.5	16.2	12.5
渋川地区	749	57.9	45.8	38.1	41.1	34.7	19.9	11.3	7.6
伊香保地区	76	40.8	43.4	38.2	21.1	27.6	22.4	11.8	14.5
小野上地区	81	50.6	39.5	39.5	39.5	28.4	12.3	8.6	11.1
子持地区	248	57.3	50.4	38.7	34.7	36.3	22.2	8.1	5.2
赤城地区	193	53.4	46.6	38.9	33.7	31.1	19.7	14.0	10.4
北橘地区	183	58.5	48.1	42.1	35.5	38.8	16.9	10.4	6.0

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

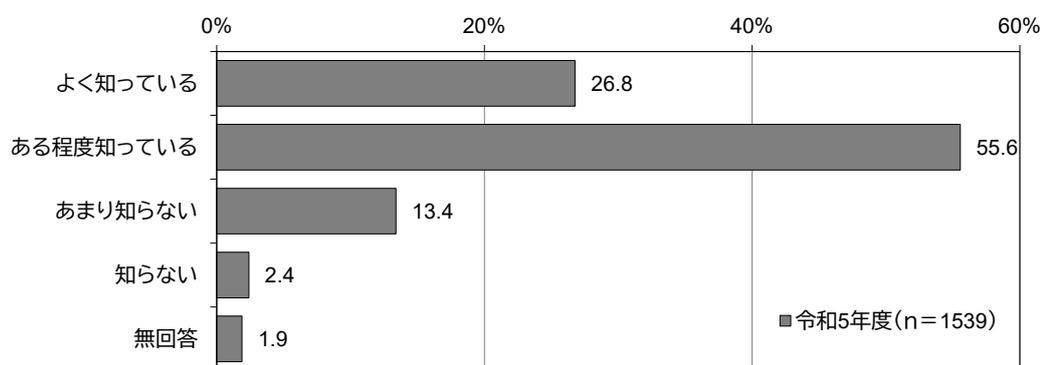
9 食品ロスについて

問11 食品ロス問題の認知度

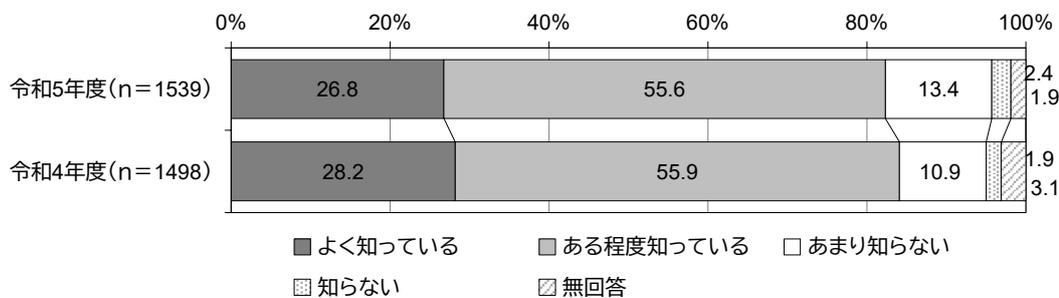
あなたは、食品ロス（まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品）問題について知っていますか。（1つ選択）

「ある程度知っている」（55.6%）が5割以上で特に高く、次いで高い「よく知っている」（26.8%）との合計値『知っている』（82.4%）は8割以上となっています。

一方、「あまり知らない」（13.4%）と「知らない」（2.4%）の合計値『知らない』（15.8%）は2割未満となっています。



前回の調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。

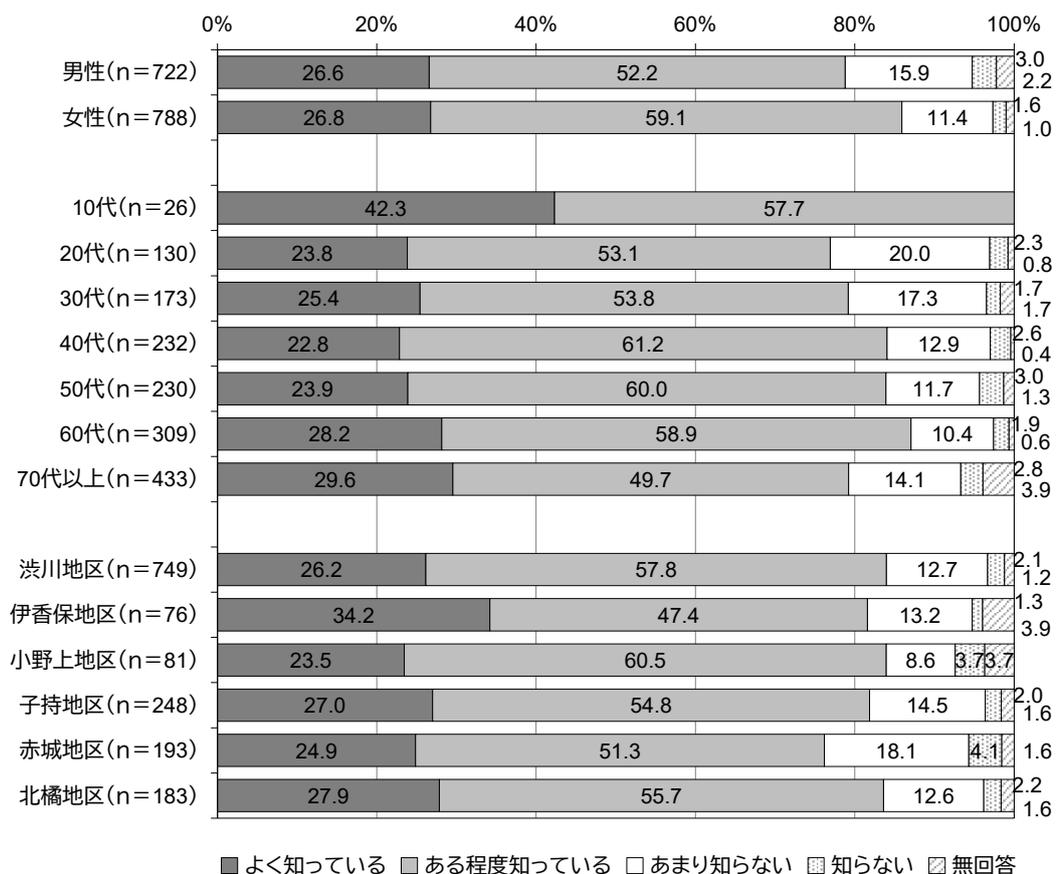


属性別に見ると、いずれの属性も「ある程度知っている」が最も高くなっています。

合計値『知っている』について属性別に見ると、性別では、女性（85.9%）が男性（78.8%）より若干高くなっています。

年代別では、10代は「よく知っている」（42.3%）が4割以上で高く、合計値『知っている』は10代（100.0%）が最も高くなっています。

地区別では大きな差は見られませんが、赤城地区（76.2%）が8割未満で比較的低くなっています。

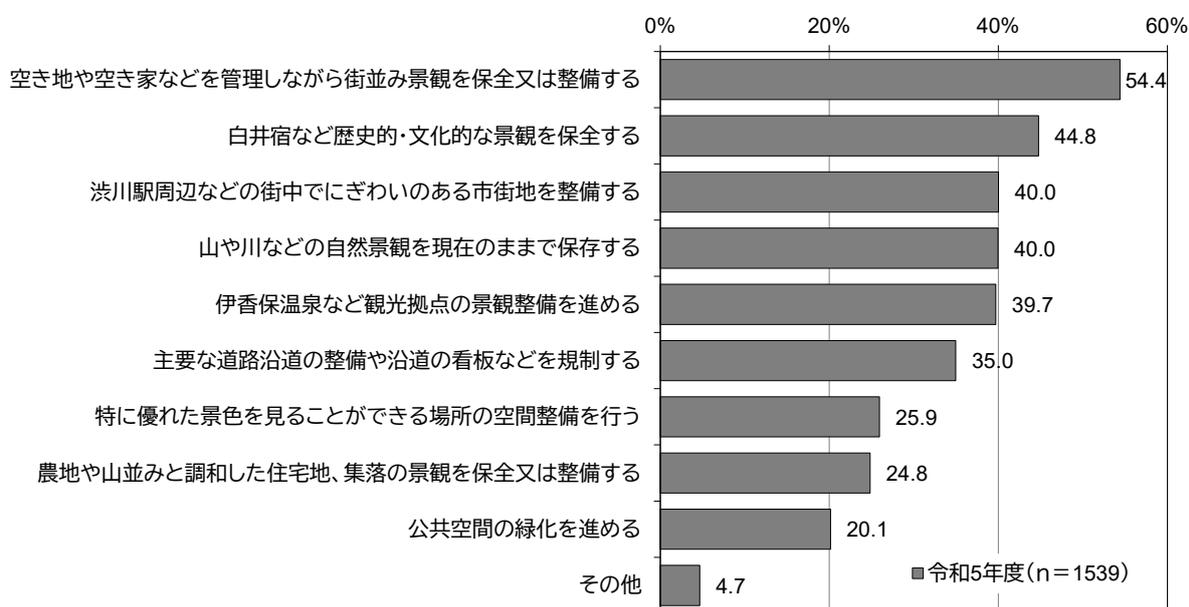


10 市の景観について

問12 渋川市らしい良好な景観づくりに向けて大切と思うこと

あなたは、渋川市らしい良好な景観づくりに向けて、どのようなことが大切だと思いますか。（全て選択）

「空き地や空き家などを管理しながら街並み景観を保全又は整備する」（54.4%）が5割以上で最も高く、次いで「白井宿など歴史的・文化的な景観を保全する」（44.8%）、「渋川駅周辺などの街中でにぎわいのある市街地を整備する」「山や川などの自然景観を現在のままで保存する」（40.0%で同値）が4割以上、「伊香保温泉など観光拠点の景観整備を進める」（39.7%）が約4割となっています。



属性別に見ると、10代、30代、伊香保地区、子持地区を除き「空き地や空き家などを管理しながら街並み景観を保全又は整備する」が最も高く、10代、30代、伊香保地区は「伊香保温泉など観光拠点の景観整備を進める」（10代 65.4%、30代 53.2%、伊香保地区 63.2%）、子持地区は「白井宿など歴史的・文化的な景観を保全する」（58.1%）が最も高くなっています。

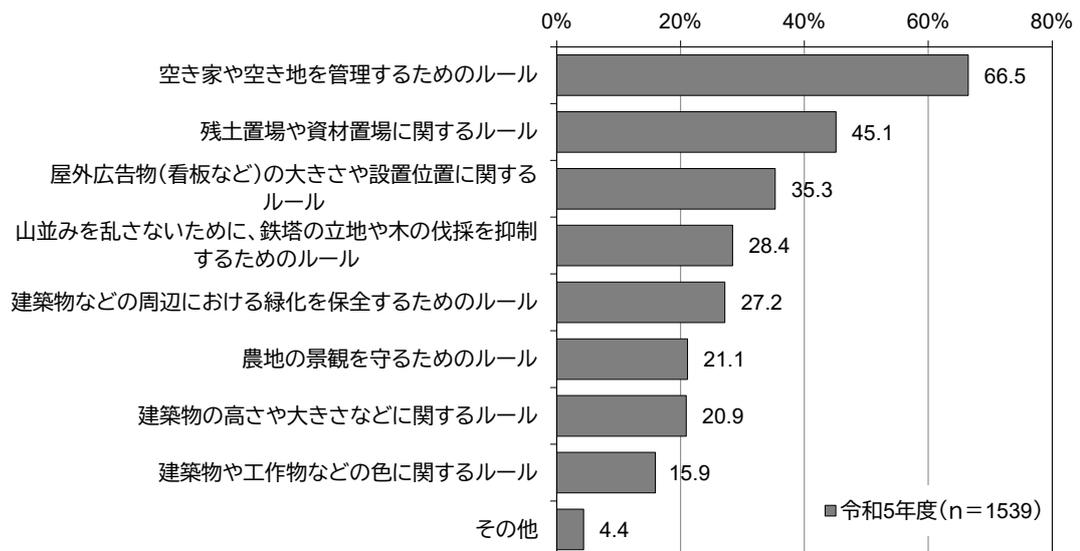
(%)	n	空き地や空き家などを管理しながら街並み景観を保全又は整備する	白井宿など歴史的・文化的な景観を保全する	渋川駅周辺などの街中にぎわいのある市街地を整備する	山や川などの自然景観を現在のままで保存する	伊香保温泉など観光拠点の景観整備を進める	主要な道路沿道の整備や沿道の看板などを規制する	特に優れた景色を見ることができるところの空間整備を行う	農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全又は整備する	公共空間の緑化を進める	その他
男性	722	51.8	40.3	39.2	41.7	38.1	36.3	28.5	27.3	20.5	5.0
女性	788	56.6	49.2	41.1	38.7	41.2	34.0	23.7	22.7	20.1	4.3
10代	26	61.5	61.5	61.5	46.2	65.4	30.8	34.6	50.0	26.9	3.8
20代	130	56.9	48.5	53.8	43.8	55.4	38.5	20.8	27.7	16.9	3.1
30代	173	50.9	48.6	52.6	40.5	53.2	32.9	28.9	23.7	20.8	5.2
40代	232	53.9	42.7	47.0	36.6	47.4	31.5	21.6	18.1	15.5	7.8
50代	230	55.7	44.3	37.8	41.7	43.5	30.9	21.7	18.7	14.3	3.5
60代	309	57.3	45.0	36.9	40.1	35.0	39.5	28.5	25.6	23.0	4.5
70代以上	433	52.4	42.5	29.6	39.3	25.9	36.0	28.6	29.6	24.2	4.2
渋川地区	749	55.0	42.6	46.1	40.3	41.8	35.5	24.3	21.9	22.3	5.3
伊香保地区	76	55.3	36.8	25.0	42.1	63.2	28.9	30.3	22.4	13.2	5.3
小野上地区	81	60.5	37.0	25.9	30.9	33.3	33.3	21.0	27.2	13.6	4.9
子持地区	248	49.2	58.1	41.5	33.5	37.1	33.9	27.0	23.4	16.9	3.2
赤城地区	193	58.5	48.2	32.1	44.6	32.1	36.3	31.1	36.8	19.2	4.7
北橋地区	183	53.0	39.9	36.1	47.0	37.7	36.6	26.8	27.3	23.5	3.8

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問13 良好な景観づくりに必要なルール

あなたは、良好な景観づくりを進めるためのルールとして、どのようなルールが必要だと思いますか。(全て選択)

「空き家や空き地を管理するためのルール」(66.5%)が約7割で最も高く、次いで「残土置場や資材置場に関するルール」(45.1%)が4割以上となっています。



属性別に見ると、いずれの属性も「空き家や空き地を管理するためのルール」が最も高く、その中でも60代(71.2%)は7割以上となっています。

次いで、20代を除き「残土置場や資材置場に関するルール」、20代は「山並みを乱さないために、鉄塔の立地や木の伐採を抑制するためのルール」(41.5%)が高くなっています(10代は「山並みを乱さないために、鉄塔の立地や木の伐採を抑制するためのルール」(46.2%)、伊香保地区は「屋外広告物(看板など)の大きさや設置位置に関するルール」(36.8%)と同値)。

(%)	n	空き家や空き地を管理するためのルール	残土置場や資材置場に関するルール	屋外広告物(看板など)の大きさや設置位置に関するルール	山並みを乱さないために、鉄塔の立地や木の伐採を抑制するためのルール	建築物などの周辺における緑化を保全するためのルール	農地の景観を守るためのルール	建築物の高さや大きさなどに関するルール	建築物や工作物などの色に関するルール	その他
男性	722	63.4	46.3	37.1	25.8	28.0	24.0	23.3	18.3	5.0
女性	788	69.8	44.7	34.5	31.0	26.6	18.4	18.8	13.7	3.9
10代	26	65.4	46.2	42.3	46.2	42.3	30.8	23.1	11.5	3.8
20代	130	63.8	36.9	25.4	41.5	33.1	23.1	20.8	22.3	1.5
30代	173	64.7	41.0	37.0	34.1	30.1	24.9	20.8	15.0	5.2
40代	232	69.0	38.8	28.0	22.8	16.8	12.5	18.1	13.8	6.9
50代	230	63.5	46.1	29.1	23.5	23.0	18.7	20.4	14.3	5.2
60代	309	71.2	52.1	42.7	29.1	28.2	21.4	23.3	18.4	3.6
70代以上	433	65.1	47.3	39.5	25.9	30.7	24.2	21.2	14.8	3.7
渋川地区	749	68.0	43.9	36.7	29.6	29.1	20.2	23.6	16.0	4.4
伊香保地区	76	64.5	36.8	36.8	25.0	23.7	15.8	22.4	22.4	6.6
小野上地区	81	65.4	43.2	33.3	16.0	13.6	27.2	14.8	9.9	4.9
子持地区	248	66.9	46.4	33.9	27.4	25.8	18.5	19.8	12.1	5.2
赤城地区	193	68.4	51.3	31.1	28.0	27.5	24.4	17.6	17.1	4.7
北橘地区	183	60.7	47.5	37.7	31.7	29.5	25.1	18.0	19.7	1.6

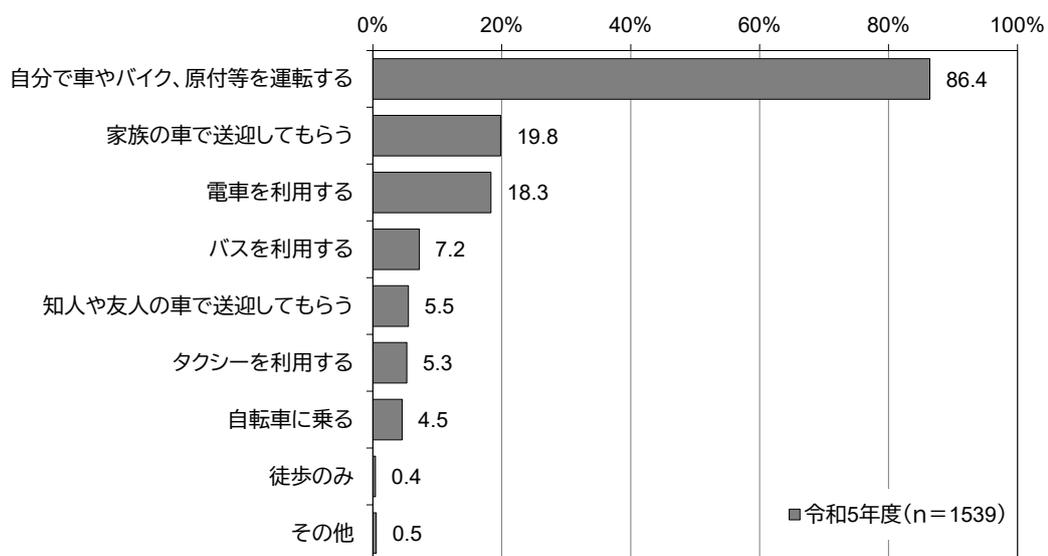
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

1 1 外出時の移動手段について

問1 4 日常的な移動手段

あなたは、普段の生活の中で外出する際にどのような移動手段を利用していますか。
(全て選択)

「自分で車やバイク、原付等を運転する」(86.4%)が8割以上で最も高く、次いで「家族の車で送迎してもらおう」(19.8%)、「電車を利用する」(18.3%)が約2割となっています。



属性別に見ると、10代を除き「自分で車やバイク、原付等を運転する」が最も高く、その中でも30代～60代、子持地区（91.5%）、北橘地区（92.3%）は9割以上で比較的高い一方、70代以上（70.9%）は約7割で比較的低くなっています。

10代は「電車を利用する」（88.5%）が約9割で最も高く、次いで「家族の車で送迎してもらう」（69.2%）が約7割で比較的高くなっています。

(%)	n	自分で車やバイク、原付等を運転する	家族の車で送迎してもらう	電車を利用する	バスを利用する	知人や友人の車で送迎してもらう	タクシーを利用する	自転車に乗る	徒歩のみ	その他
男性	722	88.8	17.0	18.1	5.7	4.4	5.4	6.5	0.1	0.8
女性	788	84.6	22.7	18.5	8.4	6.6	5.3	2.8	0.6	0.3
10代	26	65.4	69.2	88.5	23.1	15.4	3.8	15.4	0.0	0.0
20代	130	87.7	32.3	33.8	8.5	10.8	2.3	6.2	0.0	0.8
30代	173	93.6	17.9	18.5	4.6	3.5	1.7	2.9	0.0	0.0
40代	232	97.4	9.5	16.4	4.3	3.4	2.6	3.4	0.0	0.0
50代	230	94.3	11.3	13.0	3.9	3.0	4.8	4.8	0.0	0.4
60代	309	92.2	14.9	19.7	6.1	3.6	2.3	5.5	0.0	0.6
70代以上	433	70.9	27.3	12.2	10.9	8.1	11.5	3.9	1.4	0.9
渋川地区	749	83.8	20.6	22.2	8.9	5.7	6.3	4.9	0.4	0.8
伊香保地区	76	82.9	11.8	7.9	11.8	6.6	5.3	1.3	0.0	0.0
小野上地区	81	87.7	19.8	27.2	4.9	9.9	7.4	6.2	0.0	0.0
子持地区	248	91.5	21.4	16.5	4.0	5.6	4.0	6.0	0.4	0.4
赤城地区	193	87.0	21.2	14.5	4.7	5.2	3.1	2.6	0.5	0.0
北橘地区	183	92.3	16.9	9.8	6.0	2.7	4.4	3.8	0.5	0.5

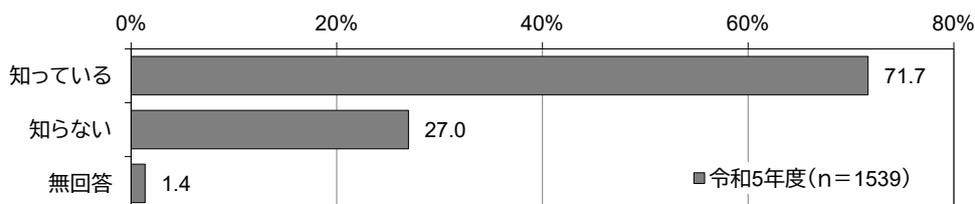
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

1 2 路線バスの利用環境について

問15 自宅に近いバス停の認知度

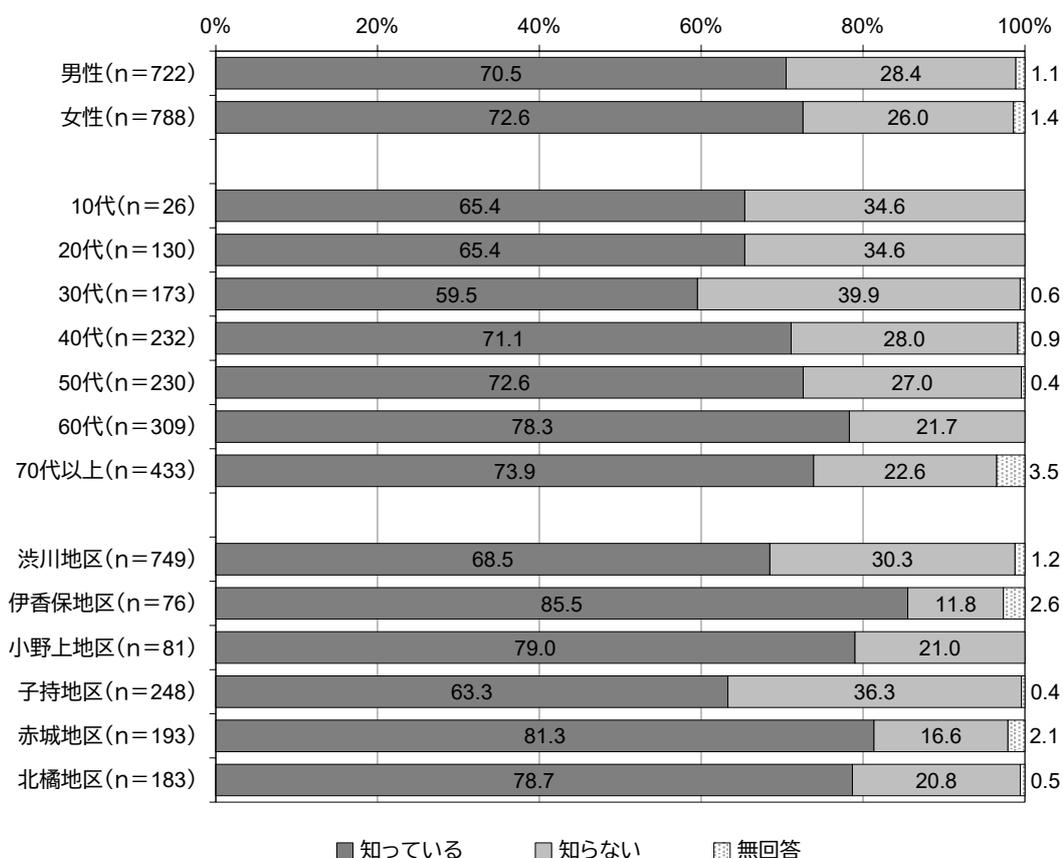
あなたは、自宅から一番近い路線バス（予約型バス、デマンドバスを含む）のバス停がどこにあるか知っていますか。（1つ選択）

「知っている」（71.7%）が7割以上、「知らない」（27.0%）が約3割となっています。



属性別に見ると、いずれの属性も「知っている」が最も高く、その中でも伊香保地区（85.5%）、赤城地区（81.3%）が8割以上で比較的高くなっています。

一方、「知らない」は30代（39.9%）が約4割で比較的高く、10代、20代（34.6%で同値）、渋川地区（30.3%）、子持地区（36.3%）も3割以上となっています。



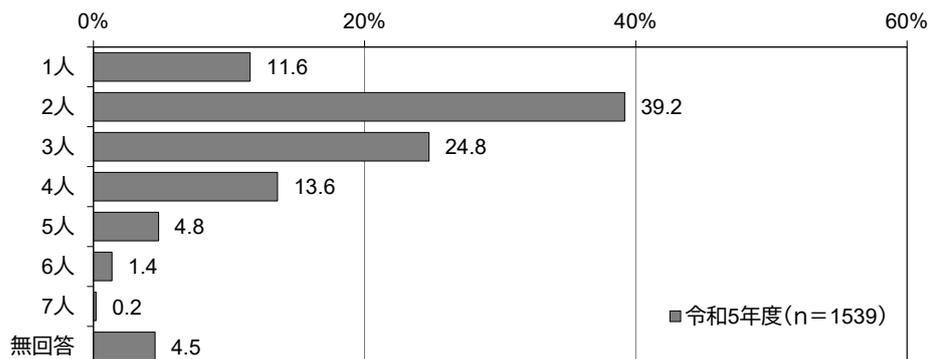
13 自家用車の保有台数について

問16 世帯における18歳以上の人数と自家用車保有台数

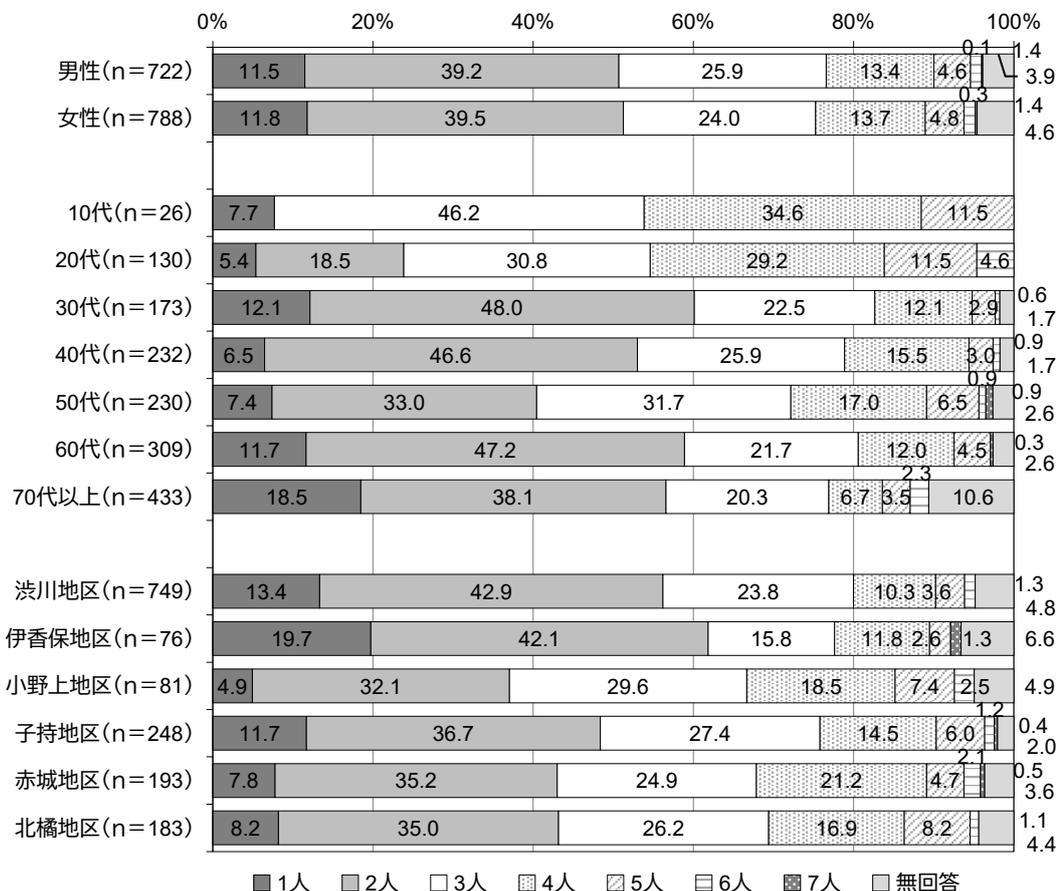
あなたの世帯について、①18歳以上の人の人数と、②保有している自家用車の台数を教えてください。(数字を記入)

①18歳以上の人の人数

2人(39.2%)が約4割で最も高く、次いで3人(24.8%)が2割以上となっています。

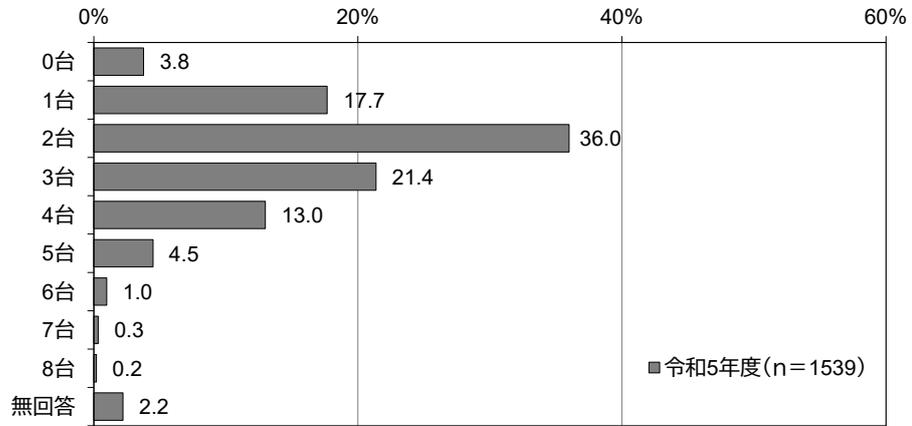


属性別に見ると、10代、20代を除き2人、10代、20代は3人(10代46.2%、20代30.8%)が最も高くなっています。

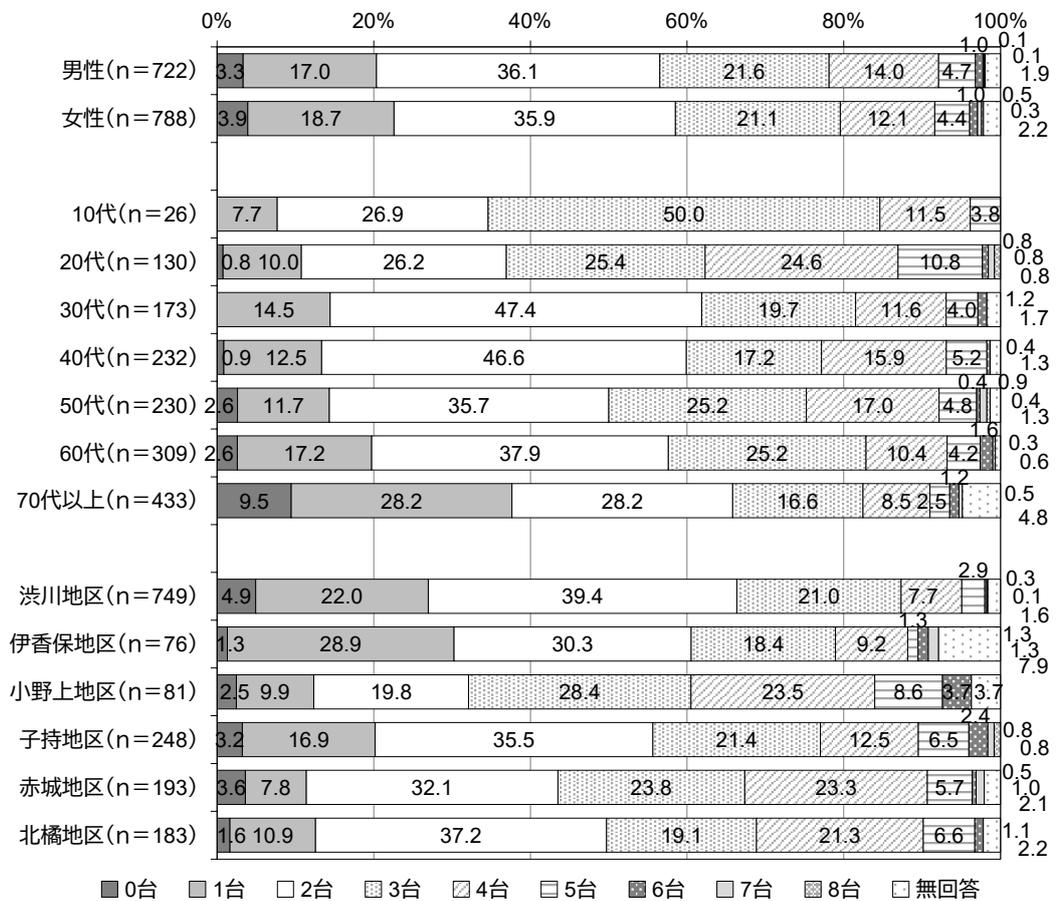


②保有している自家用車の台数

2台（36.0%）が3割以上で最も高く、次いで3台（21.4%）が2割以上となっています。

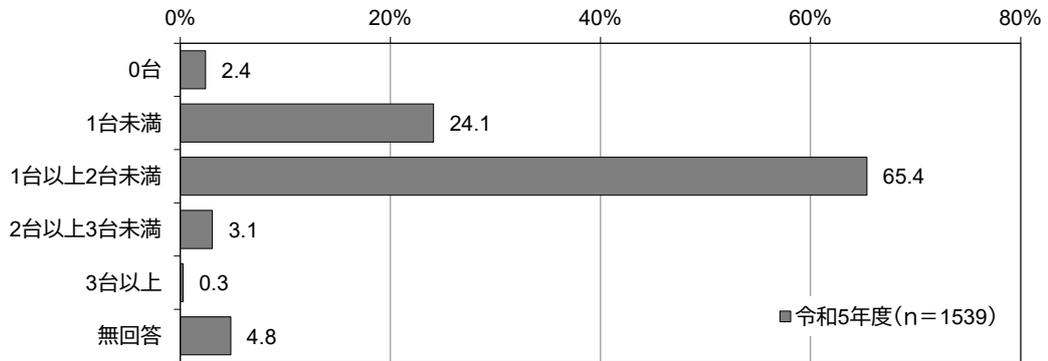


属性別に見ると、10代、小野上地区を除き2台、10代、小野上地区は3台（10代50.0%、小野上地区28.4%）が最も高くなっています（70代以上は1台、2台が28.2%で同値）。

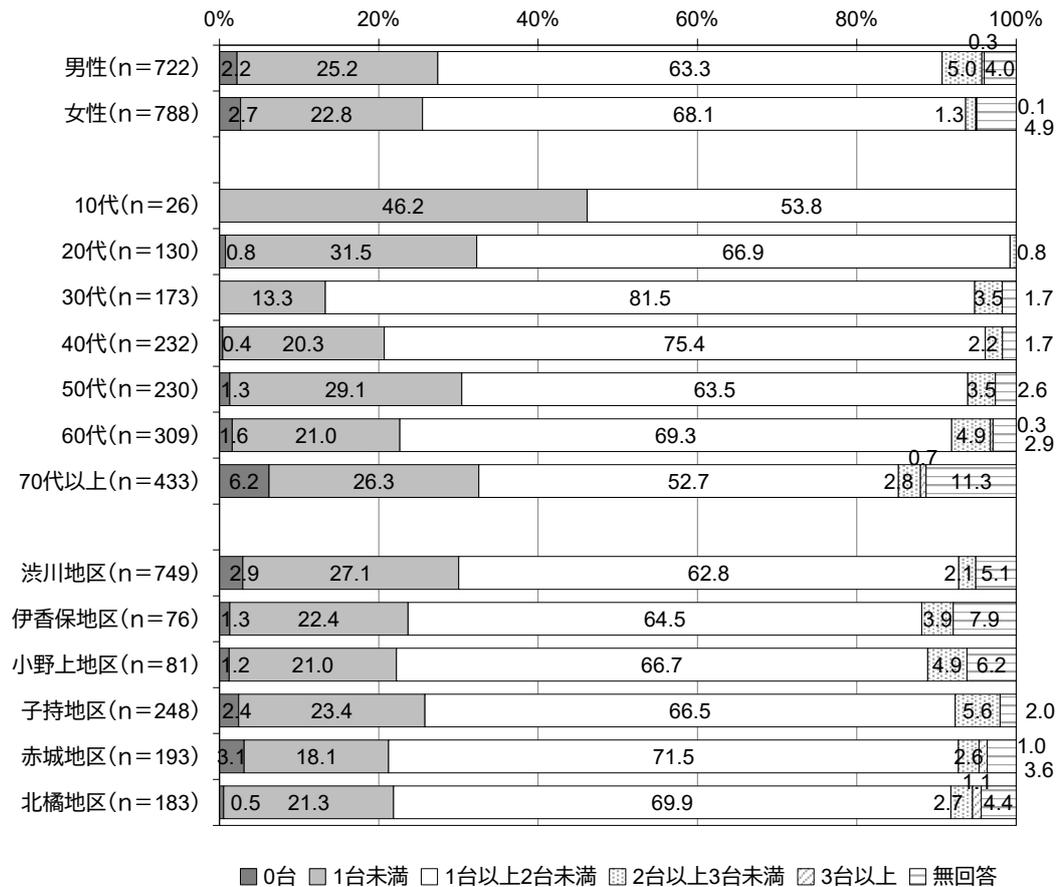


①×②18歳以上の世帯員一人当たりの自家用車保有台数

一人当たり「1台以上2台未満」(65.4%)が6割以上で最も高く、次いで「1台未満」(24.1%)が2割以上となっています。



属性別に見ると、いずれの属性も「1台以上2台未満」が最も高く、次いで「1台未満」となっています。その中で、10代は「1台未満」(46.2%)が4割以上で比較的高くなっています。



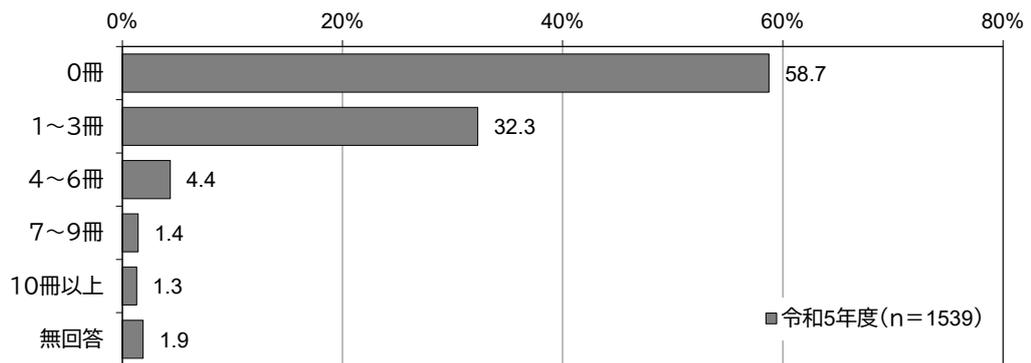
※「①18歳以上の人の人数」「②保有している自家用車の台数」のいずれか一方及び両方が無回答の場合は上記において「無回答」として表示

14 読書について

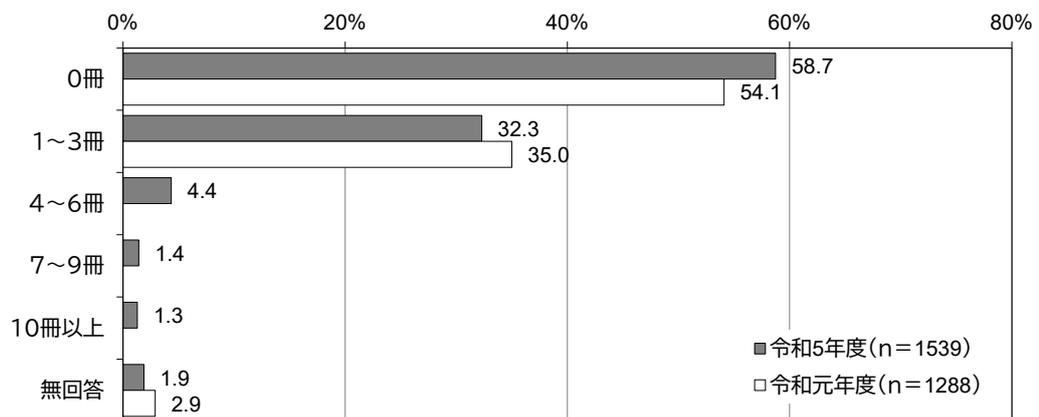
問17 月あたりの紙の本の読書冊数

あなたは、1ヶ月の間に紙の本を何冊くらい読みますか。(1つ選択)

「0冊」(58.7%)が約6割で最も高く、次いで「1～3冊」(32.3%)が3割以上となっています。「1～3冊」～「10冊以上」までの合計値『読んだ』(39.4%)は約4割となっています。

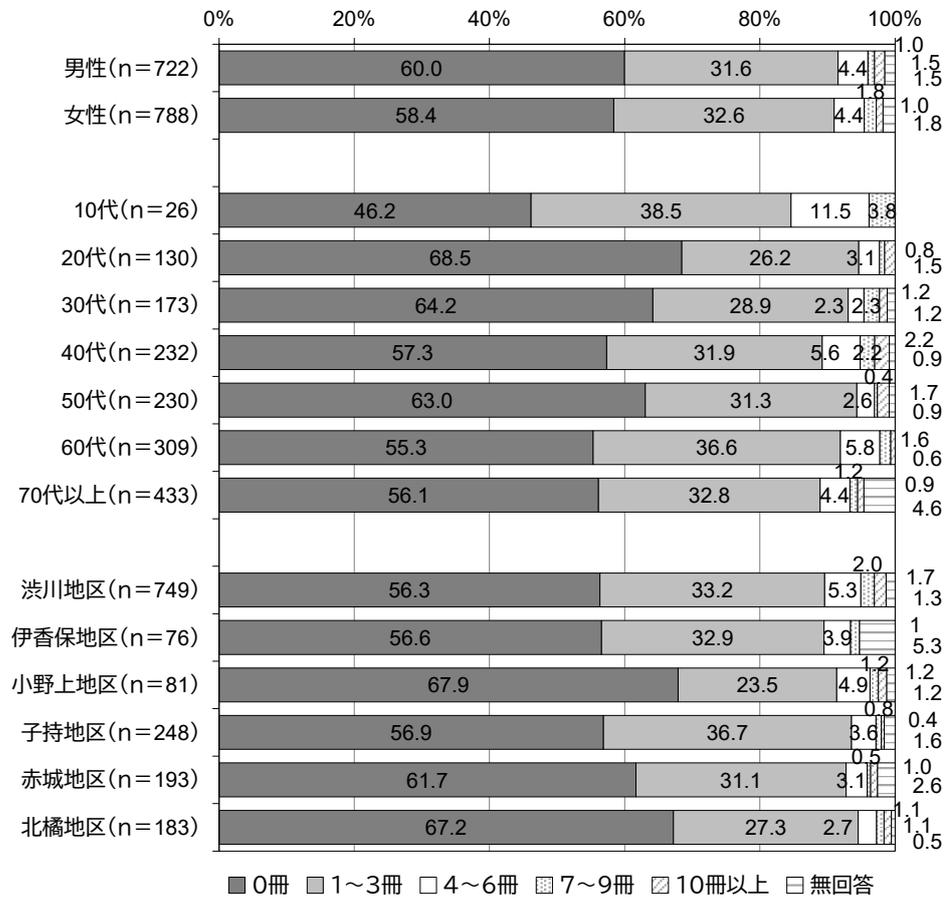


前回(令和元年度)の調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「0冊」は前回(54.1%)より高くなっています。一方、合計値『読んだ』は前回(43.1%)より低くなっています。



※令和元年度は「0冊」「1冊」「2冊」「3冊」「4冊」「5冊以上」で設定。上記「1～3冊」は「1冊」(17.0%)、「2冊」(11.6%)、「3冊」(6.4%)の合計値、合計値『1冊以上』は「1～3冊」、「4冊」(1.6%)、「5冊以上」(6.5%)の合計値として表示

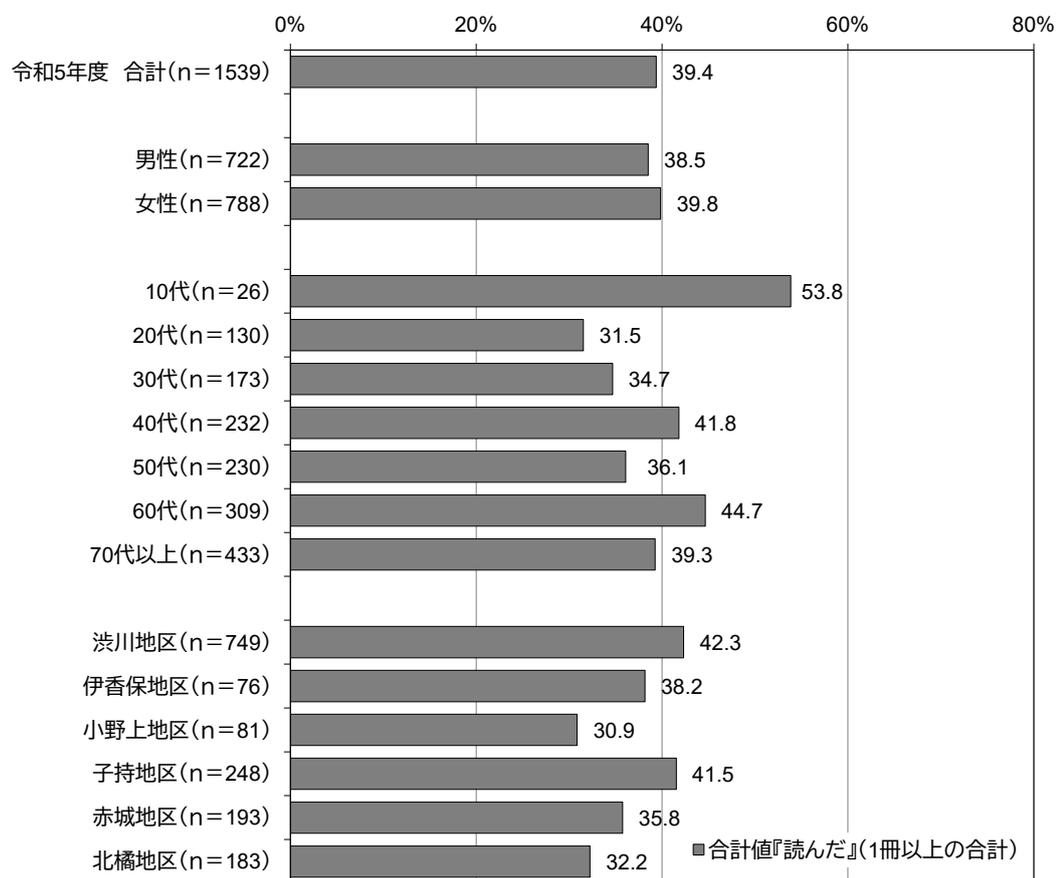
属性別に見ると、いずれの属性も「0冊」が最も高く、その中でも20代（68.5%）、小野上地区（67.9%）、北橘地区（67.2%）は約7割で比較的高い一方、10代（46.2%）は5割未満で比較的低くなっています。



合計値『読んだ』について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では、10代（53.8%）が5割以上で最も高く、20代（31.5%）が最も低くなっています。

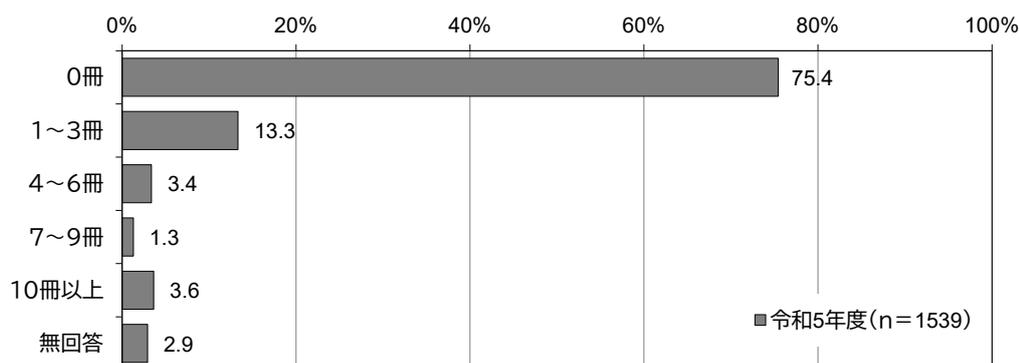
地区別では、渋川地区（42.3%）、子持地区（41.5%）が4割以上で比較的高く、小野上地区（30.9%）が最も低くなっています。



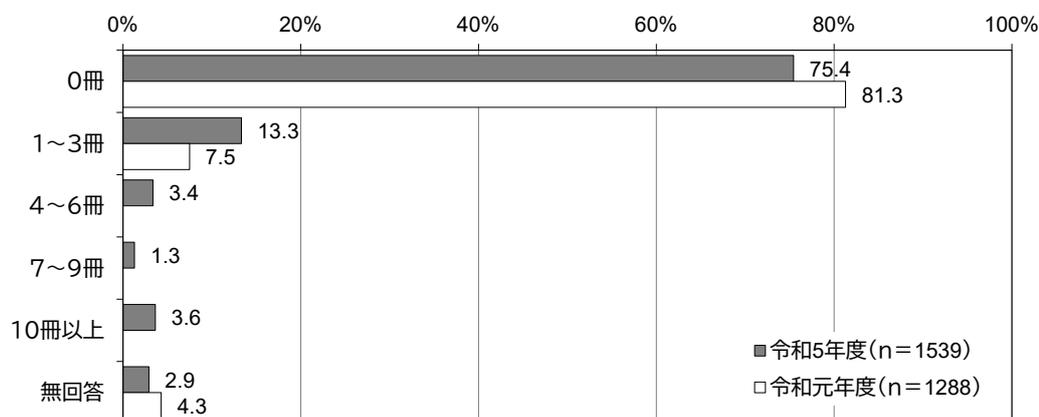
問18 月あたりの電子書籍の読書冊数

あなたは、1ヶ月の間に電子書籍を何冊くらい読みますか。(1つ選択)

「0冊」(75.4%)が7割以上で最も高く、次いで「1～3冊」(13.3%)が1割以上となっています。「1～3冊」～「10冊以上」までの合計値『読んだ』(21.6%)は2割以上となっています。

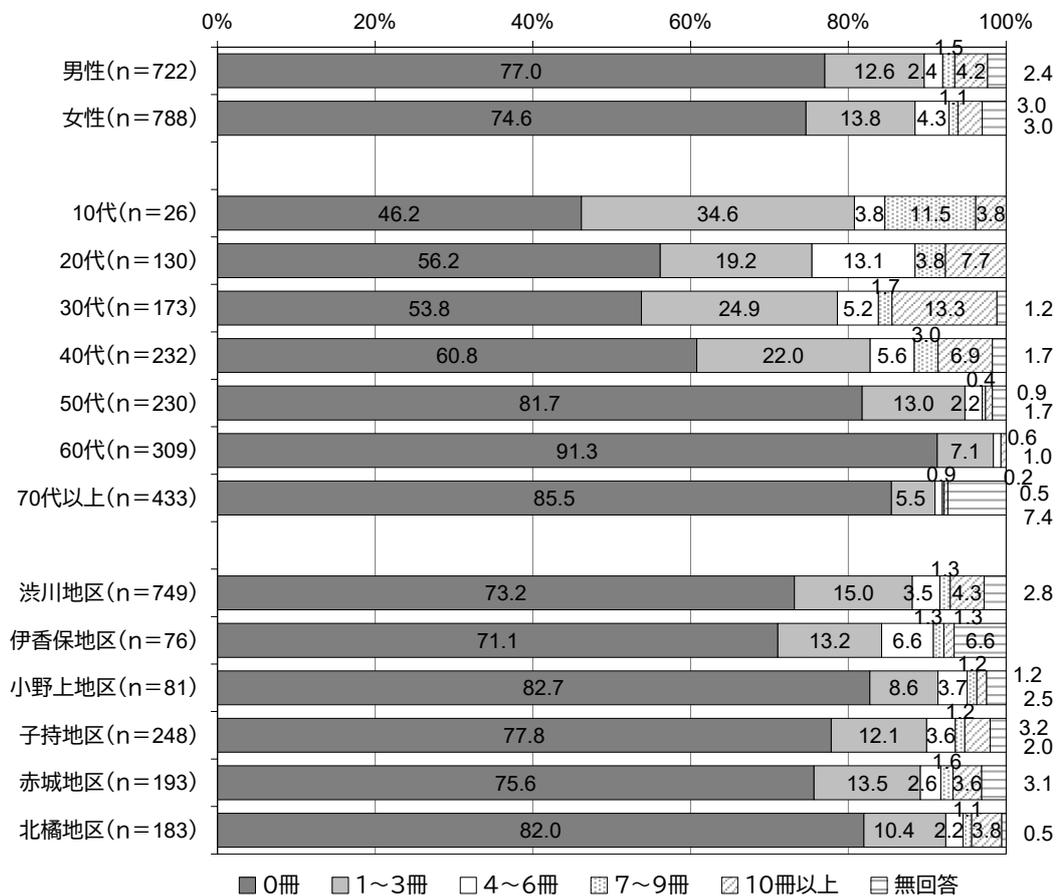


前回(令和元年度)の調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「0冊」は前回(81.3%)より低くなっています。一方、合計値『読んだ』は前回(14.5%)より高くなっています。



※令和元年度は「0冊」「1冊」「2冊」「3冊」「4冊」「5冊以上」で設定。上記「1～3冊」は「1冊」(3.2%)、「2冊」(2.4%)、「3冊」(1.9%)の合計値、合計値『1冊以上』は「1～3冊」、「4冊」(0.9%)、「5冊以上」(6.1%)の合計値として表示

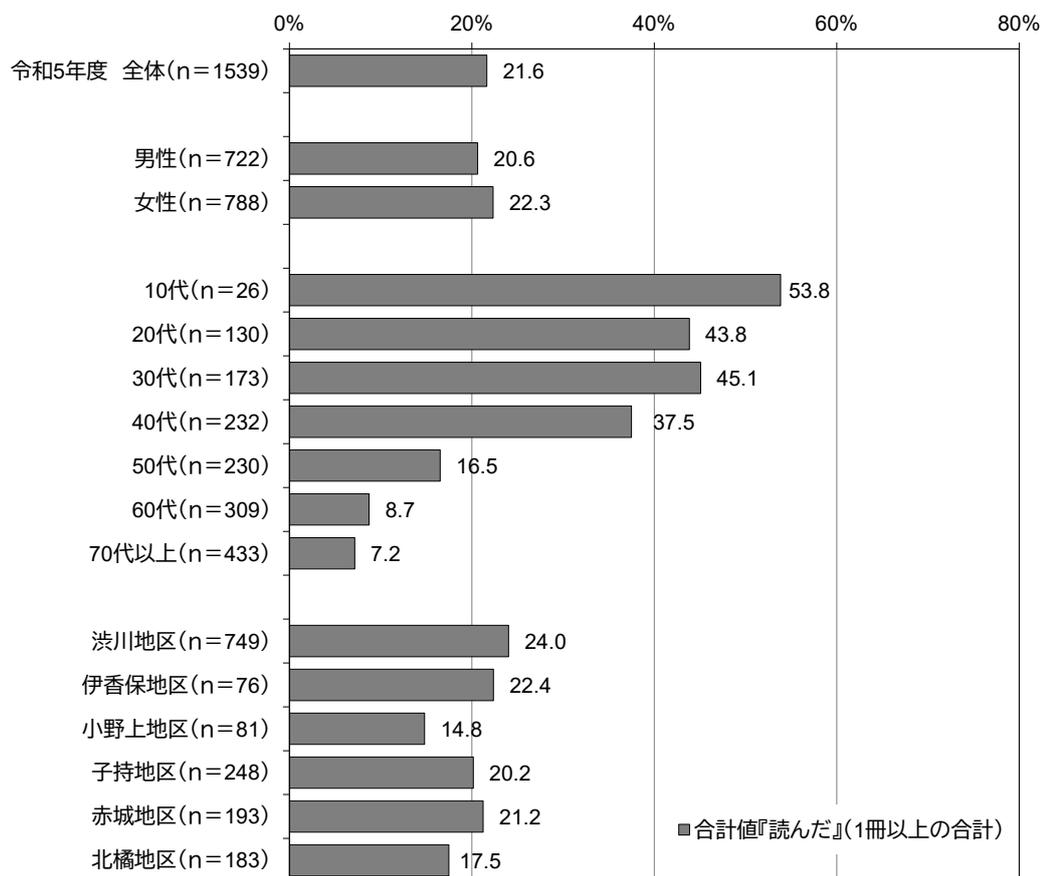
属性別に見ると、いずれの属性も「0冊」が最も高く、その中でも60代（91.3%）は9割以上、50代（81.7%）、70代以上（85.5%）、小野上地区（82.7%）、北橘地区（82.0%）は8割以上となっており、年代別では、おおむね高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。



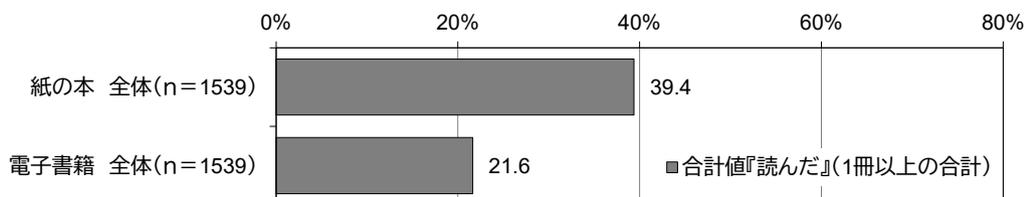
合計値『読んだ』について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では、10代（53.8%）が5割以上で最も高く、70代以上（7.2%）が最も低くなっています。また、40代までは約4割からそれ以上となっていますが、50代以上では2割未満で、40代までと50代以上で傾向が異なっています。

地区別では、渋川地区（24.0%）が最も高く、小野上地区（14.8%）が最も低くなっています。



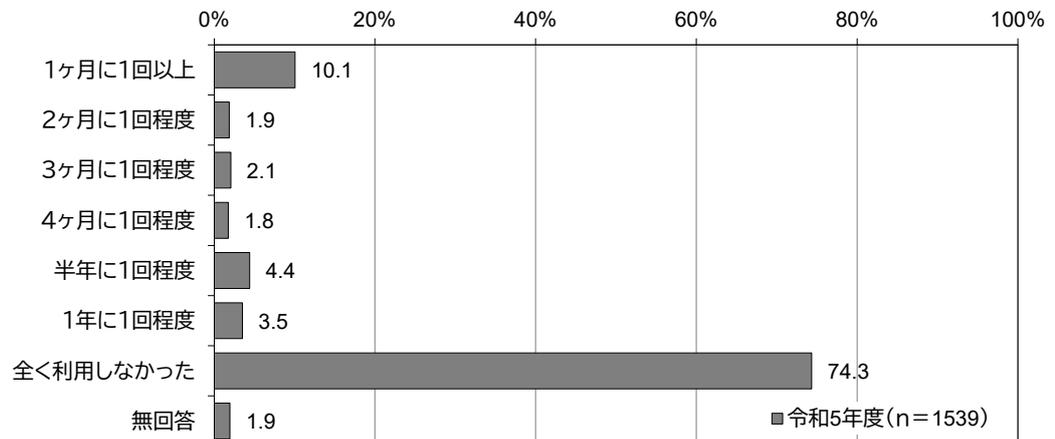
合計値『読んだ』について、全体値を紙の本（問 17）と電子書籍（問 18）で比較すると、紙の本（39.4%）が電子書籍（21.6%）より 17.8 ポイント高くなっています。



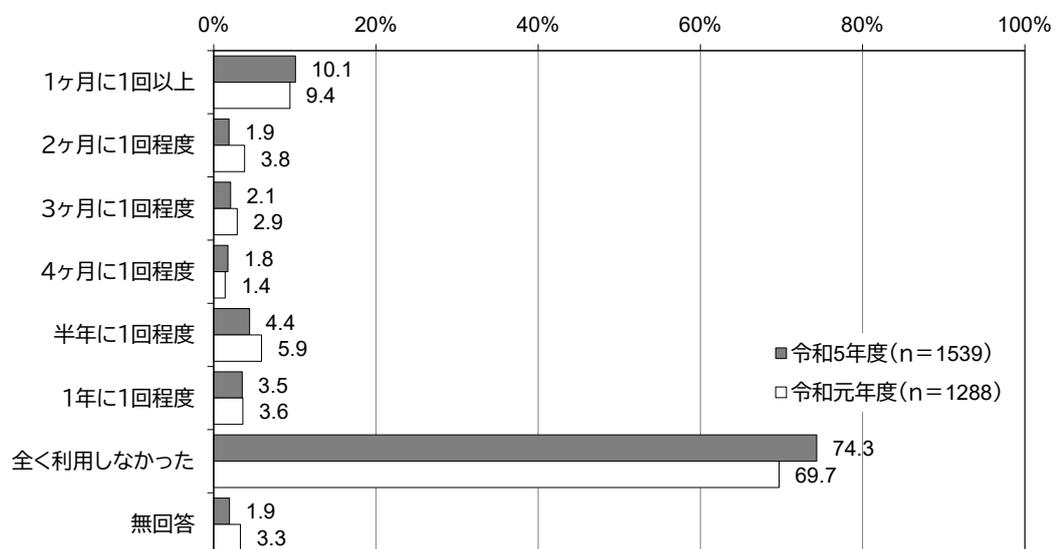
問19 図書館の利用頻度

あなたは、令和5年1月から令和5年12月までの間に、どれくらいの頻度で図書館を利用しましたか。(1つ選択)

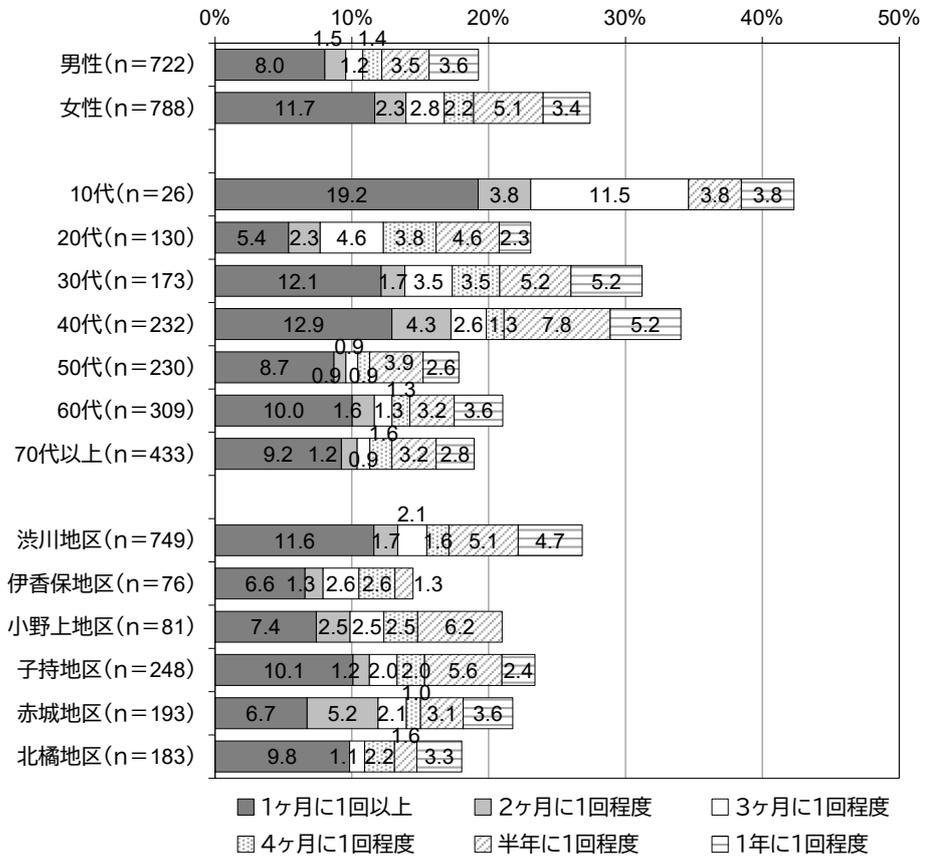
「全く利用しなかった」(74.3%)が7割以上で特に高くなっています。



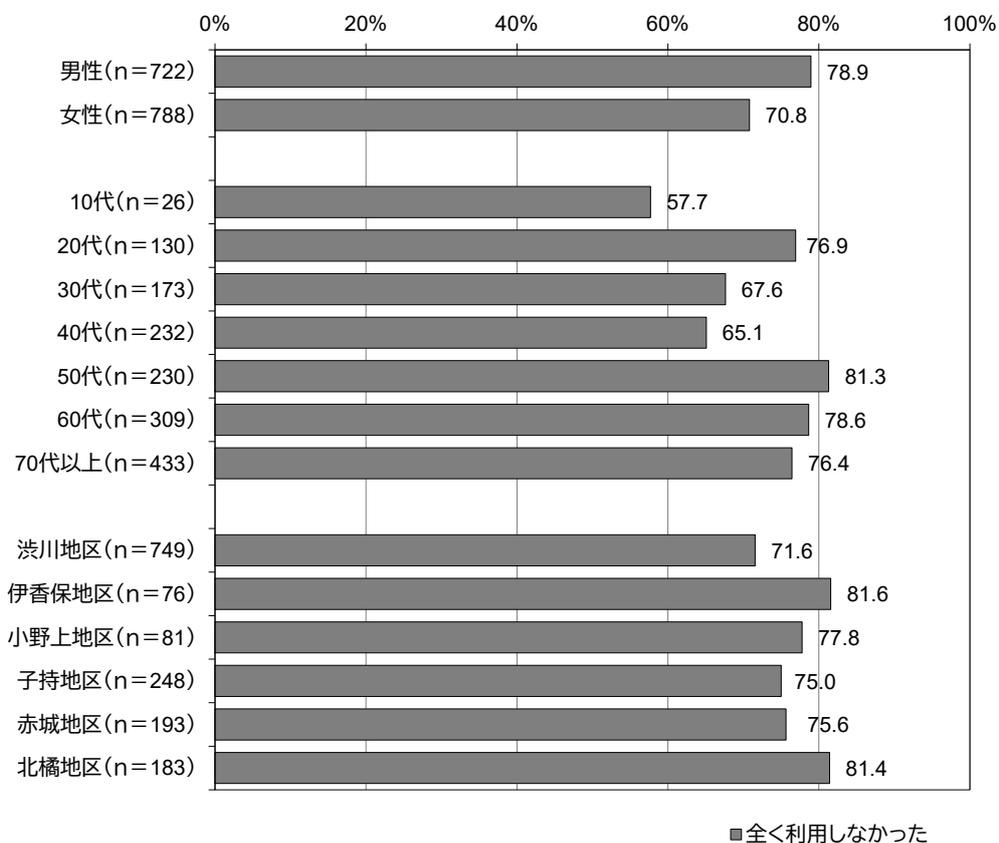
前回(令和元年度)の調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「全く利用しなかった」は前回(69.7%)より若干高くなっています。



「1カ月に1回以上」から「1年に1回程度」までを属性別に見ると、いずれの属性も「1カ月に1回以上」が最も高く、その中でも10代（19.2%）は約2割で比較的高くなっています。また、10代は「3カ月に1回程度」（11.5%）も1割以上で比較的高くなっています。



「全く利用しなかった」を属性別に見ると、50代（81.3%）、伊香保地区（81.6%）、北橘地区（81.4%）が8割以上で比較的高く、10代（57.7%）が6割未満で最も低くなっています。



15 市政について

問20 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

679人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の6分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全1,279件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数(件)
1 安全・安心、暮らし分野	183
2 健康、福祉、スポーツ分野	276
3 産業分野	194
4 都市基盤、自然環境分野	317
5 教育、文化分野	71
6 自治、協働、行財政分野	226
7 その他	12
合計	1,279

【1 安全・安心、暮らし分野】

- ・災害等緊急時の対応、必要な備品、物品等の整備、拠点（避難所等の整備）。
- ・防災無線が聞き取れないので数を増やしてほしい。離れているので何をしゃべっているのかわからない。同じ渋川に住んでいても田舎なのか、街灯が非常に少ない。夜道が暗い。もっと増やせないものかと思います。
- ・昨今、高齢ドライバーによる悲惨な交通事故が数多く見受けられます。そこで、高齢者が免許を返納しやすい環境の整備に力を入れたいです。
- ・空き地や空き家などの管理、整備を充実させ、住民がより住みやすい環境づくりをしたい。若い人達がUターン帰省をもっとできるようになり、安心して子育てができる生活環境を整え、活力があるまちづくり。
- ・各地区の空き家などの件、家を探している人に貸すとか、今現在どこの場所でもこのようなことをしていると思います。市外から来る人や、地区内の人でも家を探している人は多くいると思います。そのような人に住んでもらい、より良い地域を、過ごしやすい場所として、これからの市民が住みやすく、明るい場所をつくりたい。空き家が多く、人のいない家が周りにあると、何かしら心配です。
- ・前橋市等の大きな市にアクセスしやすいメリットがある農村地として、自然豊かなところを活かし、農業等のしやすい環境の整備を行い、移住・定住者を増やす政策に力を入れたい。
- ・上水道に関しては、おそらく設置年数から考えると寿命が来ていると思われます。予算上大変だと思われますが、生活に必須な設備なので、個人的には心配です。

【2 健康、福祉、スポーツ分野】

- ・一世帯一世帯の状況を把握して、本当に生活苦の家庭を救いたい。
- ・子育て支援に力を入れたいです。今の渋川の子育て支援にも大変満足していますが（実際、転入した決め手は子育て支援が充実していたからです）、働きながら保育園に預けているので、保育園の（幼稚園、学校も）設備の充実や、働いている先生方の環境を整えていきたい。
- ・若い世代が、渋川市から出たくないような、渋川市に来たいと思えるようなまちづくり。例えば、今流行のスポーツができる場所をつくる。スケートボードやダンスなど。
- ・障害者がより良い暮らしがまだできてないと思う。一般人と同じく生活できる地域をつくってほしい。
- ・少子化、高齢化社会が益々と深刻化する時代、子育て世帯と高齢者が地域で支え合えるまちづくり、孤立感なく、自分自身の老後も考えて交流が持てる結びつき、それは何か。社会貢献も含めて、今年 60 歳を迎える年だからこそ残りの人生に向けて後悔のないよう過していきたいです。
- ・医療体制の強化、小児科病院、診療所の増強等。

【3 産業分野】

- ・若者が故郷に戻って来られるような雇用の充実（企業の誘致）。
- ・農地保全と後継者育成を含めた農業従事者支援、優良企業誘致と地元企業の育成支援。農産物のブランド化など、地元産業の活性化と地元雇用を増加させる政策の実施。
- ・強固な産業を持つ渋川市に成長させ、定住者、子育て世代の増加。将来性を感じることでできる渋川市を目指す。観光、土木業については程々にして、世界に通用する渋川市の産業を、時間をかけつくり上げる。
- ・観光資源の開発による観光産業の強化（例えば、水沢山、子持山、赤城山のハイキングやトレッキングコース整備、伊香保温泉連携）。
- ・草津や他の観光地に観光客が向かう途中、渋川市に立ち寄ってお金を落とす仕掛けを考える。
- ・女性が働きやすい職場環境を増やす（子どものいる家庭など）。
- ・地産地消をより促進し、都市部からモデル地域となるようなまちづくりをしたい。
- ・大型ショッピングモールをつくり、まちを活性化したい。

【4 都市基盤、自然環境分野】

- ・電柱を地下に埋め、道幅を広くする。さらに自動車と自転車・歩行者専用の道路をつくる。
- ・公共交通の利用客がなかなか増えないですが、高齢化、あるいは県外からの観光客を見据えると、自家用車以外の交通手段がもう少し充実できると思います。
- ・これから高齢化がどんどん進むにあたり、移動手段の脆弱さがとにかく渋川は問題。タウンバスの充実が切実。
- ・歩道や道路の整備に力を入れたい。小・中学生時代に、歩道が狭かったり、整備されていなかったりしていたことで、通学中ヒヤッとすることや、車との距離が近いなど思うことがあった。
- ・子ども達も交えながら、自然環境を守ったり、整備したりする取組の推進。CO2排出の削減など、環境対策の推進。誰でも手軽に取りくめるリサイクルの推進。
- ・自然と触れあえるような公園等の整備。

【5 教育、文化分野】

- ・小・中学校の施設・設備の充実。老朽化が目立つ。小・中学校の教育の充実。教員の多忙な雑務解消を図る。
- ・「学校再編」に力を入れたい。スクールバスを増やして、中学校の数を減らしたい。生徒数が増えれば、勉強もスポーツももっと活発になると思う。
- ・子どもの不登校やひきこもりに関しても相談できる窓口の設置（また、上記の窓口で相談できるようにする）をし、必要であればフリースクールや病院の紹介をする。生涯学習の機会としてインターネット講座をはじめ、ネット環境があれば誰でも学べるようにする。
- ・年齢を重ねて仕事をリタイヤした時に、今までやる時間がなかった勉強の場があったらいいなと思います。例えば英会話、絵の勉強、世界情勢などの指導をしてもらえたらと思います。
- ・公民館の行事や教室で、子どもが参加できるものが少ないので、書道や将棋教室など、お年寄りが教えてくれるものがあると良い。
- ・教育の充実、図書館の充実、歴史建造物などを残し観光資源とつなぐ。
- ・多様な文化の高揚のための政策。音楽、美術等、芸術活動への支援。

【6 自治、協働、行財政分野】

- ・あらゆる機会を使って、市民に寄り添い、意見要望を把握し、実行していく。
- ・市民が意見を自由に発言・発信できる場をつくる。
- ・市に住んでいる人が何に困っているのか、身近なことから変えていきたいです。そのためにも、困ったことがあったら気軽に相談できる窓口の設置等も行いたいです。
- ・常日頃思っているが実行はしていないことで、全部自治体に依存するのではなく、自分たちの地域は自分たちの手で維持管理（できる範囲で）していく姿勢を持ちたい。
- ・次世代を担う子ども達が、渋川を大切に思い好きになるよう、渋川の魅力に気づき、再発見できるように、いろいろな社会参加の機会をつくっていく。それは、高齢者、障害者等との区別なく、多様性のある社会体験の機会が、人をつくり、町をつくっていくことだと思う。
- ・市の未来のことを考え、背伸びせず、無駄のない行財政運営を最優先に取り組む。他の市町村と比較して一番を目指すのではなく、渋川市と居住する市民の良さを最大限に活かし、市民にとっての「住みやすさ」を重視して、政策を考える。目指すのは「市民の満足度No.1」。
- ・資金集収のために、クラウドファンディング等を活用する。ふるぎと納税が集まるように工夫をする。
- ・DX化による職員の事務量の削減。
- ・暮らしにデジタル化の推進はもちろんですが、アナログのよい面も生かす方向で。
- ・渋 Pay を第2弾から使用したのですが、とても良かったです。第1弾の時はちょっと不安で参加できなかったです。第3弾もぜひお願いします。

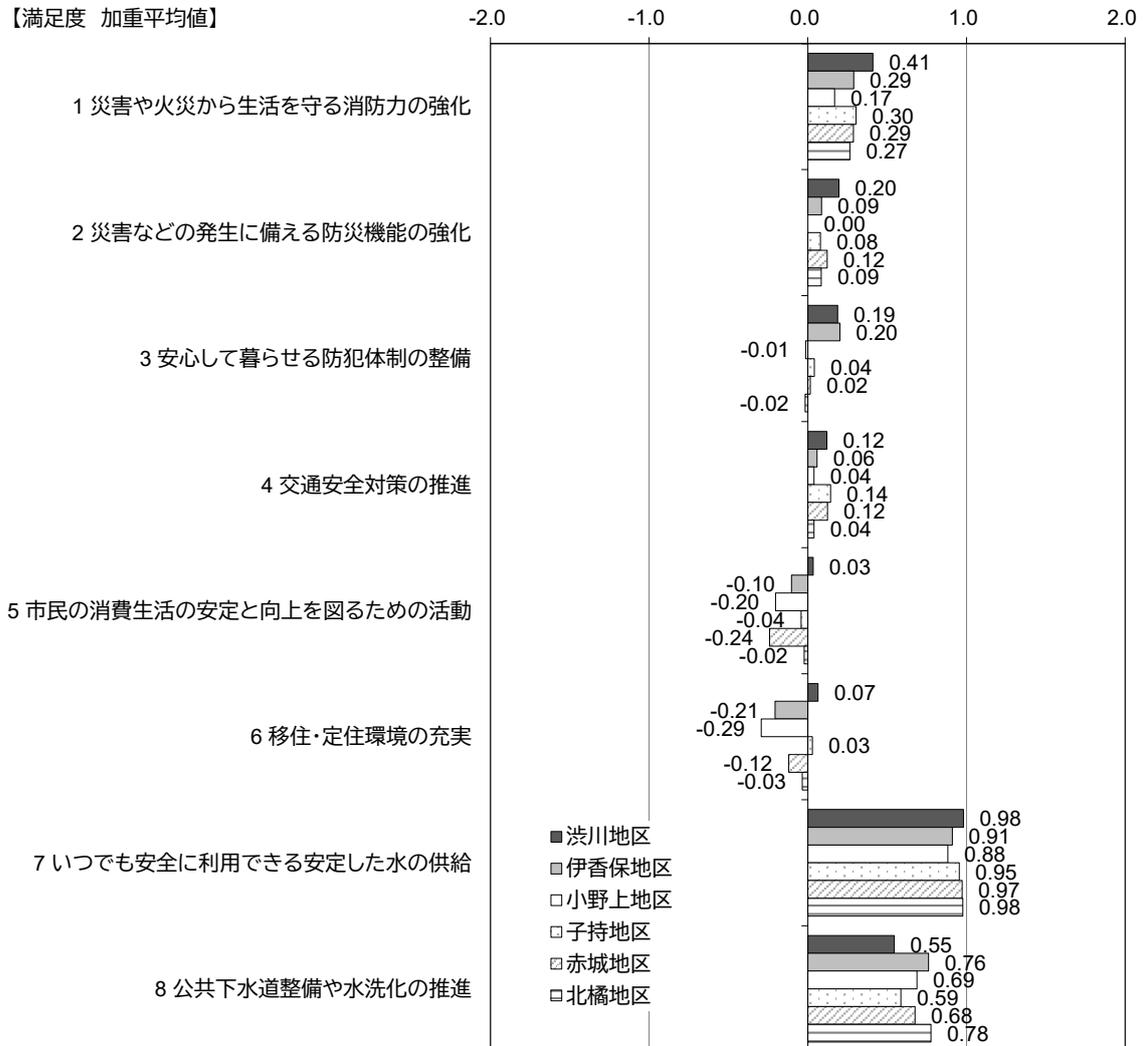
【7 その他】

- ・私自身は JR も通っているし、高速道路も近いし、住みやすいと思っているので、特に力を入れたいことはありません。
- ・もっと、若者が住みたいと思う市にしたい。

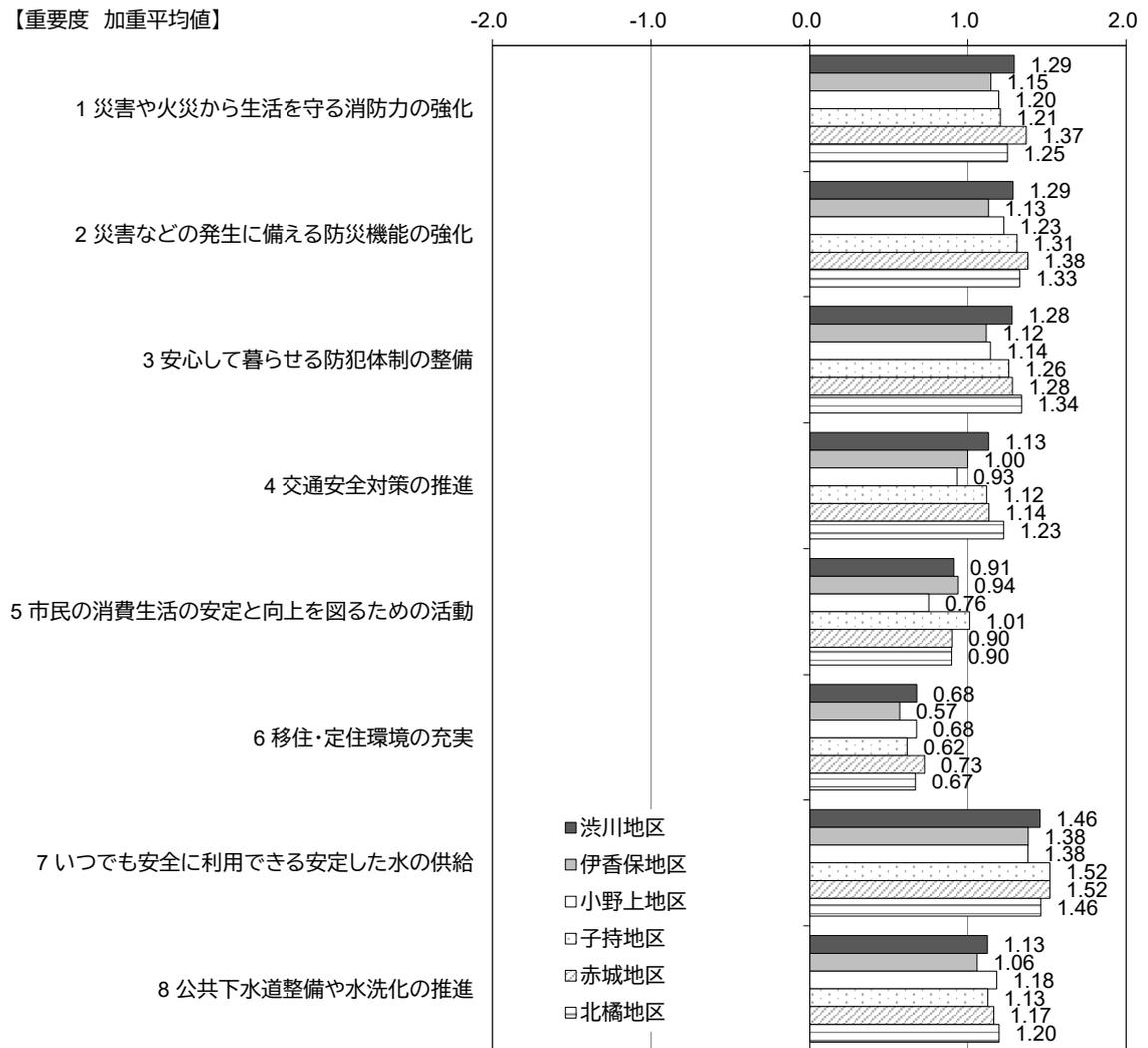
資料

1. 48項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）

(1) 安全・安心、暮らし分野

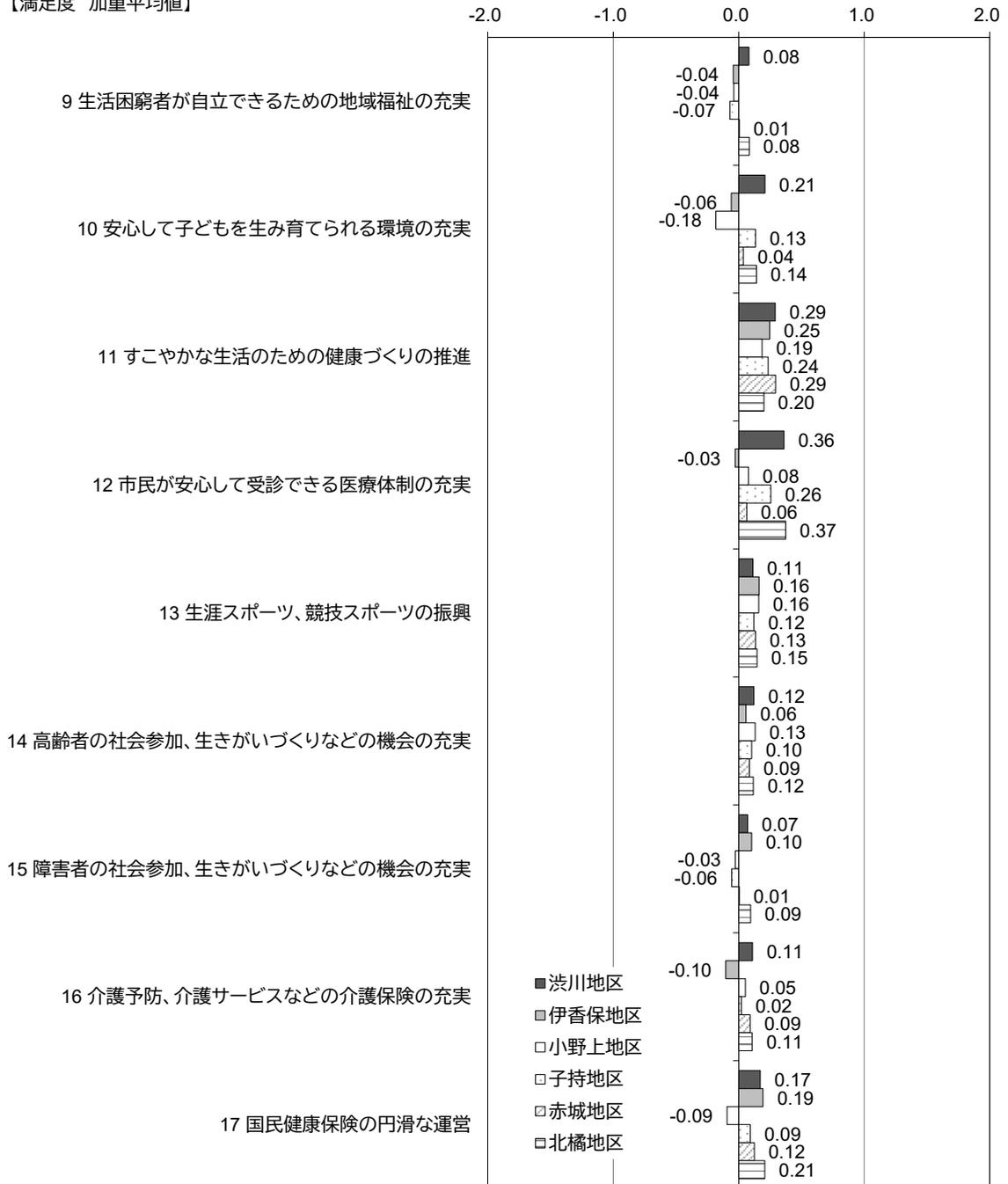


【重要度 加重平均値】

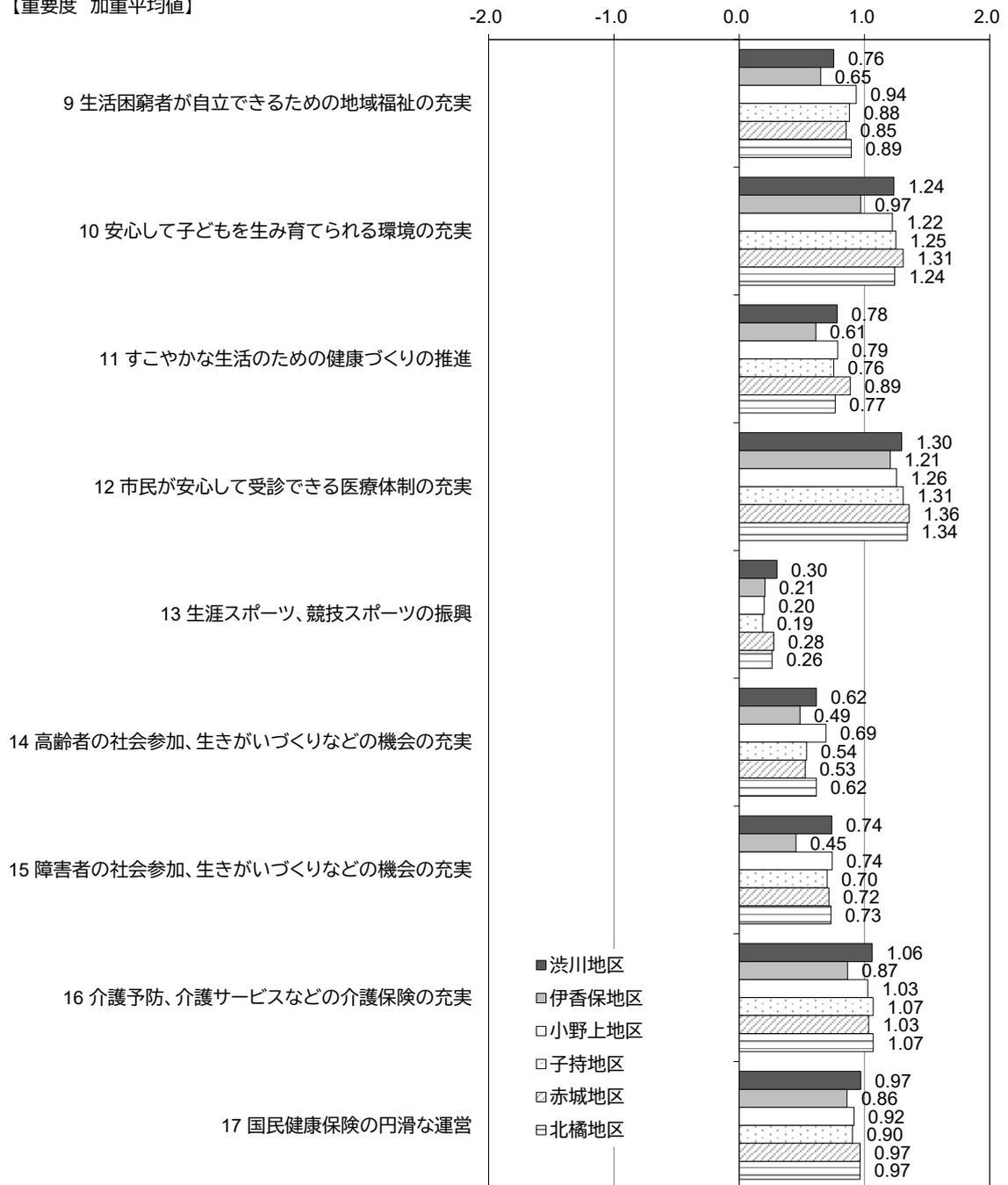


(2) 健康、福祉、スポーツ分野

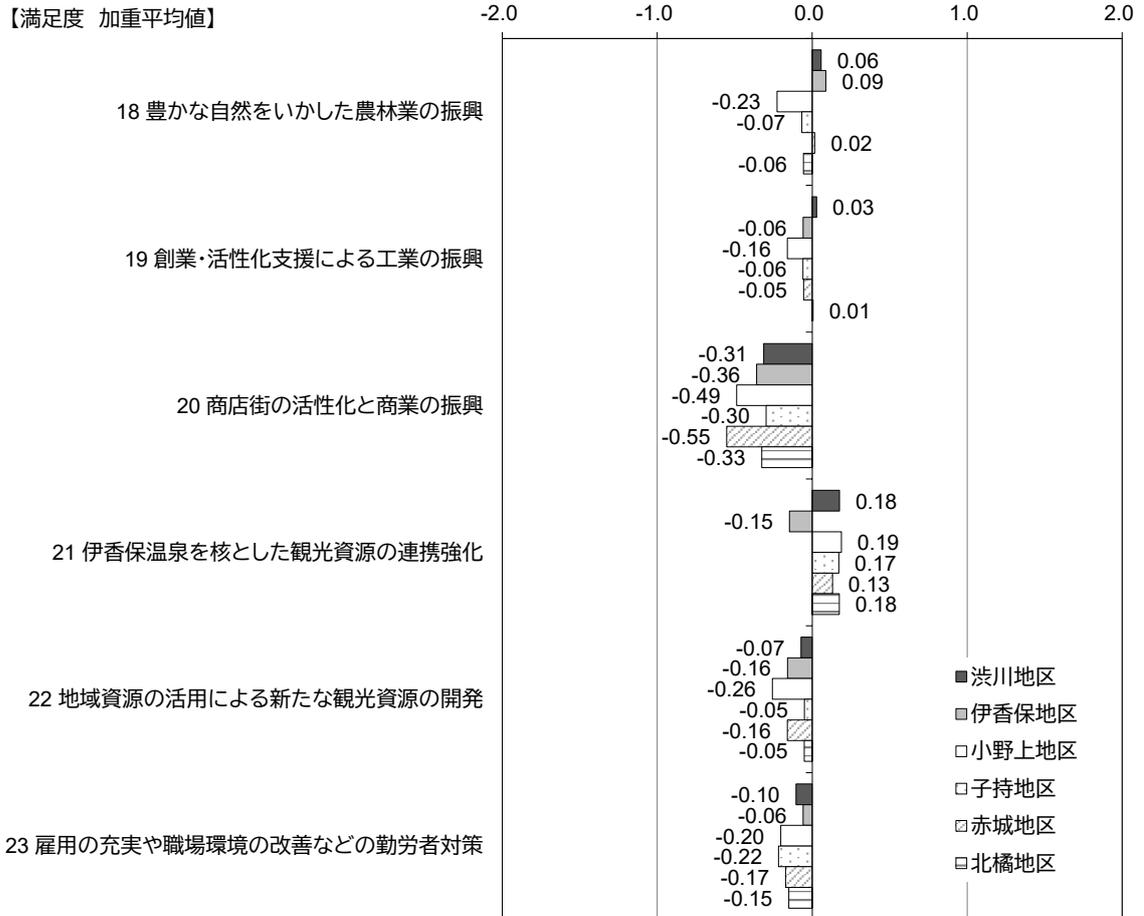
【満足度 加重平均値】



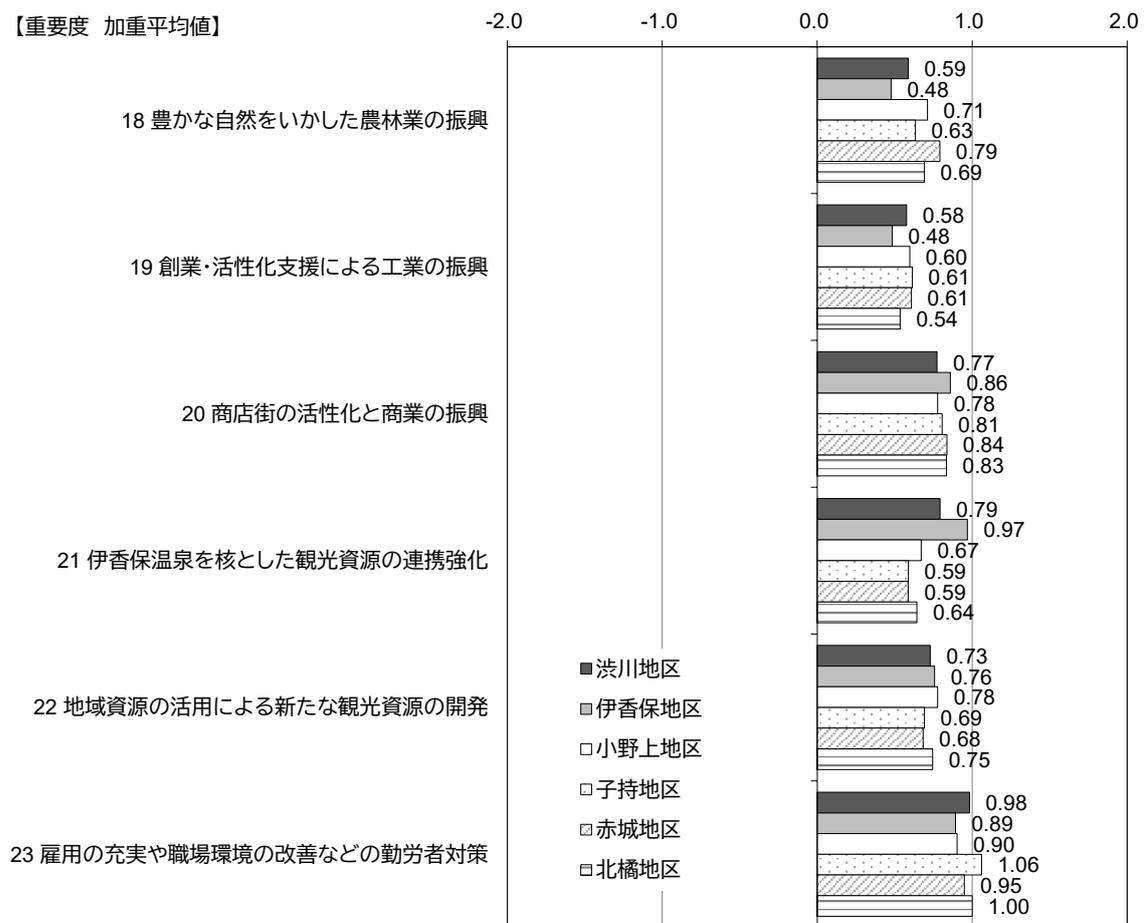
【重要度 加重平均値】



(3) 産業分野

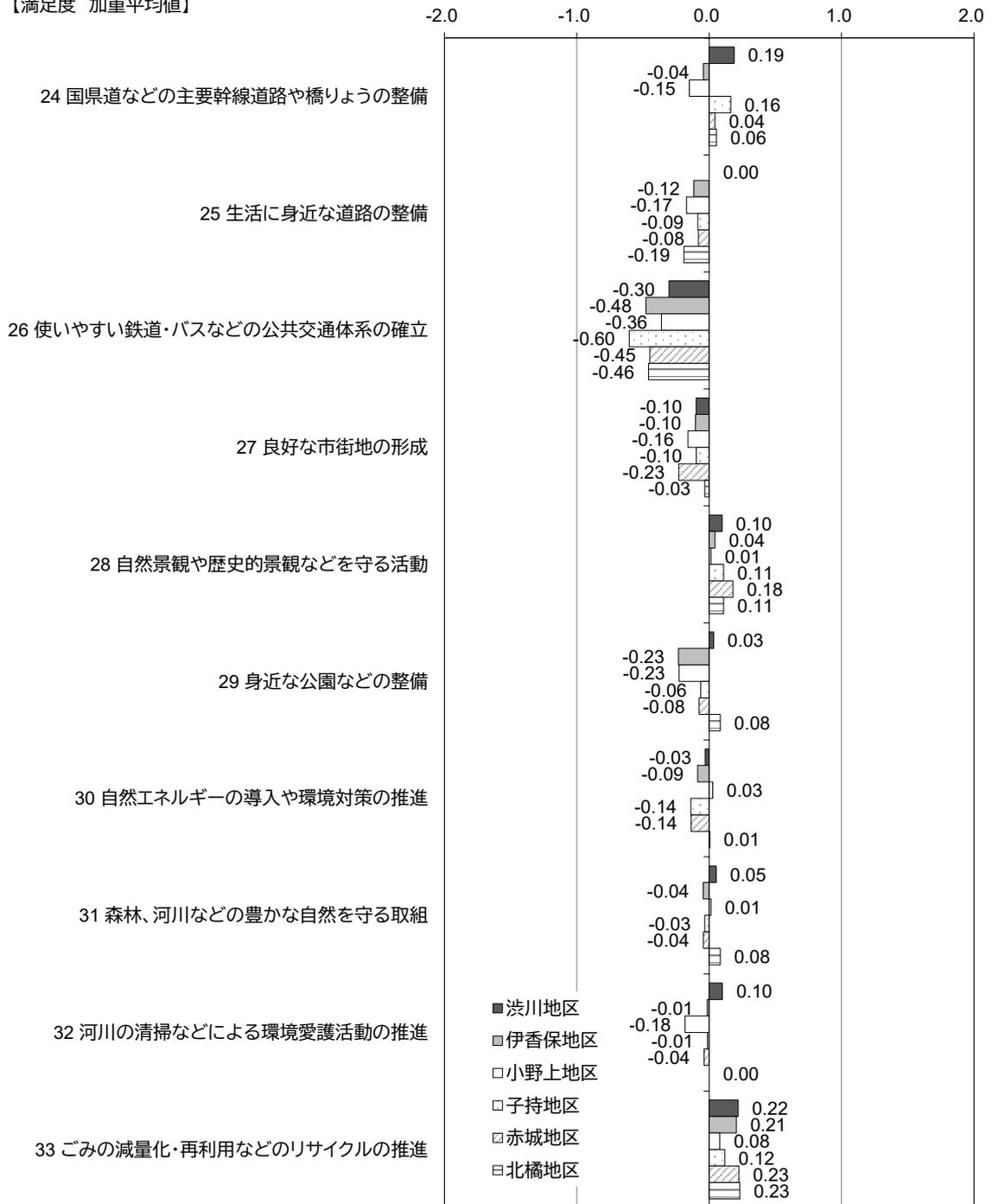


【重要度 加重平均値】

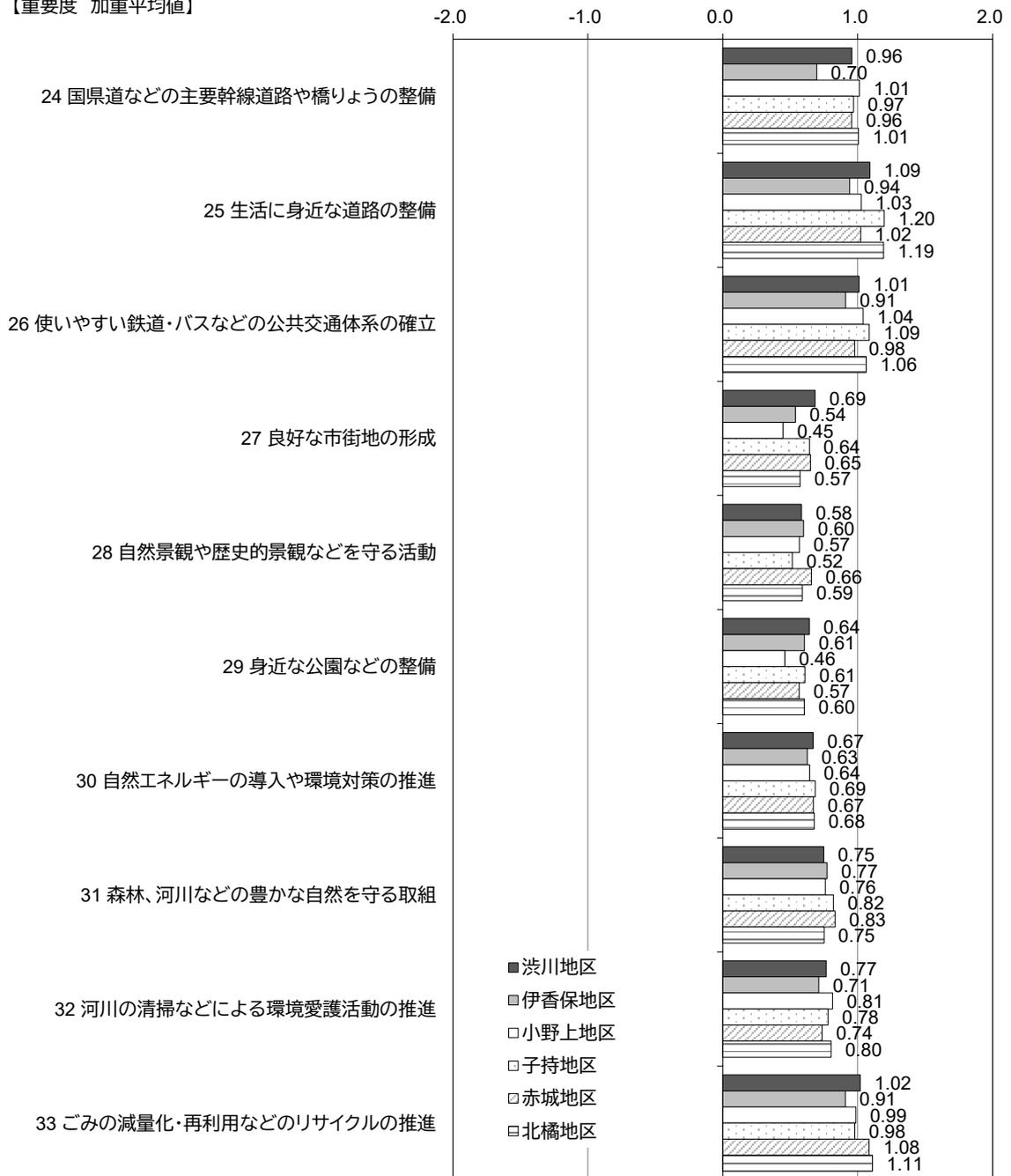


(4) 都市基盤・自然環境分野

【満足度 加重平均値】

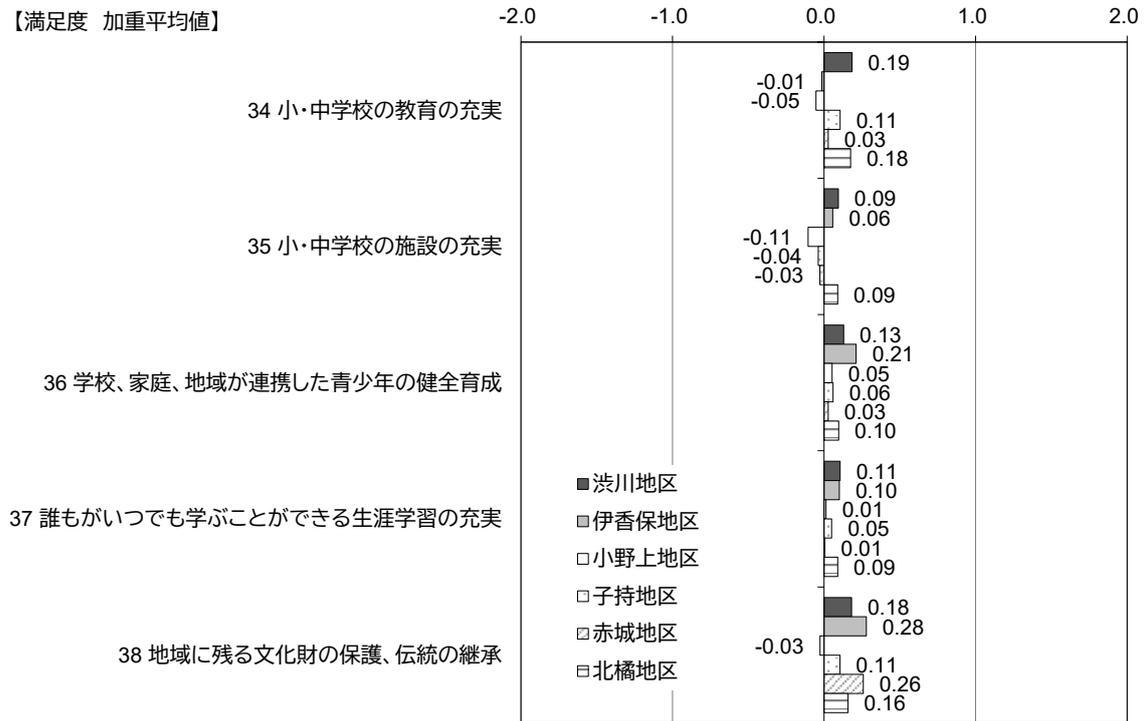


【重要度 加重平均値】

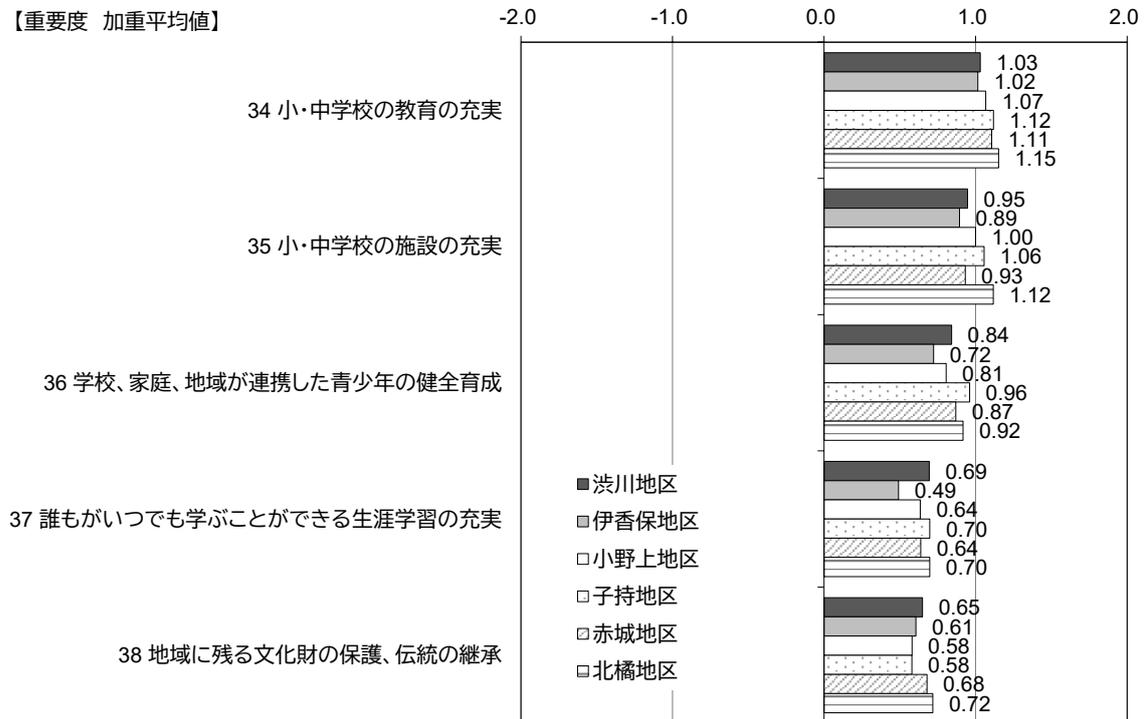


(5) 教育、文化分野

【満足度 加重平均値】

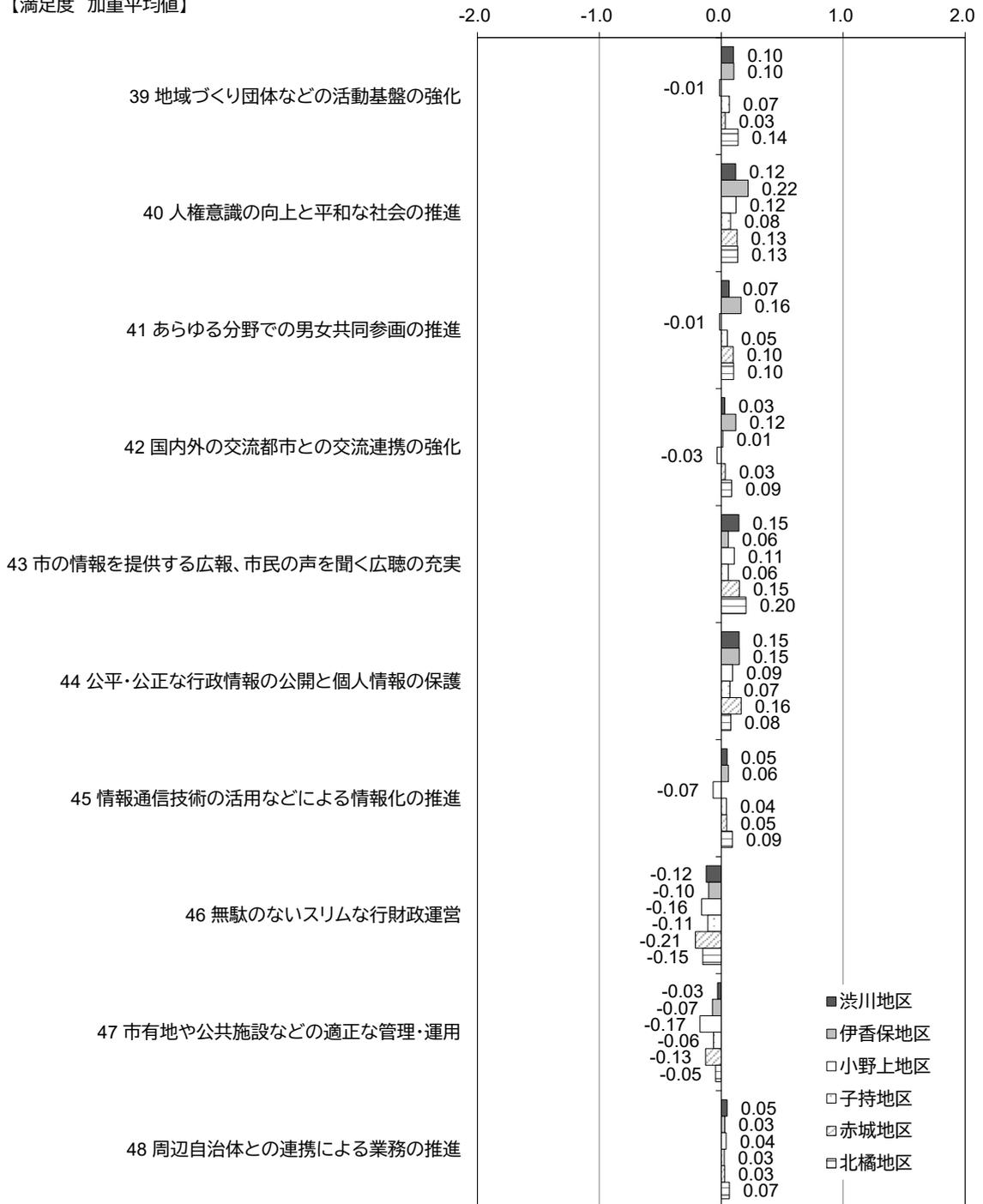


【重要度 加重平均値】

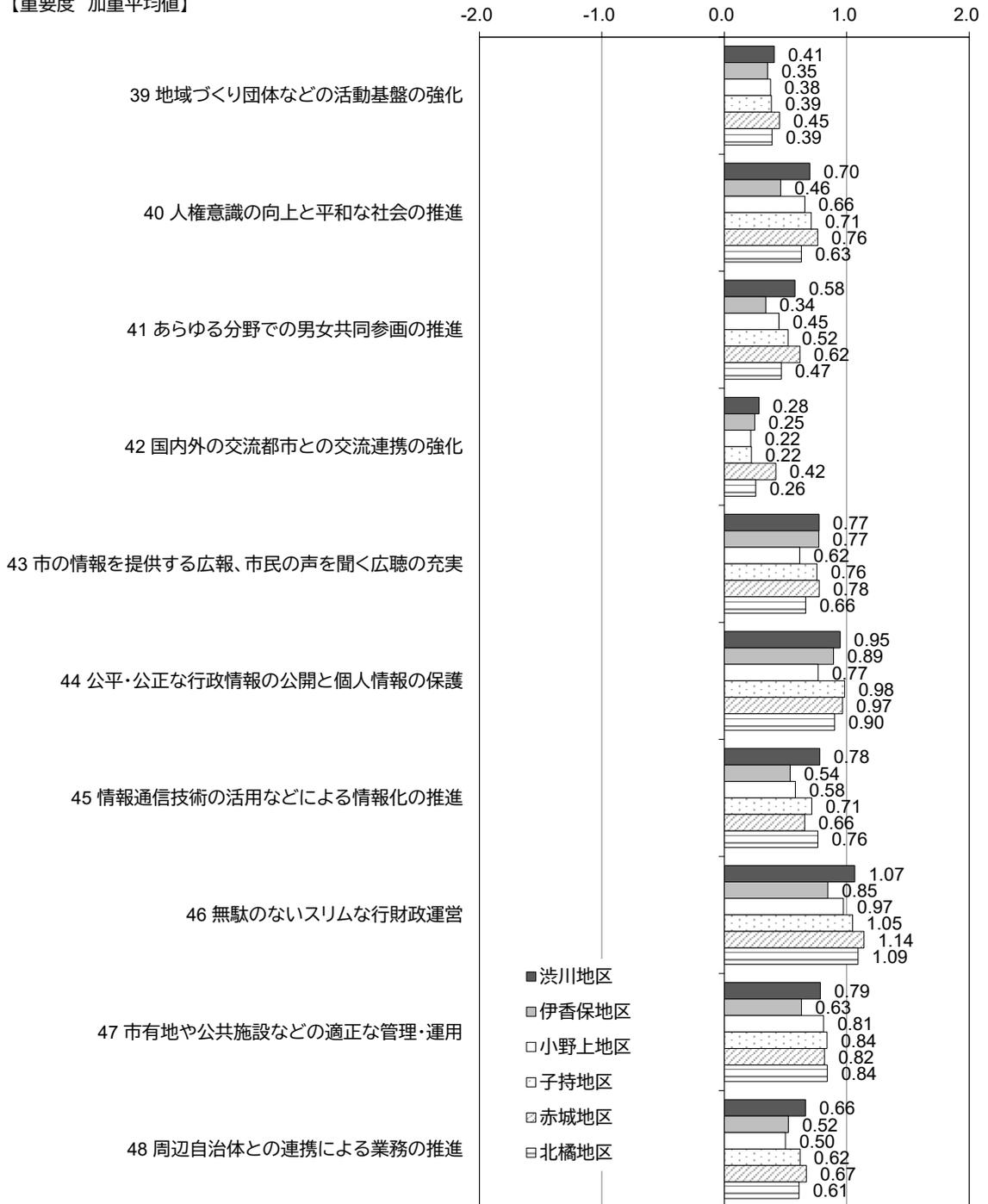


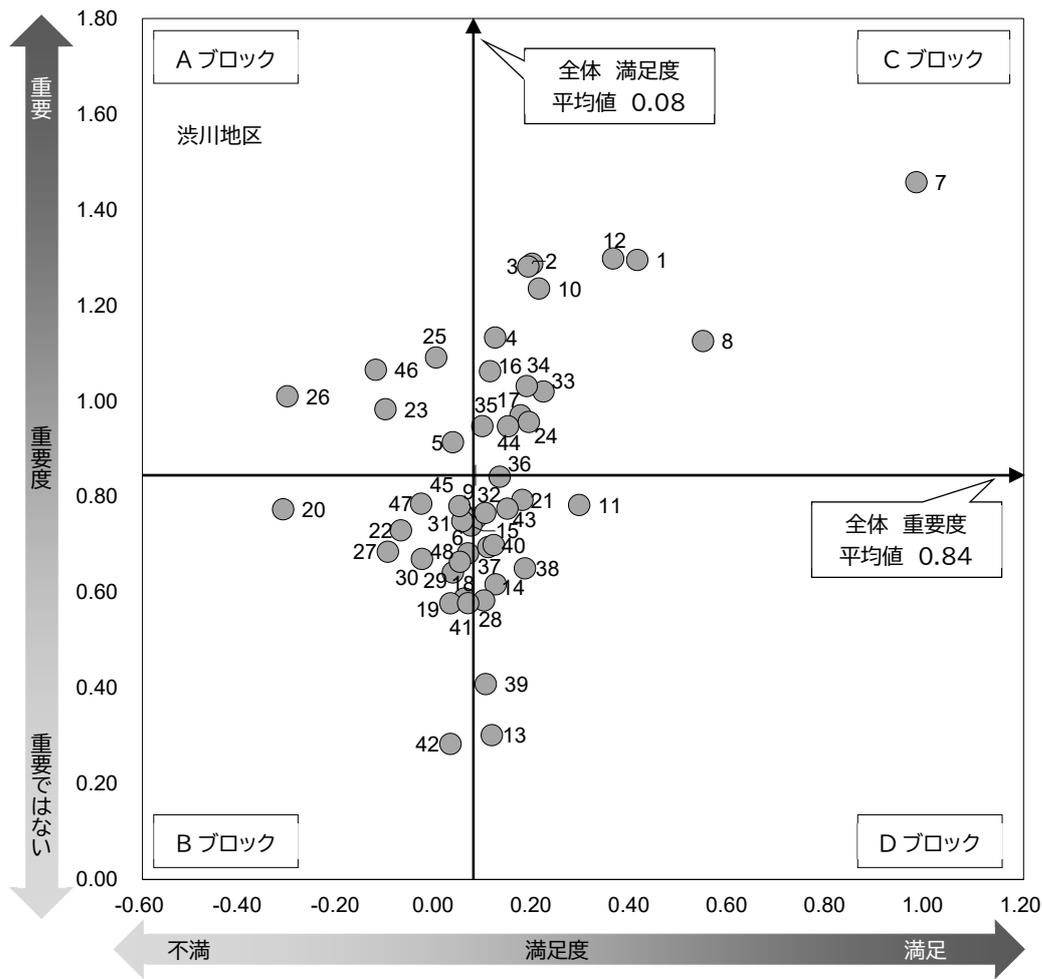
(6) 自治、協働、行財政分野

【満足度 加重平均値】



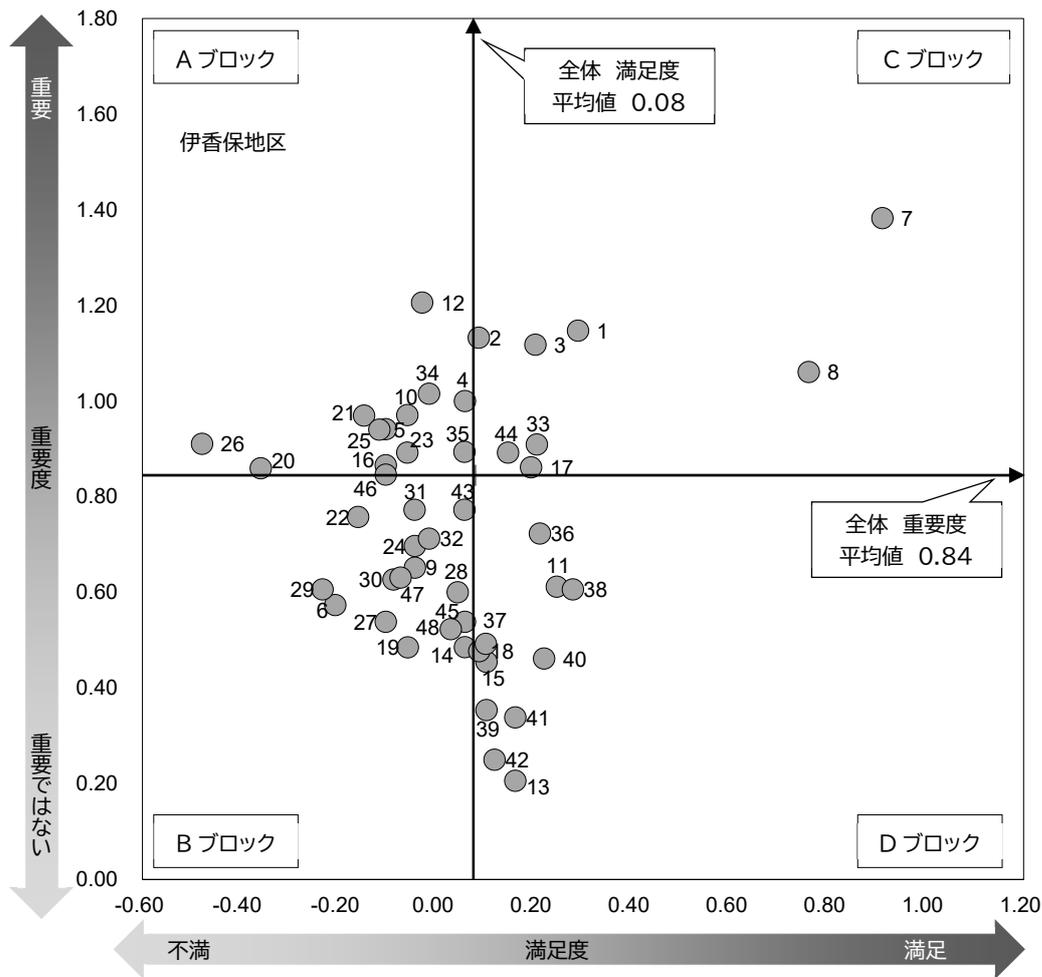
【重要度 加重平均値】





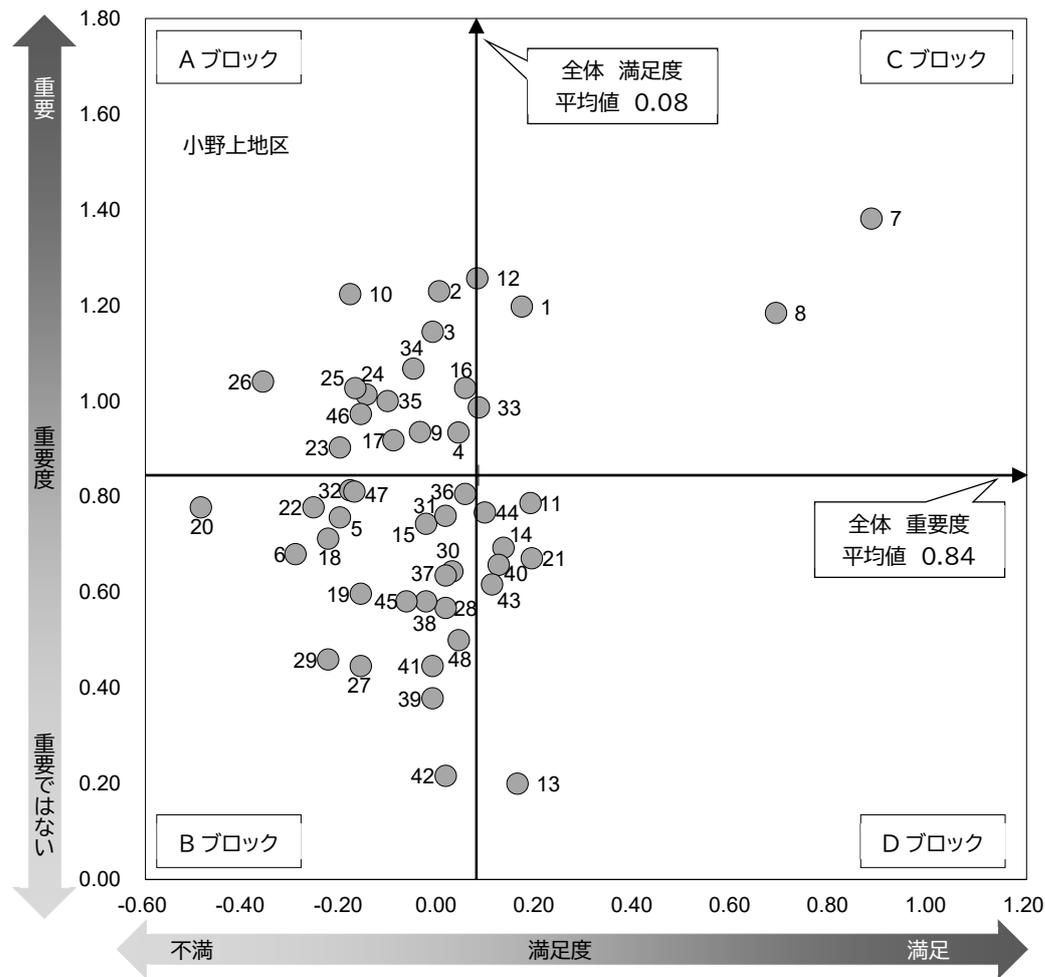
澁川地区	満足度平均値 0.11	重要度平均値 0.85
------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



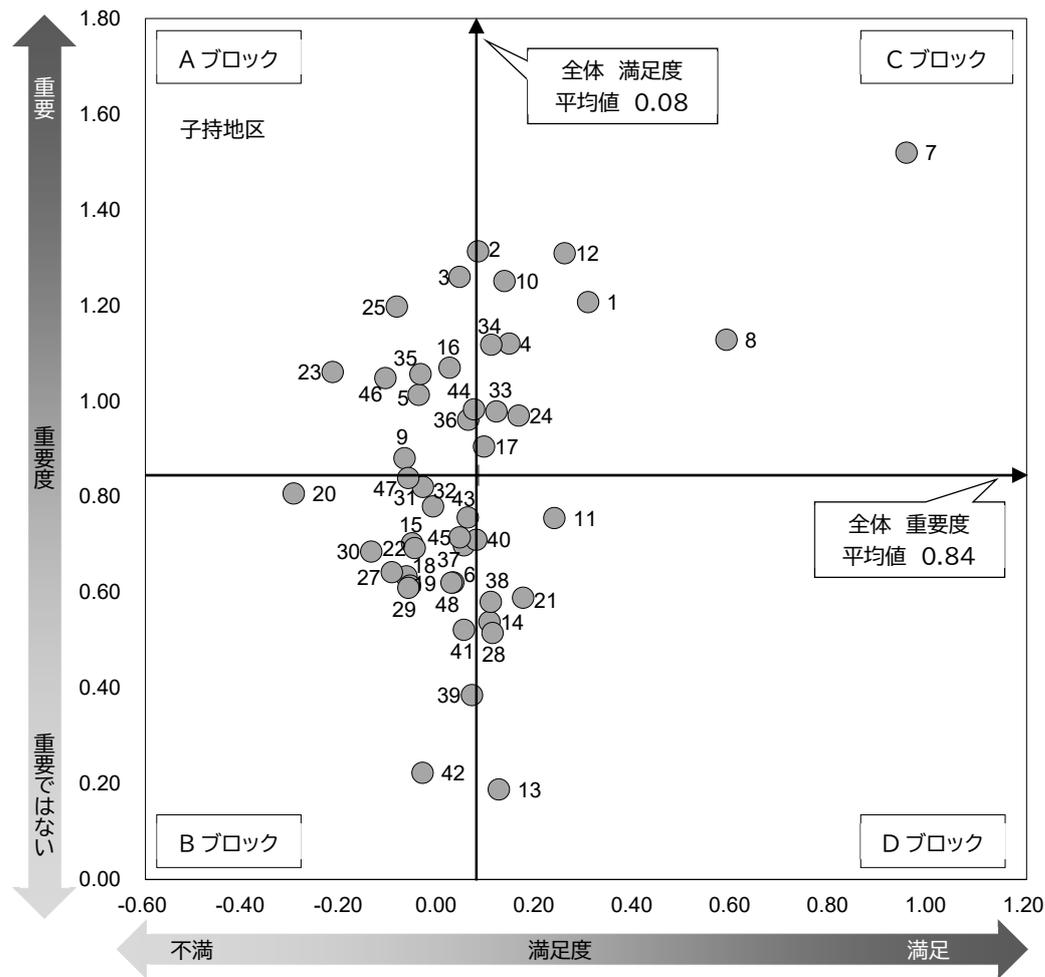
伊香保地区	満足度平均値 0.05	重要度平均値 0.74
-------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



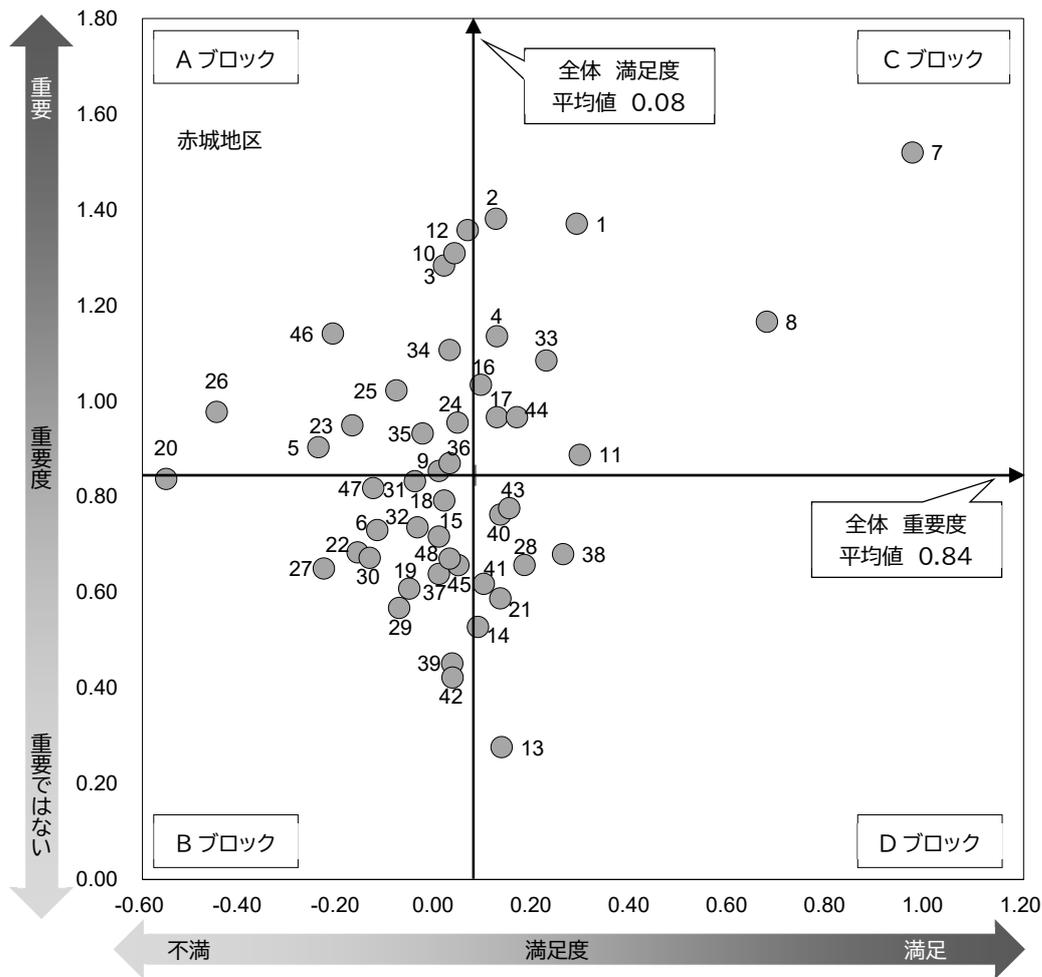
小野上地区	満足度平均値 -0.02	重要度平均値 0.80
-------	--------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



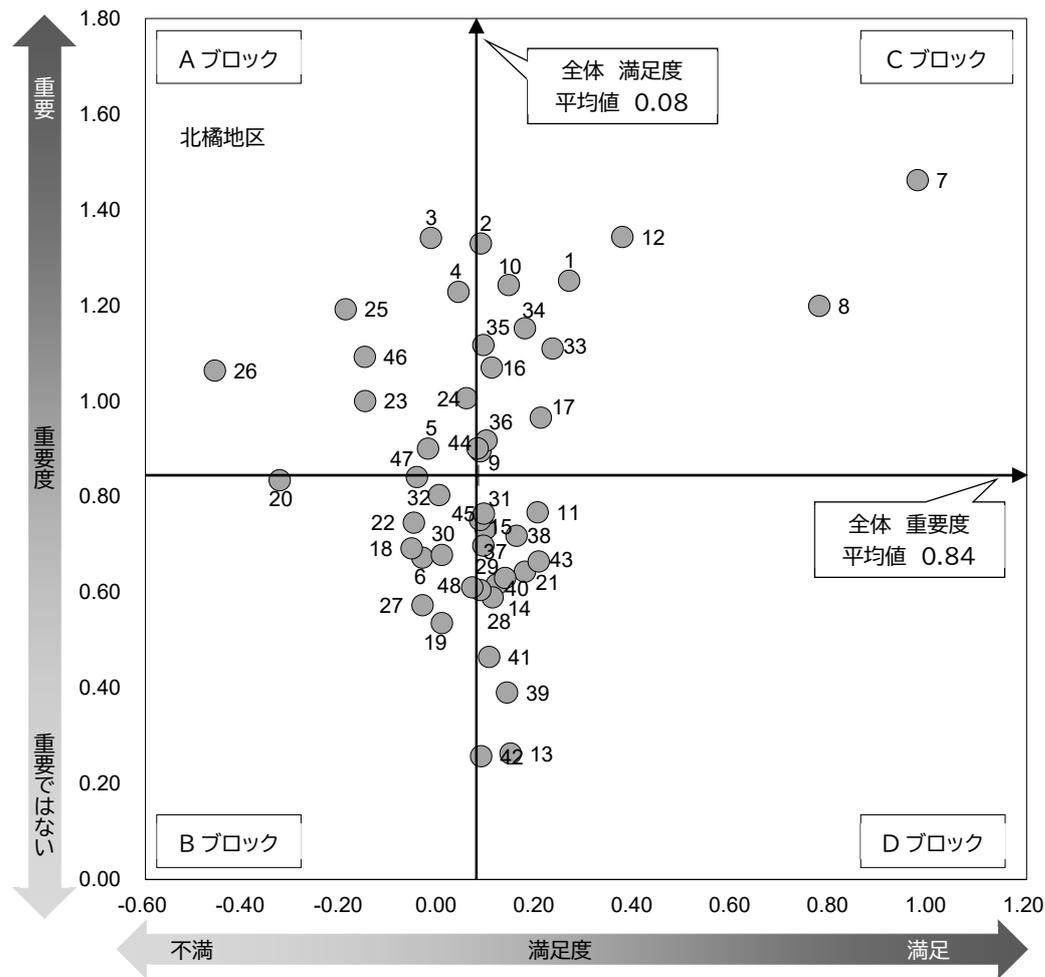
子持地区	満足度平均値 0.05	重要度平均値 0.85
------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



赤城地区	満足度平均値 0.04	重要度平均値 0.87
------	-------------	-------------

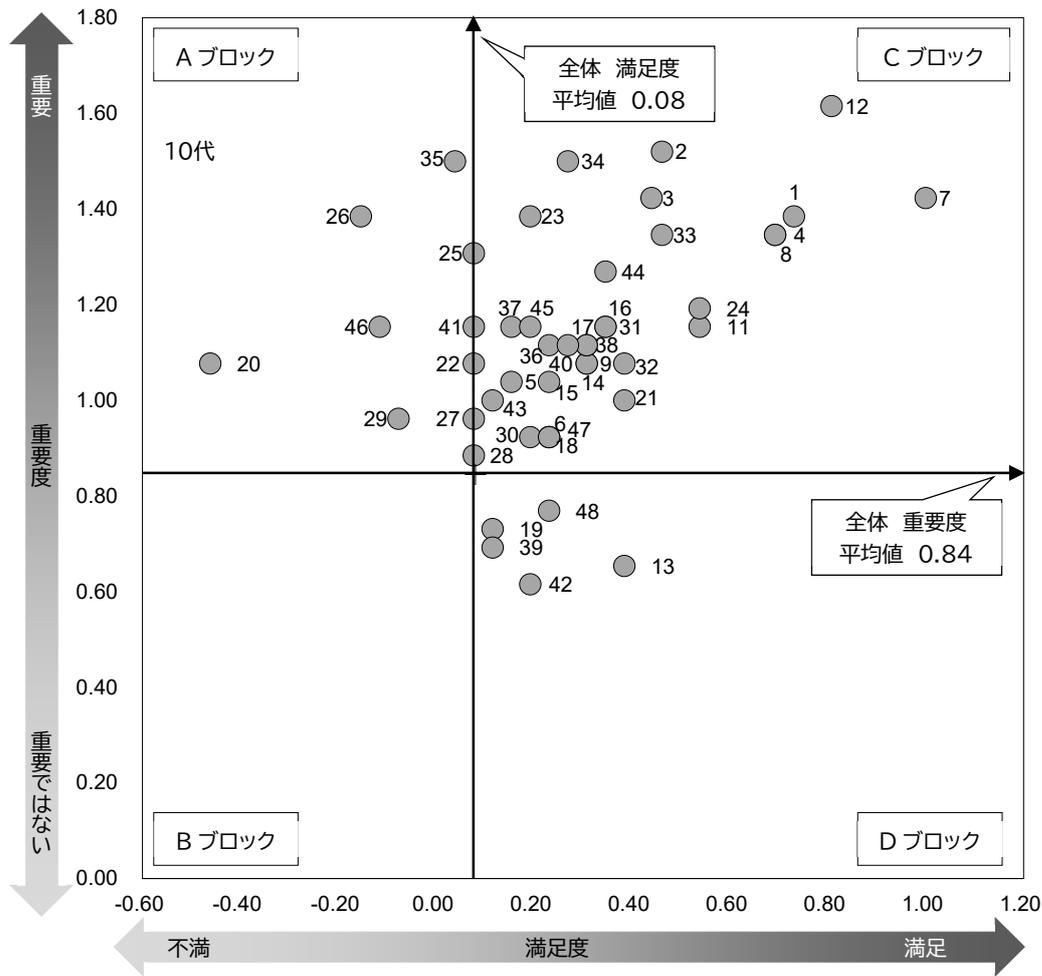
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生ま育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



北橋地区	満足度平均値 0.09	重要度平均値 0.86
------	-------------	-------------

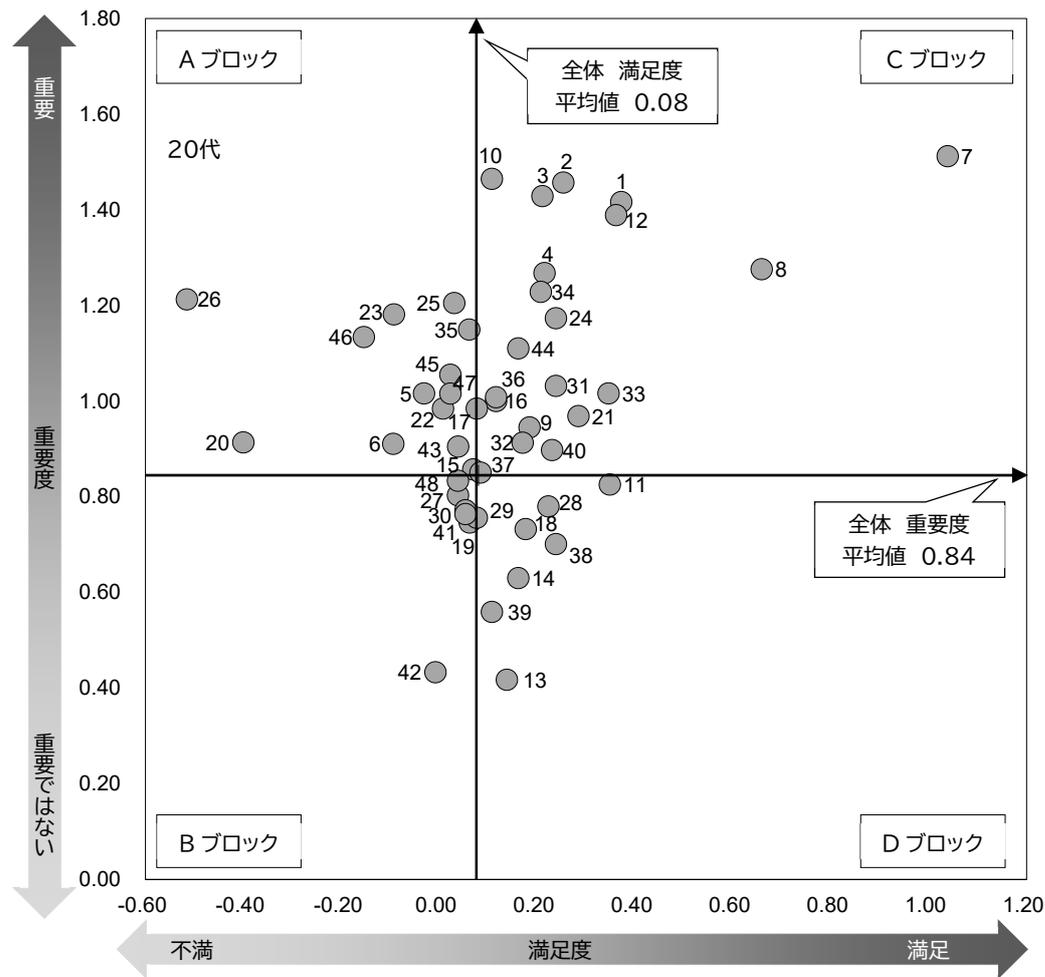
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

2. 48項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）



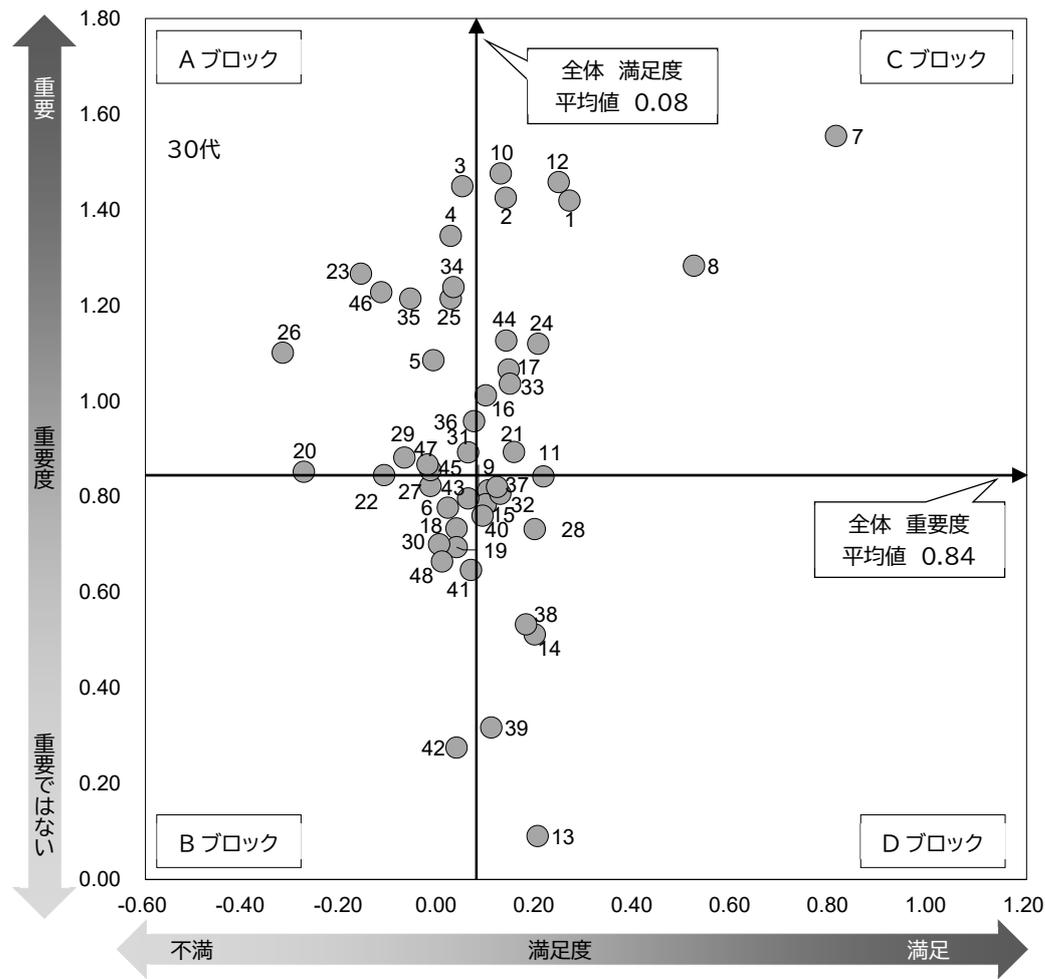
10代	満足度平均値 0.27	重要度平均値 1.14
-----	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良い市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



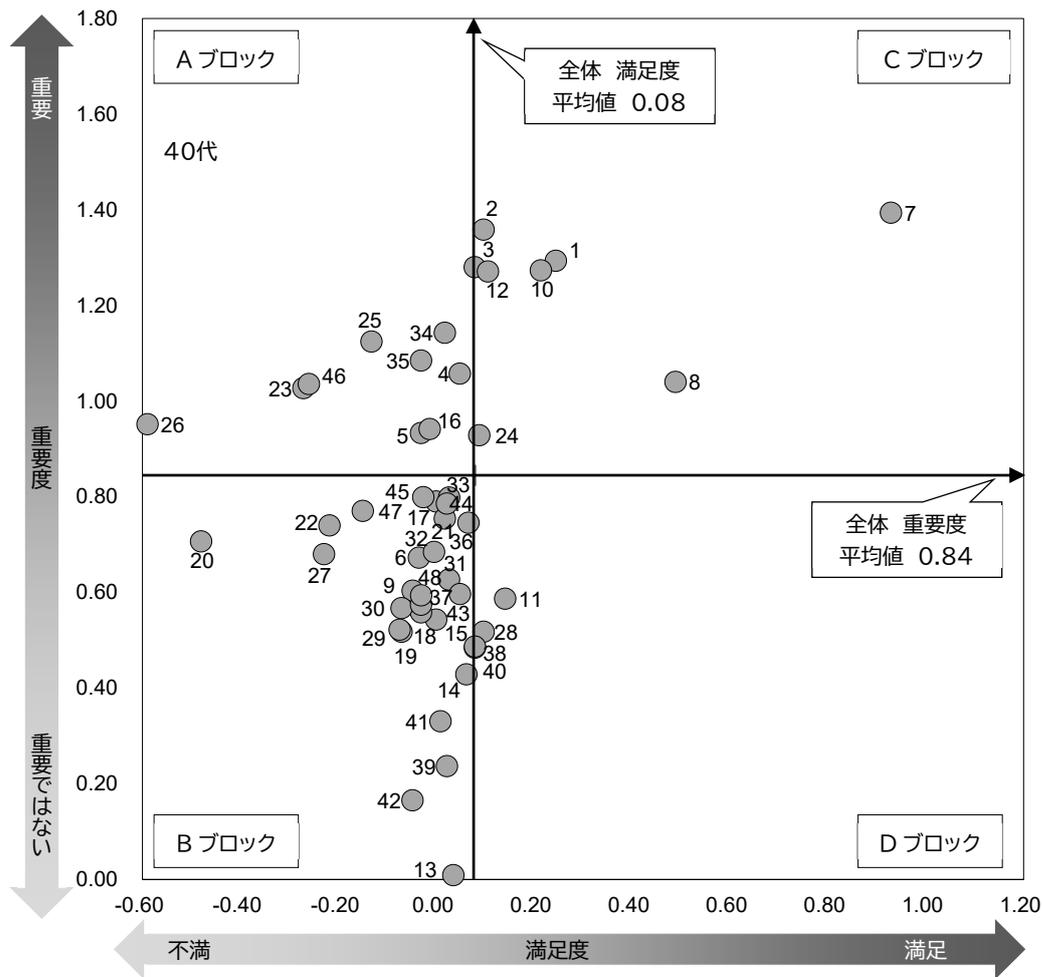
20代	満足度平均値 0.13	重要度平均値 0.99
-----	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



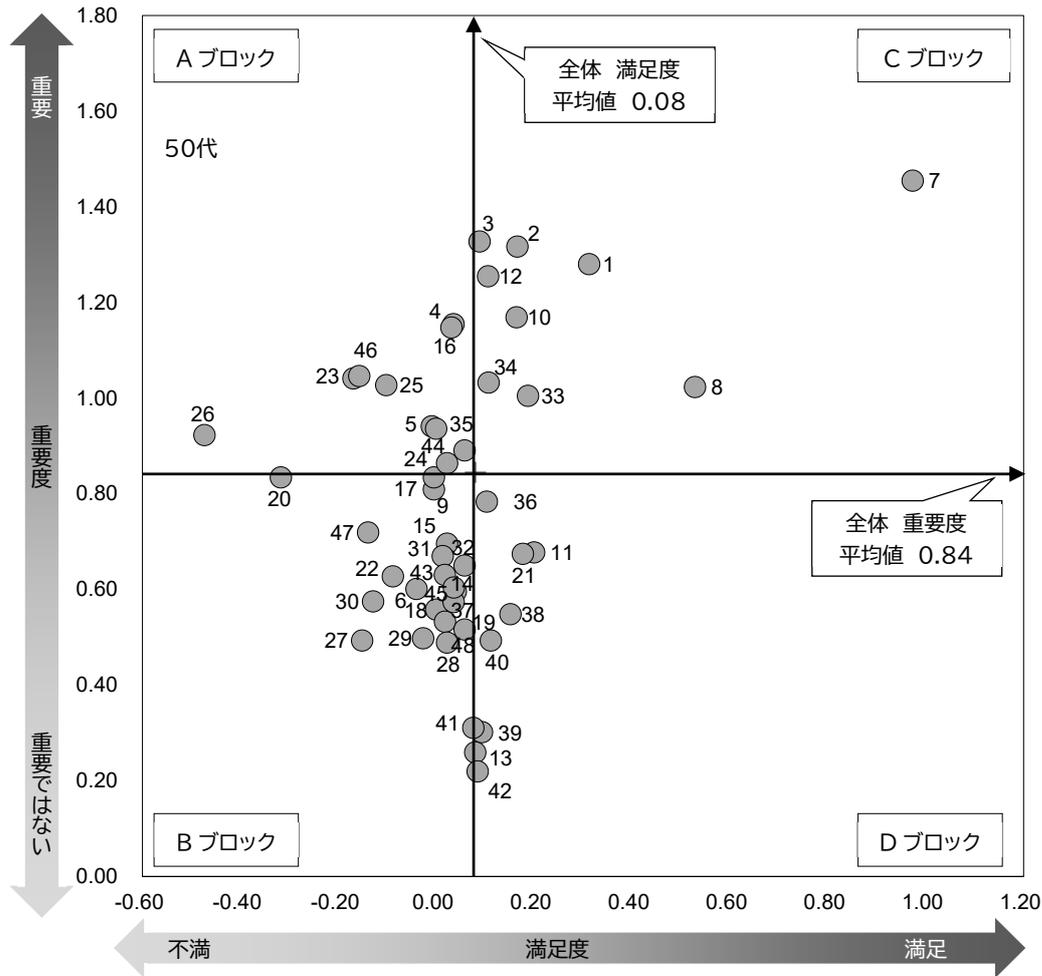
30代	満足度平均値 0.08	重要度平均値 0.94
-----	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



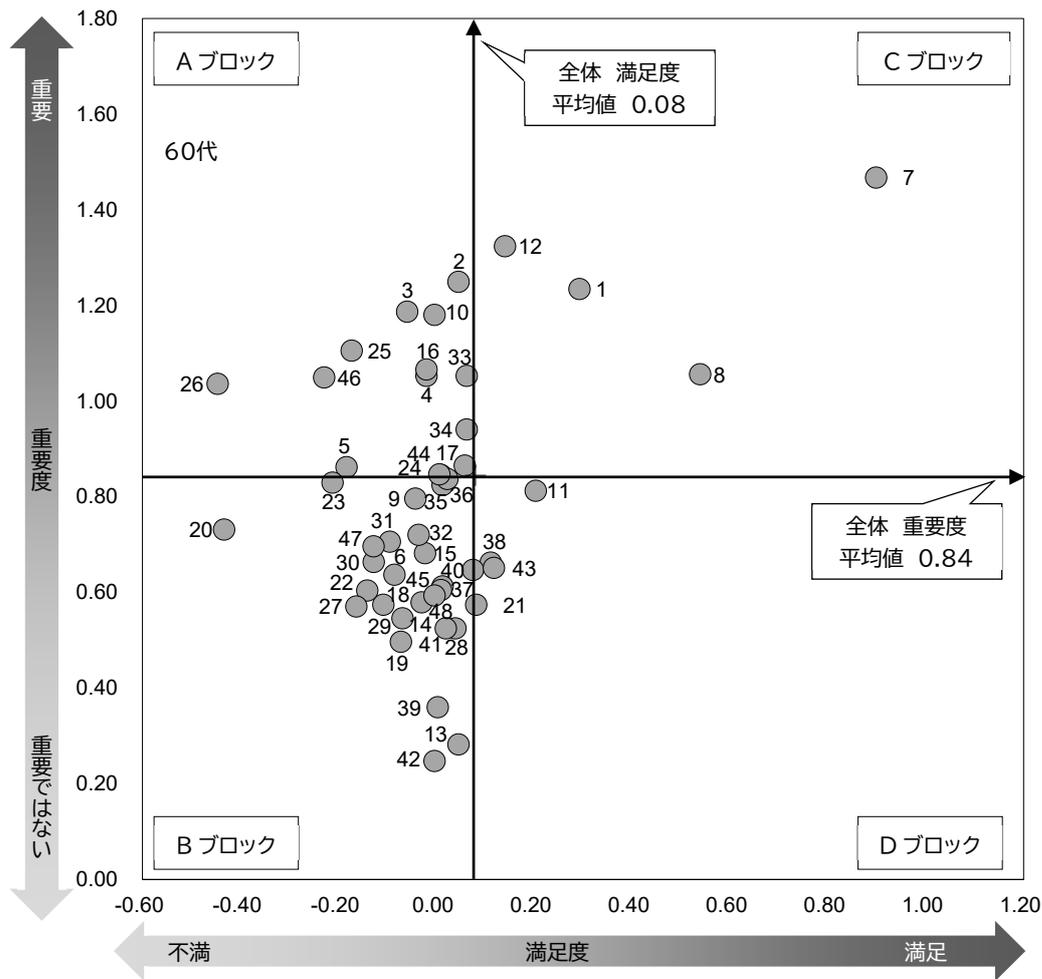
40代	満足度平均値 0.00	重要度平均値 0.77
-----	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



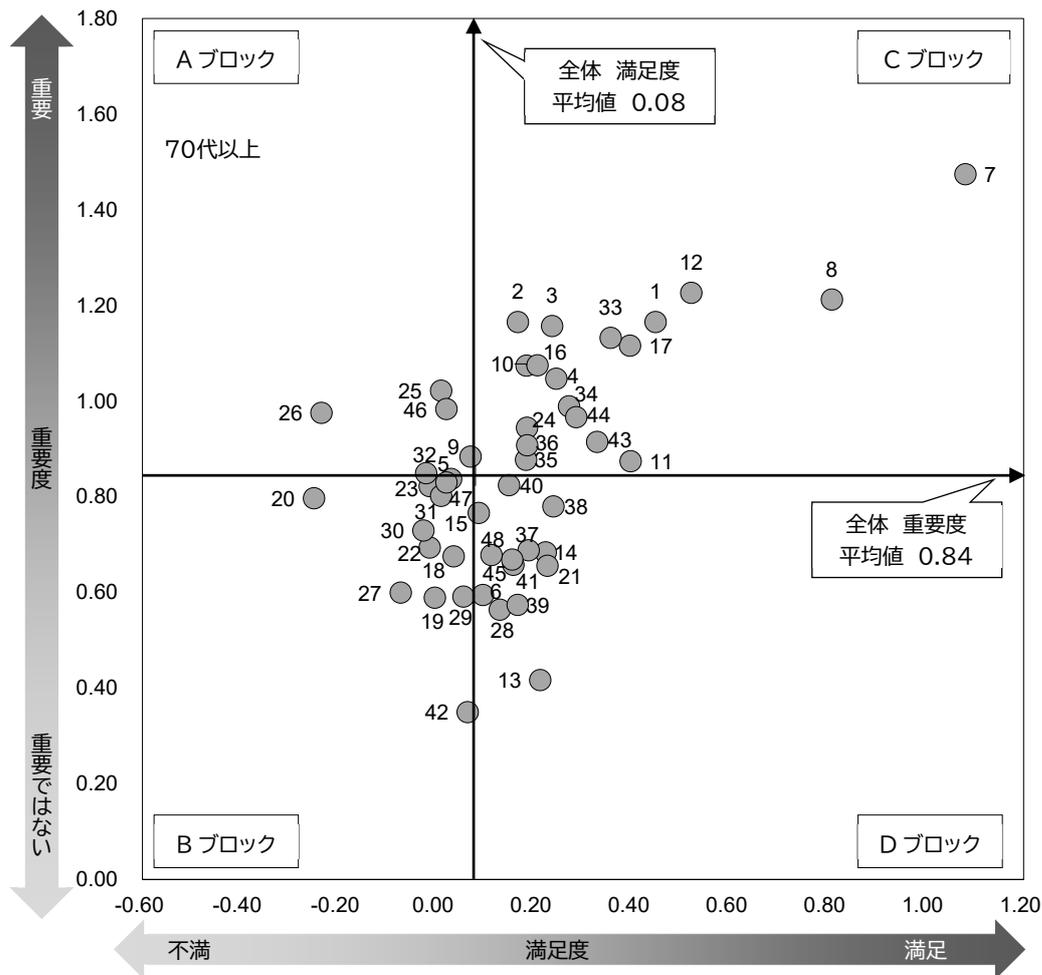
50代	満足度平均値 0.05	重要度平均値 0.78
-----	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



60代	満足度平均値 0.00	重要度平均値 0.79
-----	-------------	-------------

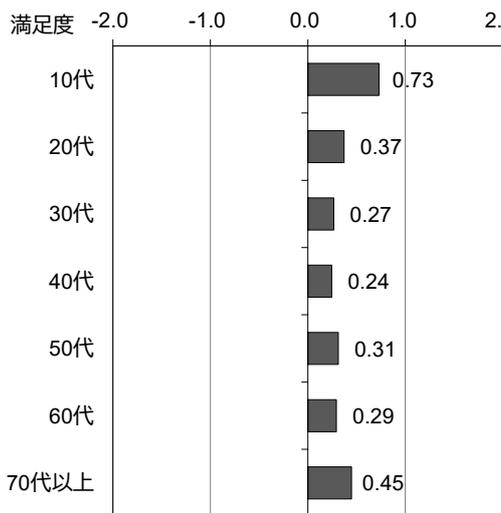
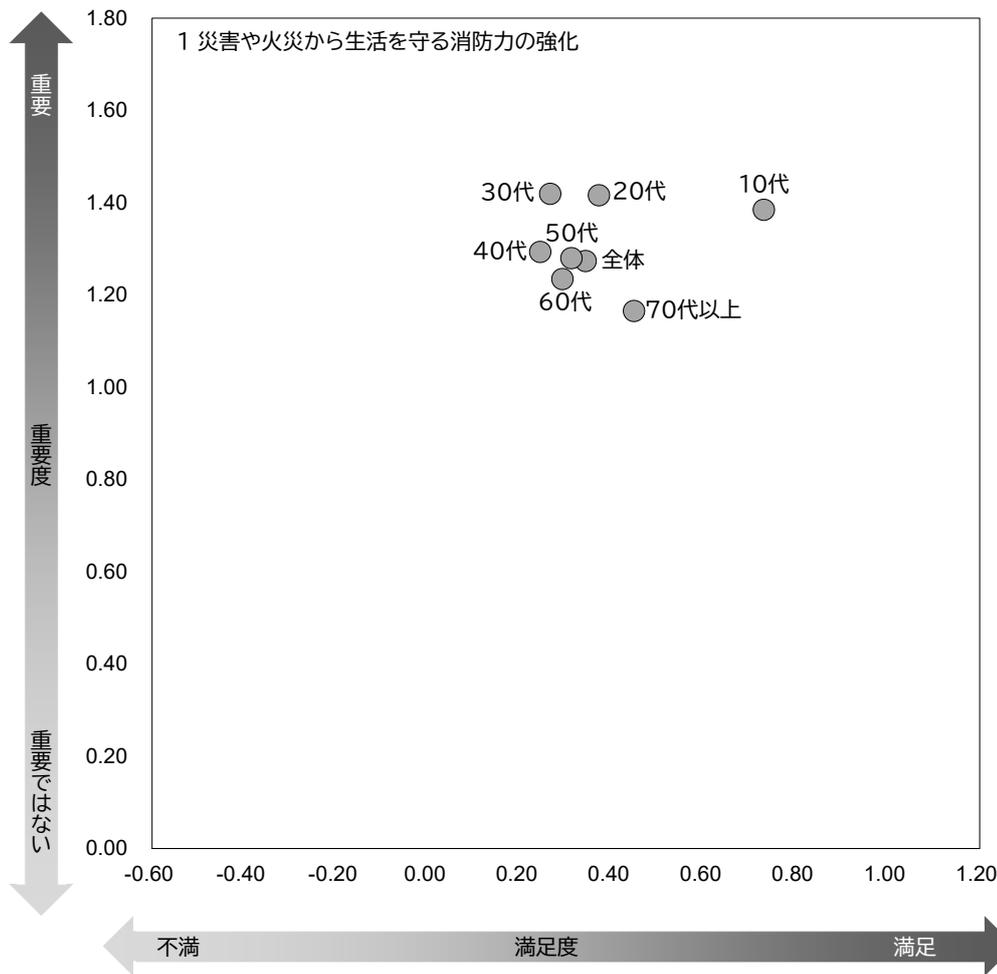
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



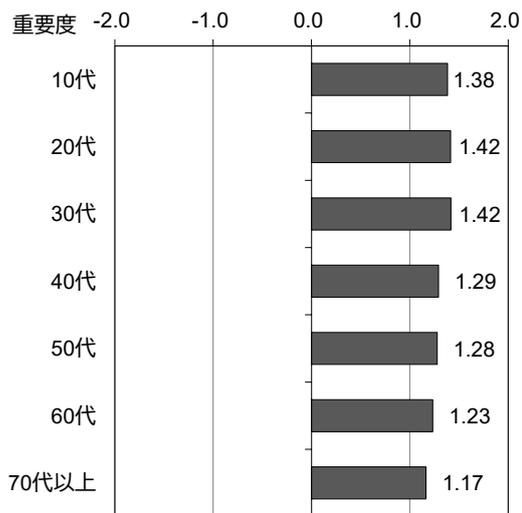
70代以上	満足度平均値 0.17	重要度平均値 0.85
-------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

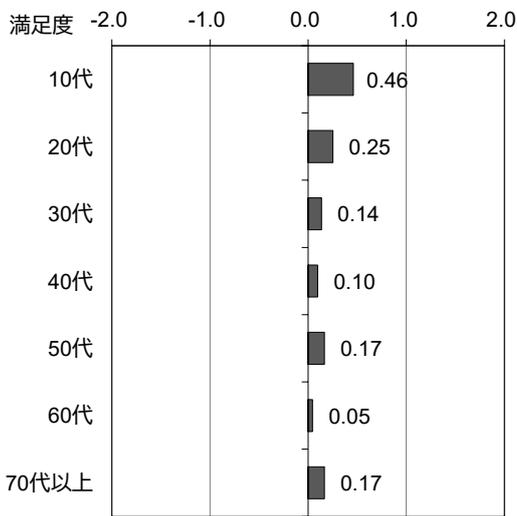
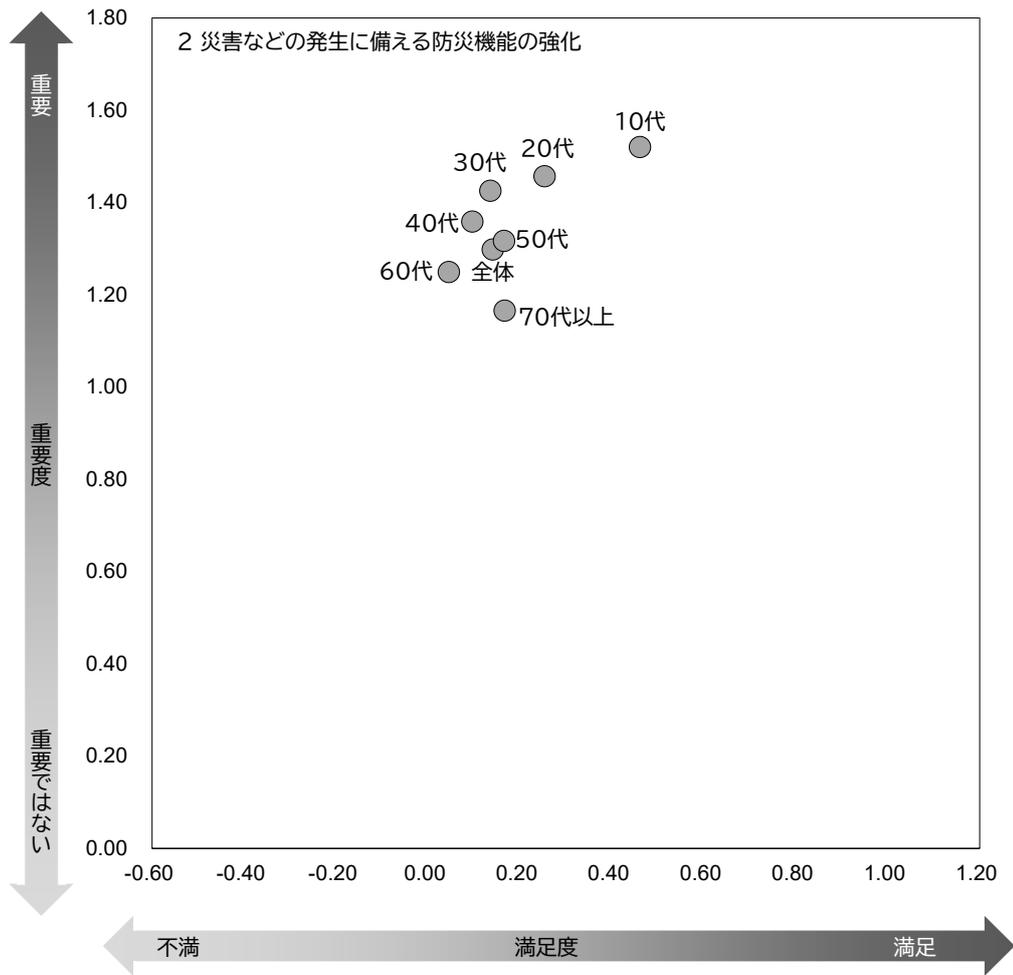
3. 48項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）



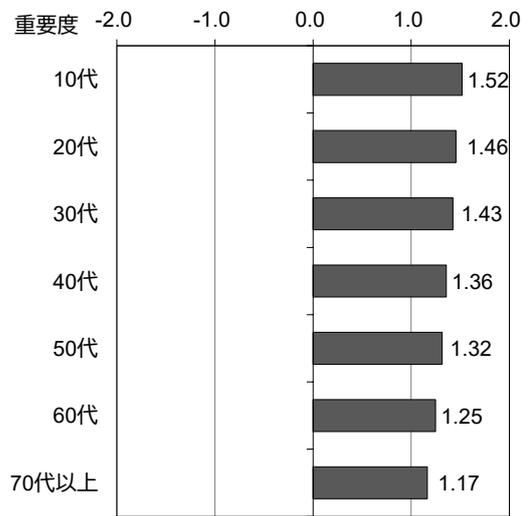
■ 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化



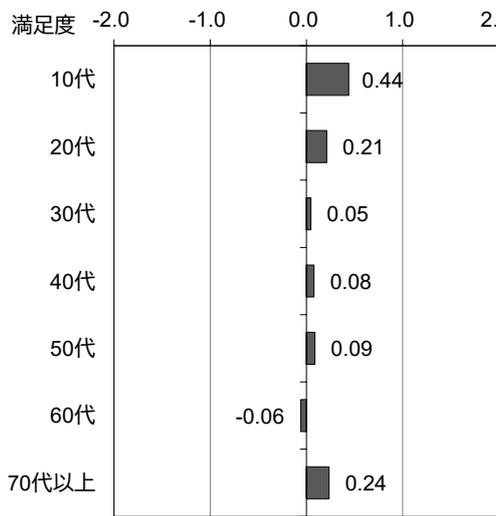
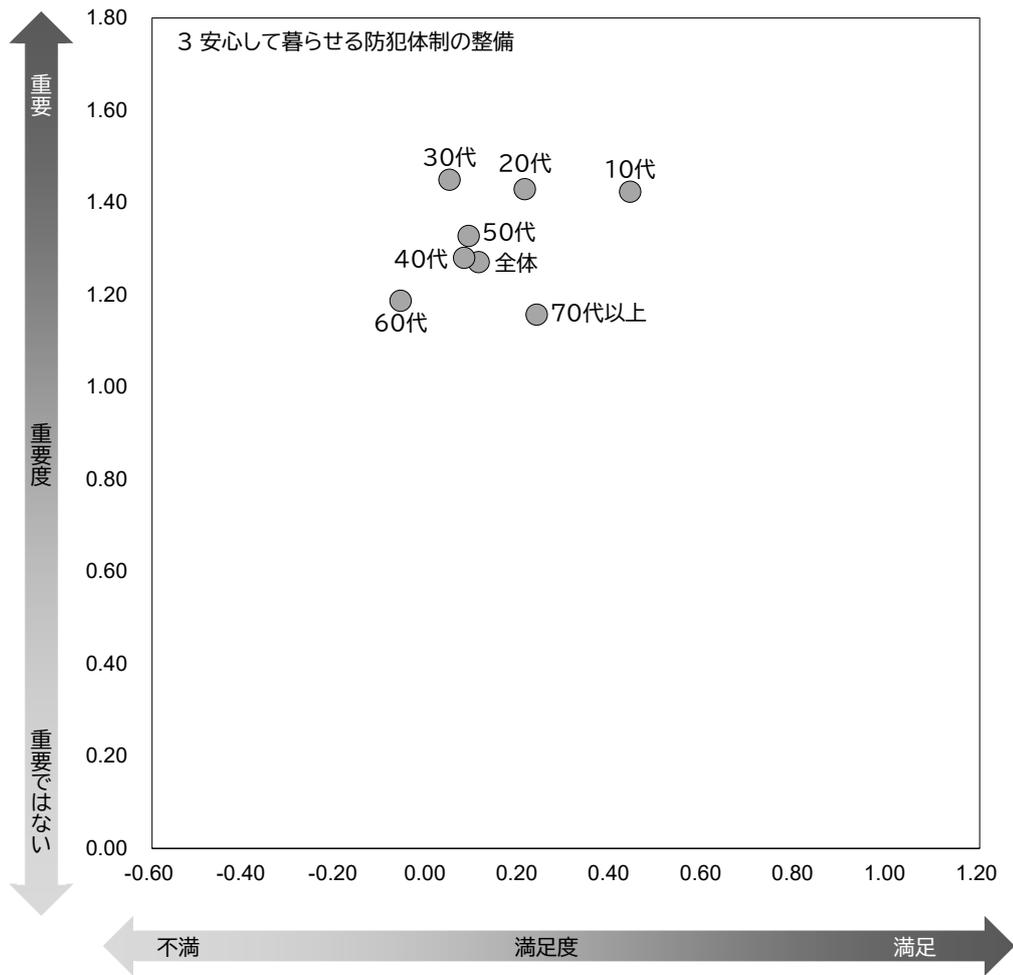
■ 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化



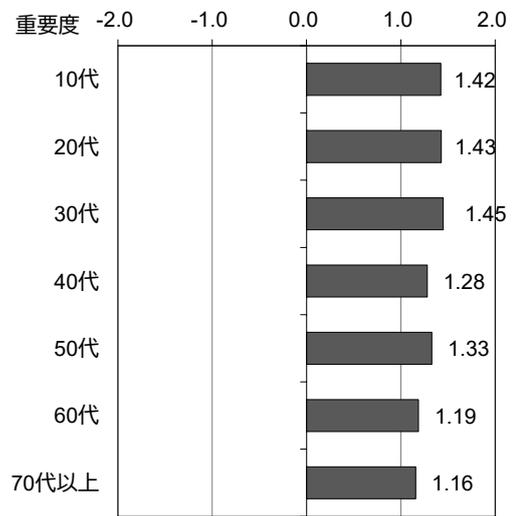
■ 2 災害などの発生に備える防災機能の強化



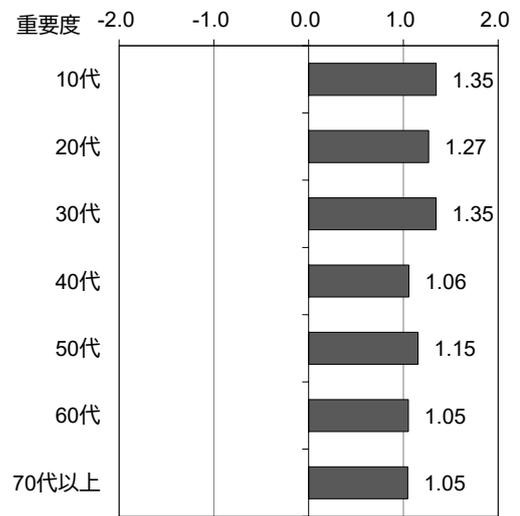
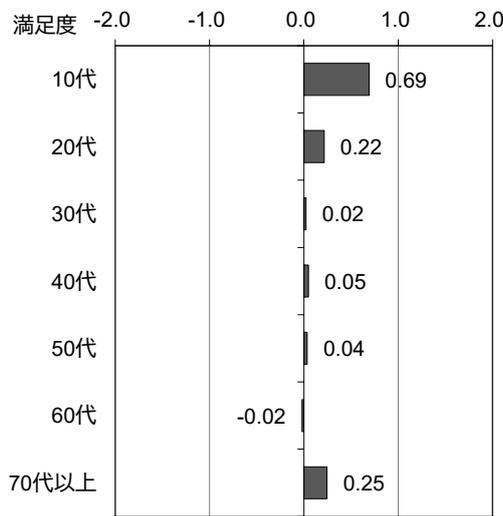
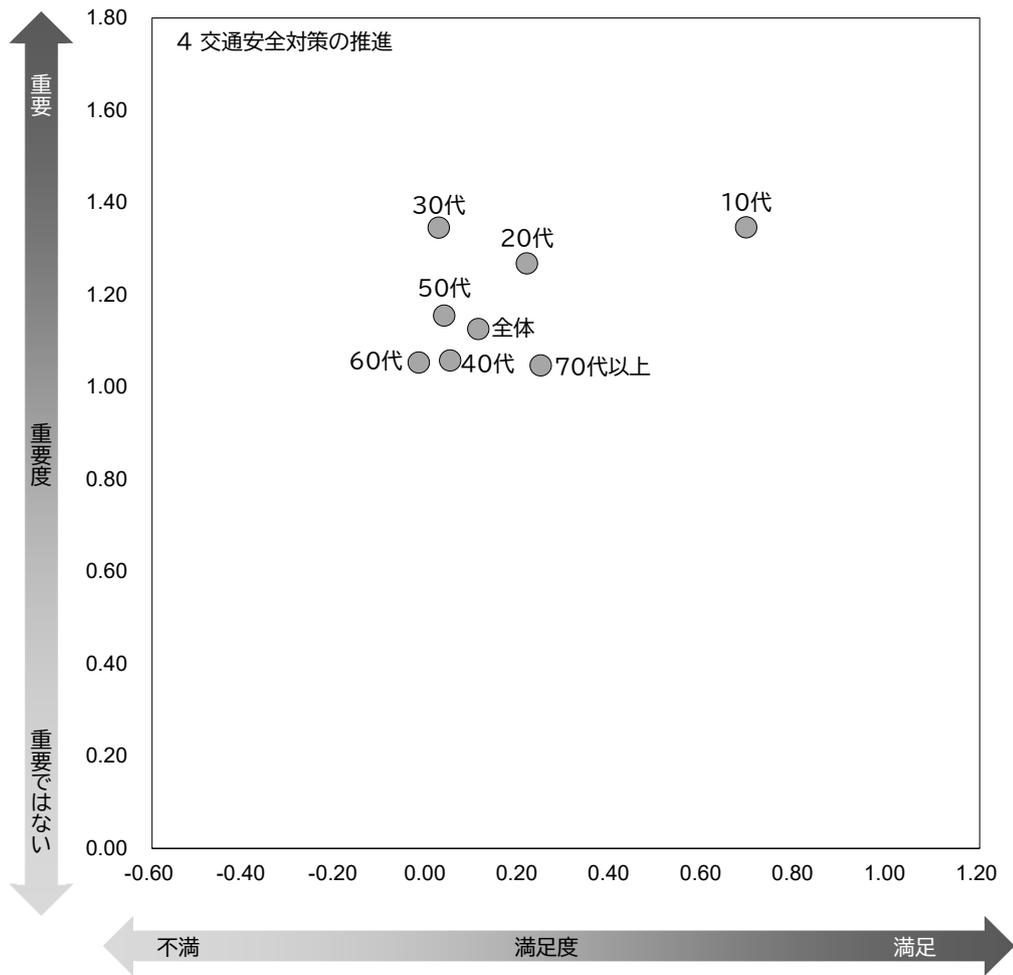
■ 2 災害などの発生に備える防災機能の強化



■3 安心して暮らせる防犯体制の整備

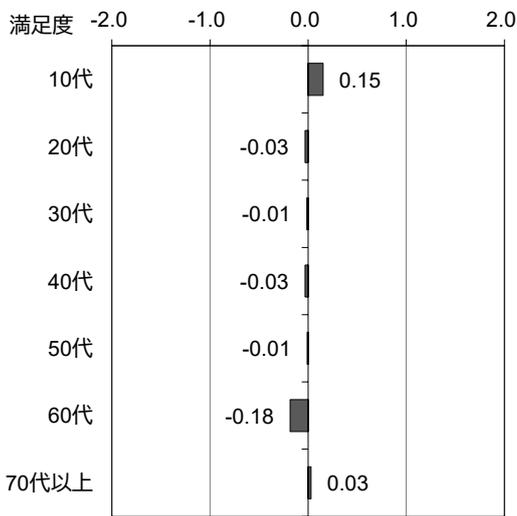
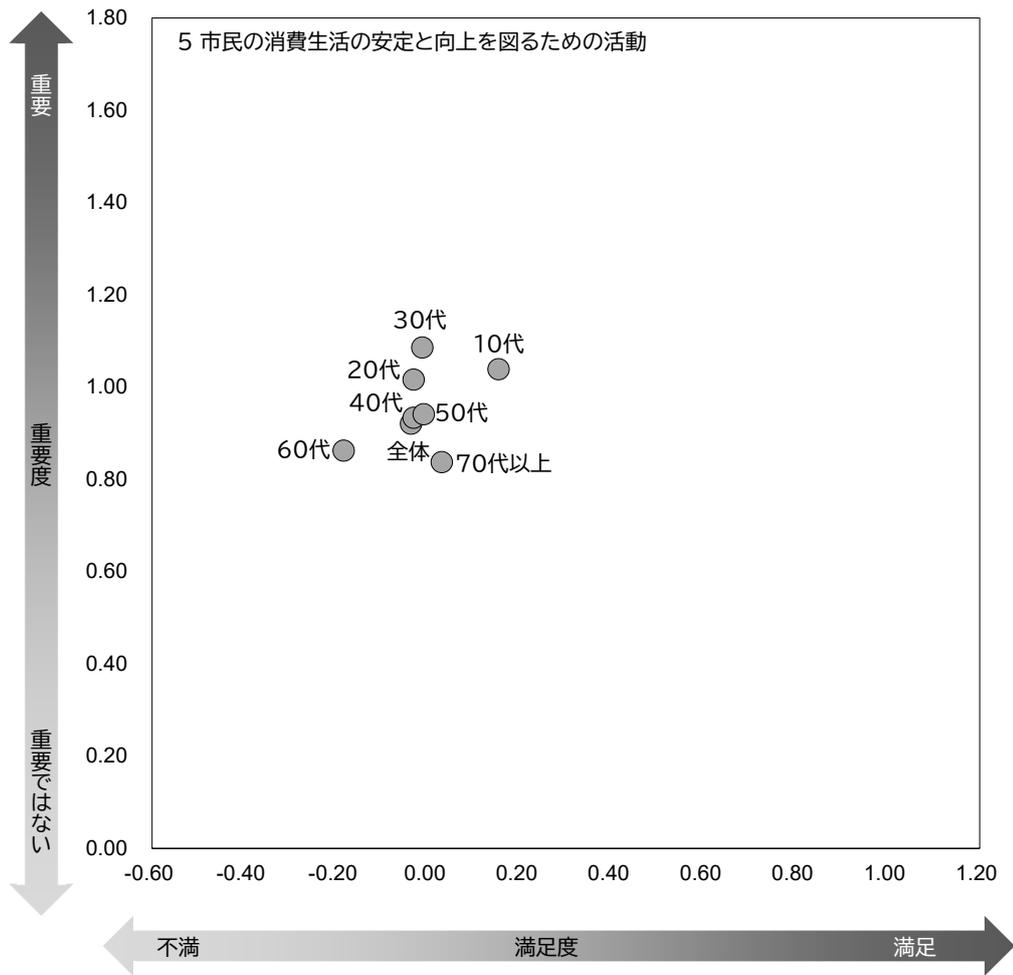


■3 安心して暮らせる防犯体制の整備

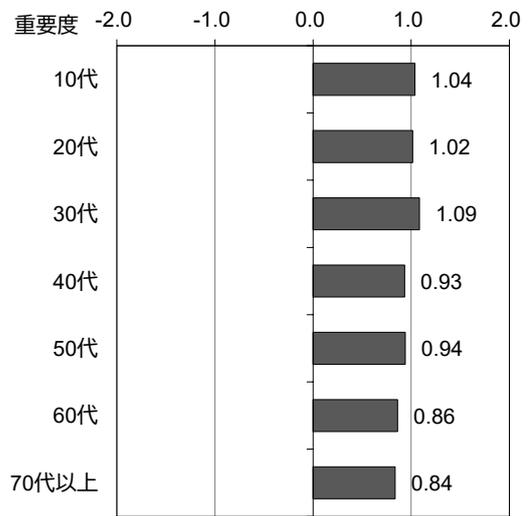


■4 交通安全対策の推進

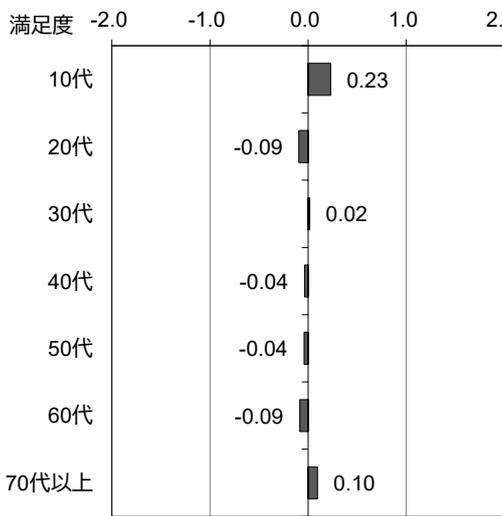
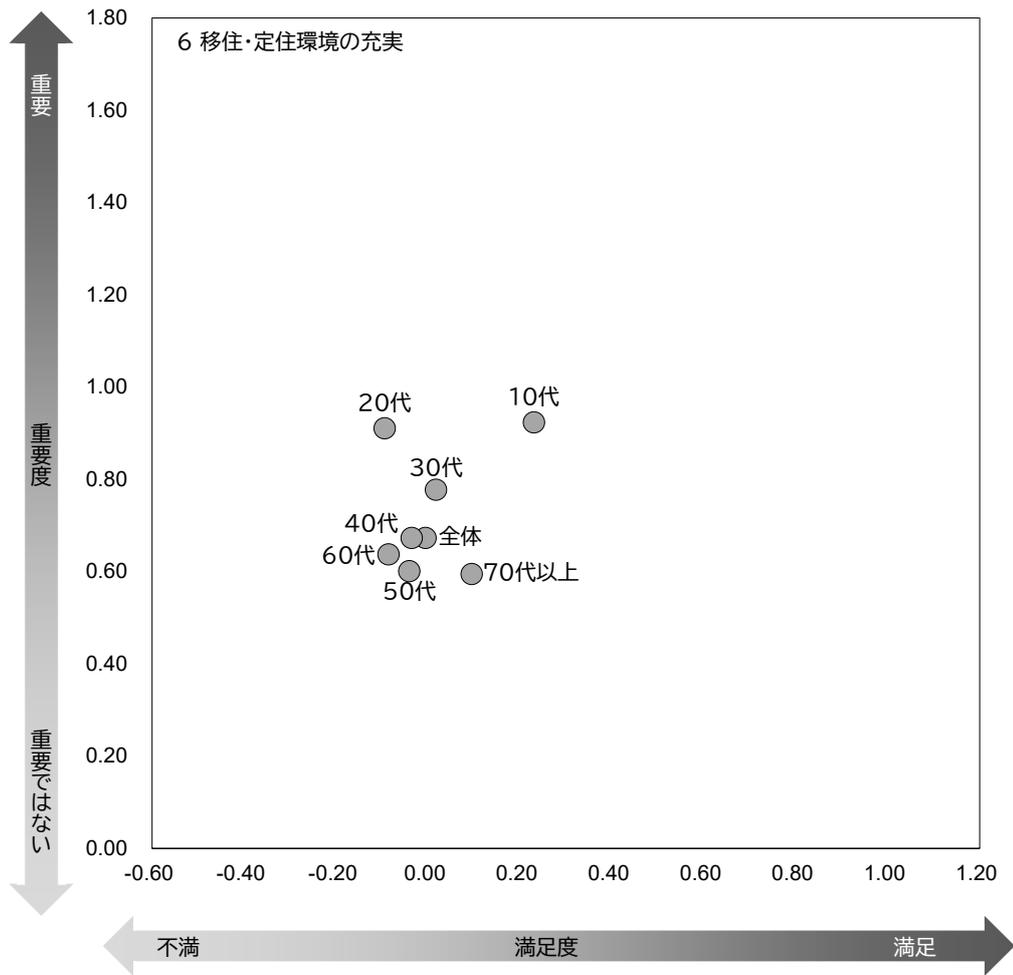
■4 交通安全対策の推進



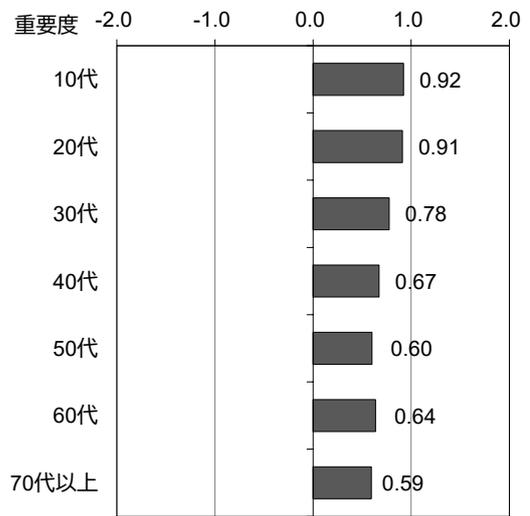
■ 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動



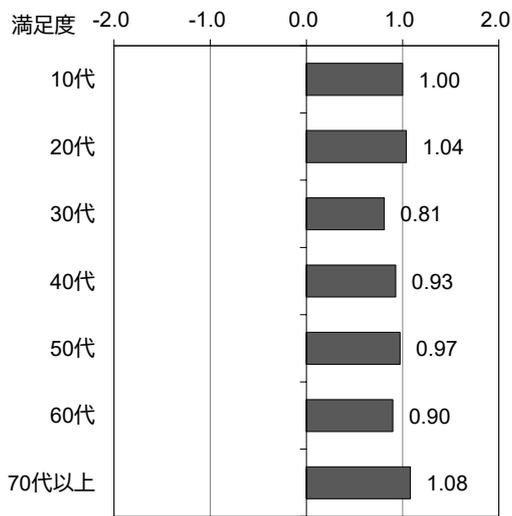
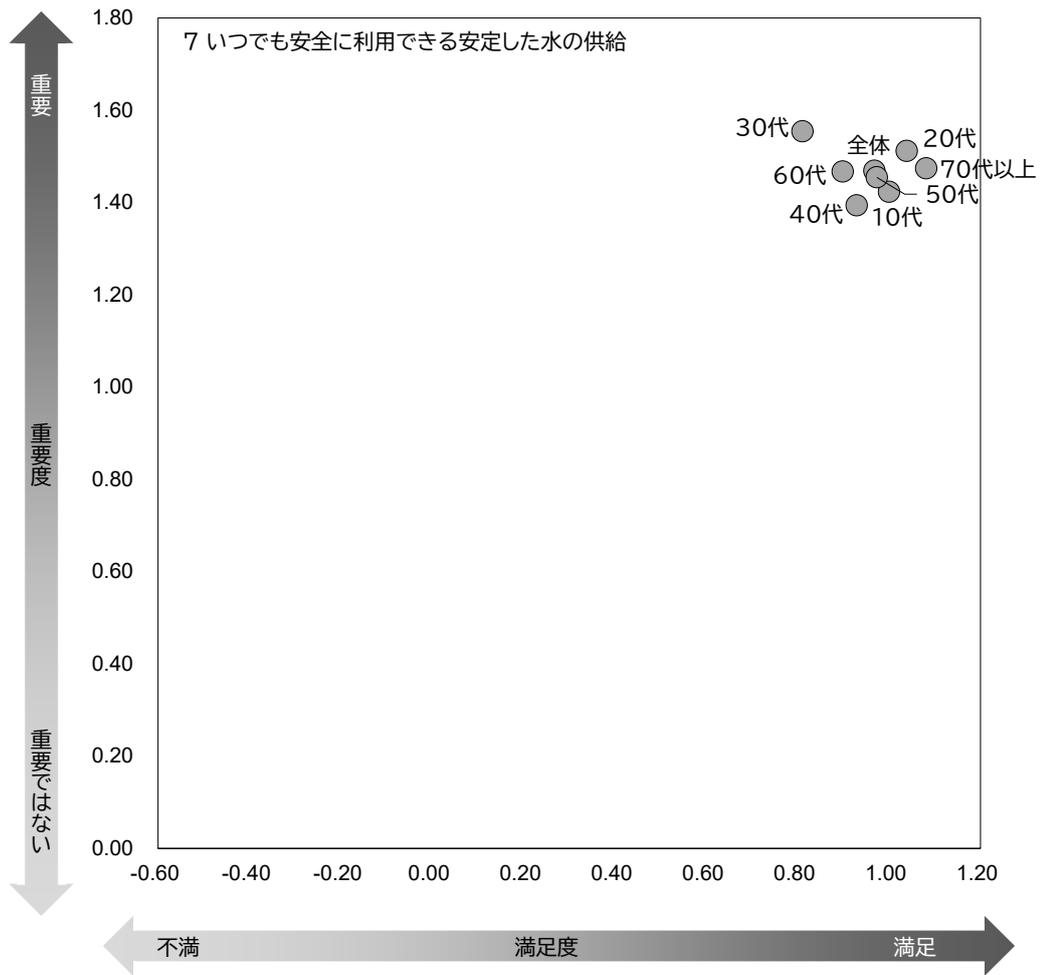
■ 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動



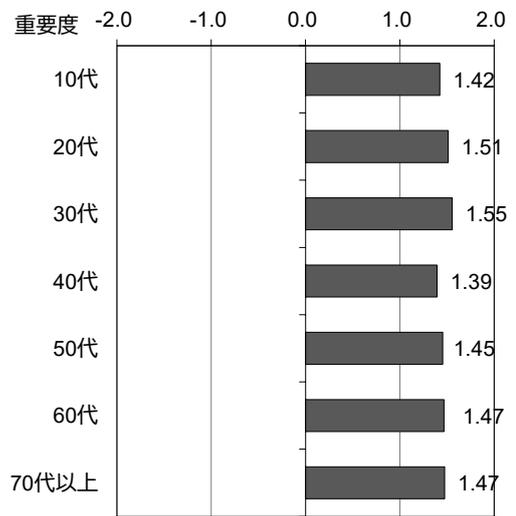
■ 6 移住・定住環境の充実



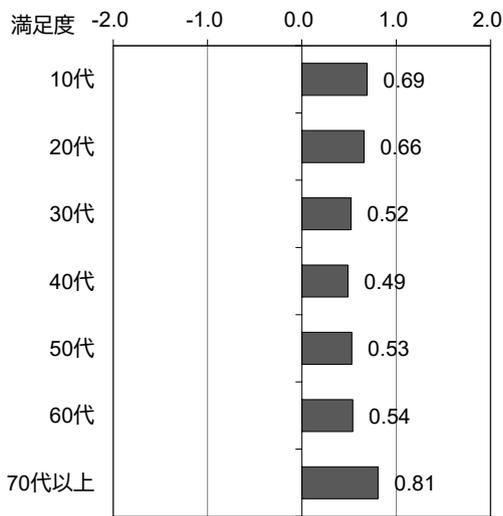
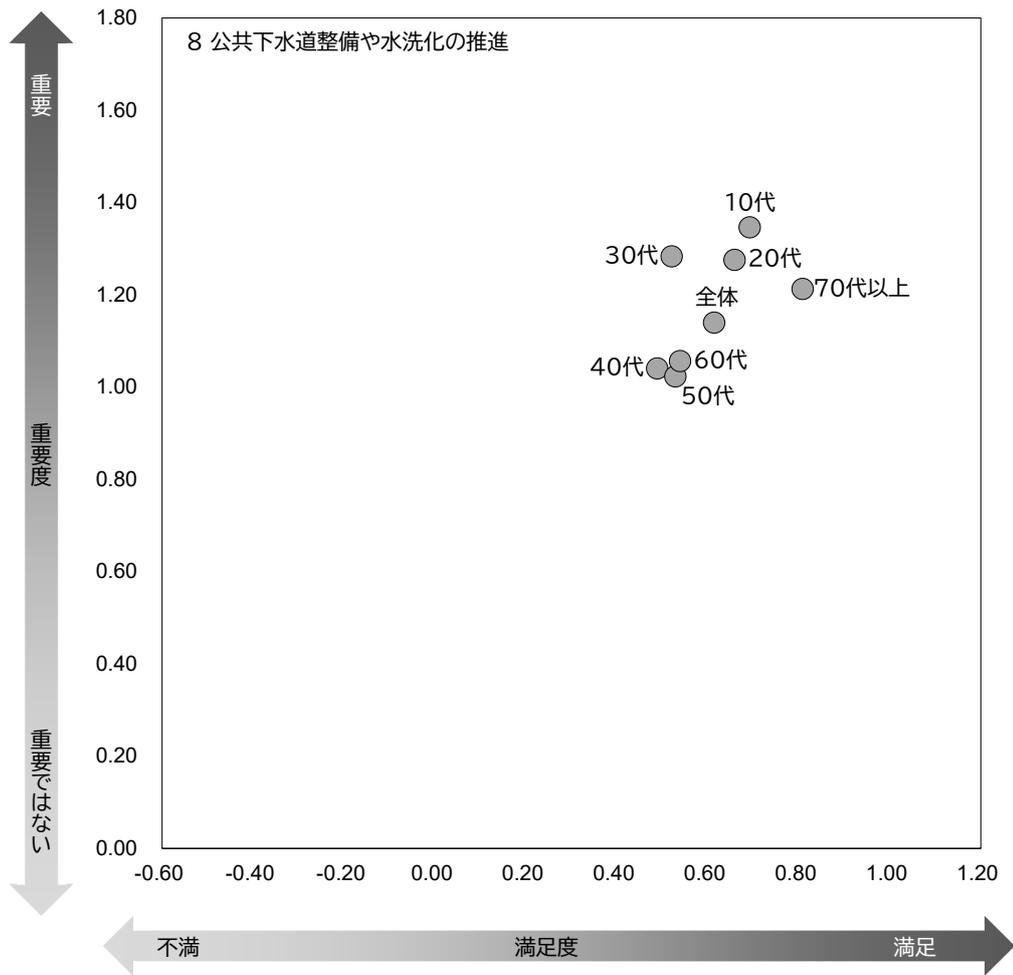
■ 6 移住・定住環境の充実



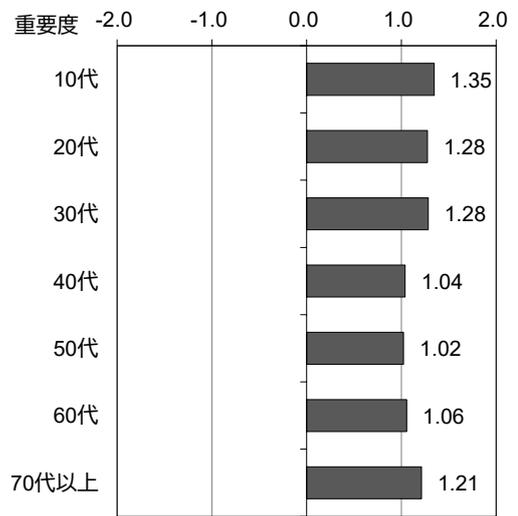
■ 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給



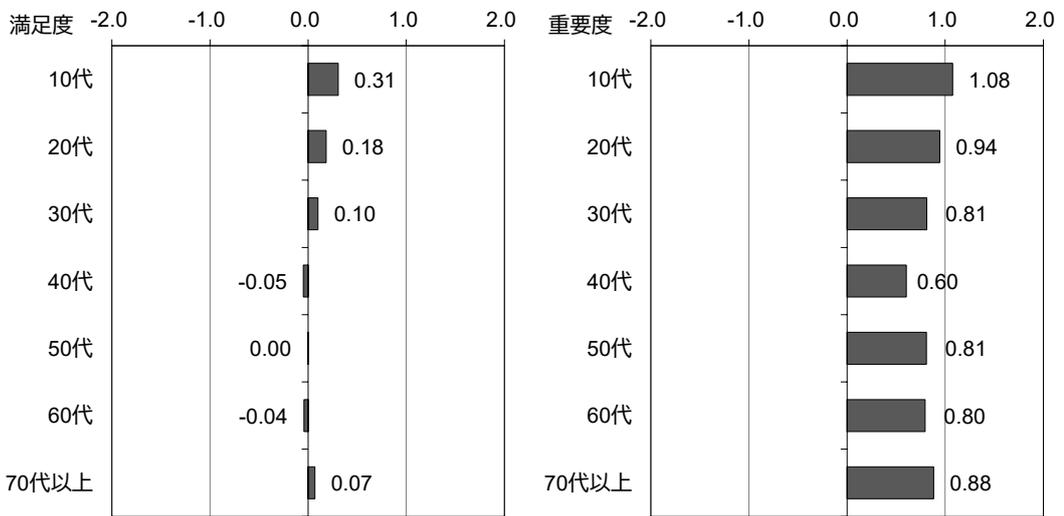
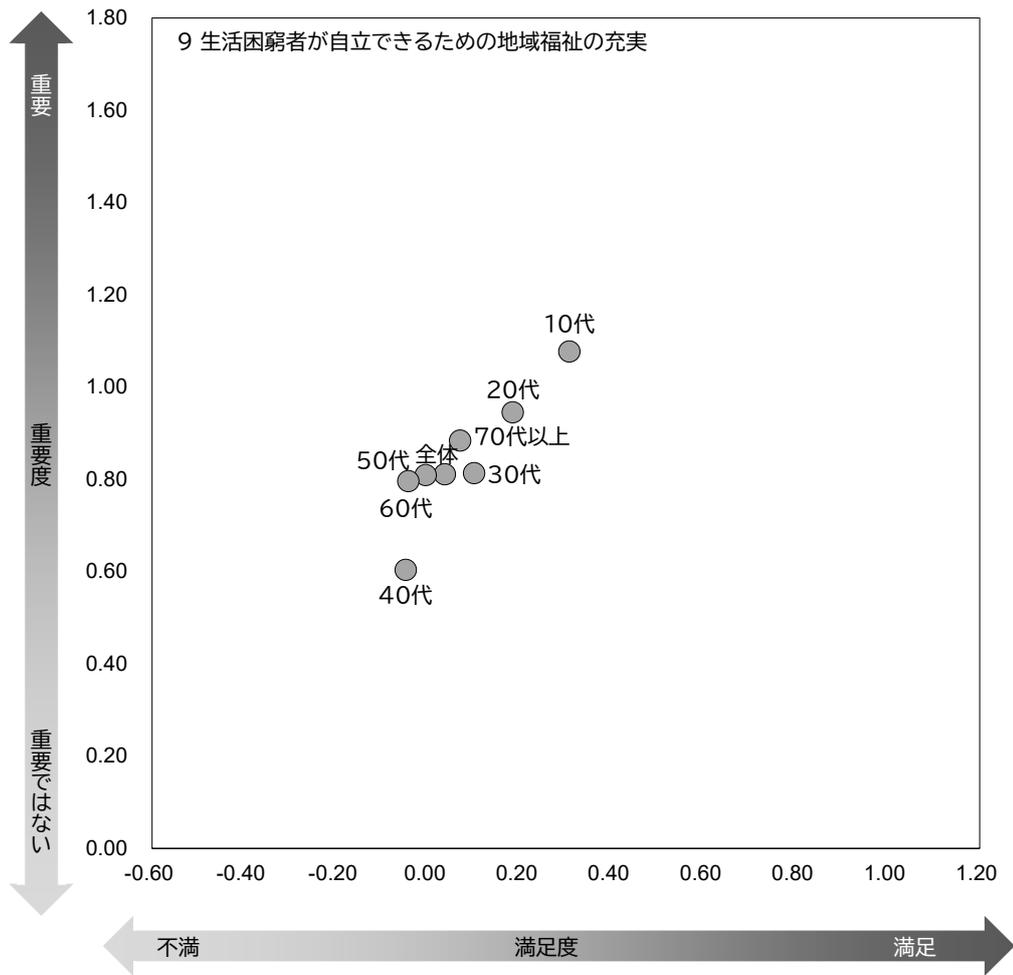
■ 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給



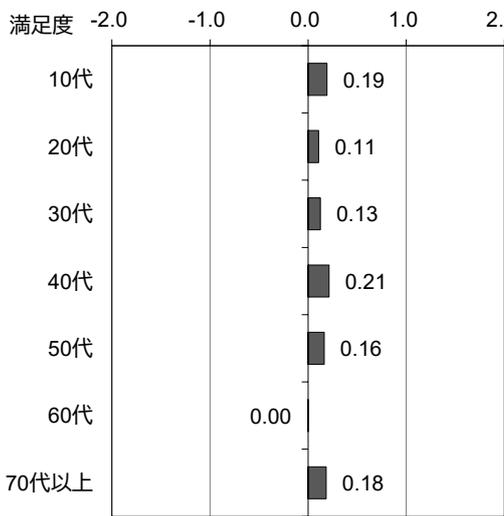
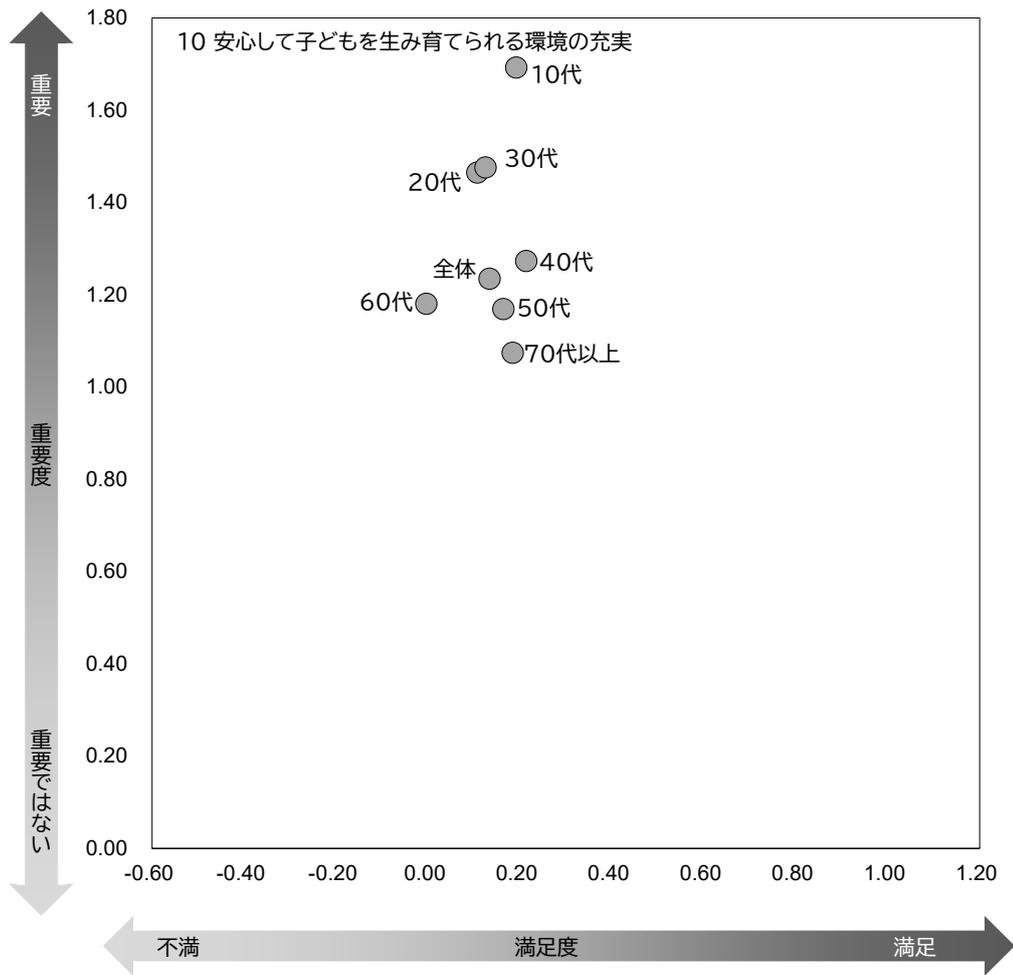
■ 8 公共下水道整備や水洗化の推進



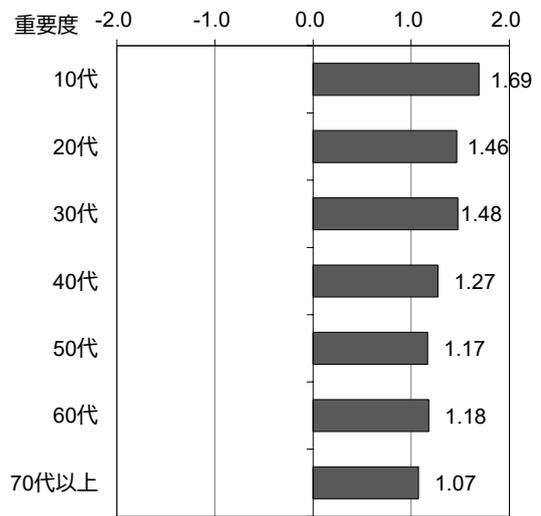
■ 8 公共下水道整備や水洗化の推進



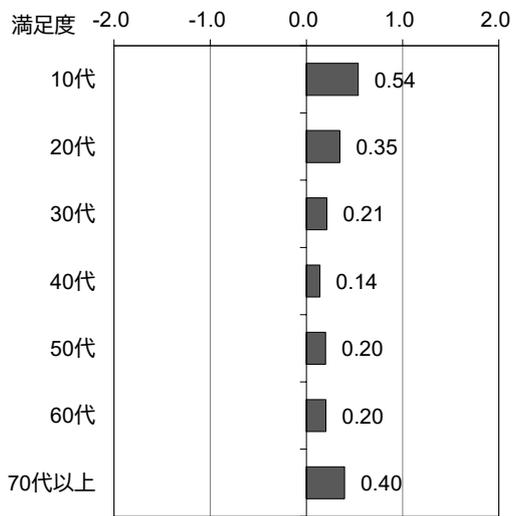
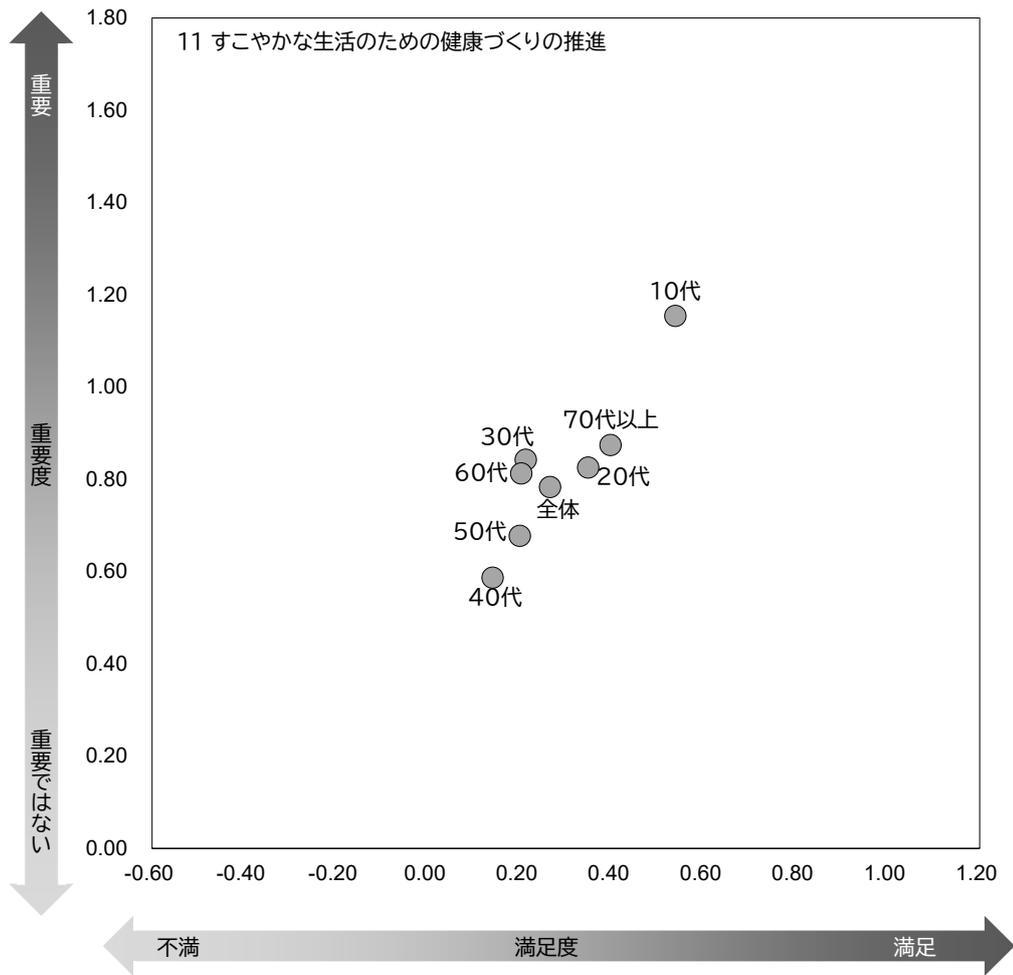
■ 9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実



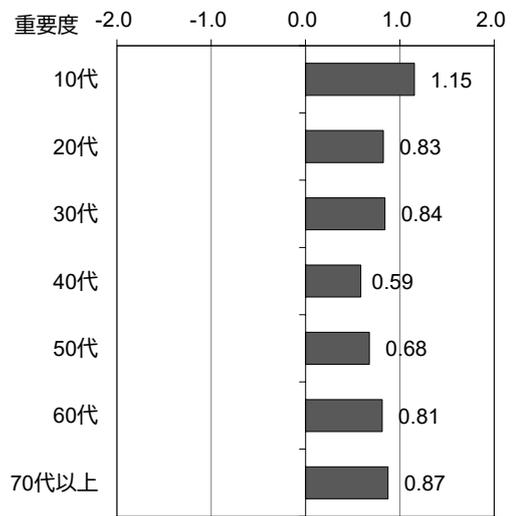
■ 10 安心して子どもを生き育てられる環境の充実



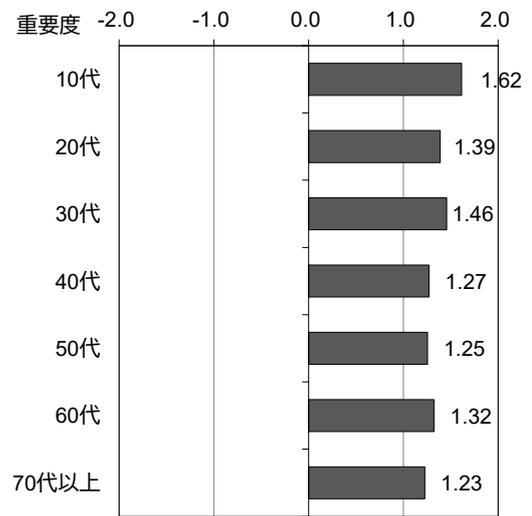
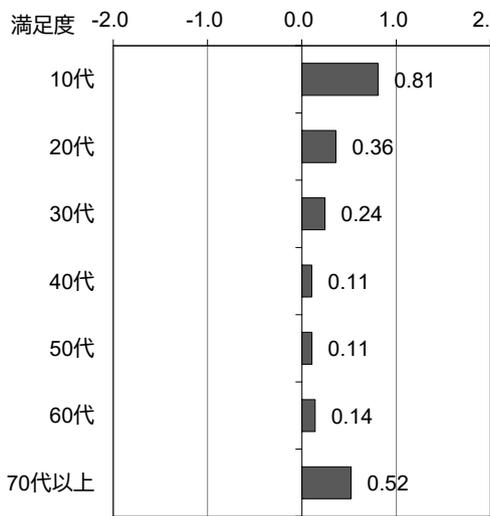
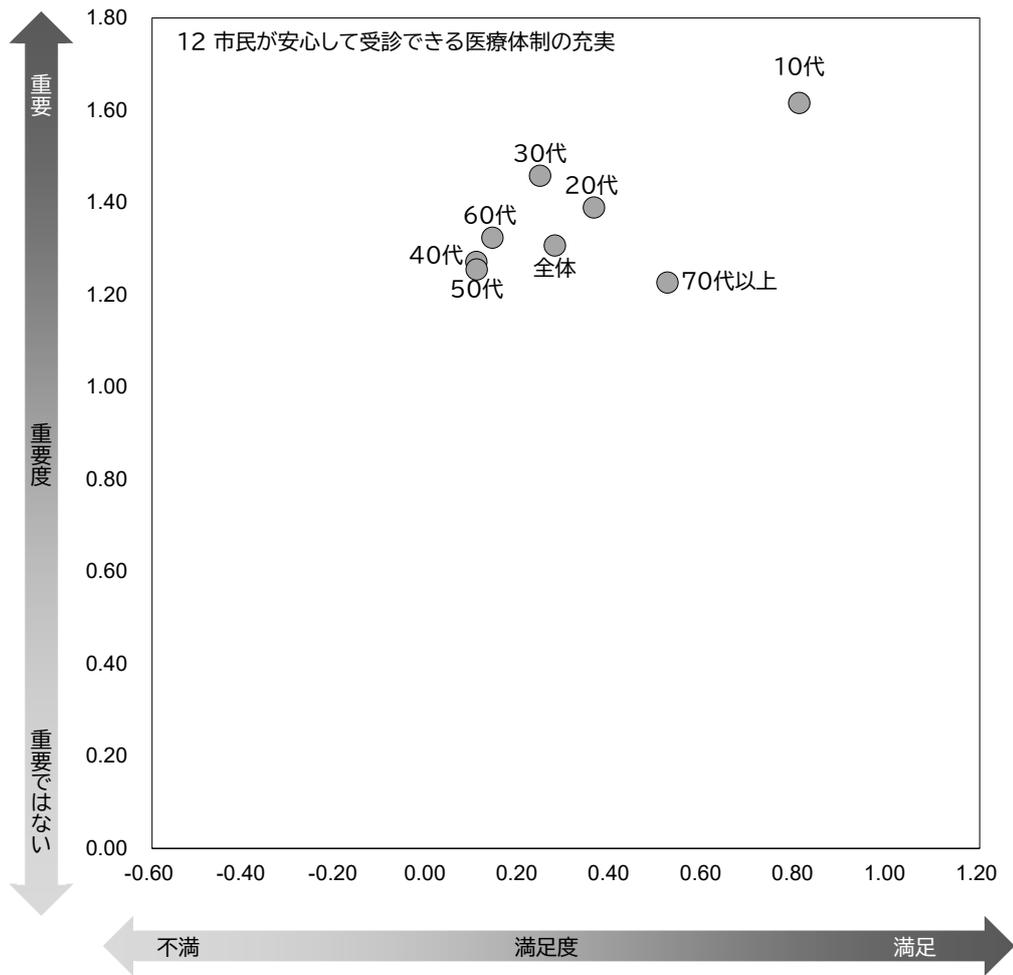
■ 10 安心して子どもを生き育てられる環境の充実



■ 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進

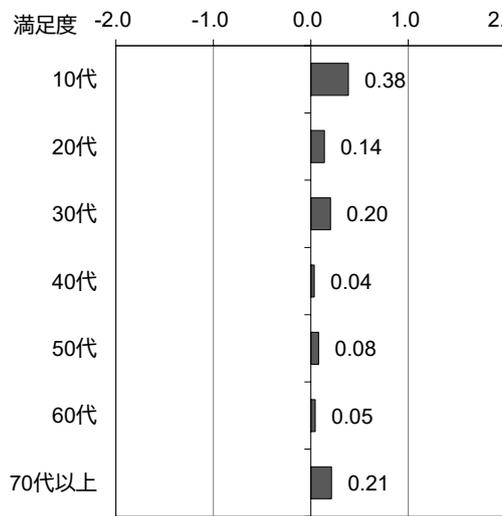
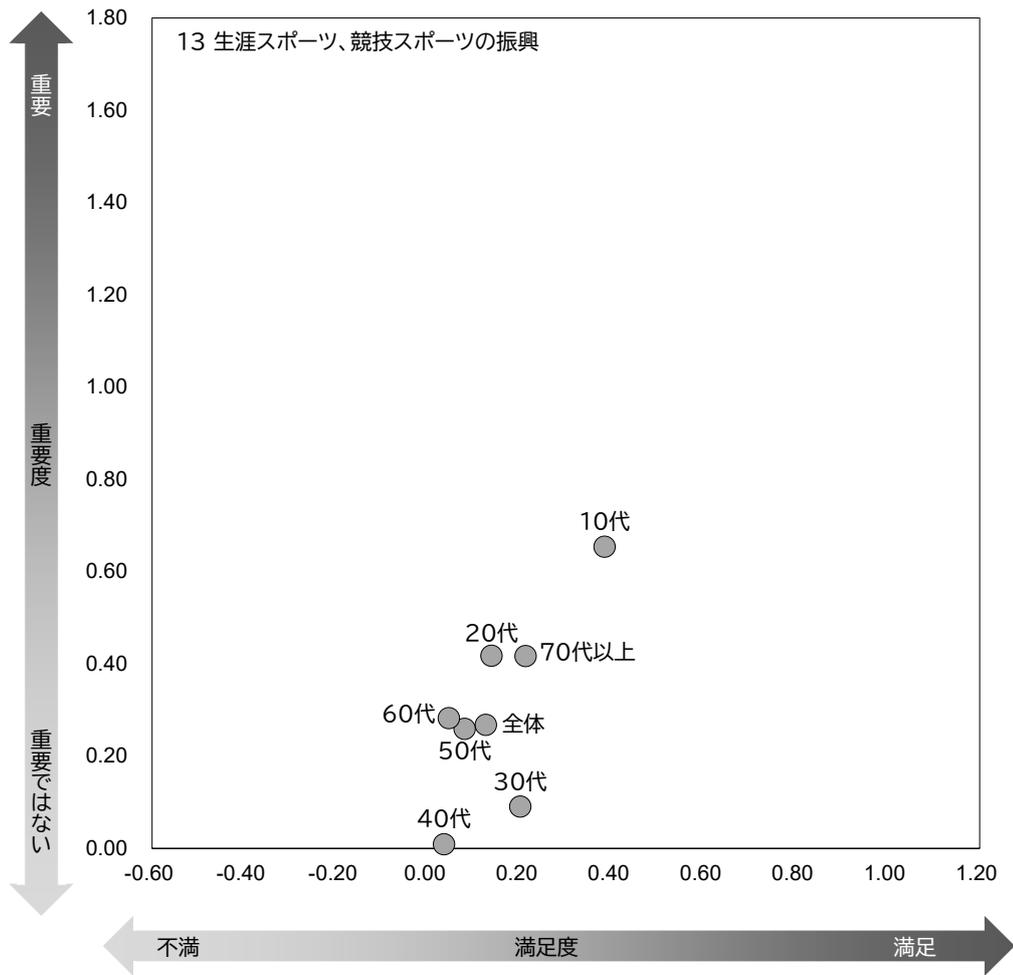


■ 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進

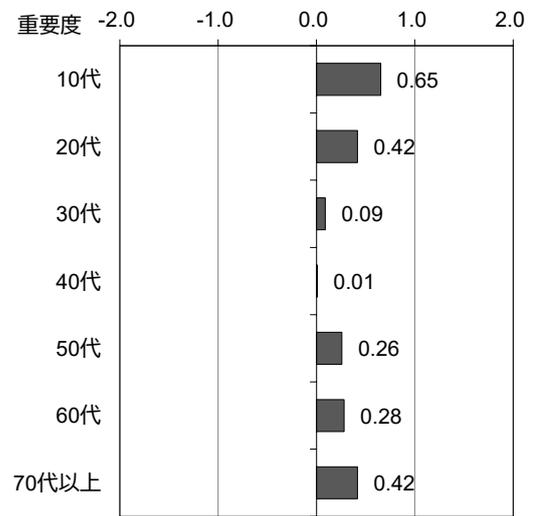


■ 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実

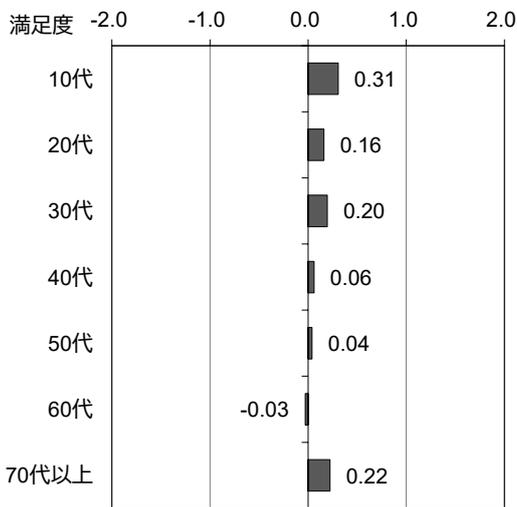
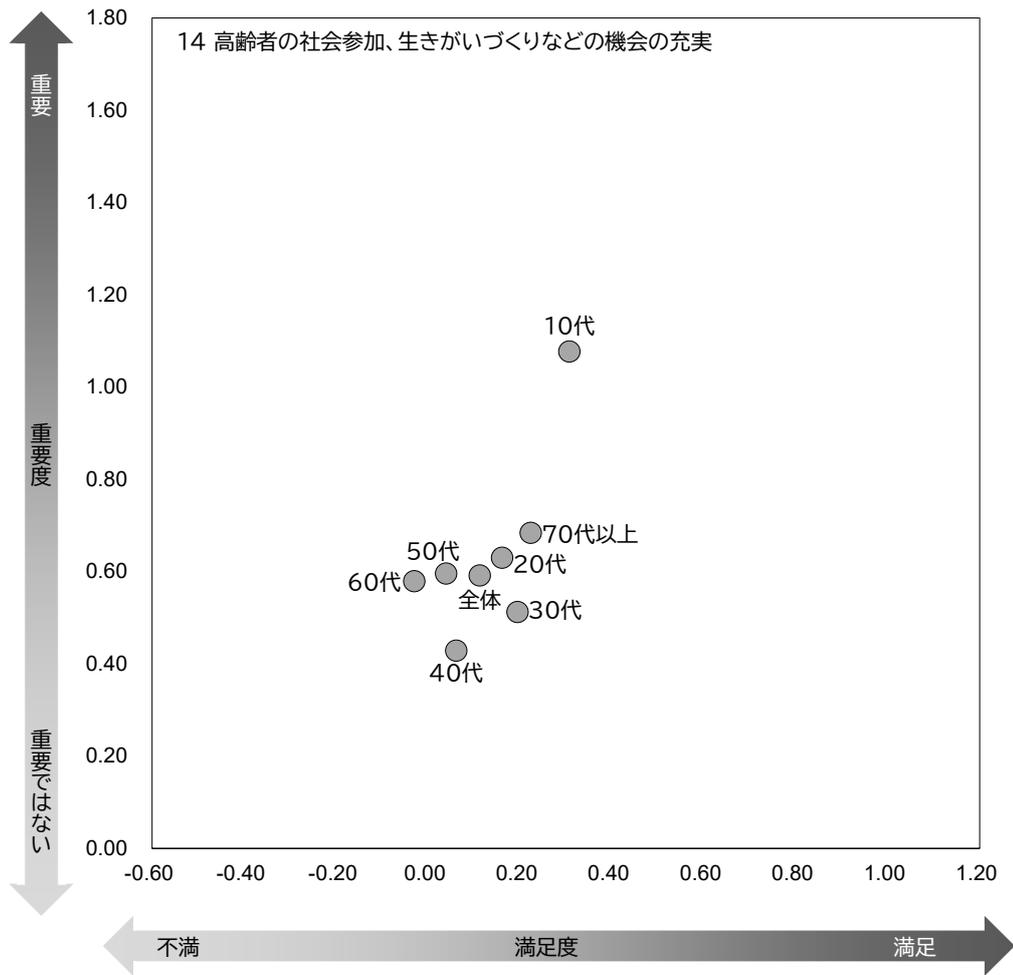
■ 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実



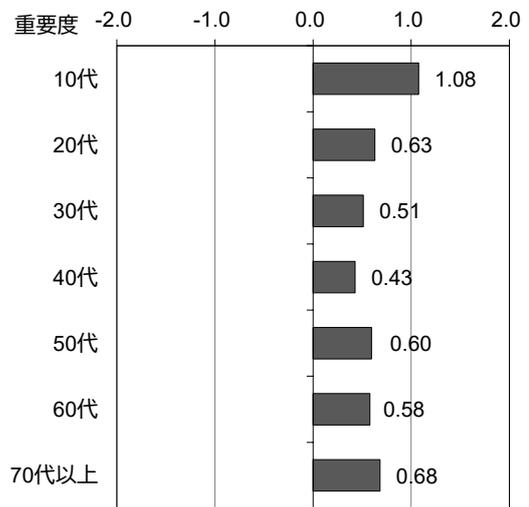
■ 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興



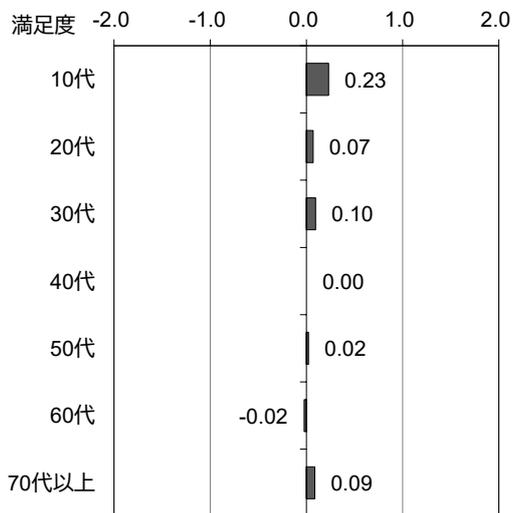
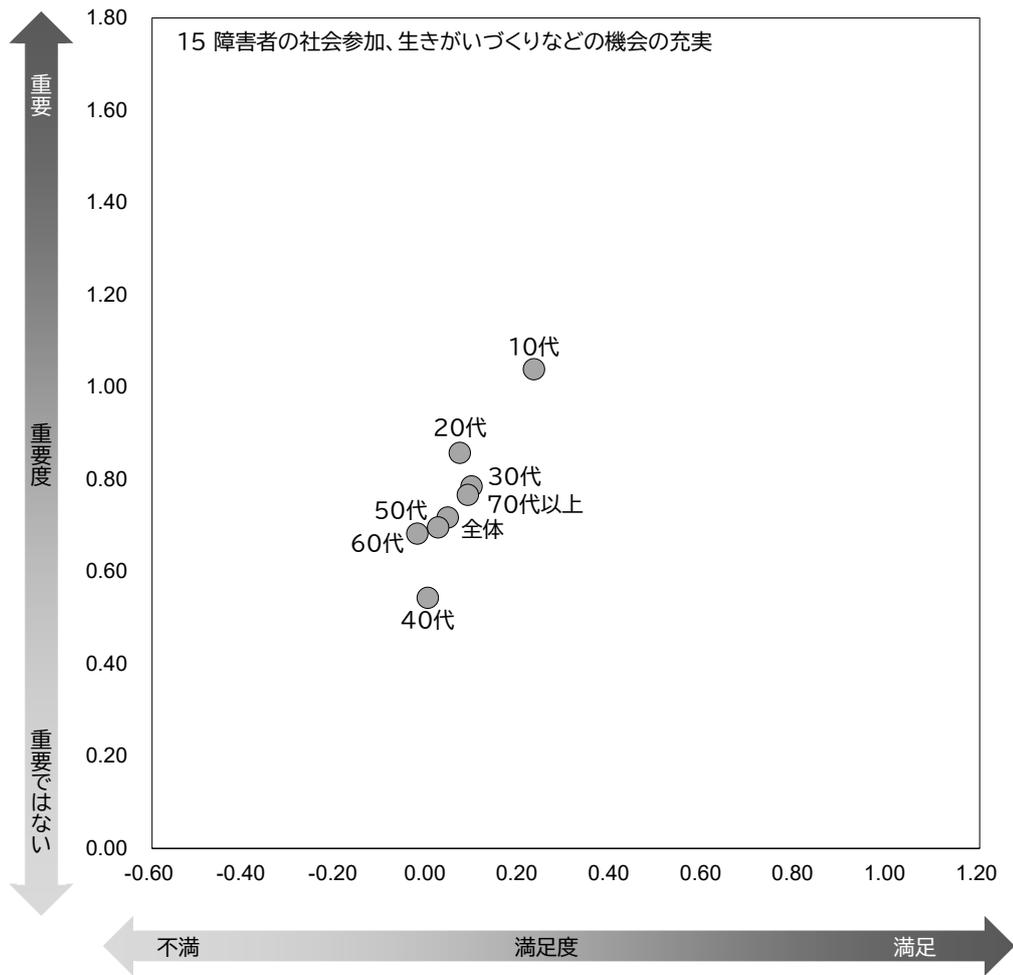
■ 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興



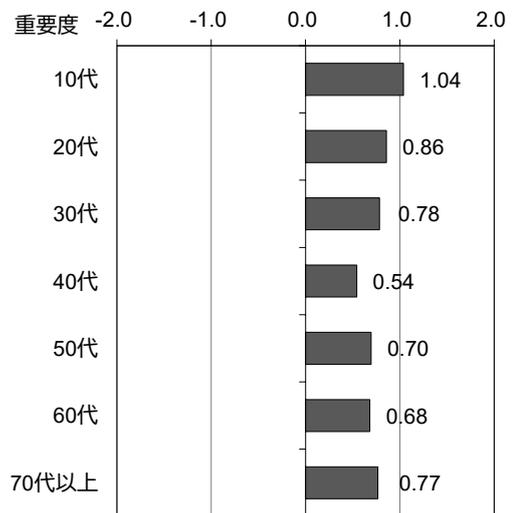
■ 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



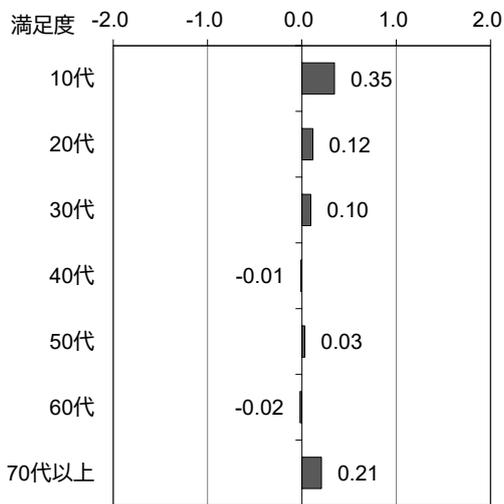
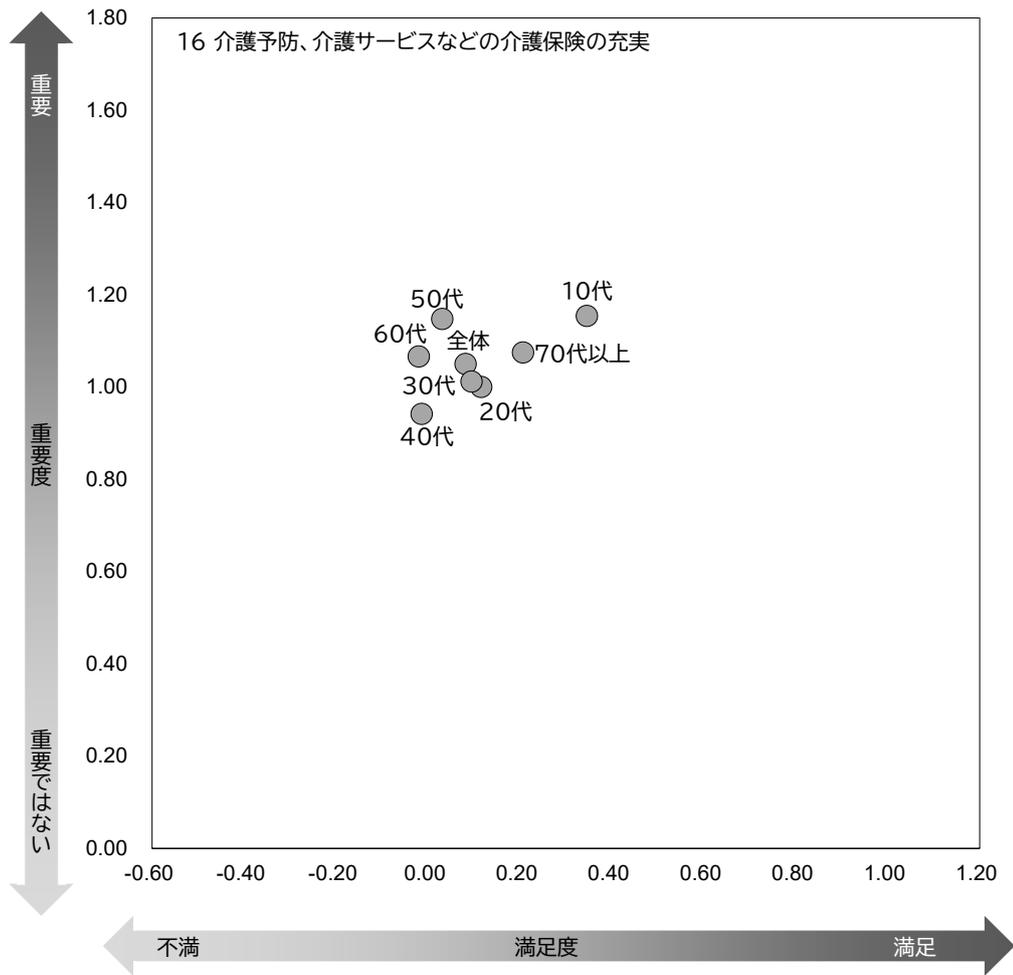
■ 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



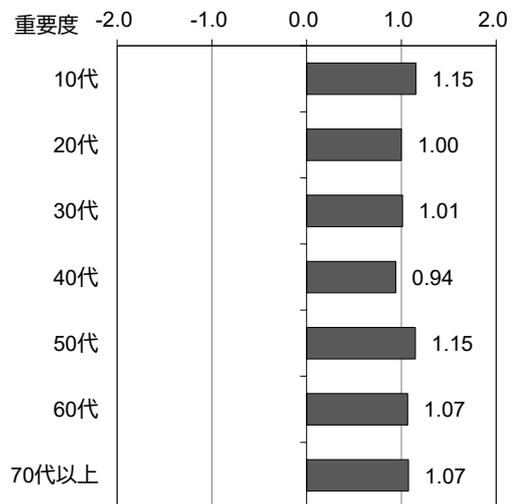
■ 15 障害者の社会参加、生きがいきづくりなどの機会の充実



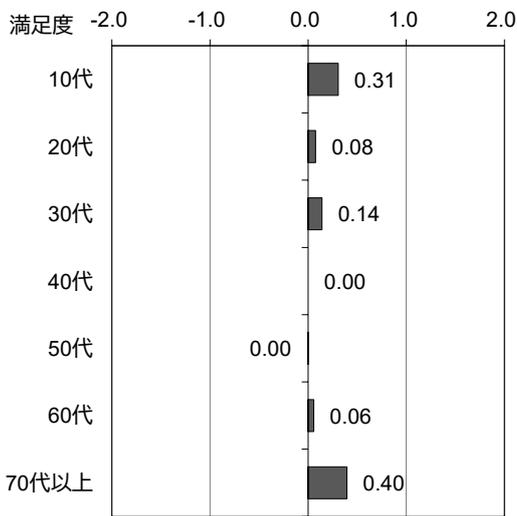
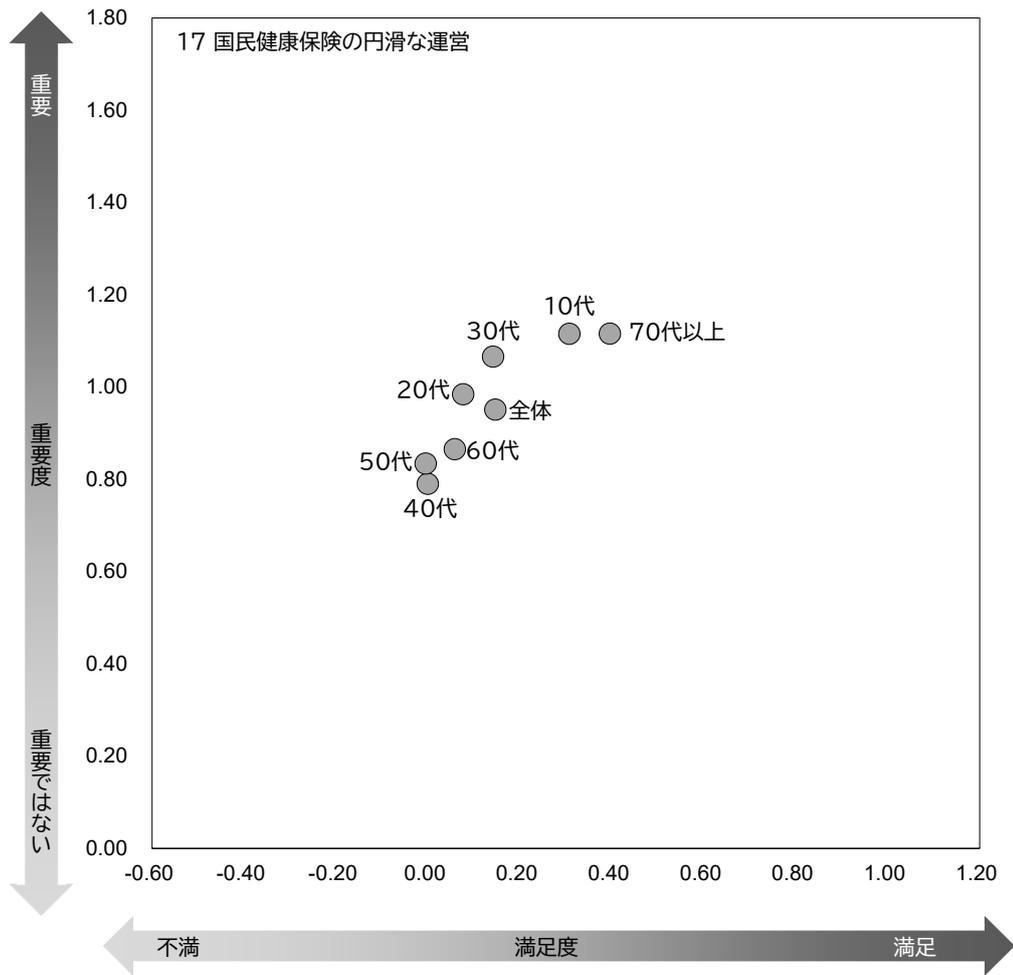
■ 15 障害者の社会参加、生きがいきづくりなどの機会の充実



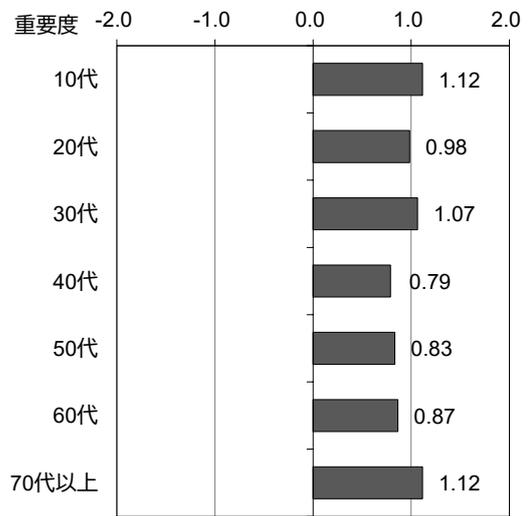
■ 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実



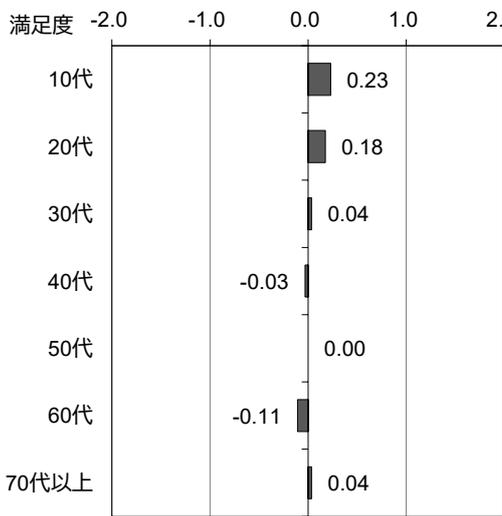
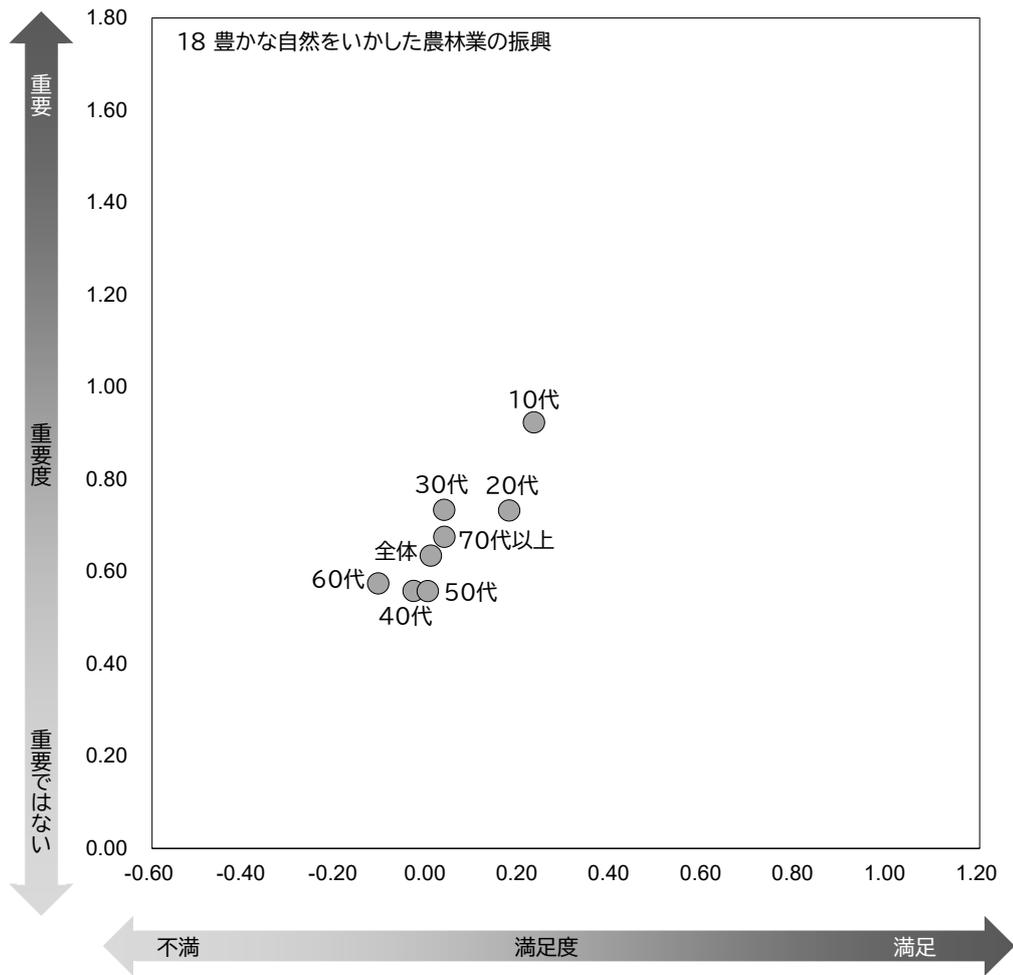
■ 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実



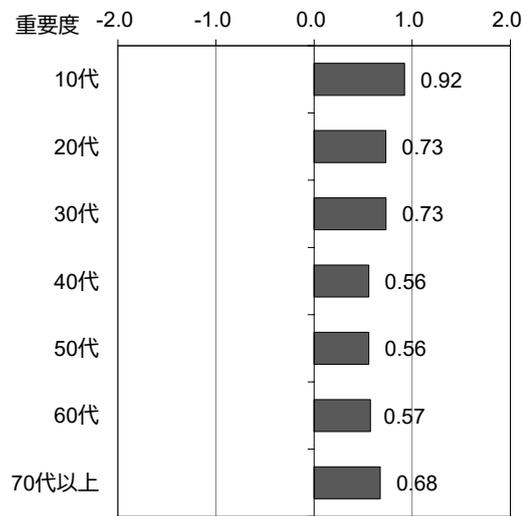
■ 17 国民健康保険の円滑な運営



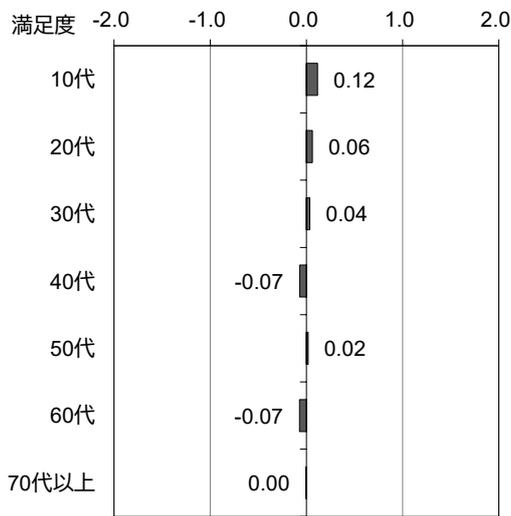
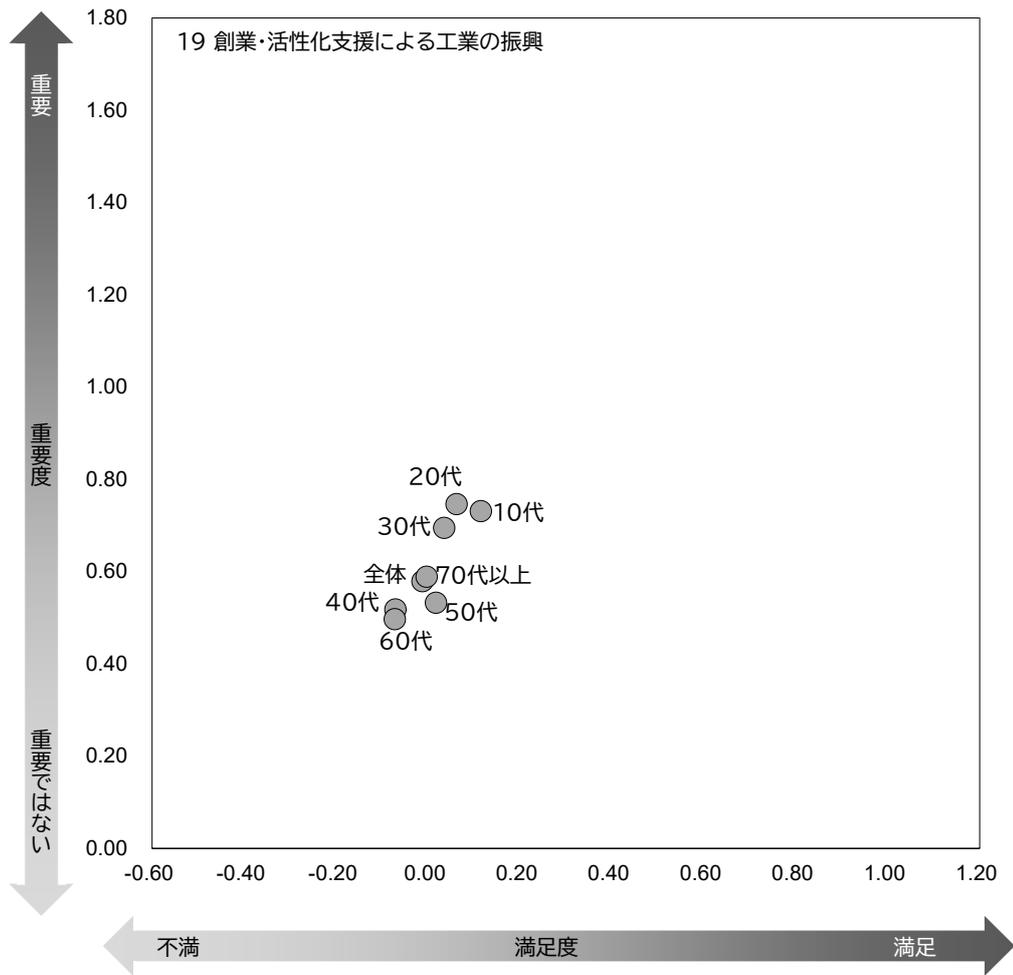
■ 17 国民健康保険の円滑な運営



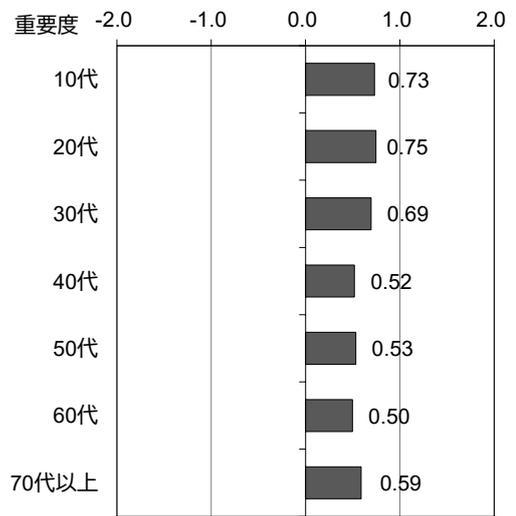
■ 18 豊かな自然をいかした農林業の振興



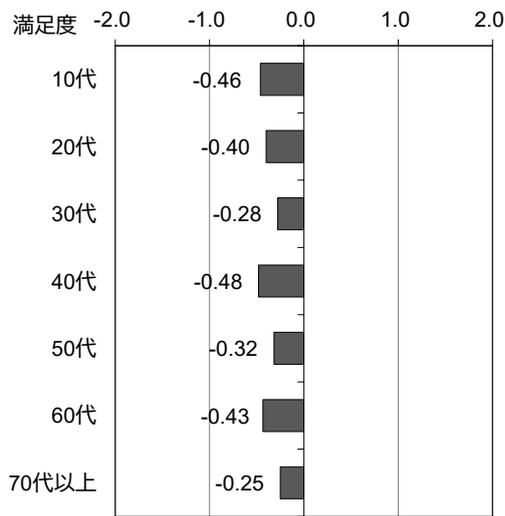
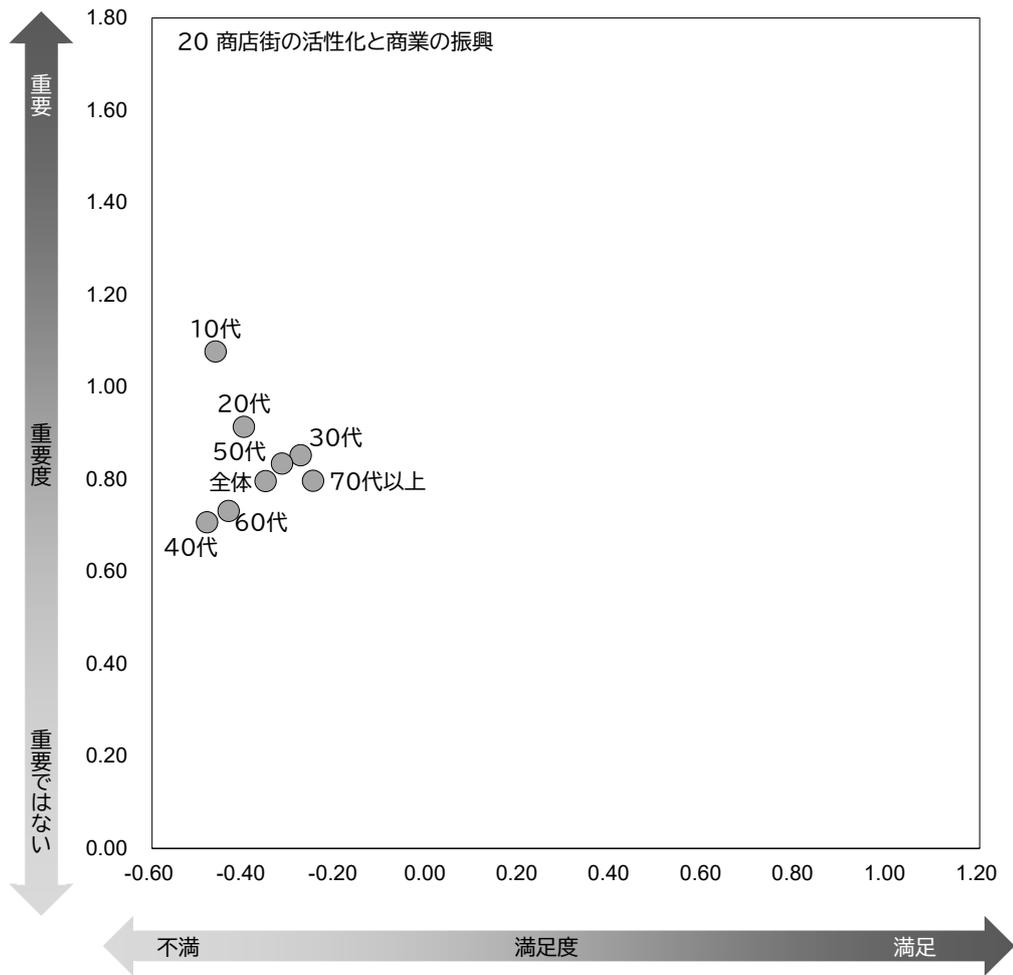
■ 18 豊かな自然をいかした農林業の振興



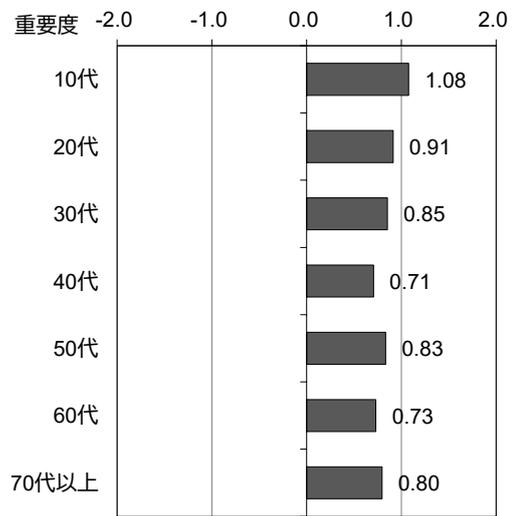
■ 19 創業・活性化支援による工業の振興



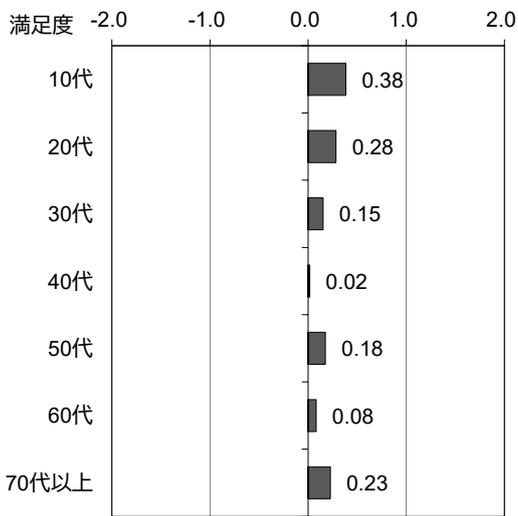
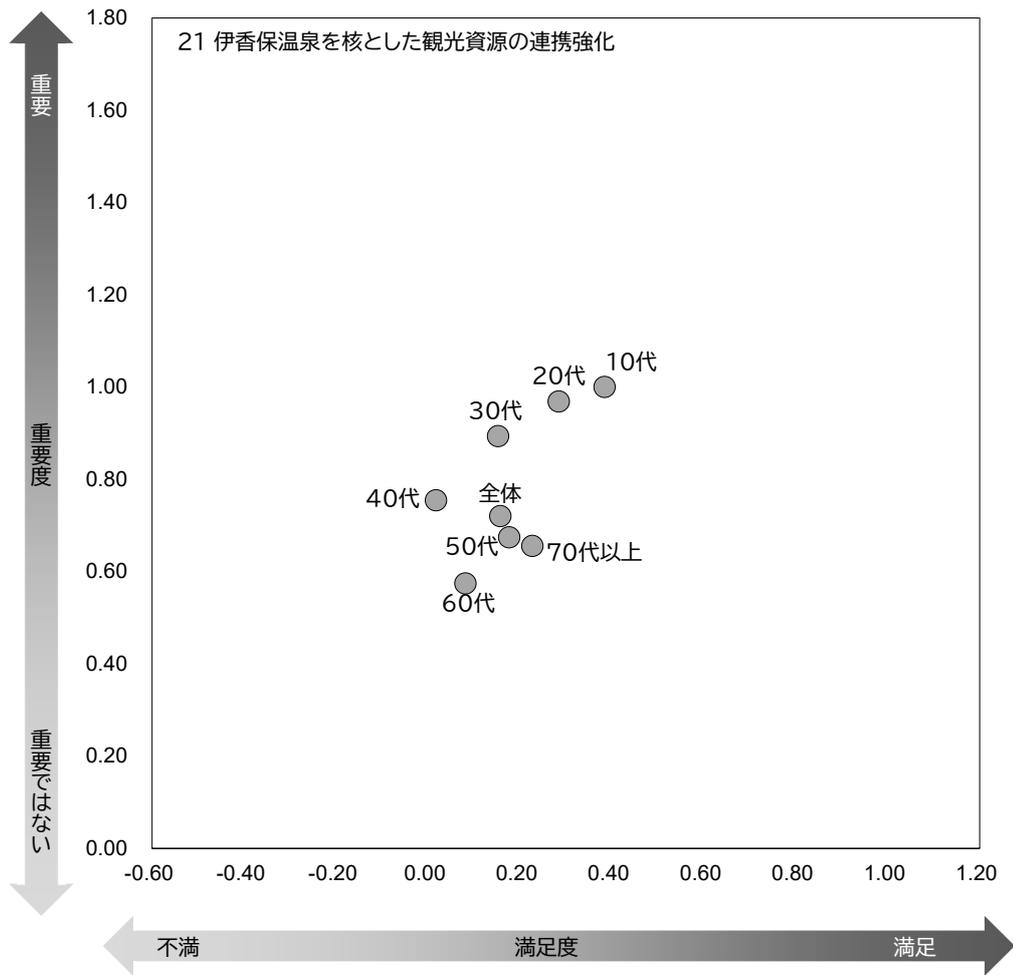
■ 19 創業・活性化支援による工業の振興



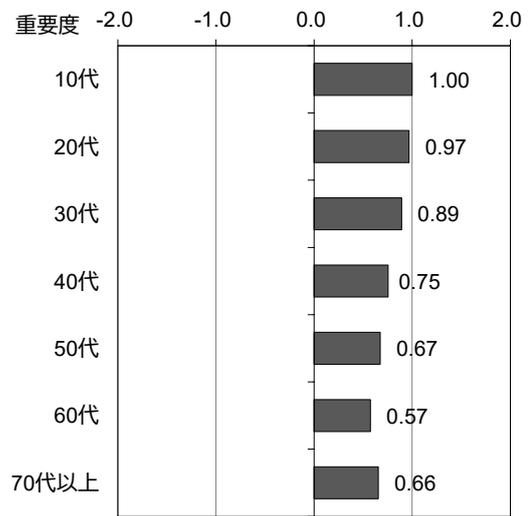
■ 20 商店街の活性化と商業の振興



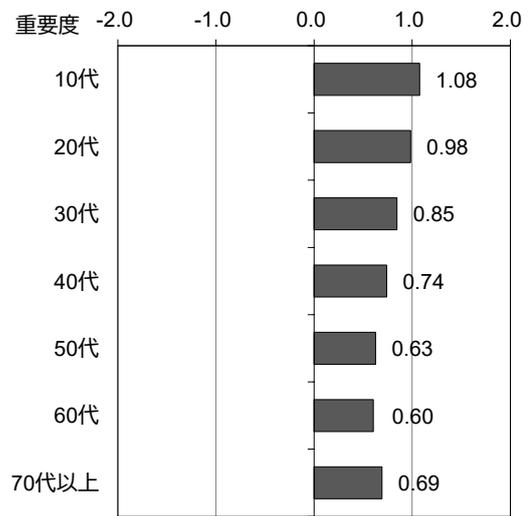
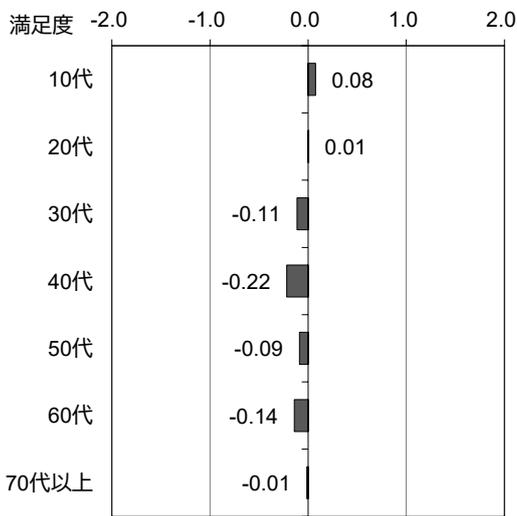
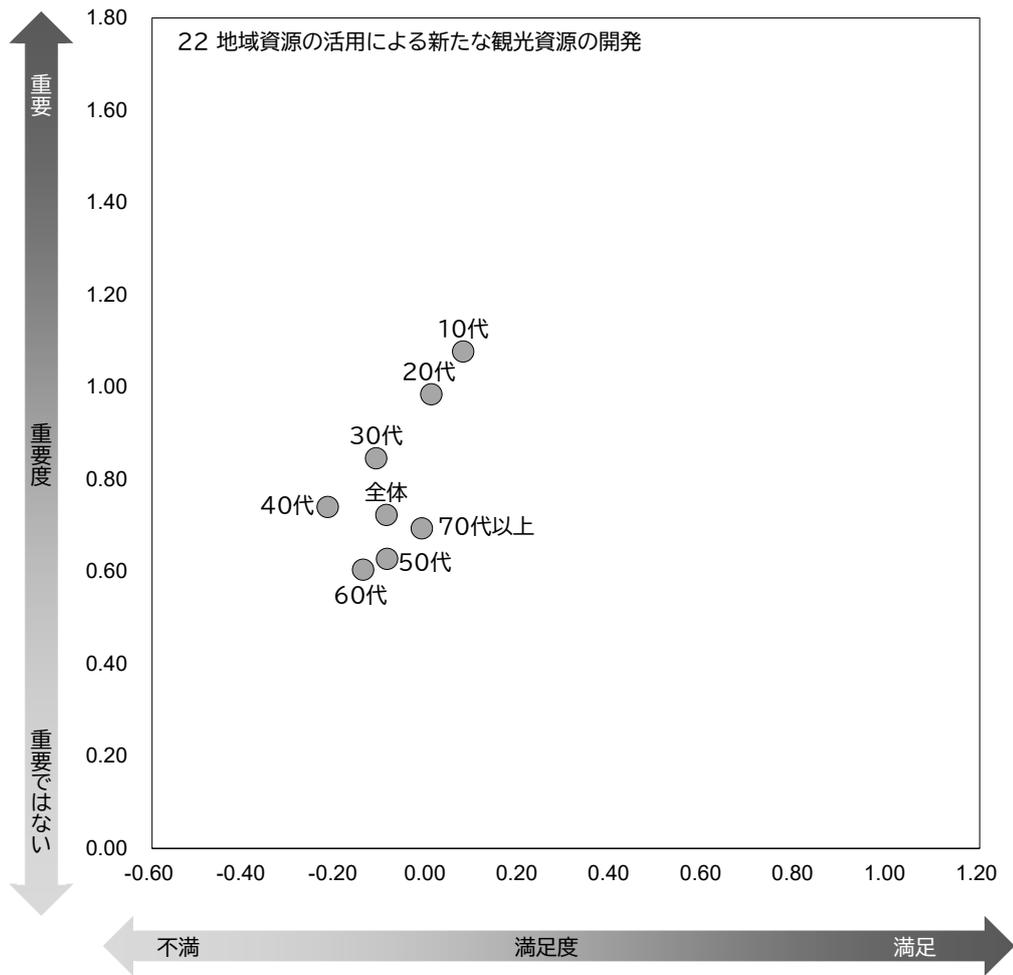
■ 20 商店街の活性化と商業の振興



■ 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化

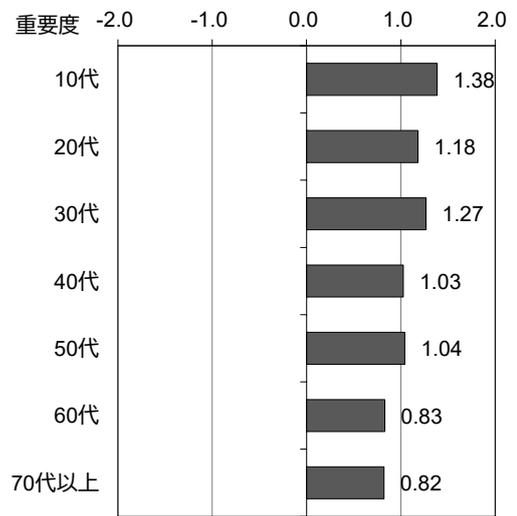
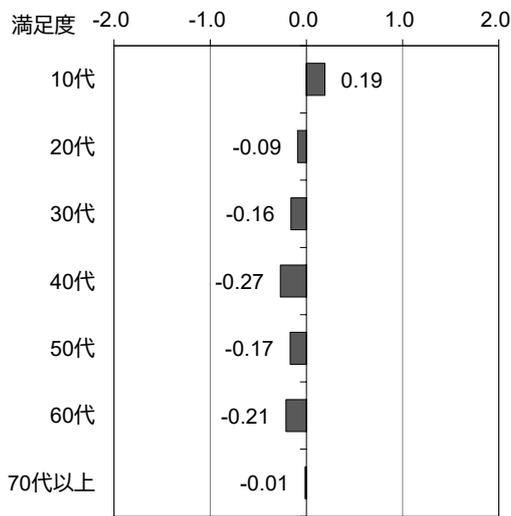
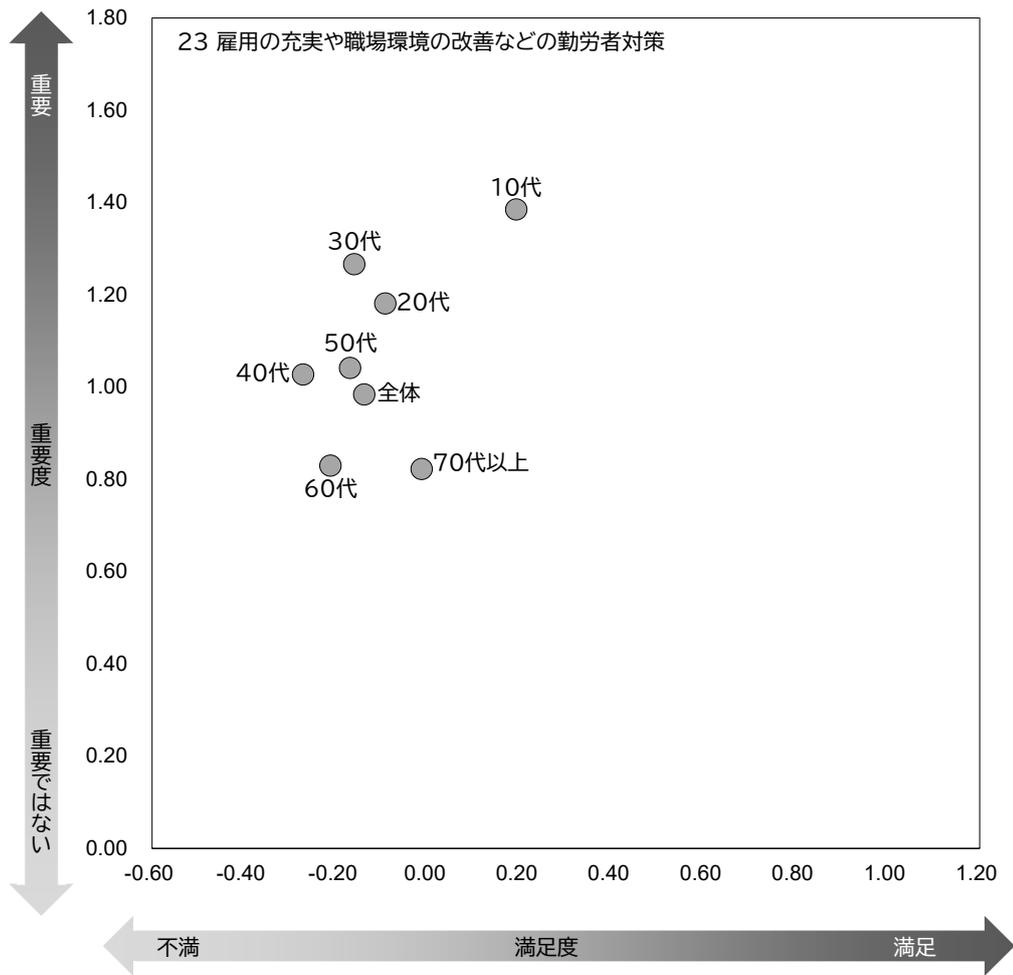


■ 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化



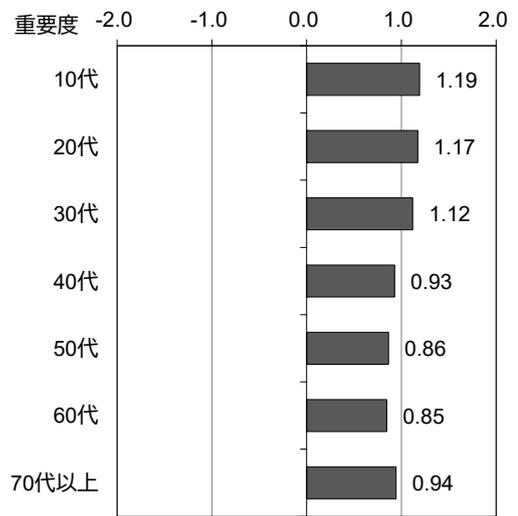
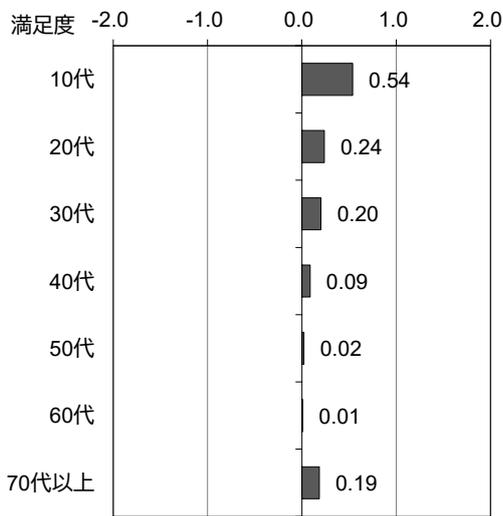
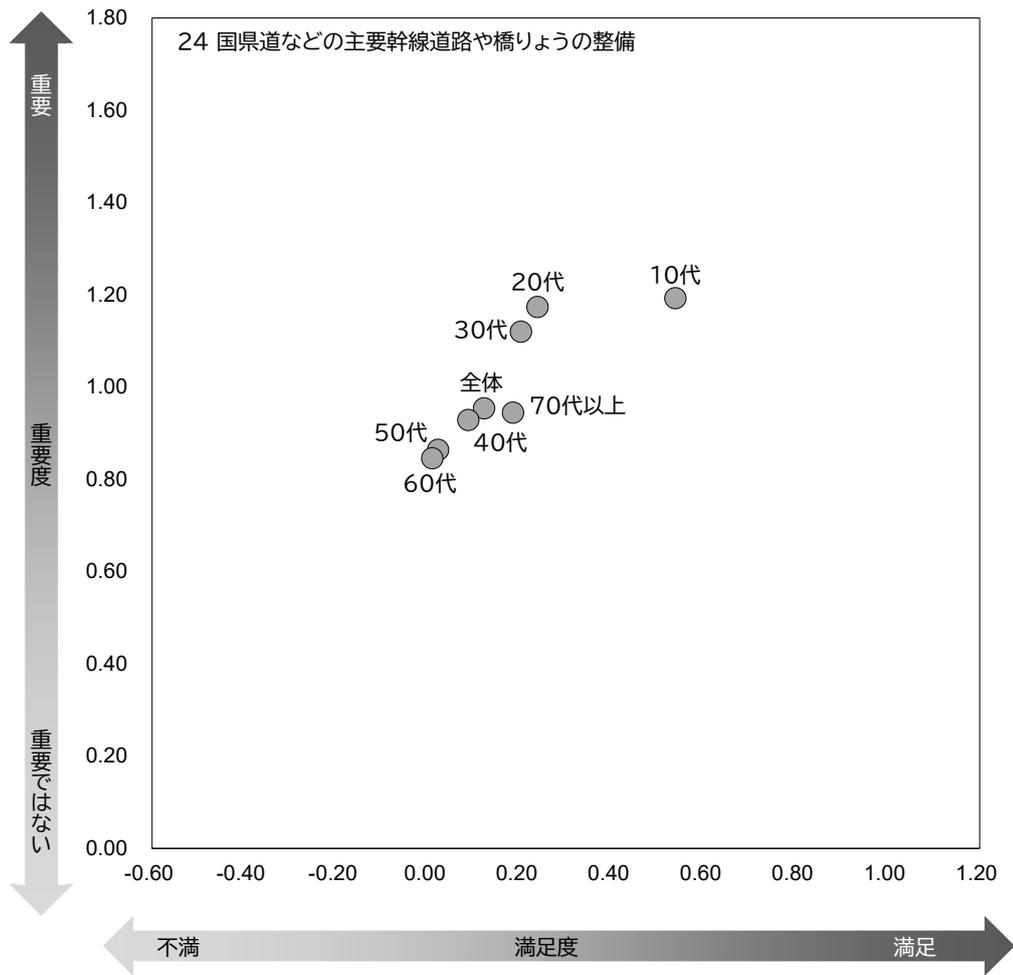
■22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発

■22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発



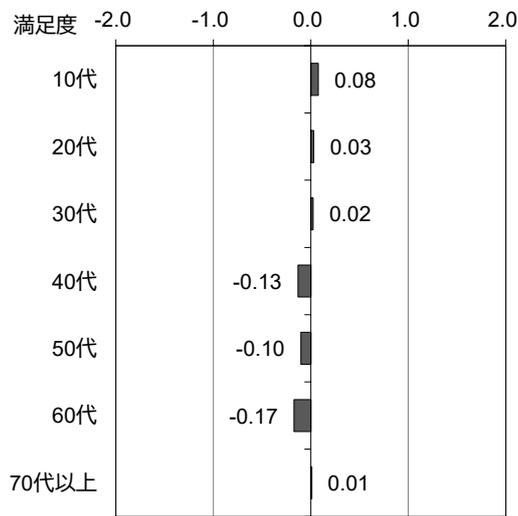
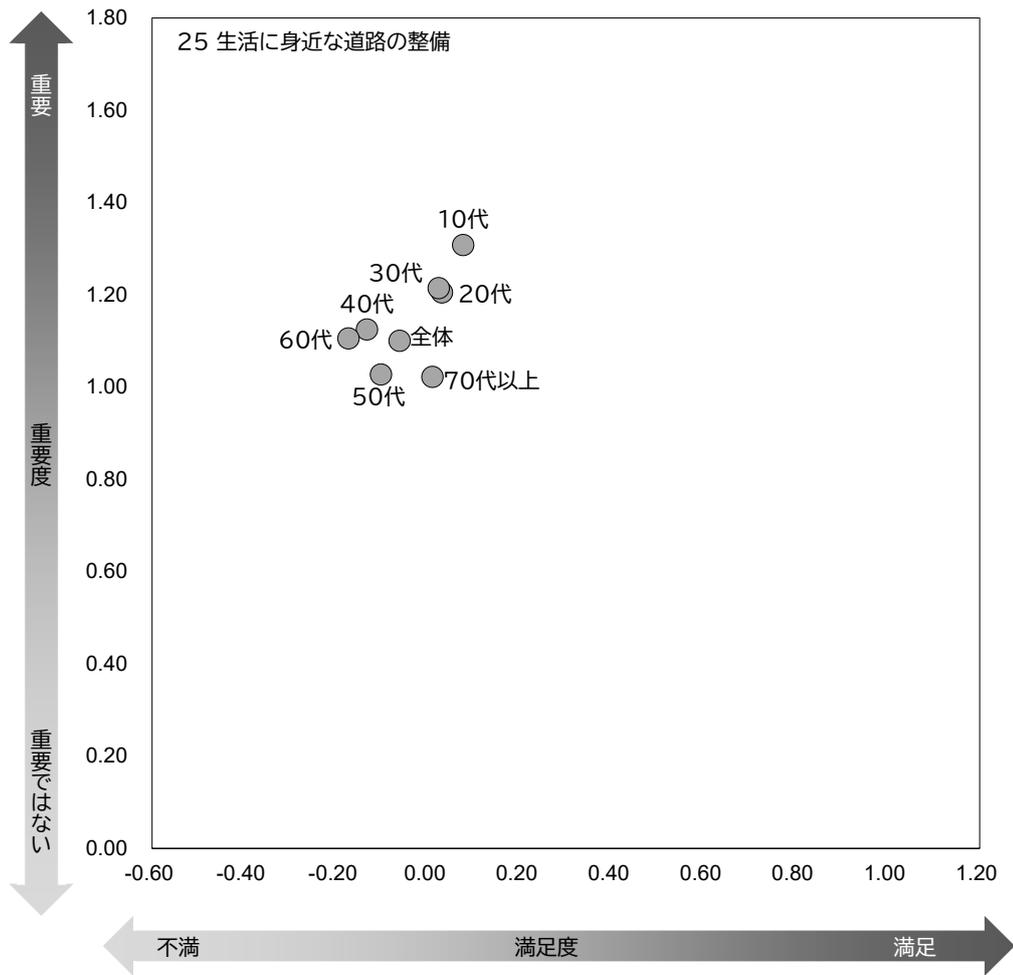
■ 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

■ 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

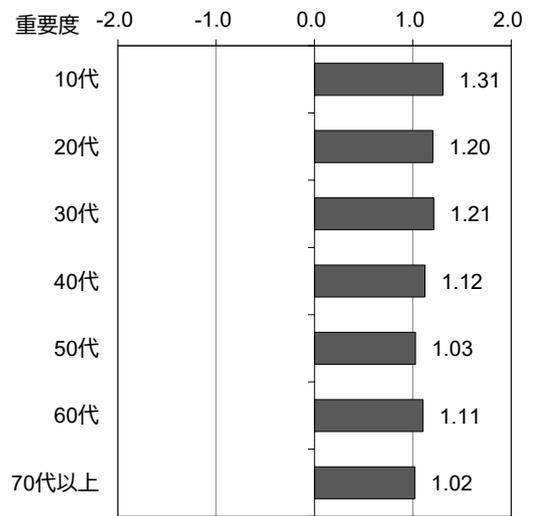


■ 24 国県道などの主要幹線道路や橋りよの整備

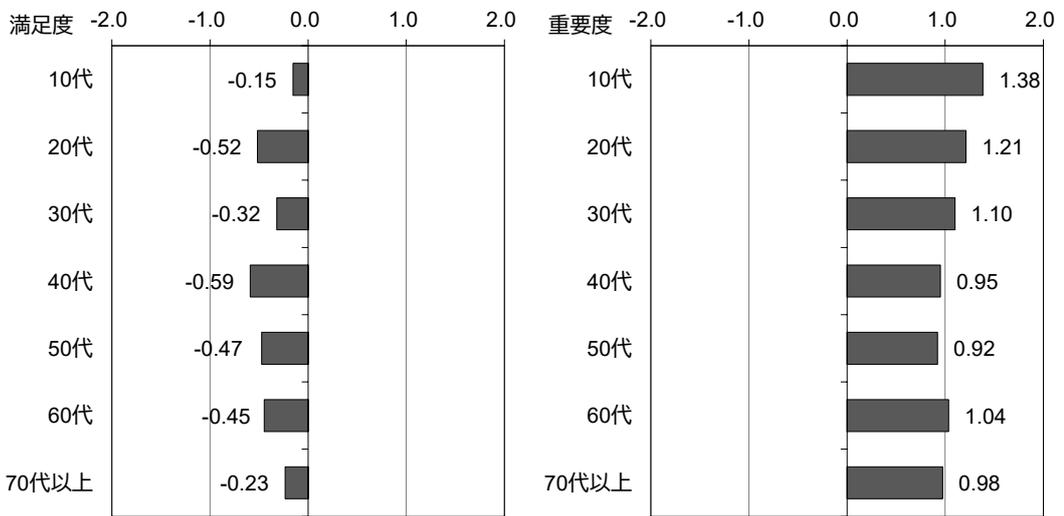
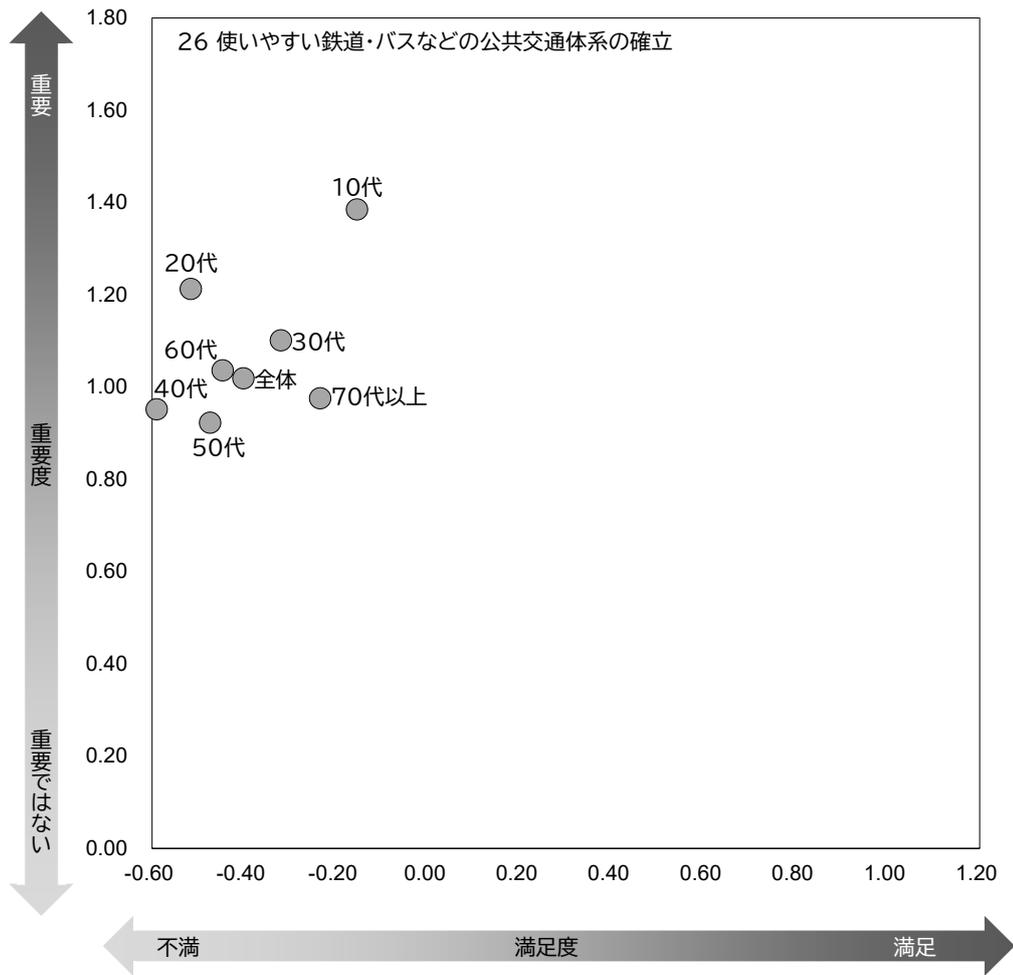
■ 24 国県道などの主要幹線道路や橋りよの整備



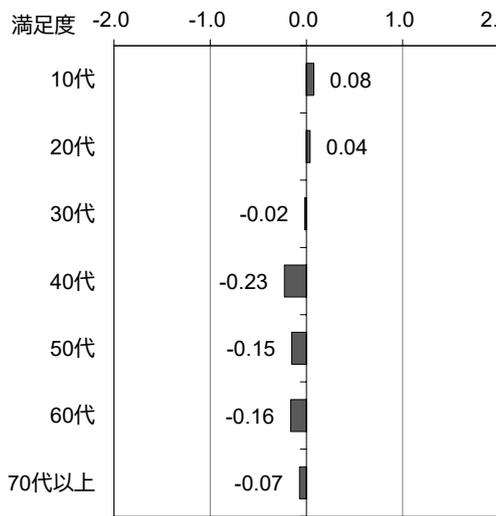
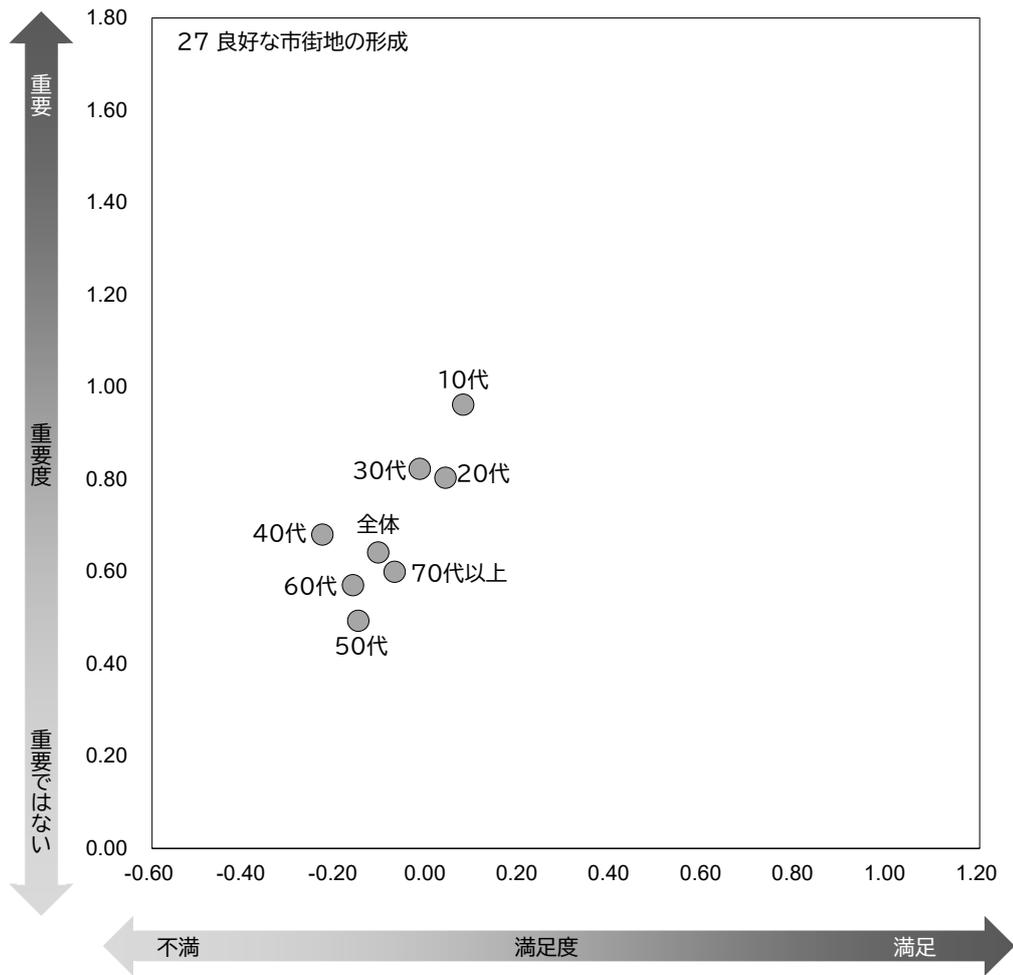
■ 25 生活に身近な道路の整備



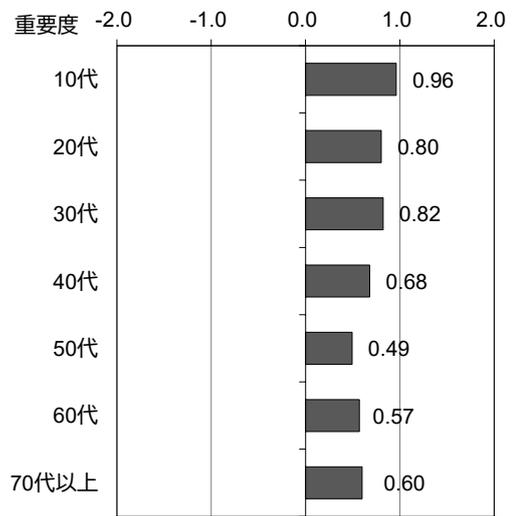
■ 25 生活に身近な道路の整備



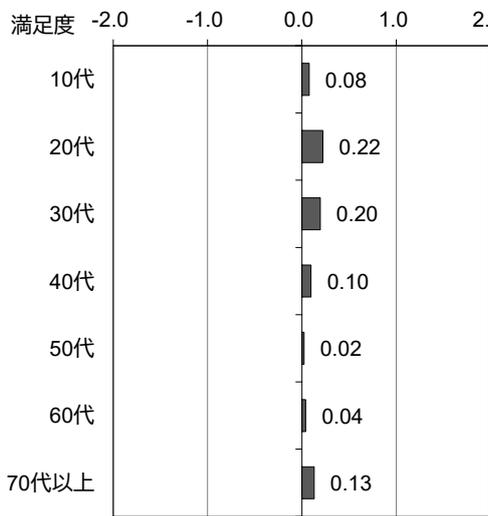
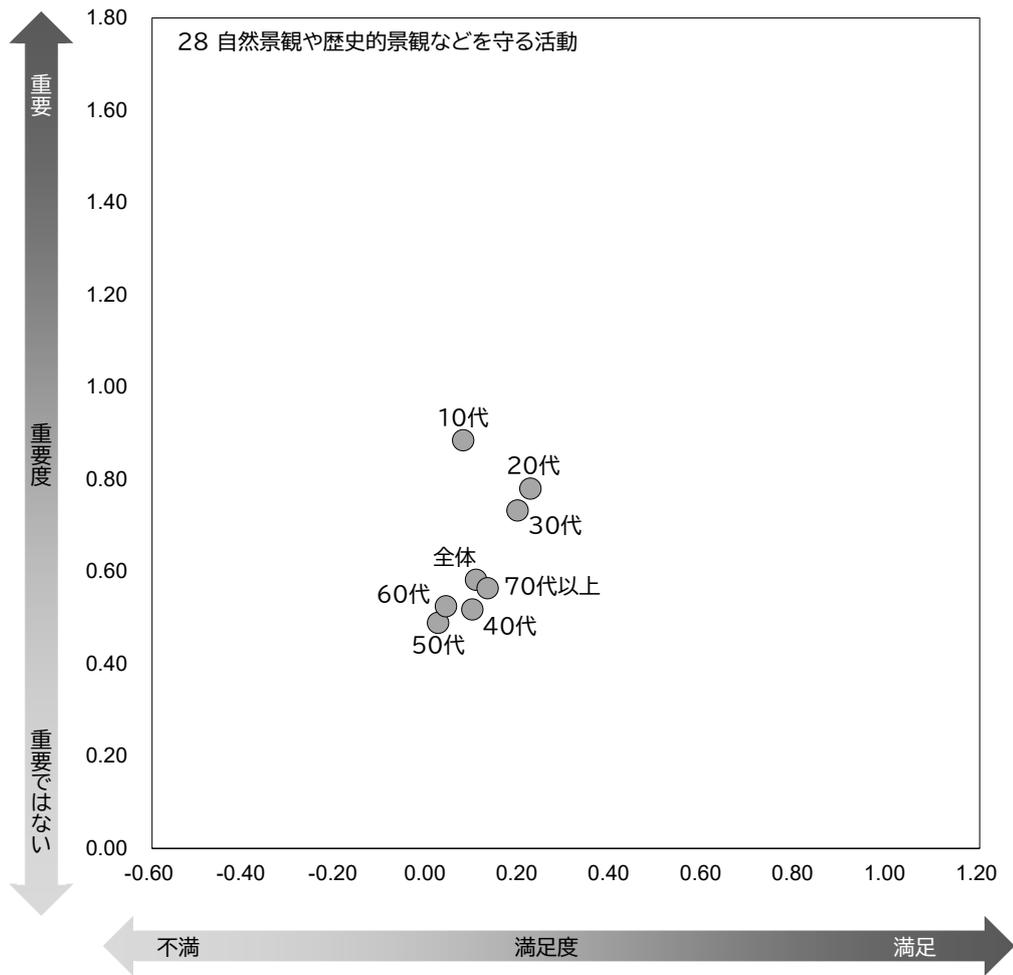
■ 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立



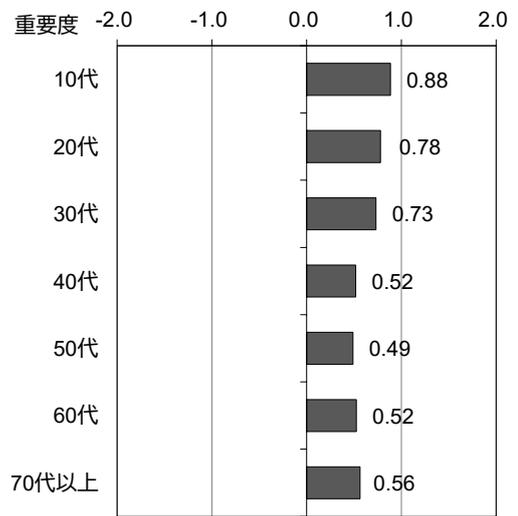
■ 27 良好な市街地の形成



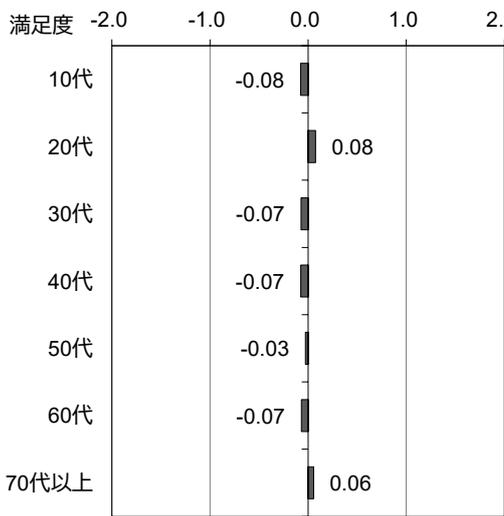
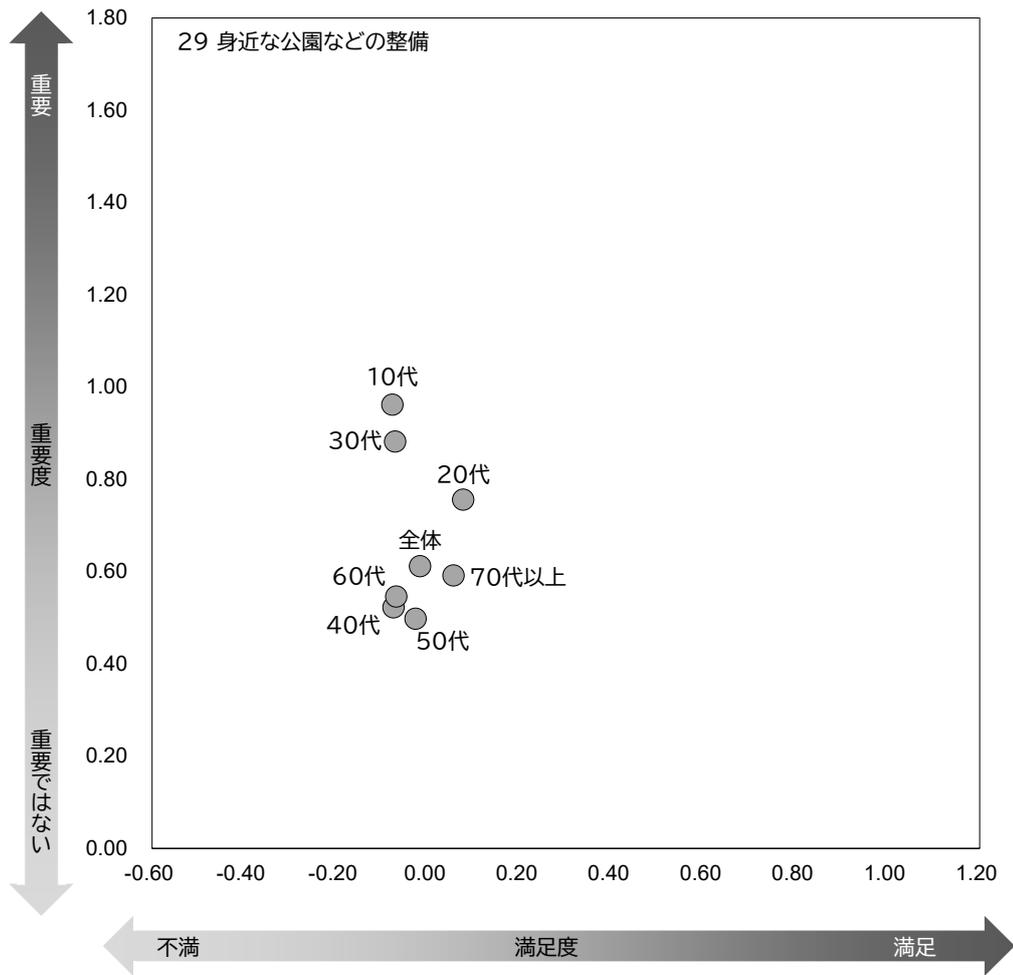
■ 27 良好な市街地の形成



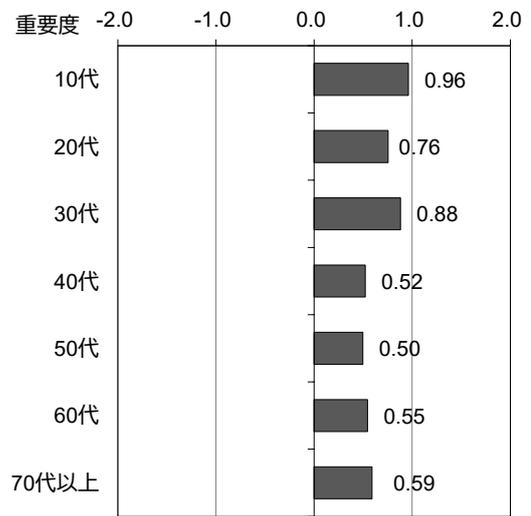
■ 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動



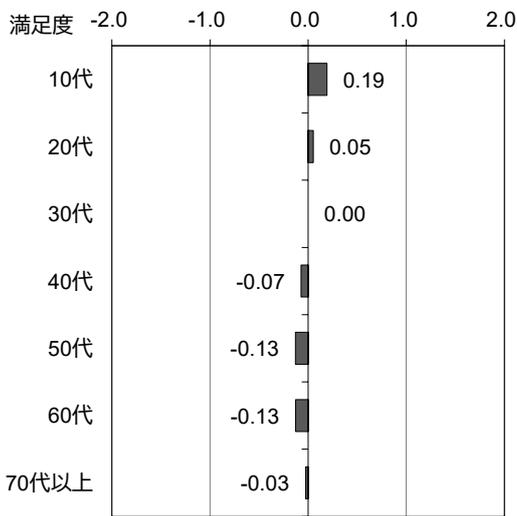
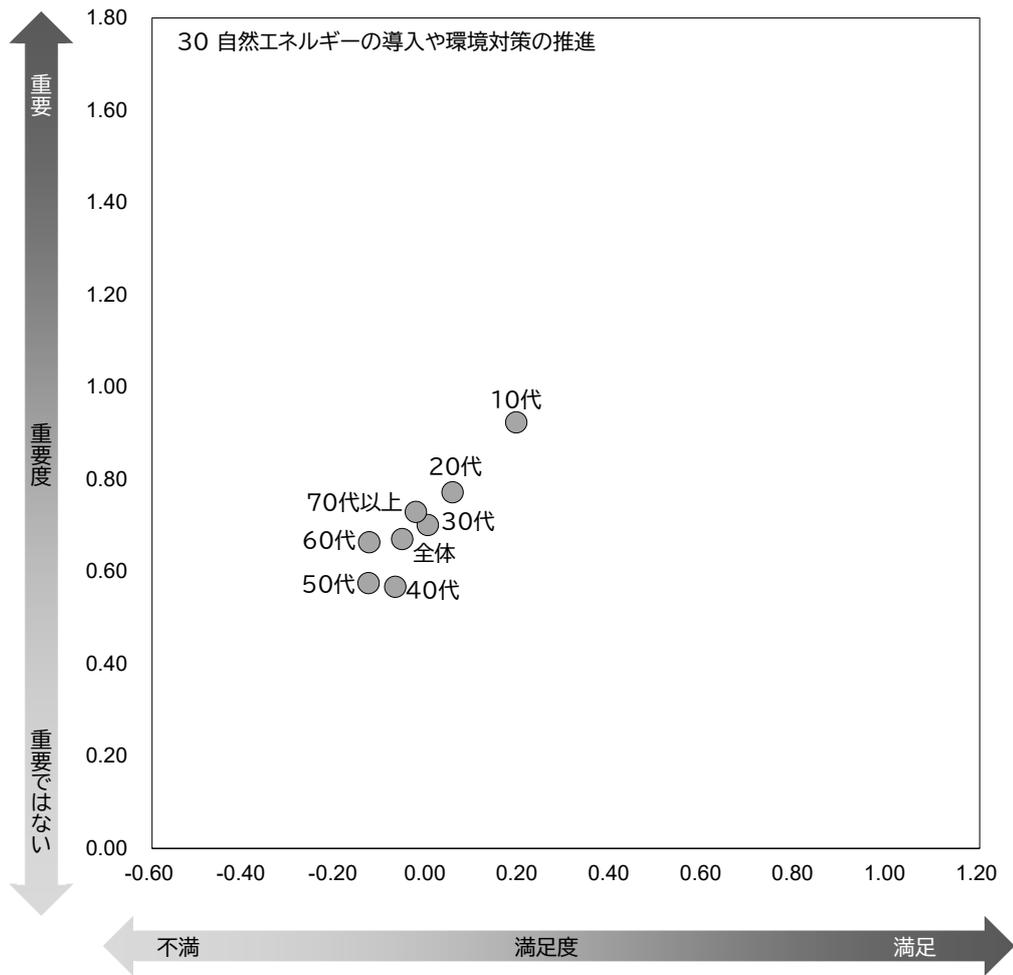
■ 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動



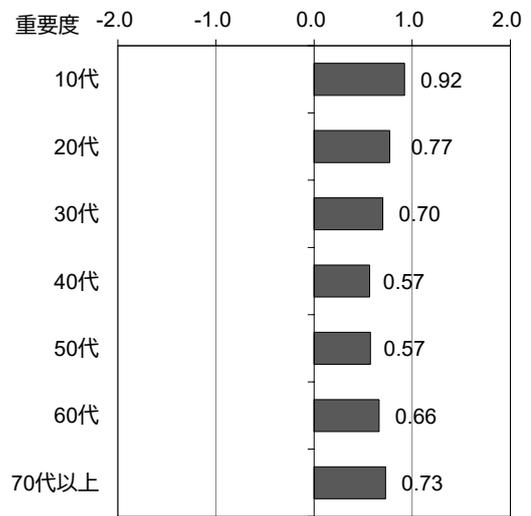
■ 29 身近な公園などの整備



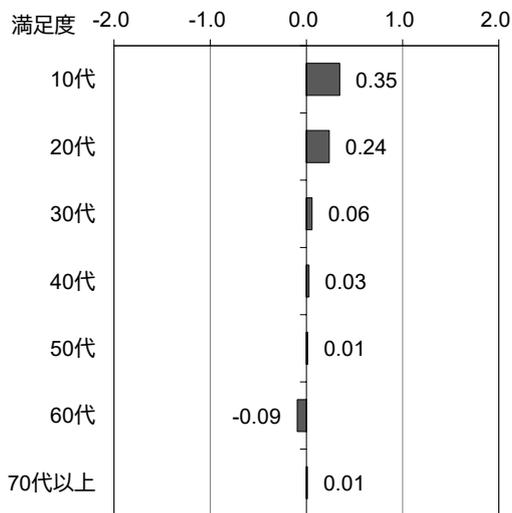
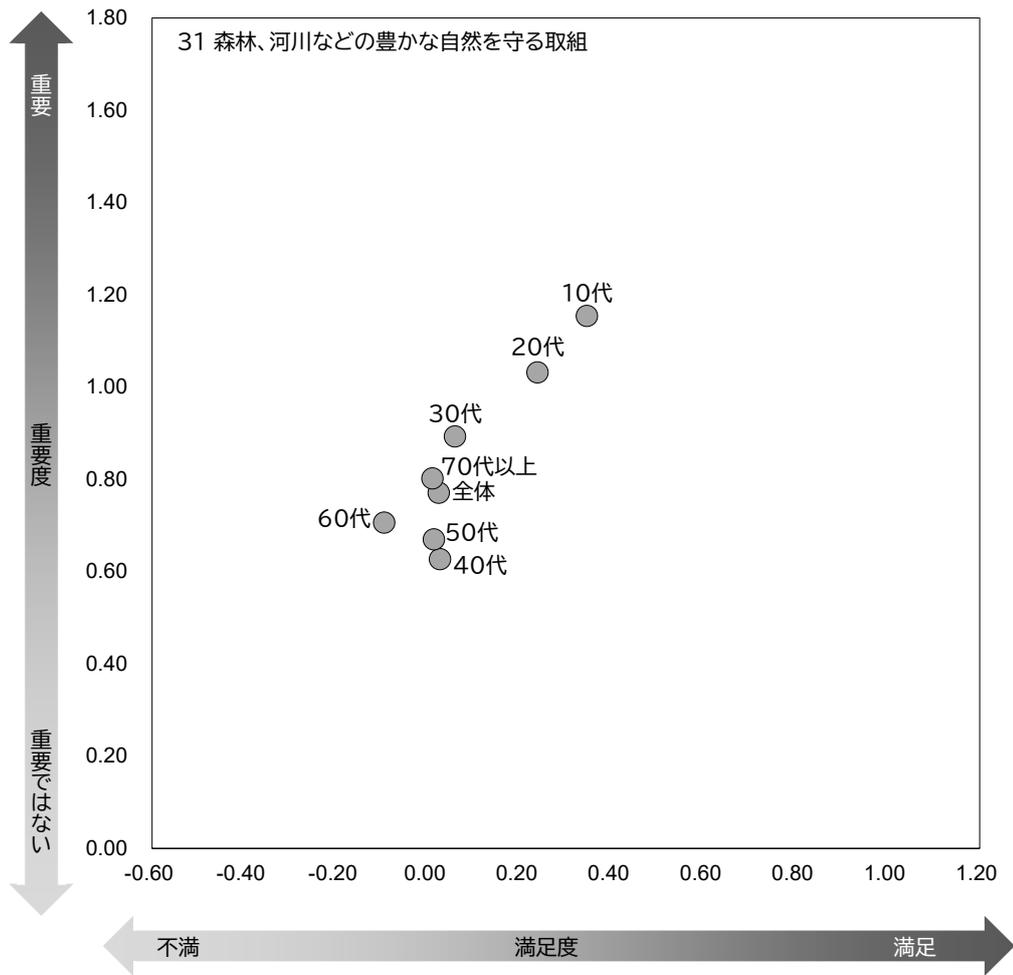
■ 29 身近な公園などの整備



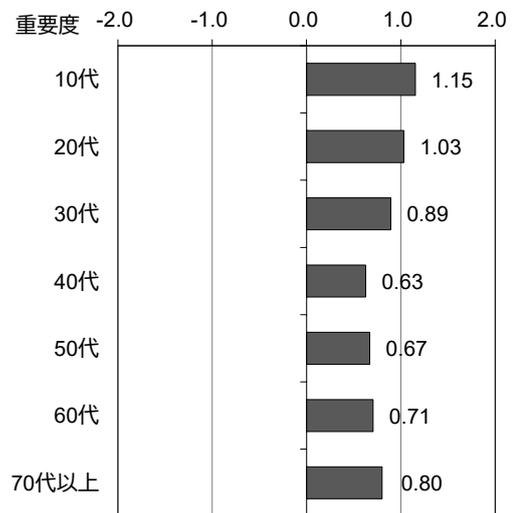
■ 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進



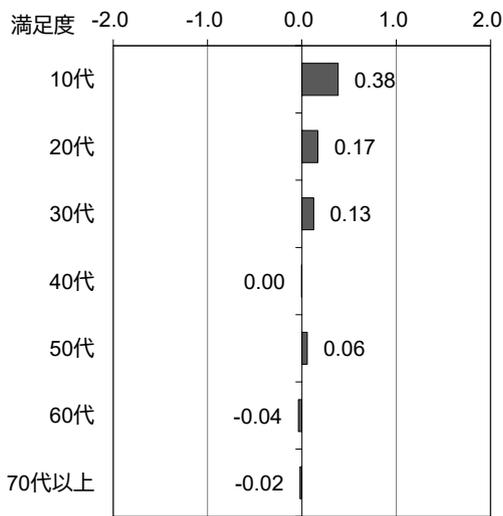
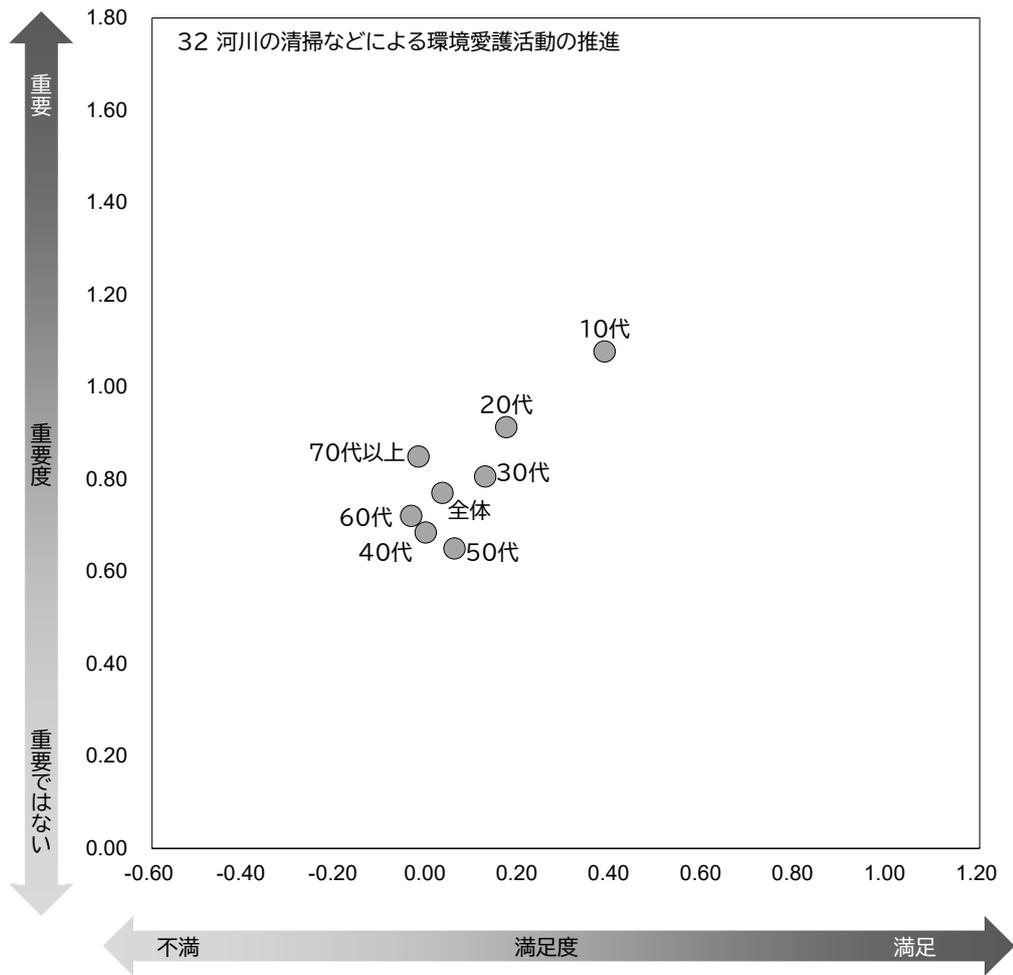
■ 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進



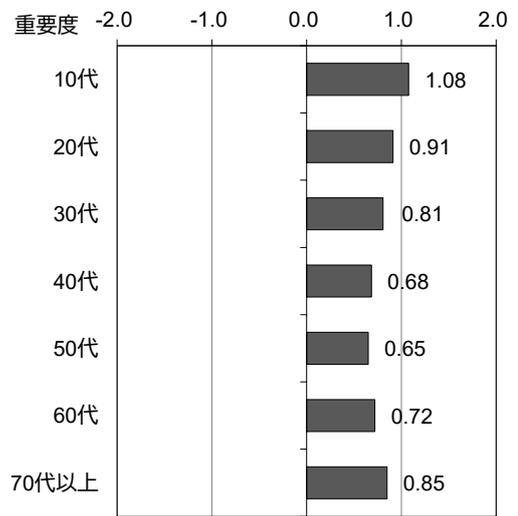
■ 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組



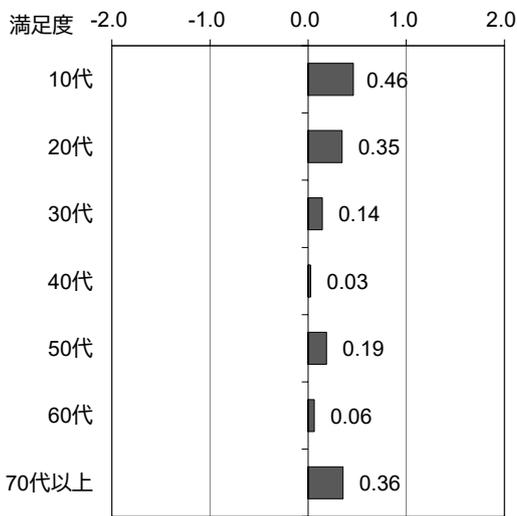
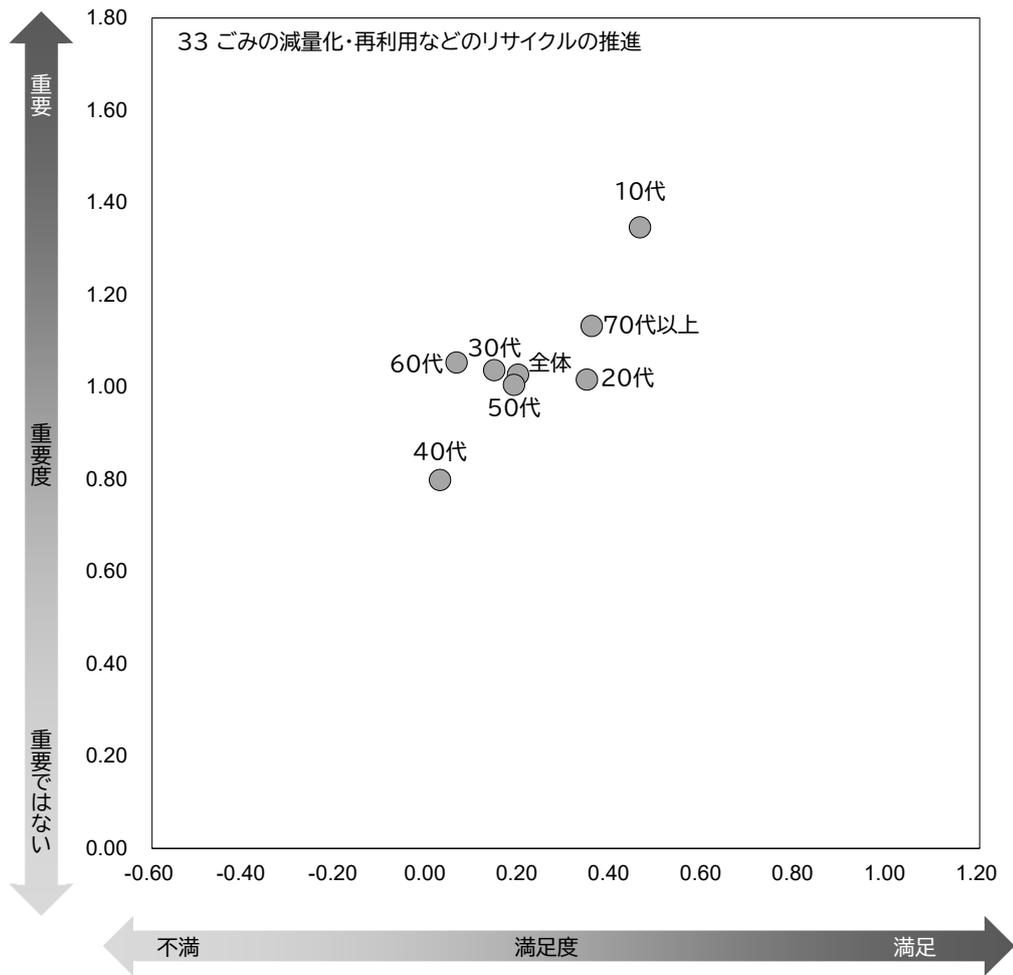
■ 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組



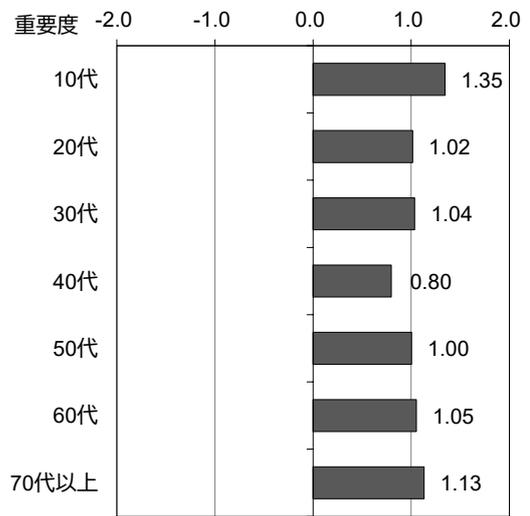
■32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進



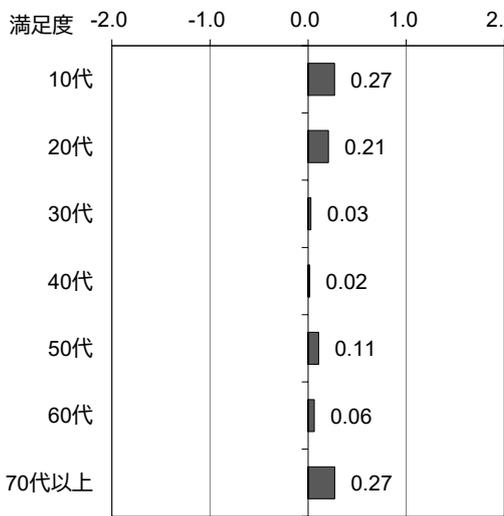
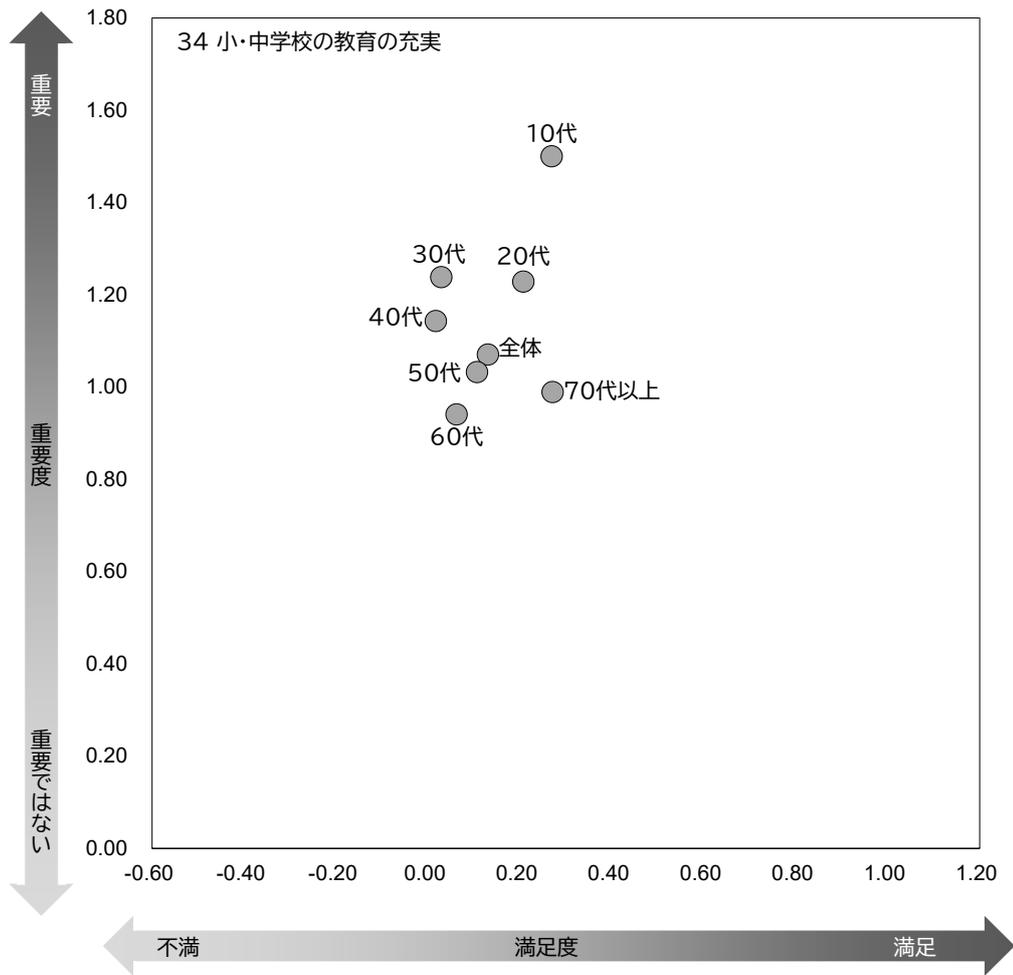
■32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進



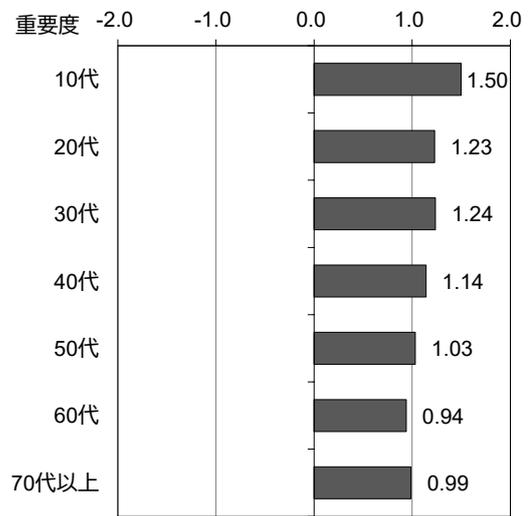
■33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進



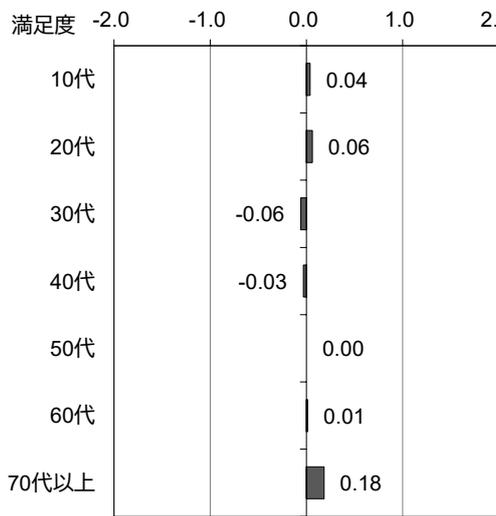
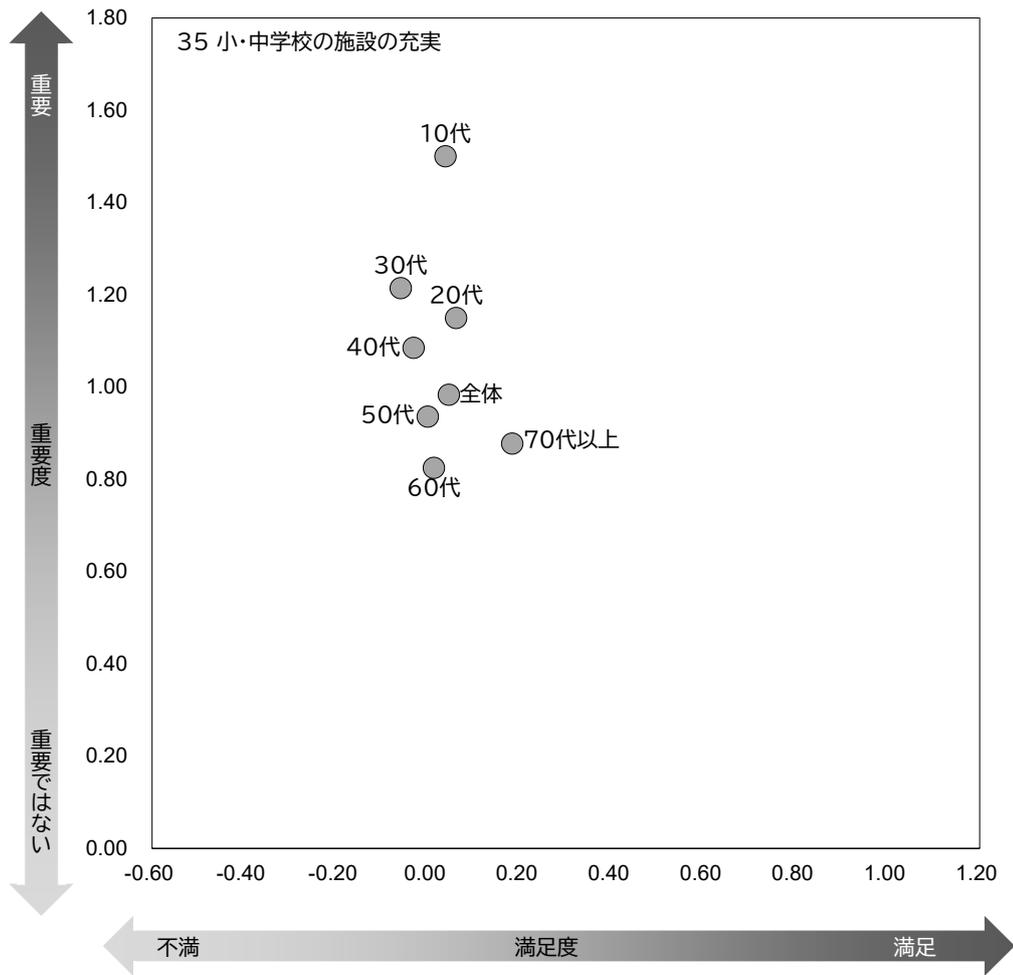
■33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進



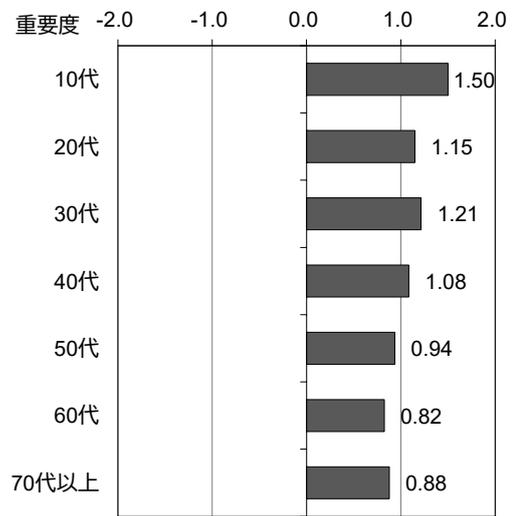
■34 小・中学校の教育の充実



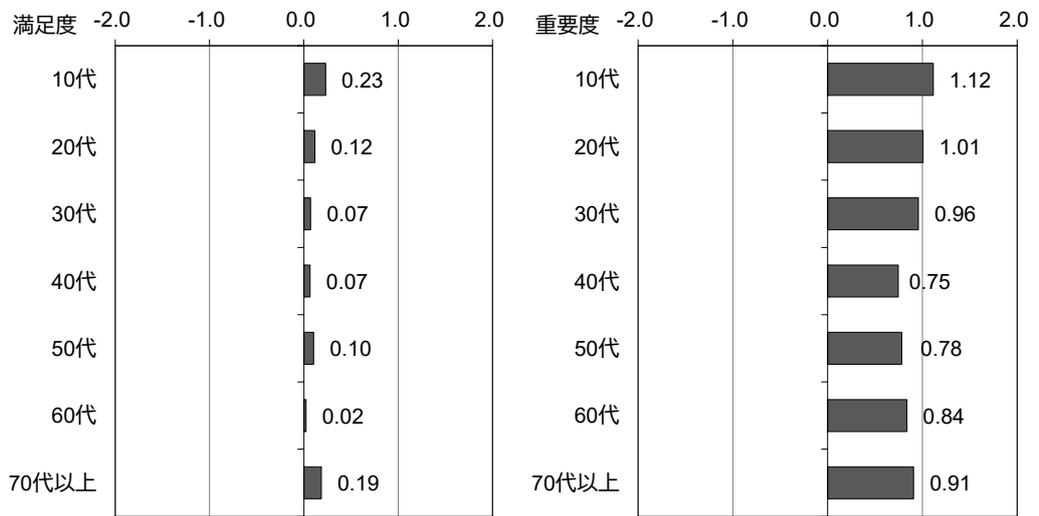
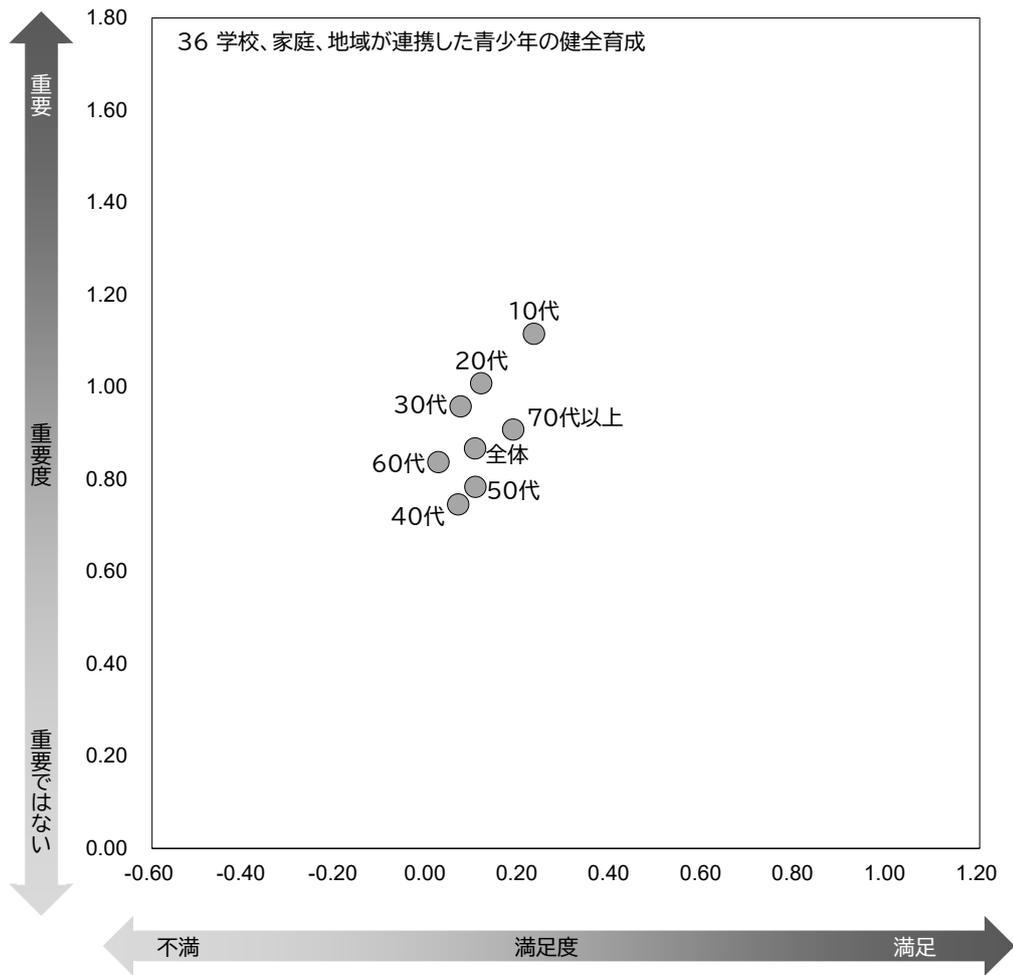
■34 小・中学校の教育の充実



■ 35 小・中学校の施設の充実

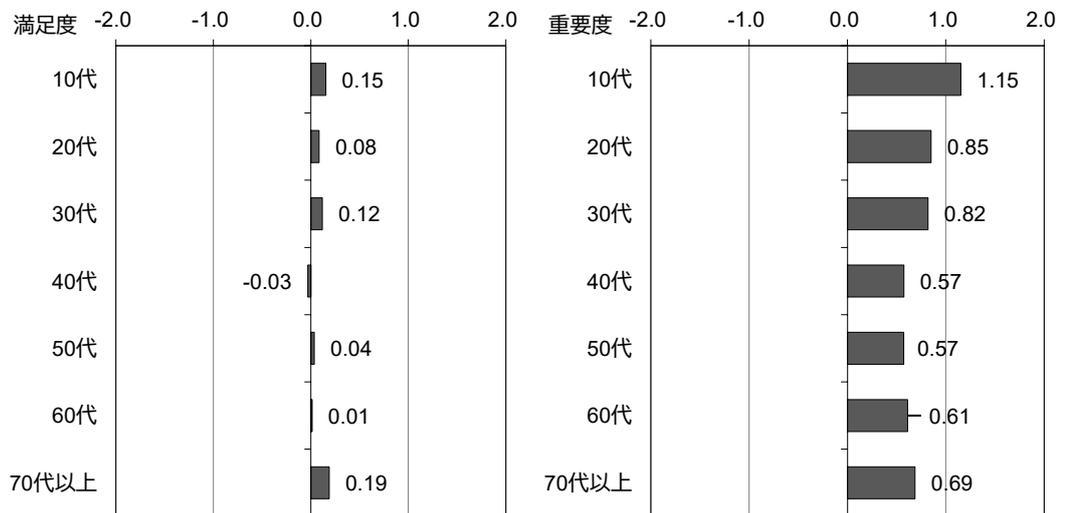
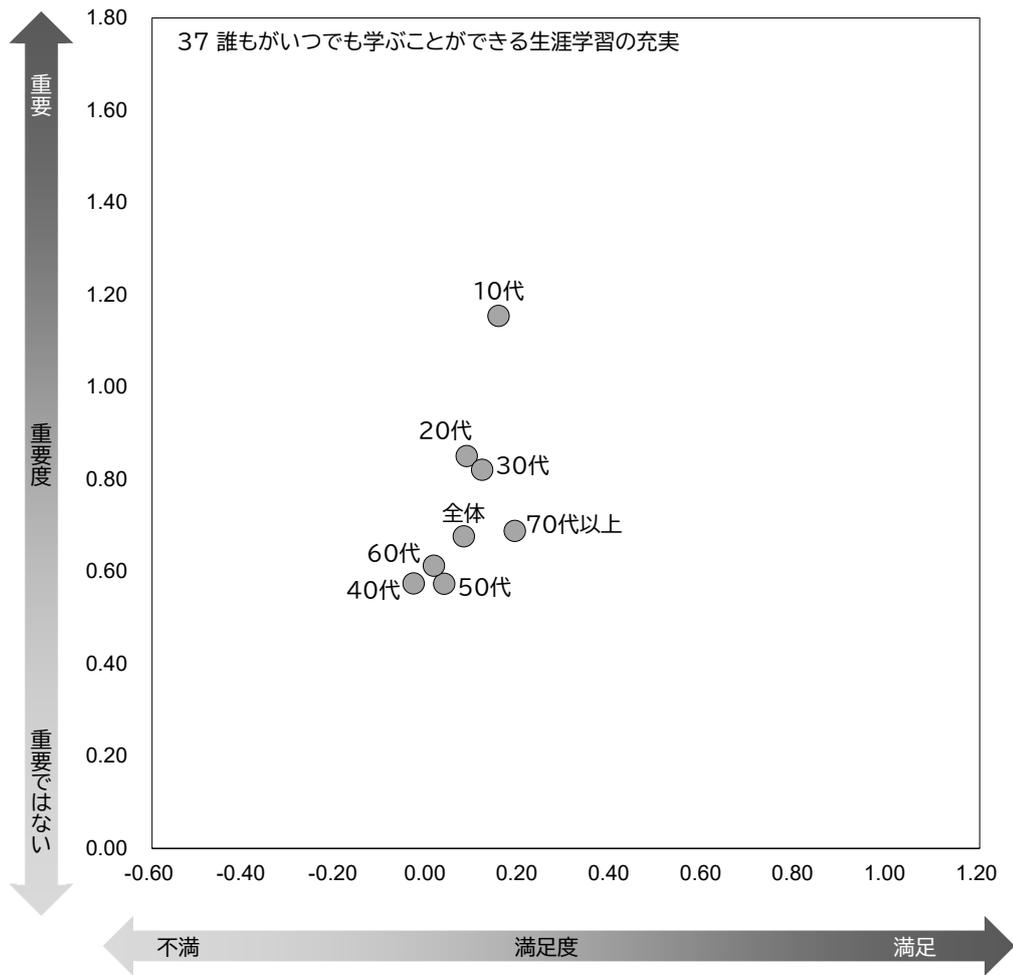


■ 35 小・中学校の施設の充実

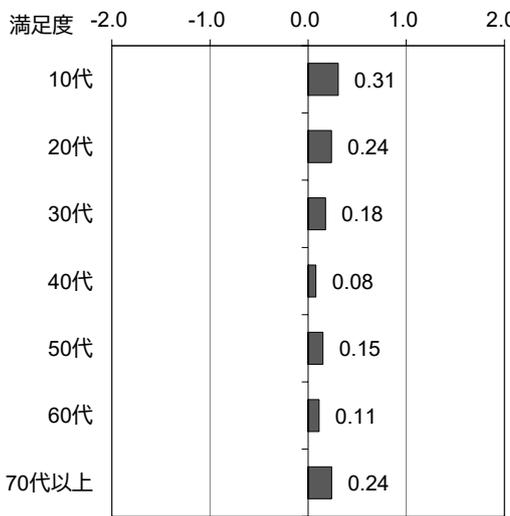
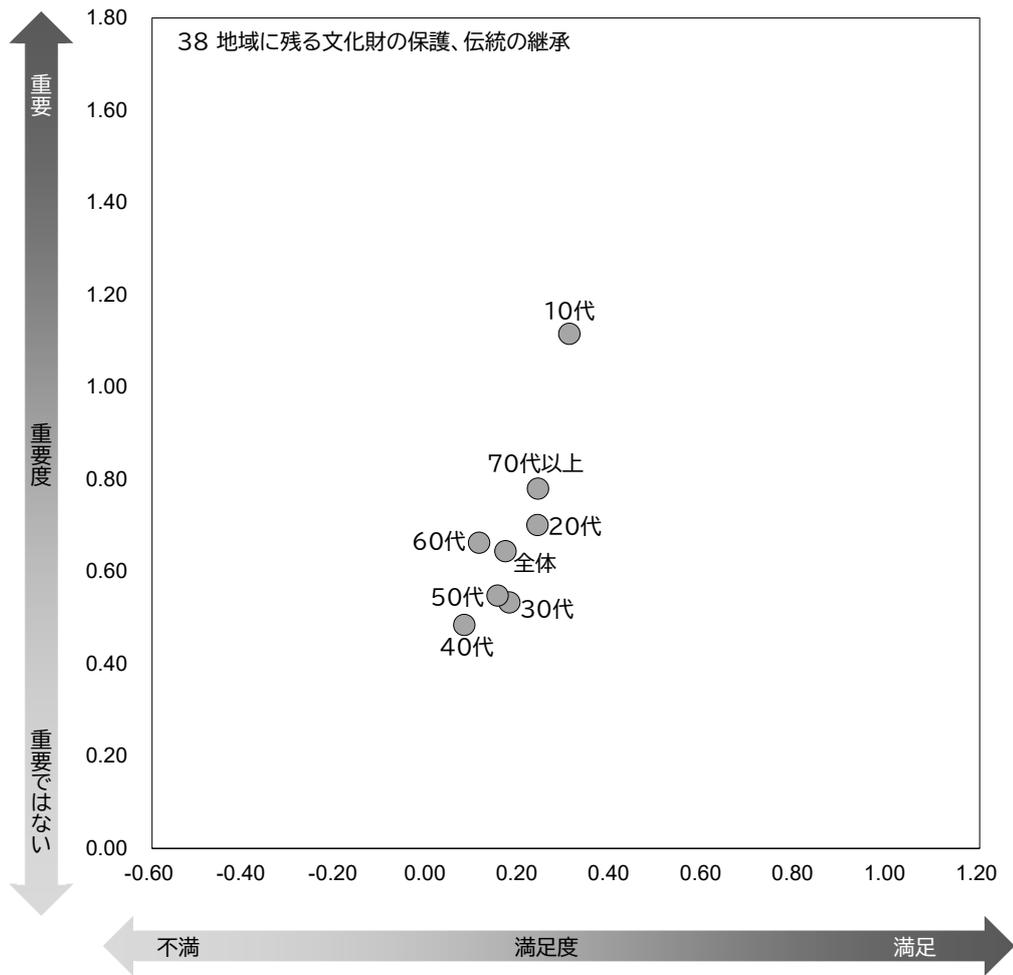


■ 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成

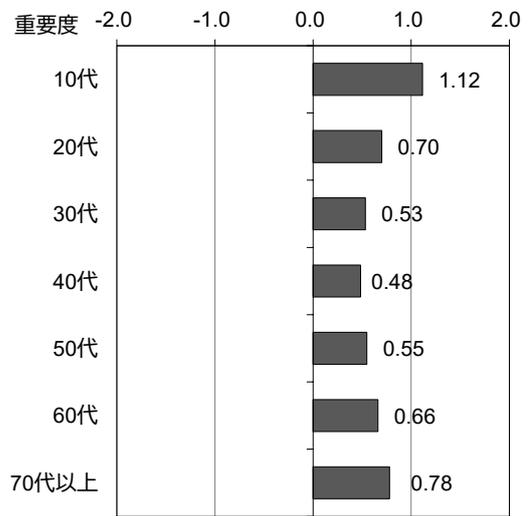
■ 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成



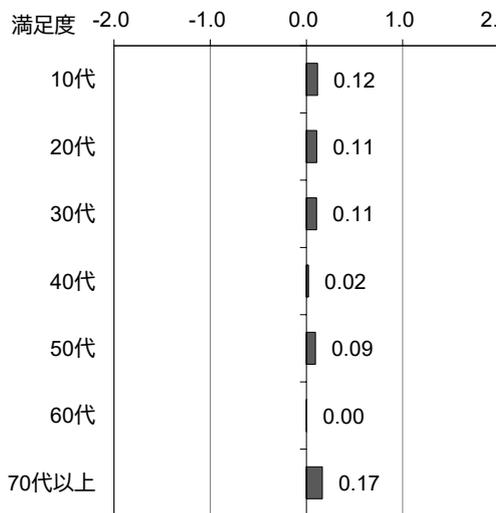
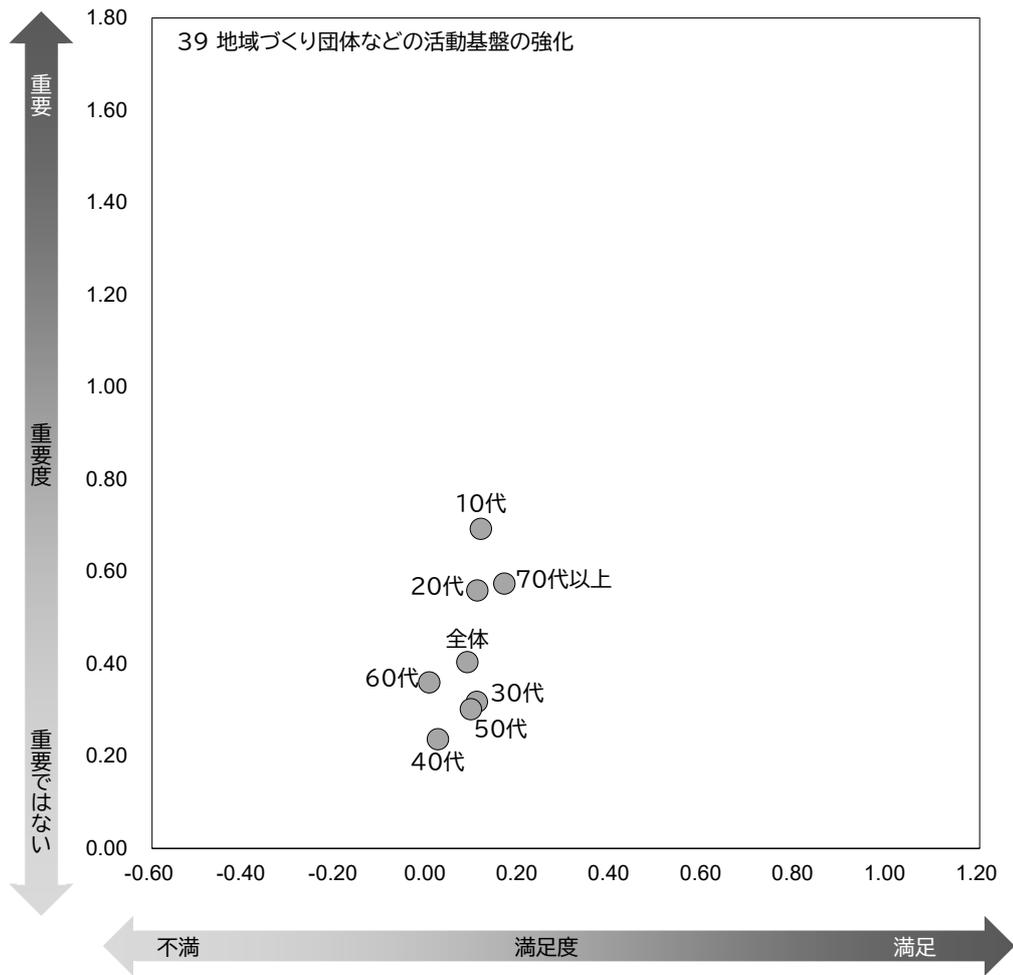
■ 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 ■ 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実



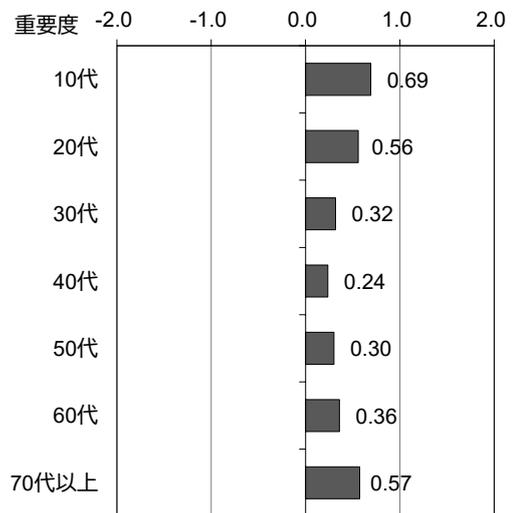
■ 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承



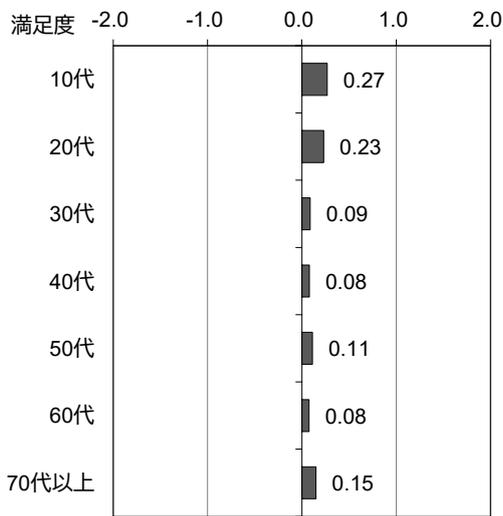
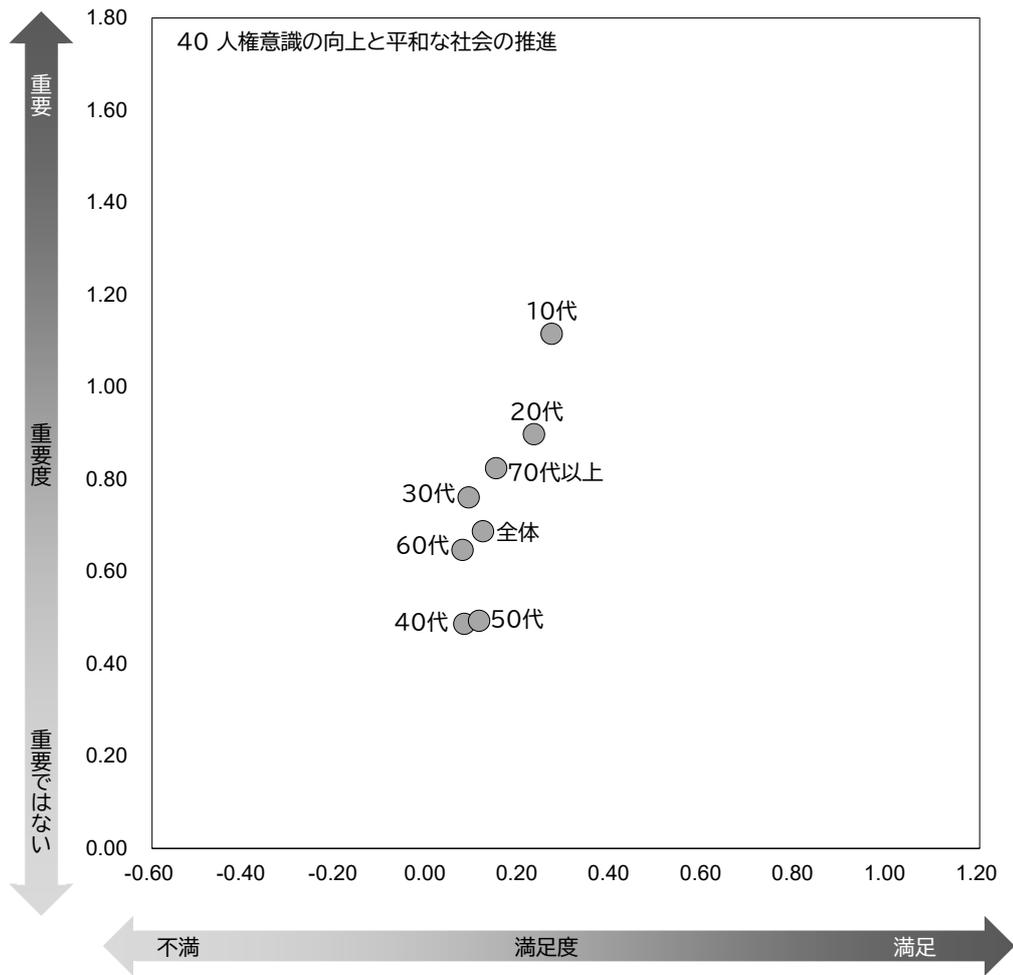
■ 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承



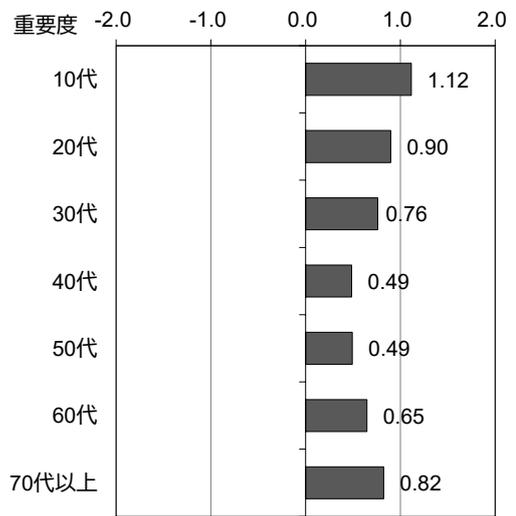
■ 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化



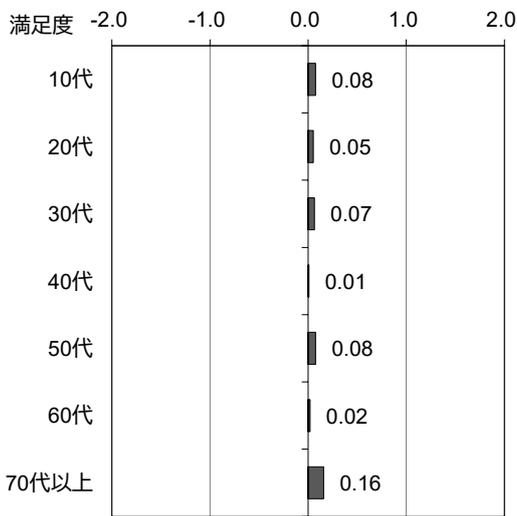
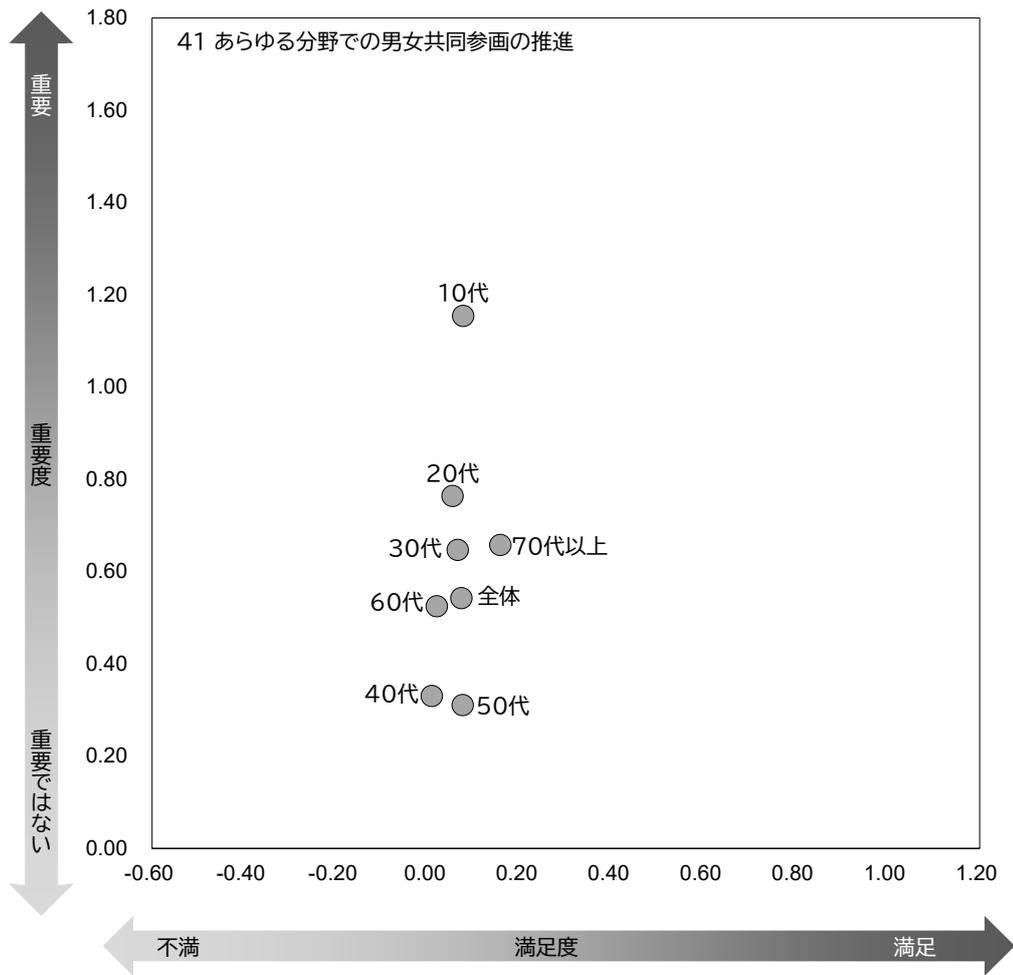
■ 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化



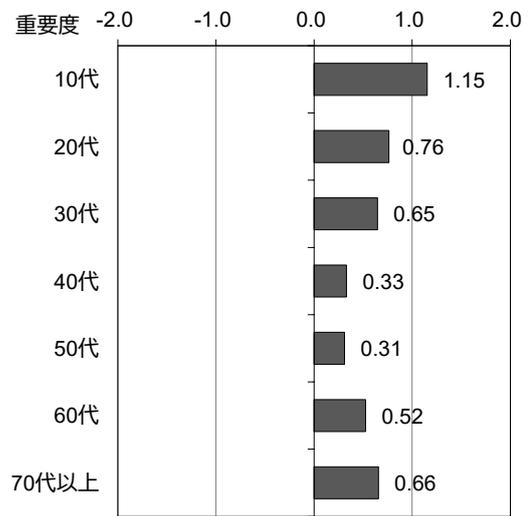
■ 40 人権意識の向上と平和な社会の推進



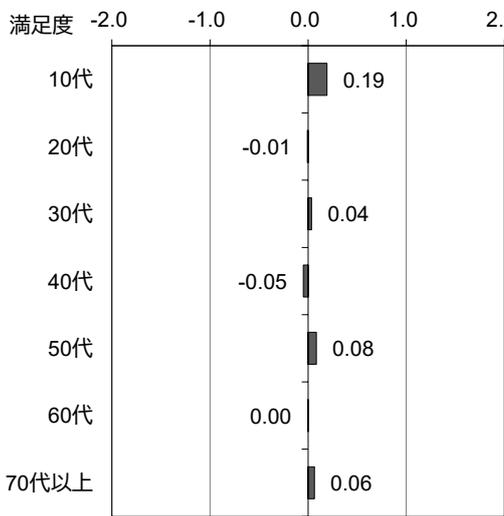
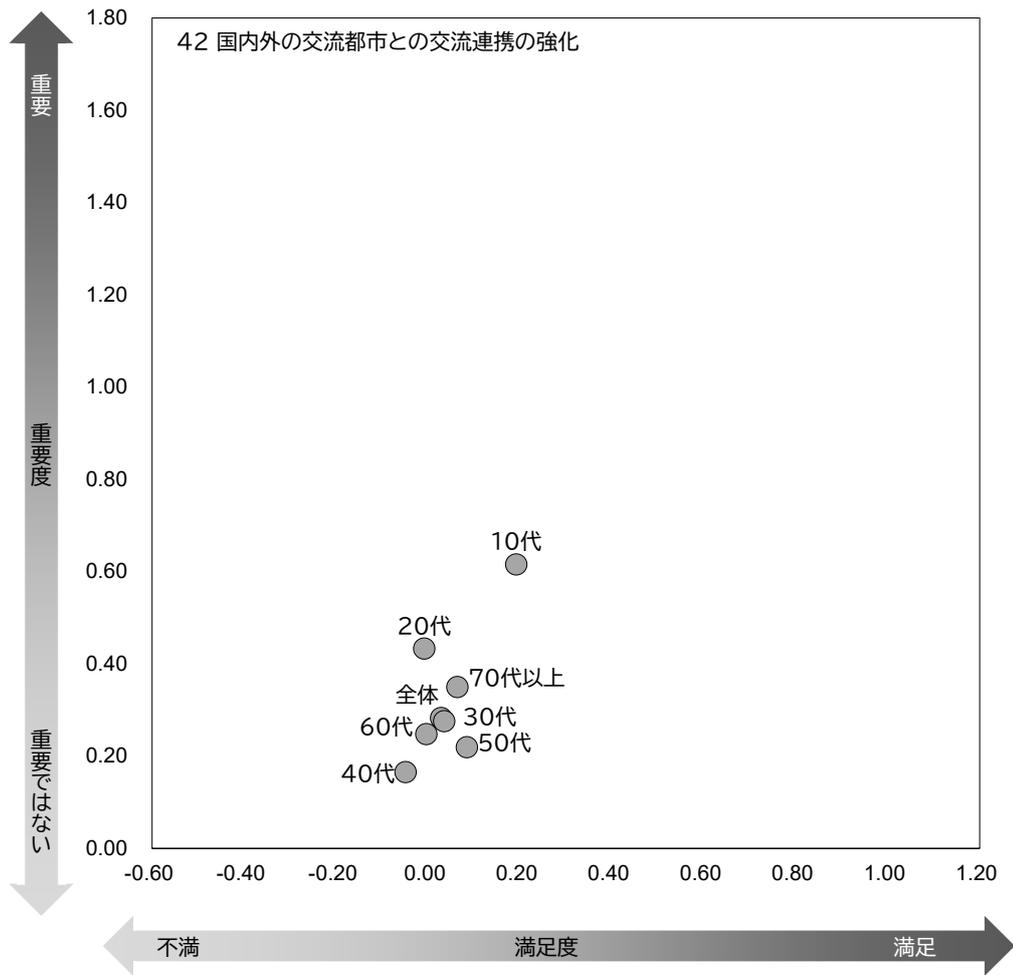
■ 40 人権意識の向上と平和な社会の推進



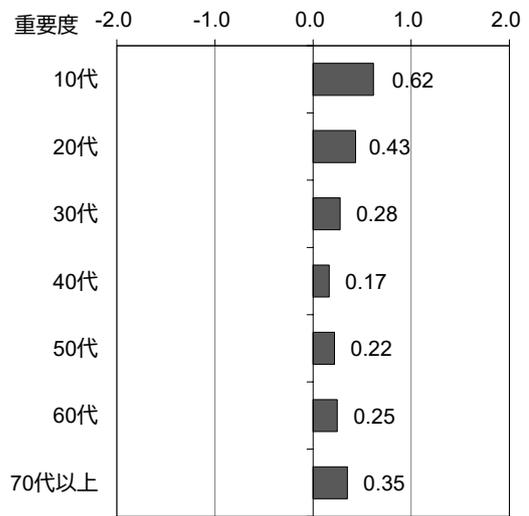
■41 あらゆる分野での男女共同参画の推進



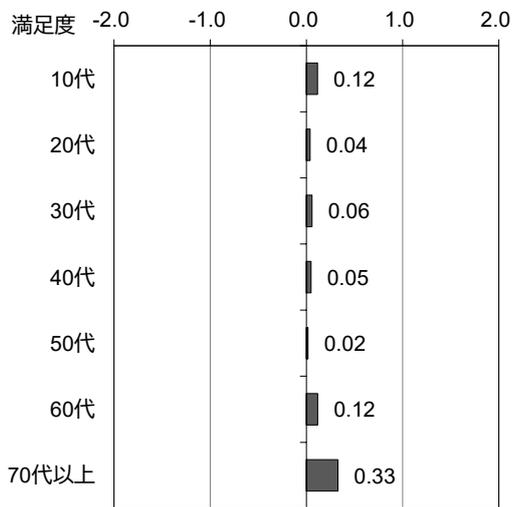
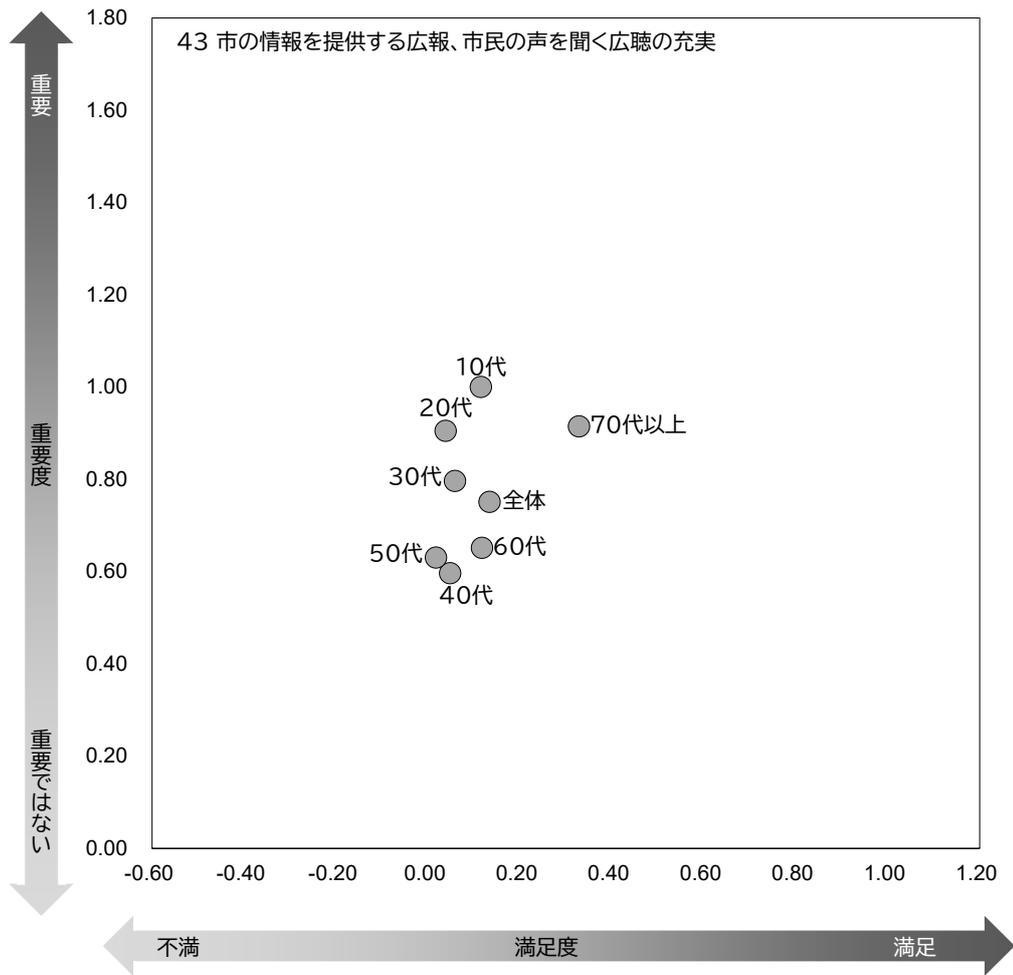
■41 あらゆる分野での男女共同参画の推進



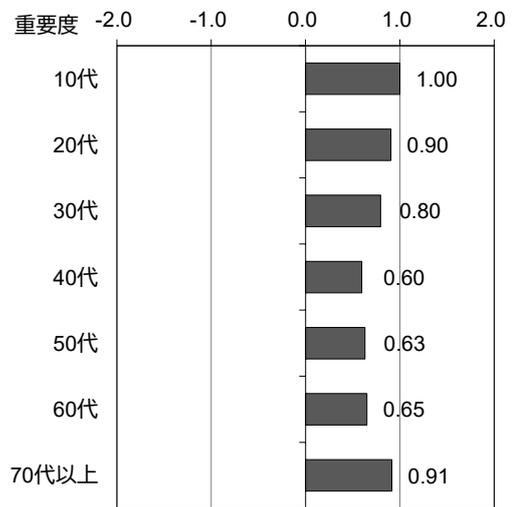
■ 42 国内外の交流都市との交流連携の強化



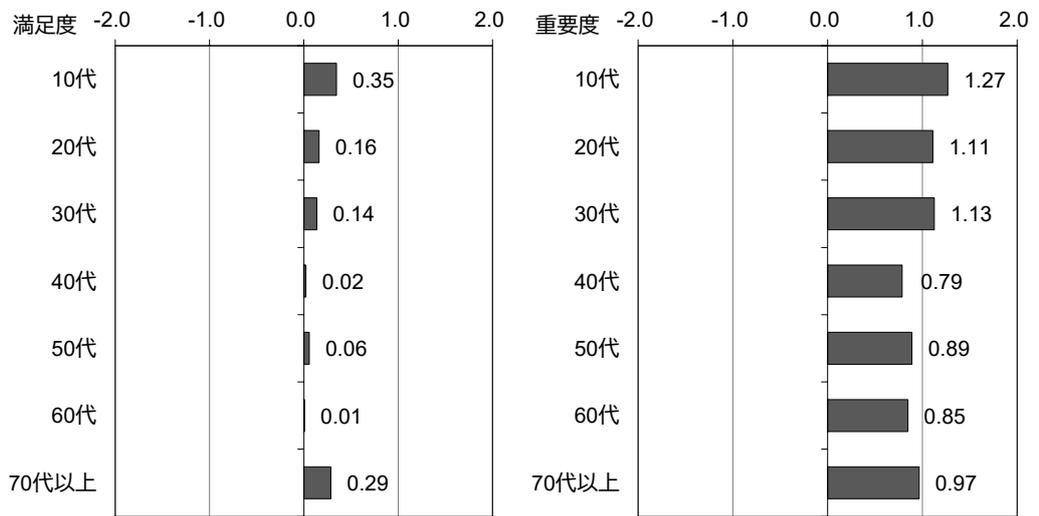
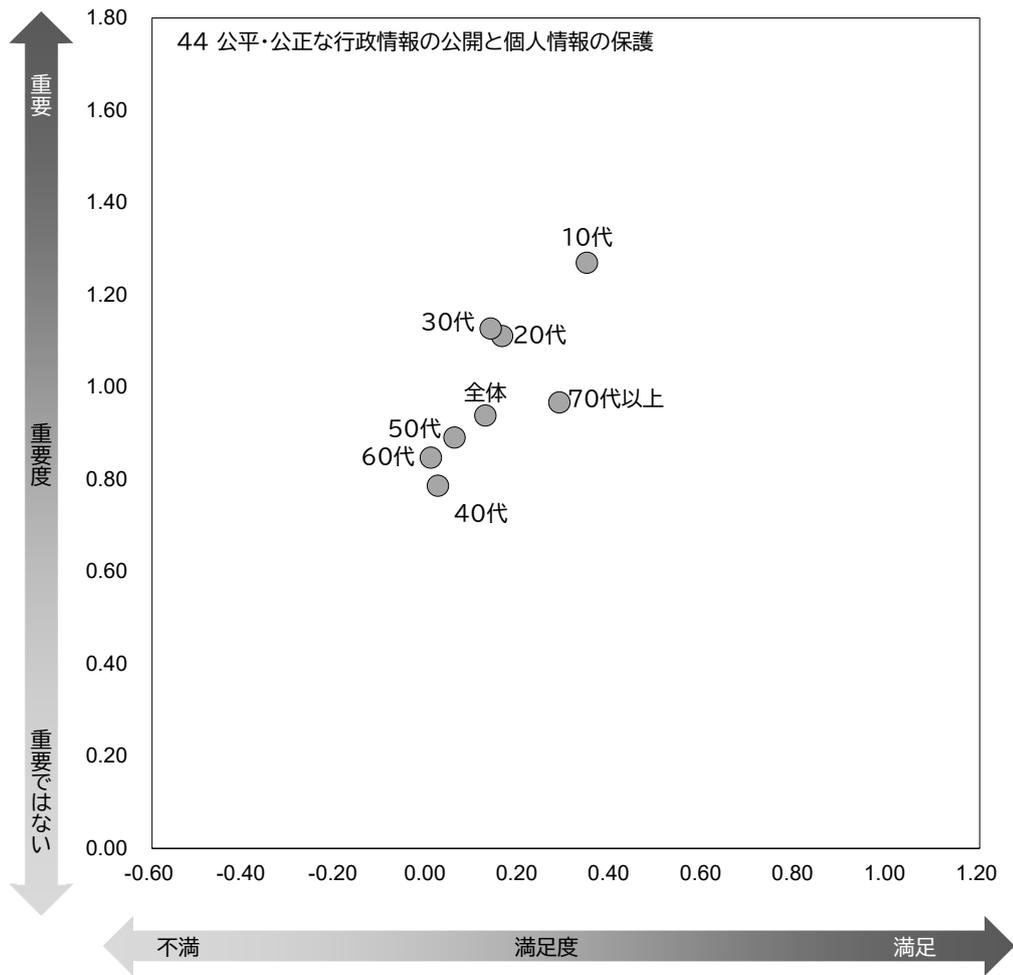
■ 42 国内外の交流都市との交流連携の強化



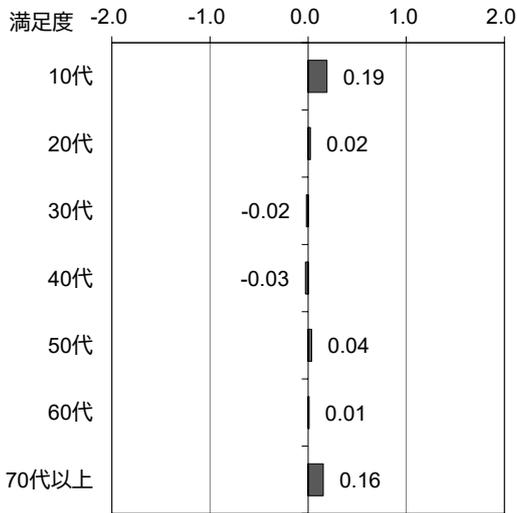
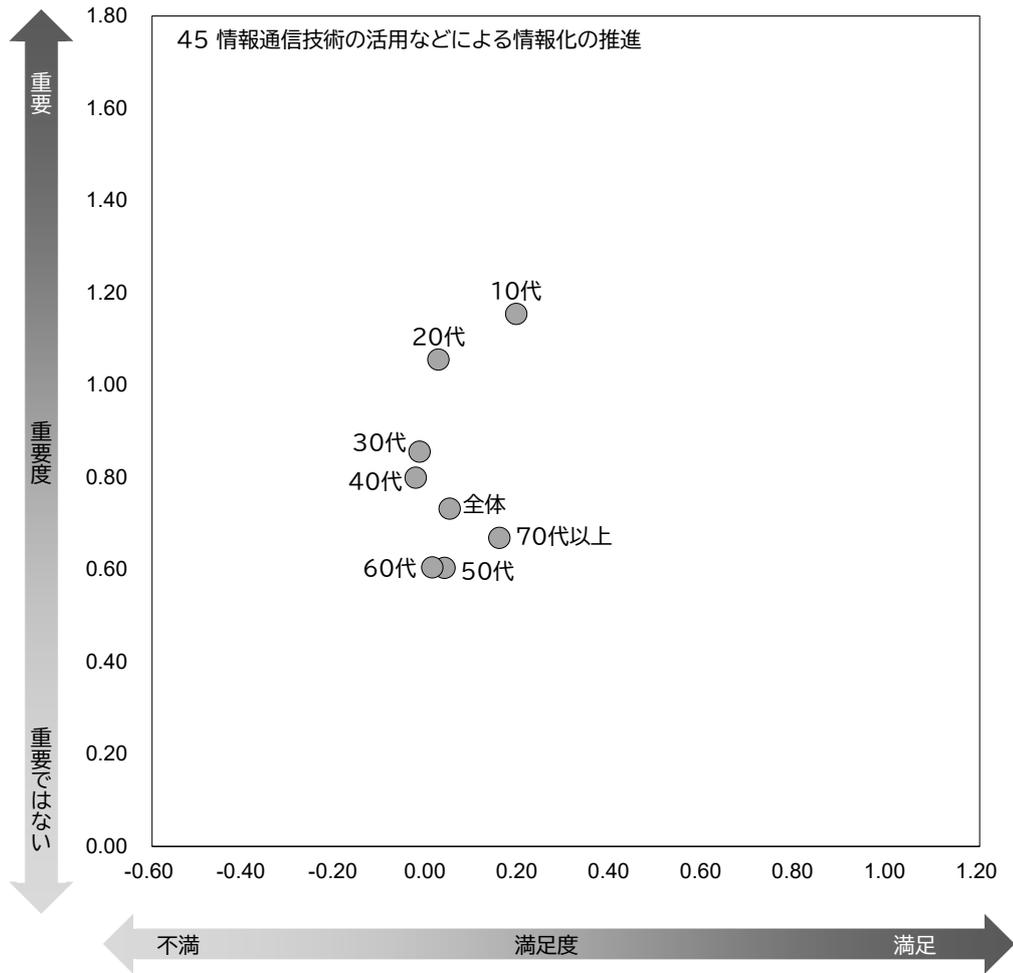
■ 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実



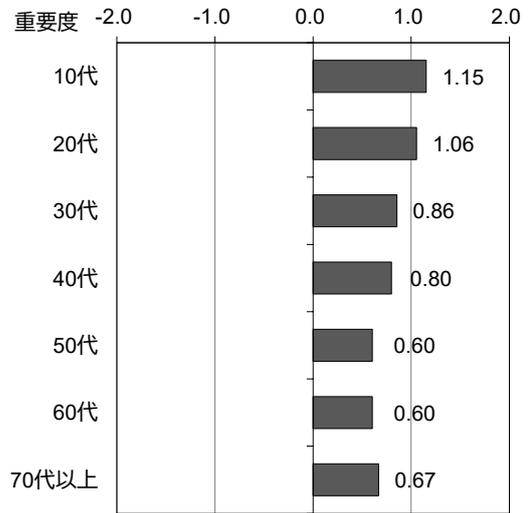
■ 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実



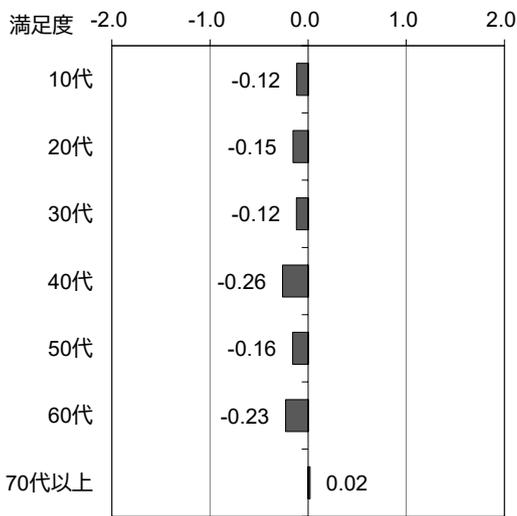
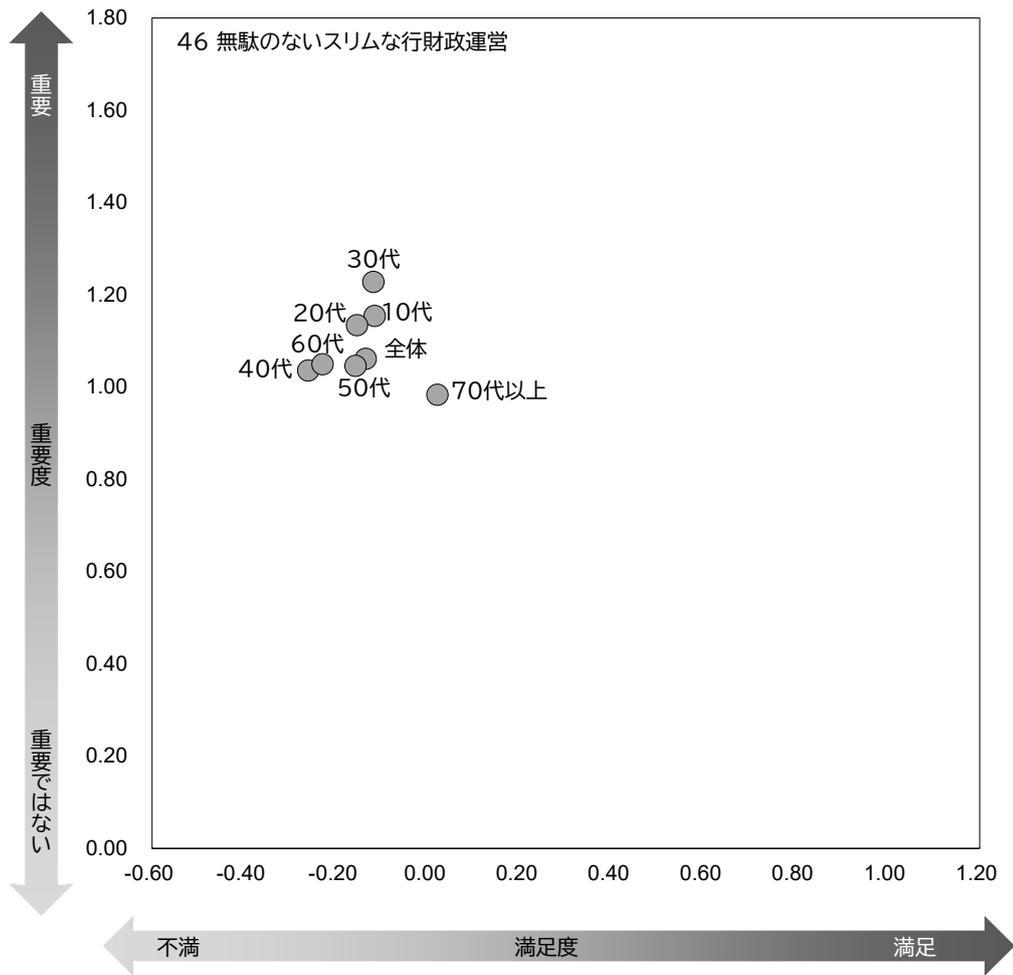
■44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護 ■44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護



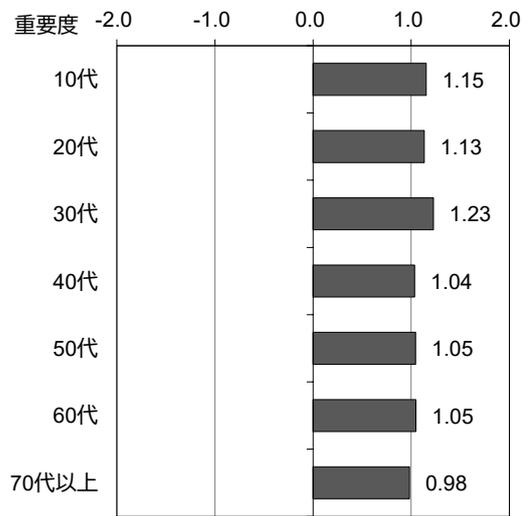
■45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進



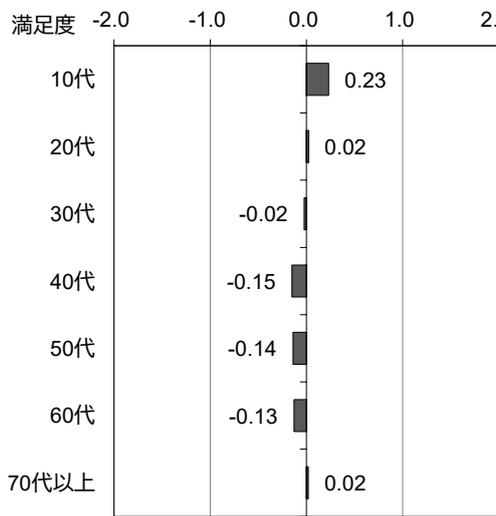
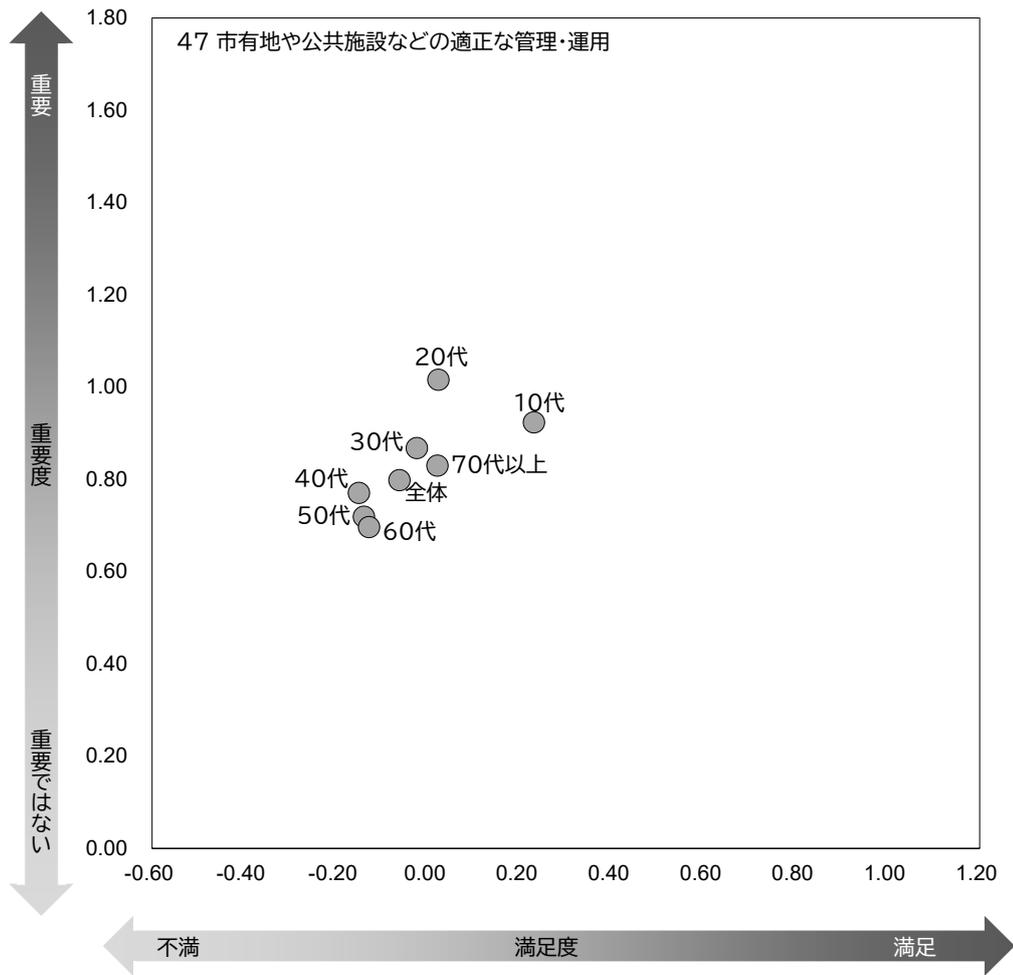
■45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進



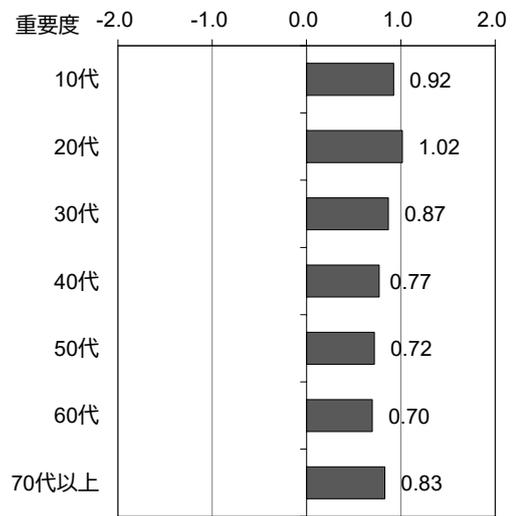
■ 46 無駄のないスリムな行財政運営



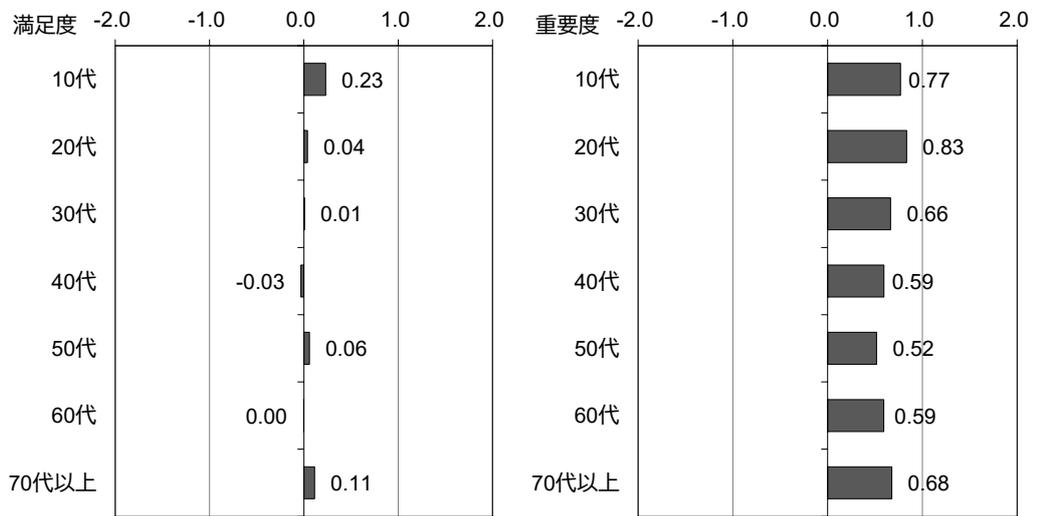
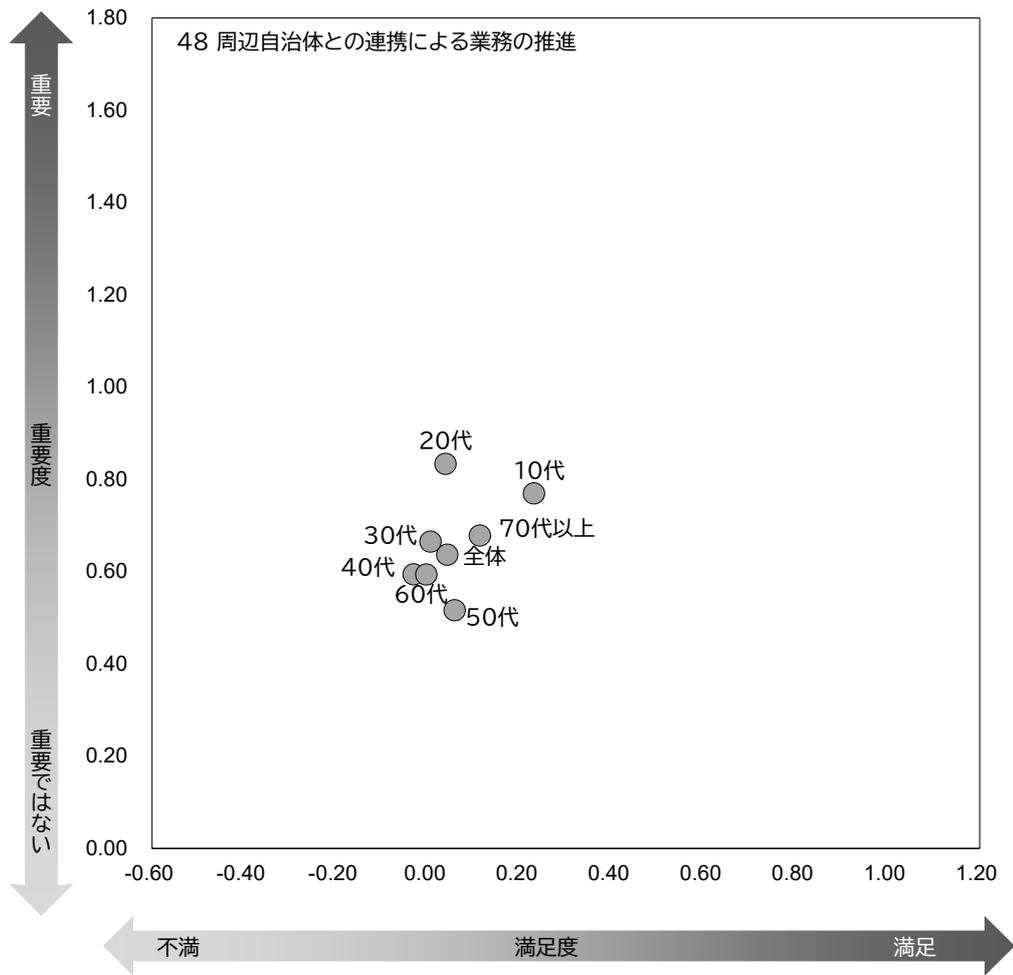
■ 46 無駄のないスリムな行財政運営



■ 47 市有地や公共施設などの適正な管理・運用



■ 47 市有地や公共施設などの適正な管理・運用

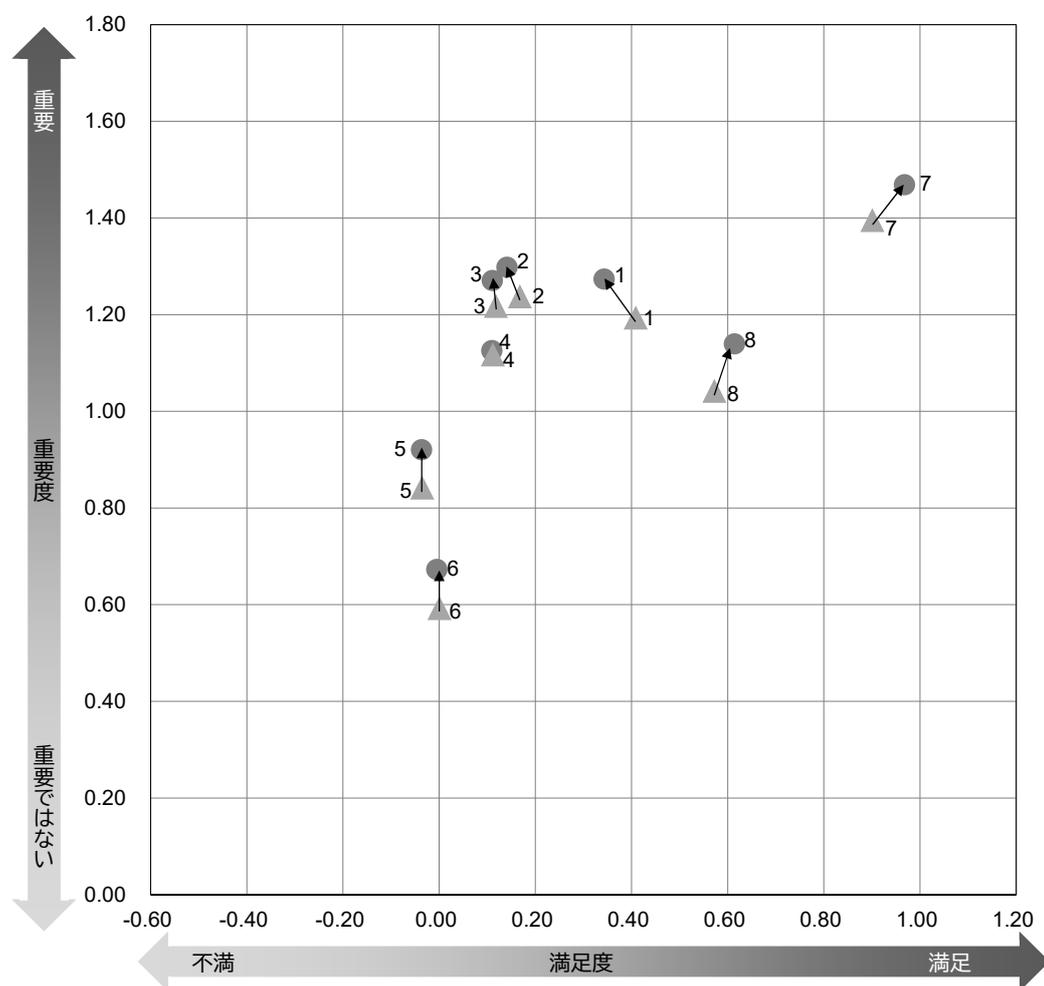


■ 48 周辺自治体との連携による業務の推進

■ 48 周辺自治体との連携による業務の推進

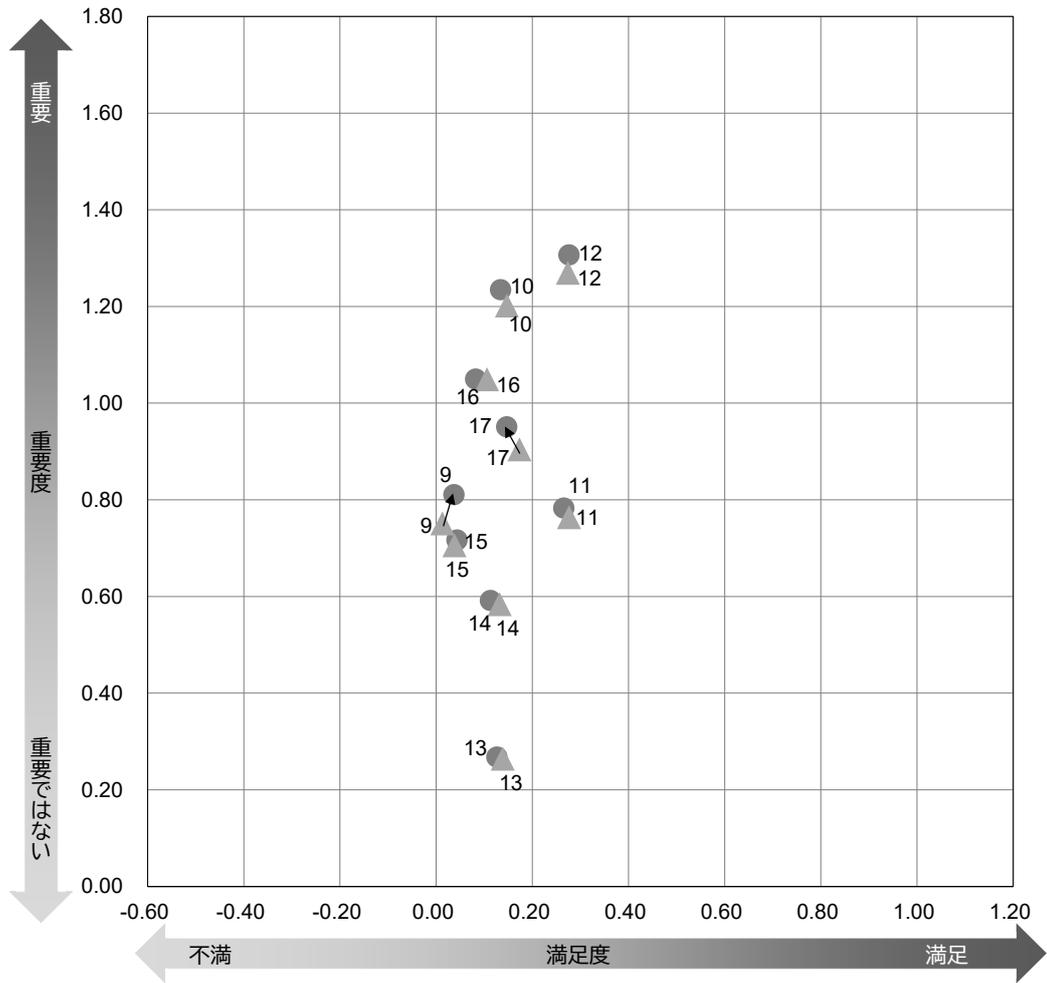
4. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）

(1) 安全・安心、暮らし分野



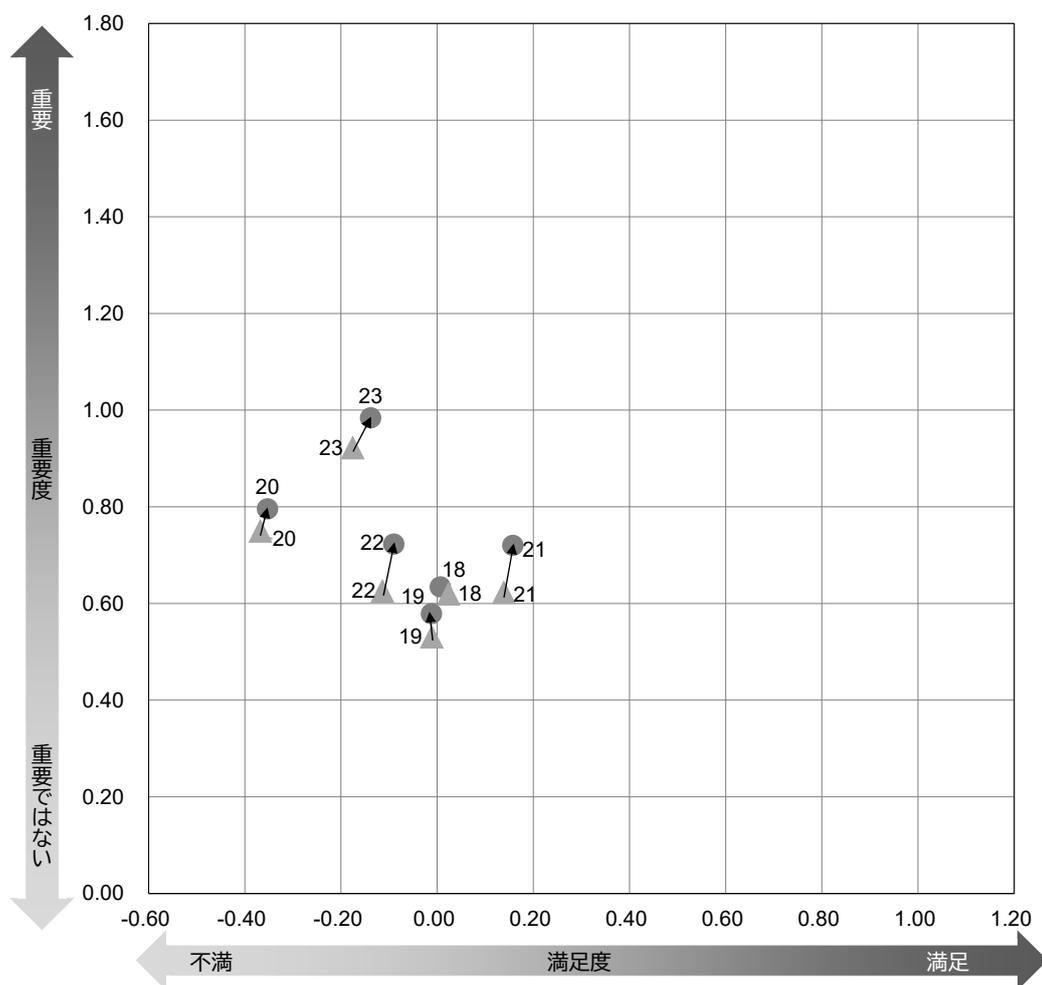
	今回(令和 5 年度)調査 ●		前回(令和 4 年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	0.34	1.27	0.41	1.19
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	0.14	1.30	0.17	1.24
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	0.11	1.27	0.12	1.22
4 交通安全対策の推進	0.11	1.13	0.11	1.12
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	-0.04	0.92	-0.04	0.84
6 移住・定住環境の充実	0.00	0.67	0.00	0.59
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	0.97	1.47	0.90	1.40
8 公共下水道整備や水洗化の推進	0.61	1.14	0.57	1.04

(2) 健康、福祉、スポーツ分野



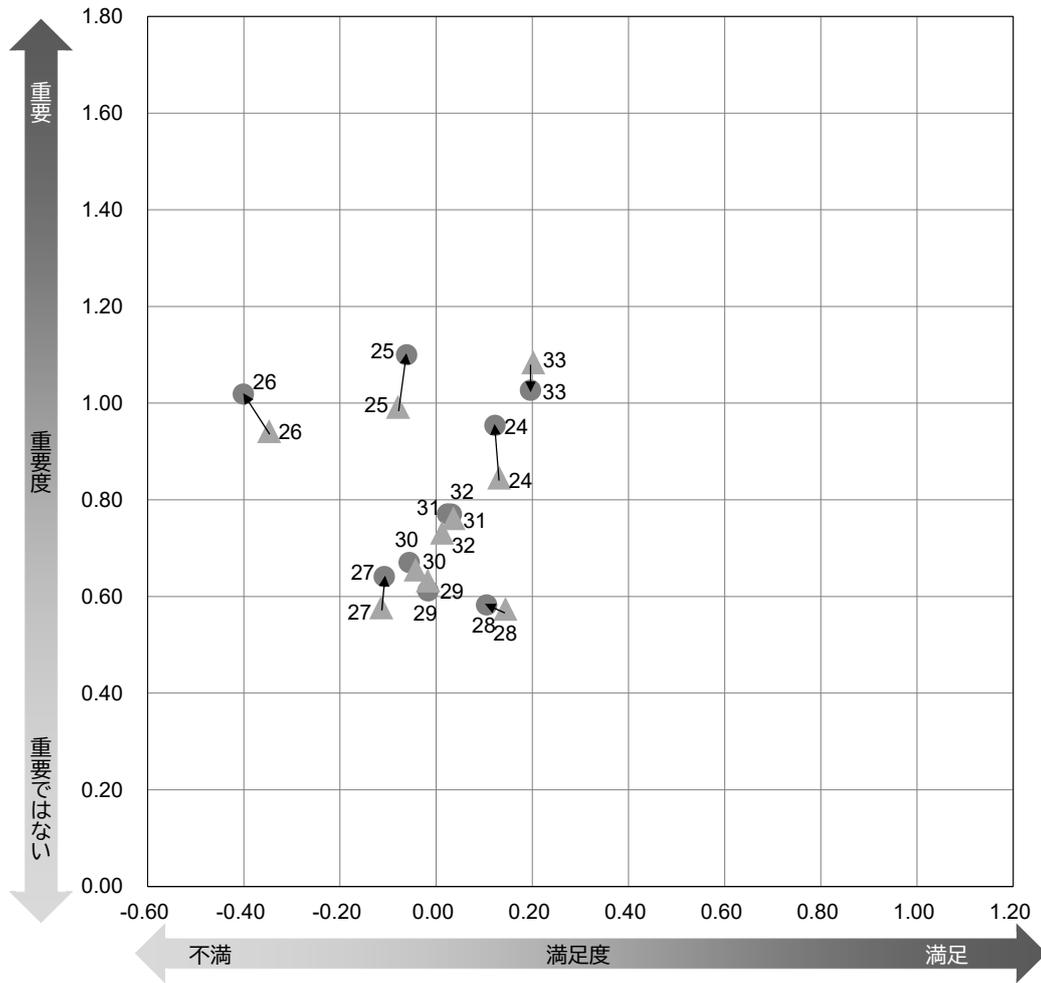
	今回(令和5年度)調査 ●		前回(令和4年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	0.04	0.81	0.01	0.75
10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	0.13	1.23	0.15	1.20
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	0.27	0.78	0.28	0.76
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	0.28	1.31	0.27	1.27
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	0.13	0.27	0.14	0.26
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.11	0.59	0.13	0.58
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.04	0.72	0.04	0.71
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	0.08	1.05	0.11	1.05
17 国民健康保険の円滑な運営	0.15	0.95	0.17	0.90

(3) 産業分野



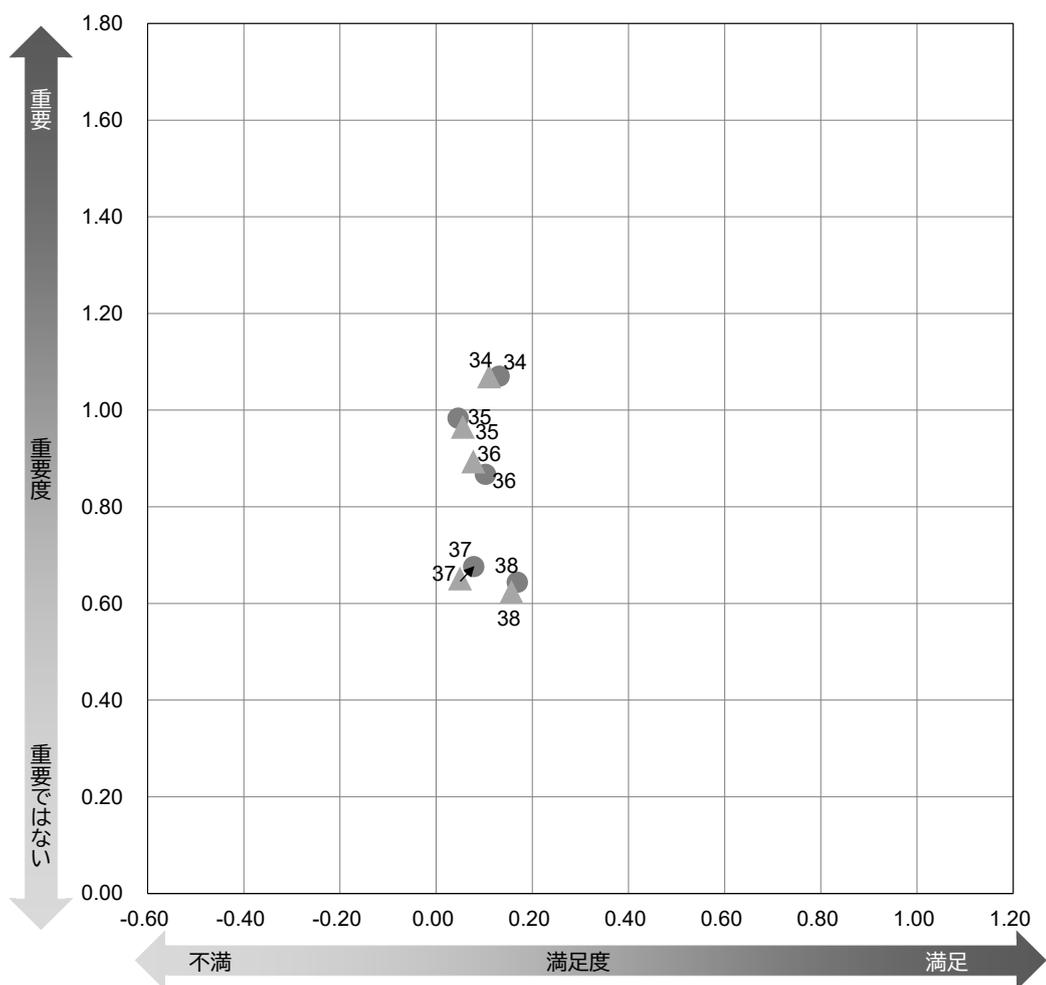
	今回(令和5年度)調査 ●		前回(令和4年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	0.01	0.63	0.02	0.62
19 創業・活性化支援による工業の振興	-0.01	0.58	-0.01	0.53
20 商店街の活性化と商業の振興	-0.35	0.80	-0.37	0.75
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	0.16	0.72	0.14	0.62
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	-0.09	0.72	-0.11	0.63
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	-0.14	0.98	-0.18	0.92

(4) 都市基盤、自然環境分野



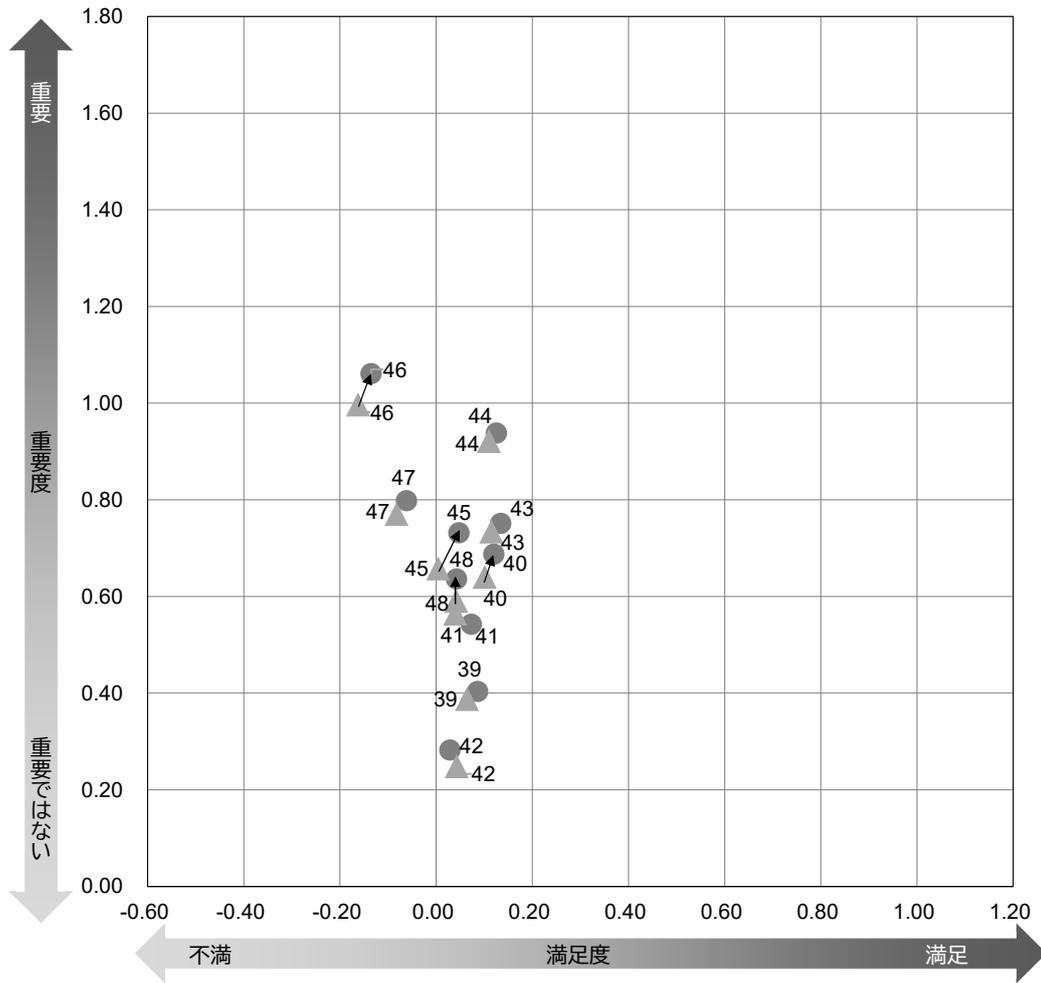
	今回(令和5年度)調査 ●		前回(令和4年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	0.12	0.95	0.13	0.85
25 生活に身近な道路の整備	-0.06	1.10	-0.08	0.99
26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	-0.40	1.02	-0.35	0.94
27 良好な市街地の形成	-0.11	0.64	-0.11	0.58
28 自然景観や歴史的景観などを守る活動	0.10	0.58	0.14	0.57
29 身近な公園などの整備	-0.02	0.61	-0.02	0.63
30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	-0.06	0.67	-0.04	0.66
31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	0.02	0.77	0.04	0.76
32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	0.03	0.77	0.01	0.73
33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	0.20	1.03	0.20	1.08

(5) 教育、文化分野



	今回(令和5年度)調査 ●		前回(令和4年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
34 小・中学校の教育の充実	0.13	1.07	0.11	1.07
35 小・中学校の施設の充実	0.05	0.98	0.06	0.97
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	0.10	0.87	0.08	0.89
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	0.08	0.68	0.05	0.65
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	0.17	0.64	0.16	0.62

(6) 自治、協働、行財政分野



	今回(令和5年度)調査 ●		前回(令和4年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	0.09	0.40	0.06	0.39
40 人権意識の向上と平和な社会の推進	0.12	0.69	0.10	0.64
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進	0.07	0.54	0.04	0.56
42 国内外の交流都市との交流連携の強化	0.03	0.28	0.04	0.25
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	0.13	0.75	0.11	0.73
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	0.13	0.94	0.11	0.92
45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	0.05	0.73	0.00	0.66
46 無駄のないスリムな行財政運営	-0.14	1.06	-0.16	1.00
47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用	-0.06	0.80	-0.08	0.77
48 周辺自治体との連携による業務の推進	0.04	0.64	0.04	0.59

5. 調査票

令和5年度 渋川市市民意識調査

市民意識調査ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市の将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の実現に向けて、行財政運営を行っています。

この調査は、市の取組などについて評価や意見をいただき、これからのまちづくりにいかすため、市内在住の18歳以上の方の中から無作為に抽出した4,000人を対象に実施するものです。

なお、本調査の結果につきましては、各事業の見直しや改善等の参考とさせていただくとともに、ホームページ等で公表する予定です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和6年1月

渋川市長 高木 勉

ご記入に当たって

- 1 回答は、**宛名のご本人**が記入してください。
- 2 回答は、無記名です。**氏名・住所は記入しないでください。**
- 3 回答は、次のとおり行ってください。
 - **選択肢の中から、当てはまる選択肢の番号に○印をつけてください。**
 - ○印の数は、質問ごとに「3つまで選んで○」「当てはまるもの全てに○」などの指定に合わせてください。
 - 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 4 回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、回答いただいた方が特定されることはありません。

調査票の提出方法

同封の返信用封筒に入れて、

令和6年 **1月31日(水)** までにご投函ください(切手不要)。

【お問合せ先】 渋川市 総合戦略部 政策戦略課 政策創造係
電話：0279-25-8554 FAX：0279-24-6541
E-mail:hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

【2】あなたの年代は、どれですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|----------|
| 1. 10代 | 5. 50代 |
| 2. 20代 | 6. 60代 |
| 3. 30代 | 7. 70代以上 |
| 4. 40代 | |

【3】あなたの主なご職業は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 正社員・正職員 | 6. 家事専業 |
| 2. 派遣・嘱託・契約社員 | 7. 学生 |
| 3. パート・アルバイト | 8. 無職 |
| 4. 自営業（農林水産関連） | 9. その他（ ） |
| 5. 自営業（商工関連） | |

【4】あなたの家族構成は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 一人暮らし | 4. 三世代同居 |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ ） |
| 3. 二世代同居 | |

【5】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 渋川地区 | 4. 子持地区 |
| 2. 伊香保地区 | 5. 赤城地区 |
| 3. 小野上地区 | 6. 北橘地区 |

【6】あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。
なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 3年以上5年未満 | 5. 20年以上30年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. 30年以上 |

市政との関わりについてお伺いします。

【問1】あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。
まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。
1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 進んだ | 4. どちらかと言えば進んでいない |
| 2. どちらかと言えば進んだ | 5. 進んでいない |
| 3. どちらとも言えない | |

【問2】あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 向上している | 4. どちらかと言えば向上していない |
| 2. どちらかと言えば向上している | 5. 向上していない |
| 3. どちらとも言えない | |

【問3】あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 住み続けたい |
| 2. 一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい |
| 3. 市外に移りたい |
| 4. わからない |

市の現状の評価についてお伺いします。

【問4】あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。
 次の1～48の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足 ごちうかと言えは満足	4 ごちうかとも言えない	3 ごちうかと言えは不満	2 不満	1 重要	5 ごちうかと言えは重要	4 ごちうかとも言えない	3 ごちうかと言えは重要でない	2 重要でない	1
(例)	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	災害などの発生に備える防災機能の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	安心して暮らせる防犯体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	移住・定住環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	公共下水道整備や水洗化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	すこやかな生活のための健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	市民が安心して受診できる医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	生涯スポーツ、競技スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらかとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
15	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	国民健康保険の円滑な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	豊かな自然をいかした農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	創業・活性化支援による工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	商店街の活性化と商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	地域資源の活用による新たな観光資源の開発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	生活に身近な道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	良好な市街地の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	自然景観や歴史的景観などを守る活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	身近な公園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらかとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
32	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	小・中学校の教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	小・中学校の施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38	地域に残る文化財の保護、伝統の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39	地域づくり団体などの活動基盤の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40	人権意識の向上と平和な社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41	あらゆる分野での男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42	国内外の交流都市との交流連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
43	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
44	公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
45	情報通信技術の活用などによる情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46	無駄のないスリムな行財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47	市有地や公共施設などの適正な管理・運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48	周辺自治体との連携による業務の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

市に関する情報を得る方法についてお伺いします。

【問5】あなたは、渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 広報しぶかわ | 4. 回覧物や配布物 |
| 2. 市ホームページ | 5. 新聞 |
| 3. 市公式SNS | 6. その他 () |

広報紙の発行回数についてお伺いします。

【問6】あなたは、「広報しぶかわ」の発行回数は月に何回が良いと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|------------|
| 1. 月2回 | 3. その他 () |
| 2. 月1回 | |

性別役割分担意識についてお伺いします。

【問7】あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらとも言えない | 6. わからない |

インターネットの利用状況についてお伺いします。

【問8】あなたは、どのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか。
当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. スマートフォン | 5. 自宅以外のパソコン |
| 2. スマートフォン以外の携帯電話 | 6. インターネット接続できる家電等 |
| 3. タブレット型端末 | 7. インターネットは利用していない |
| 4. 自宅のパソコン | 8. その他 () |

市のデジタル技術の取組についてお伺いします。

【問9】あなたは、行政手続のオンライン化（新型コロナワクチン接種予約や各種健（検）診のWeb予約など）により利便性が向上したと思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 向上した | 4. あまり向上していない |
| 2. やや向上した | 5. 向上していない |
| 3. 変わらない | |

【問10】あなたは、渋川市が行うデジタル化の取組について、今後特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。3つ選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる |
| 2. 税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる |
| 3. インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる |
| 4. 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される |
| 5. 市ホームページの見た目や操作性を向上させる |
| 6. 市役所のサービスで、わからないことを24時間問い合わせできる |
| 7. 個人情報以外の公共データを誰もが使えるデータとして公開する |
| 8. その他 () |

外出時の移動手段についてお伺いします。

【問14】あなたは、普段の生活の中で外出する際にどのような移動手段を利用していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 自分で車やバイク、原付等を運転する | 6. 電車を利用する |
| 2. 家族の車で送迎してもらう | 7. 自転車に乗る |
| 3. 知人や友人の車で送迎してもらう | 8. 徒歩のみ |
| 4. タクシーを利用する | 9. その他 () |
| 5. バスを利用する | |

路線バスの利用環境についてお伺いします。

【問15】あなたは、自宅から一番近い路線バス（予約型バス、デマンドバスを含む）のバス停がどこにあるか知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

自家用車の保有状況についてお伺いします。

【問16】あなたの世帯について、①18歳以上の人の人数と、②保有している自家用車の台数を教えてください。（太枠内に数字をお書きください。）

① あなたの世帯の
18歳以上の人の人数 人

② あなたの世帯の
保有している自家用車の台数 台

読書についてお伺いします。

【問17】あなたは、1ヶ月の間に紙の本を何冊くらい読みますか。

1つ選んで○をつけてください。

※図書館や友人などから借りて読む本も含めて回答してください。

※電子書籍、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌を除く。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 0冊 | 4. 7～9冊 |
| 2. 1～3冊 | 5. 10冊以上 |
| 3. 4～6冊 | |

【問18】あなたは、1ヶ月の間に電子書籍を何冊くらい読みますか。

1つ選んで○をつけてください。

※電子図書館で借りる本も含めて回答してください。なお、マンガ、雑誌も含めるものとします。

※教科書、学習参考書を除く。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 0冊 | 4. 7～9冊 |
| 2. 1～3冊 | 5. 10冊以上 |
| 3. 4～6冊 | |

【問19】あなたは、令和5年1月から令和5年12月までの間に、どれくらいの頻度で図書館を利用しましたか。1つ選んで○をつけてください。

※浜川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室なども含めるものとします。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1ヶ月に1回以上 | 5. 半年に1回程度 |
| 2. 2ヶ月に1回程度 | 6. 1年に1回程度 |
| 3. 3ヶ月に1回程度 | 7. 全く利用しなかった |
| 4. 4ヶ月に1回程度 | |

市政についてお伺いします。

【問20】あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。

令和6年**1月31日（水）**までにご投函ください。

- 11 -